

# 高齡者保健福祉実態調査報告書

平成26年3月

富山市



# 目 次

---

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査の内容	1
3	調査対象者	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回収結果	1
7	回答者構成	2
II	調査結果の要約	3
III	調査結果	21
1	回答者の属性	21
2	家族や生活状況について	25
3	運動・閉じこもり・転倒予防について	43
4	口腔・栄養について	53
5	物忘れについて	61
6	日常生活について	67
7	社会参加について	78
8	健康について	96
9	高齢者福祉について	106
IV	調査票	123

#### この冊子のみかた

1. 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（SA、複数の選択肢からひとつだけ選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答（MA、複数の選択肢から2つ以上の回答を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計は概ね100.0%を超えます。
3. 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
4. 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

# I 調査の概要



# I 調査の概要

## 1 調査目的

次期富山市高齢者総合福祉プラン（平成 27～29 年度）策定のための基礎資料とするため、対象となる高齢者の生活実態、保健・福祉・介護保険に係るサービス、施策・制度等に関する意向等を把握することを目的とする。

## 2 調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 家族や生活状況について
- (3) 運動・閉じこもり・転倒予防について
- (4) 口腔・栄養について
- (5) 物忘れについて
- (6) 日常生活について
- (7) 社会参加について
- (8) 健康について
- (9) 高齢者福祉について

## 3 調査対象者

- 富山市在住の 65 歳以上の男女
- 富山市内 18 圏域ごとに 200 人ずつ（計 3,600 人）を無作為抽出

## 4 調査方法

郵送返送方式

## 5 調査期間

平成 26 年 1 月 30 日～2 月 10 日

## 6 回収結果

配布数	有効回答数	回収率
3,600	2,434	67.6%

## 7 回答者構成

### (1) 性別・年齢別

	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	合計
男性	385 30.8	371 29.7	235 18.8	167 13.4	65 5.2	27 2.2	1,250 100.0
女性	318 26.9	301 25.4	229 19.3	174 14.7	109 9.2	53 4.5	1,184 100.0
全体	703 28.9	672 27.6	464 19.1	341 14.0	174 7.1	80 3.3	2,434 100.0

### (2) 地域別

	地域区分	件数 (人)	%
1	富山地域	1,886	77.5
2	大沢野地域、細入地域	143	5.9
3	大山地域	132	5.4
4	八尾地域、山田地域	129	5.3
5	婦中地域	132	5.4
	無回答	12	0.5
	合計	2,434	100.0

### (3) 圏域別

	圏域 (小学校区等) 別	件数 (人)	%
1	総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	129	5.3
2	東部、山室	152	6.2
3	西田地方、堀川、光陽	125	5.1
4	堀川南、蝸川	144	5.9
5	奥田、奥田北	135	5.5
6	桜谷、五福、神明	138	5.7
7	岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	148	6.1
8	針原、豊田	133	5.5
9	広田、新庄、新庄北	125	5.1
10	藤ノ木、山室中部	123	5.1
11	太田、新保、熊野、月岡	121	5.0
12	四方、八幡、草島、倉垣	138	5.7
13	呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	143	5.9
14	水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	132	5.4
15	大沢野地域、細入地域	143	5.9
16	大山地域	132	5.4
17	八尾地域、山田地域	129	5.3
18	婦中地域	132	5.4
	無回答	12	0.5
	合計	2,434	100.0

## Ⅱ 調査結果の要約



## II 調査結果の要約

### 2 家族や生活状況について

#### (1) 家族の状況

##### ① 家族構成（問2Q1）

家族構成をみると、「一人暮らし」が11.6%、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が85.1%、「その他（施設入居など）」が1.7%となっている。

男女別にみると、女性は「一人暮らし」が17.0%と、男性に比べて多くなっている。

地域別にみると、「八尾地域、山田地域」および「婦中地域」で、「一人暮らし」が8%台と、他の地域と比べて少なくなっている。

##### ② 同居の状況（問2Q1-1）

「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」とした2,072人に同居人数をきいたところ、「2人」が44.2%と最も多く、「3人」も22.5%と、「3人以下」が66.7%となっている。一方、「6人以上」は11.4%となっている。

同居者については、「配偶者（夫・妻）」が75.5%と最も多く、次いで「息子」が36.0%、「孫」が22.2%、「子の配偶者」が20.6%の順となっている。

##### ③ 日中、一人になることがあるか（問2Q1-2）

「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」とした2,072人に日中、一人になることがあるかきいたところ、「よくある」が28.7%、「たまにある」が45.1%、「ない」が20.4%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が32.5%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」で「よくある」が32.3%、「たまにある」が53.2%と、他の年代に比べて多くなっている。

#### (2) 介護・介助の必要性（問2Q2）

普段の生活における介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が68.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が8.6%となっている。

男女別にみると、女性は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が10.5%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した人は、「85～89歳」で31.6%、「90歳以上」で51.3%に達する。

#### (3) 介護・介助が必要になった原因（問2Q2-1）

介助・介護が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が25.3%と最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が17.4%、「認知症（アルツハイマー病等）」が15.4%、「糖尿病」が10.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」が多く、女性は男性に比べて「高齢による衰弱」、「認知症（アルツハイマー病等）」、「骨折・転倒」、「視覚・聴覚障害」が多くなっている。

#### (4) 主な介護・介助者（問2Q2-2）

主な介護・介助者については、「配偶者（夫・妻）」が34.3%と最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が24.3%、「娘」が19.0%、「子の配偶者」が12.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「配偶者（妻）」が多く、女性は男性に比べて「息子」、「娘」、「介護サービスのヘルパー」が多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けていない人は受けている人と比べて「配偶者（夫・妻）」、「息子」が多く、要介護認定を受けている人は受けていない人と比べて「介護サービスのヘルパー」、「娘」、「子の配偶者」が多くなっている。

#### (5) 介護・介助をしている人の年齢（問2Q2-3）

主に介護・介助をしている人の年齢については、「65歳未満」が36.7%、「65～74歳」が22.9%、「75～84歳」が20.5%、「85歳以上」が8.1%となっており、「65歳以上」が51.5%、「75歳以上」が28.6%となっている。

男女別にみると、男性は「75～84歳」が最も多く、女性は「65歳未満」が最も多くなっている。

#### (6) 現在の暮らしの状況（問2Q3）

現在の暮らしの状況については、「苦しい」が10.9%、「やや苦しい」が39.5%、「ややゆとりがある」が37.1%、「ゆとりがある」が6.1%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「ややゆとりがある」、「ゆとりがある」と回答した人が多い傾向にある。

#### (7) 生活の中で不安に思うこと（問2Q4）

生活の中で不安に思うことについては、「病気に関する不安」が62.6%と最も多く、次いで「寝たきりになることの不安」が54.7%、「認知症になることの不安」が52.1%、「災害（地震、火事、水害など）に関する不安」が32.2%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「病気に関する不安」、「経済（生活費など）に関する不安」が多く、女性は男性に比べて「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」が多い。

年齢別にみると、年代が低いほど「病気に関する不安」、「経済（生活費など）に関する不安」が多い傾向にあり、年代が高いほど「寝たきりになることの不安」が多い傾向にある。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「住宅の維持管理（除雪、庭木の手入れ、修繕など）に関する不安」、「孤独に関する不安（ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど）」、「いざという時に頼れる人がいないことの不安」が多く、「家族など同居」は「家族の介護に関する不安」が他と比べて多くなっている。

前回調査と比較すると、「経済（生活費など）に関する不安」が前回と比べて6.7ポイント、「家族の介護に関する不安」が4.4ポイント高くなっている。

### (8)住居の形態（問2Q5）

住居の形態については、「持ち家（一戸建て）」が90.6%と際立って多くなっている。その他、「持ち家（マンション等集合住宅）」が1.6%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.7%、「民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）」が1.2%、「公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社など）」が2.4%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）」が0.6%、「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」が0.7%、「借間」が0.1%となっている。

年齢別にみると、「90歳以上」は「持ち家（一戸建て）」が78.8%と他の年代に比べて少なく、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）」が11.3%と他の年代に比べて多い。

### (9)住居の階数（問2Q6）

住居（主に生活する部屋）が2階以上にあるかについては、「はい（2階以上）」が27.3%、「いいえ（1階）」が67.4%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（2階以上）」が33.6%と、女性に比べて多くなっている。

### (10)住居のエレベーターの設置（問2Q6-1）

住居にエレベーターがあるかについては、「はい（エレベーターがある）」が10.8%、「いいえ（エレベーターがない）」が77.7%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（エレベーターがある）」と回答した人が多い傾向にあり、「90歳以上」は41.2%となっている。

### (11)現在の住まいで困っていること（問2Q7）

現在の住まいで困っていることについては、「冬の除雪」が30.6%と最も多く、次いで「住宅の修繕などの維持・管理」が26.1%、「庭木の手入れや除草」が21.2%、「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）」が19.1%の順となっており、「特に困っていることはない」が35.2%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「住宅の修繕などの維持・管理」が多く、女性は男性に比べて「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「住宅の修繕などの維持・管理」が多く、年代が高いほど「玄関や敷居等の段差」が多くなっている。

地域別にみると、「大山地域」は「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）」が45.5%と多く、「大沢野地域、細入地域」は「近くに医療機関や介護保険施設などが無い」が他の地域と比べて多くなっている。一方、「婦中地域」は「特に困っていることはない」が43.2%と多くなっている。

## 3 運動・閉じこもり・転倒予防について

### (1)運動を行う頻度（問3Q1）

運動（散歩など軽い運動を含む）を行う頻度については、「ほぼ毎日」が21.7%、「週4～5日」が11.3%、「週2～3日」が23.4%、「週1日」が7.7%であり、「週1日以上」運動している人は約6割となっている。一方、「以前はしていたが、現在はしていない」が11.9%、「全くしていない」が14.8%となっている。

年齢別にみると、「70～79歳」で「週1日以上」が7割弱と他の年代に比べて多くなっている。一方、「90歳以上」は「週1日以上」が32.5%と他の年代に比べて少なく、「全くしていない」が30.0%と多くなっている。

#### (2) 身体を動かさない理由（問3Q1-1）

身体を動かさない理由については、「病気や介護を受けているなど身体上の理由のため」が22.2%と最も多く、次いで「面倒だから」が18.3%、「時間に余裕がないから」が14.8%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「面倒だから」が多く、女性は男性に比べて「病気や介護を受けているなど身体上の理由のため」が多くなっている。

#### (3) 運動機能（問3Q2）

運動機能については、「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」が54.3%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる」が60.7%、「15分くらい続けて歩ける」が65.4%、「5m以上歩ける」が58.3%となっている。

#### (4) 外出の頻度（問3Q3）

外出する頻度については、「ほぼ毎日」が35.4%、「週4～5日」が18.4%、「週2～3日」が25.6%、「週1日」が7.8%、「週1日未満」が5.8%となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が43.3%と、女性に比べて多くなっている。

#### (5) 外出回数の変化（問3Q4）

昨年と比べて外出回数が減っているかについては、「はい（減っている）」が28.2%、「いいえ（減っていない）」が64.5%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（減っている）」が30.7%と、男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど外出回数が減った人が多く、「65～74歳」は約2割であるのに対し、「85～89歳」で52.3%、「90歳以上」で60.0%となっている。

#### (6) 外出回数が減った理由（問3Q4-1）

外出回数が減った理由については、「足腰などの痛み」が47.2%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が19.4%、「病気」が17.3%、「トイレの心配（失禁など）」が15.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「外での楽しみがない」、「病気」が多く、女性は男性に比べて「足腰などの痛み」、「交通手段がない」が多くなっている。

#### (7) 外出の際の移動手段（問3Q5）

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が56.5%と最も多く、次いで「徒歩」が42.9%、「自転車」が24.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が24.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は「自動車（自分で運転）」が76.4%と、女性に比べて多くなっている。一方、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が37.3%、「路線バス」が21.4%と、男性に比べて多くなっている。

地域別にみると、「富山地域」は「徒歩」と「自転車」、「大山地域」は「電車」、「八尾、山田地域」は「自動車（人に乗せてもらう）」がそれぞれ他の地域と比べて多くなっている。

#### (8) 転倒（予防）（問 3 Q 6）

転倒（予防）については、「この1年間に転んだことがある」が19.5%、「転倒に対する不安は大きい」が24.3%、「背中が丸くなってきた」が22.2%、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」が49.3%となっている。

#### (9) 歩行補助具の使用状況（問 3 Q 7）

歩行補助具の使用状況については、「杖」が12.4%、次いで「歩行車・シルバーカー」が4.1%、「歩行器」が1.4%であり、「使用していない」は71.8%となっている。

男女別にみると、女性は「杖」が15.9%、「歩行車・シルバーカー」が7.7%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、各歩行補助具の使用者が多く、「90歳以上」で「杖」が51.3%、「歩行車・シルバーカー」が26.3%となっている。

### 4 口腔・栄養について

#### (1) 口腔の状態（問 4 Q 1）

口腔の状態については、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が26.3%、「お茶や汁物などでむせることがある」が18.0%、「口の渇きが気になる」が17.8%、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している」が60.4%、「定期的に歯科受診をしている（健診を含む）」が23.3%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「定期的に歯科受診をしている（健診を含む）」が少ない傾向にある。

#### (2) 入れ歯の使用状況（問 4 Q 2）

入れ歯の使用状況については、「はい（使用している）」が54.6%、「いいえ（使用していない）」が39.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった

年齢別にみると、年代が高いほど使用している人が多い傾向にあり、「65～69歳」は38.4%であるのに対し、「85～89歳」で80.5%、「90歳以上」で73.8%となっている。

#### (3) 噛み合わせの状態（問 4 Q 2 - 1）

噛み合わせの状態は良いかについては、「はい（良い）」が77.3%、「いいえ（良くない）」が19.1%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「はい（良い）」とする人がやや多くなっている。

年齢別にみると、「70～74歳」は「はい（良い）」が86.2%と多い一方、「85～89歳」は67.1%と少なくなっている。

#### (4) 入れ歯の手入れの状況（問 4 Q 2 - 2）

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい（している）」が89.2%、「いいえ（していない）」が6.2%となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べて「はい（している）」とする人がやや多くなっている。  
年齢別にみると、「70～74歳」は「はい（している）」が92.0%と多く、「85～89歳」は82.9%と少なくなっている。

#### (5) 1日の食事の回数（問4Q3）

1日の食事の回数については、「朝昼晩の3食」が91.2%と際立って多くなっている。  
年齢別にみると、「90歳以上」は「朝昼晩の3食」が93.8%と全年代を通して一番多くなっている。

#### (6) 欠食について（問4Q4）

食事を抜くことがあるかについては、「毎日ある」が1.2%、「週に何度かある」が4.5%、「月に何度かある」が6.9%、「ほとんどない」が83.0%となっている。

#### (7) 栄養バランスの意識（問4Q5）

普段の食事で、栄養のバランスを意識しているかについては、「はい（意識している）」が75.3%、「いいえ（意識していない）」が20.9%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（意識している）」が79.0%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「85～89歳」で「はい（意識している）」が64.9%と、他の年代に比べて少なくなっている。

#### (8) 水分の摂取（問4Q6）

水やお茶、コーヒーなどの水分を意識して飲んでいるかについては、「はい（飲んでいる）」が84.1%、「いいえ（飲んでいない）」が13.4%となっている。

年齢別にみると、「90歳以上」で「はい（意識している）」が78.8%と、他の年代に比べて少なくなっている。

### 5 物忘れについて

#### (1) 物忘れ（いつも同じことを聞く）（問5Q1）

周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされるかについては、「はい（言われる）」が20.9%、「いいえ（言われない）」が73.8%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「はい（言われる）」が多く、「85～89歳」で36.8%、「90歳以上」で45.0%となっている。

#### (2) 物忘れ（自分で電話をかける）（問5Q2）

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい（している）」が84.4%、「いいえ（していない）」が12.3%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「いいえ（していない）」が多い傾向にあり、「85～89歳」で24.7%、「90歳以上」で46.3%となっている。

### (3)物忘れ（何月何日かわからない）（問5Q3）

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい（ある）」が24.6%、「いいえ（ない）」が71.8%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「はい（ある）」が多く、「85～89歳」で42.0%、「90歳以上」で56.3%となっている。

### (4)物忘れ（5分前のことが思い出せる）（問5Q4）

5分前のことが思い出せるかについては、「はい（思い出せる）」が82.9%、「いいえ（思い出せない）」が11.5%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「いいえ（思い出せない）」が多く、「85～89歳」で19.0%、「90歳以上」で26.3%となっている。

### (5)その日の活動を自分で判断できるか（問5Q5）

その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が85.2%、「いくらか困難であるが、できる」が9.7%、「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」が1.4%、「ほとんど判断できない」が0.9%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「困難なくできる」が少なく、「ほとんど判断できない」が多くなっている。「90歳以上」は「困難なくできる」が48.4%と約半数にとどまっている。

### (6)自分の考えを伝えられるか（問5Q6）

人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」が82.6%、「いくらか困難であるが、伝えられる」が12.2%、「あまり伝えられない」が2.3%、「ほとんど伝えられない」が0.5%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「伝えられる」が少なくなっており、「90歳以上」は「伝えられる」が42.5%となっている。

## 6 日常生活について

### (1)日用品の買物をしているか（問6Q1）

日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が75.3%、「できるけどしていない」が16.1%、「できない」が6.1%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が80.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できるし、している」が少なくなっており、「85～89歳」で46.0%、「90歳以上」で27.5%となっている。また、「できない」が「85～89歳」で21.3%、「90歳以上」で43.8%となっている。

### (2)代わりに買い物をする人（問6Q1-1）

誰が日用品の買物をしているかについては、「同居の家族」が78.0%と大半を占め、「別居の家族」が6.8%、「ヘルパー」が1.1%、「配達を依頼」が1.5%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が82.0%と女性に比べて多く、女性は「別居の家族」が12.9%と男性に比べて多くなっている。

### (3) 自分で食事の用意ができるか (問6Q2)

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が 55.0%、「できるけどしていない」が 28.5%、「できない」が 12.7%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 79.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で 25.9%、「90歳以上」が 48.8%と約半数になっている。

### (4) 主に食事の用意をする人 (問6Q2-1)

代わりに食事の用意をする人については、「同居の家族」が 85.0%と大半を占め、「別居の家族」が 1.4%、「ヘルパー」が 0.6%、「配食サービス利用」が 1.4%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が 87.3%と女性に比べて多く、女性は「別居の家族」が 5.0%、「配食サービス利用」が 5.0%と男性に比べて多くなっている。

### (5) 支払いを自分でしているか (問6Q3)

買い物などの請求書の支払いを自分でしているかについては、「できるし、している」が 77.2%、「できるけどしていない」が 14.9%、「できない」が 4.4%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 84.9%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で 12.6%、「90歳以上」で 36.3%となっている。

### (6) 預貯金の出し入れを自分でしているか (問6Q4)

預貯金の出し入れを自分でしているかについては、「できるし、している」が 74.6%、「できるけどしていない」が 17.2%、「できない」が 6.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 83.4%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で 16.1%、「90歳以上」で 33.8%となっている。

### (7) 食事を自分で食べられるか (問6Q5)

食事は自分で食べられるかについては、「できる」が 96.6%、「一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる」が 1.4%、「できない」が 0.2%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できる」が少なくなっており、「90歳以上」で 85.0%となっている。

### (8) 自分でトイレができるか (問6Q6)

自分でトイレができるかについては、「できる」が 97.1%、「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 0.9%、「できない」が 0.5%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少ない傾向にあり、「90歳以上」は「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 10.0%、「できない」が 3.8%となっている。

### (9) 自分で入浴できるか (問6Q7)

自分で入浴ができるかについては、「できる」が93.5%、「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が3.7%、「できない」が1.3%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少ない傾向にあり、「90歳以上」は「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が31.3%、「できない」が15.0%となっている。

### (10) 自分で着替えができるか (問6Q8)

自分で着替えができるかについては、「できる」が95.6%、「介助があればできる」が2.4%、「できない」が0.5%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少ない傾向にあり、「90歳以上」は「介助があればできる」が23.8%、「できない」が6.3%となっている。

### (11) 家庭における役割 (問6Q9)

家庭内における役割については、役割が「ある」とした人が81.5%、「ない」が18.5%となっている。役割があるとした人の内訳をみると、「掃除」が54.6%と最も多く、次いで「庭や植栽の管理」が46.4%、「洗濯」が45.5%、「炊事」が42.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「庭や植栽の管理」が多く、女性は男性に比べて「洗濯」、「掃除」、「炊事」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど家庭内で役割を持つ人が多くなっているが、役割が「ない」とする人は、「85～89歳」で29.3%、「90歳以上」で55.0%となっている。

## 7 社会参加について

### (1) 新聞や本、雑誌を読んでいるか (問7Q1)

新聞や本、雑誌を読んでいるかについては、「はい（読んでいる）」が89.7%、「いいえ（読んでいない）」が6.1%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（読んでいる）」が92.0%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（読んでいる）」が少なく、「65～69歳」は94.5%と高い一方、「85～89歳」で83.3%、「90歳以上」で61.3%となっている。

### (2) 友人の家を訪ねているか (問7Q2)

友人の家を訪ねているかについては、「はい（訪ねている）」が53.7%、「いいえ（訪ねていない）」が40.6%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（訪ねている）」が58.6%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（訪ねている）」が少ない傾向にあり、「85～89歳」で39.1%、「90歳以上」で18.8%となっている。

### (3) 家族や友人の相談にのっているか (問7Q3)

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい（のっている）」が73.9%、「いいえ（のっていない）」が20.1%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（のっている）」が少なくなっており、「85～89歳」で48.3%、「90歳以上」で40.0%となっている。

#### (4) 趣味や生きがいはあるか（問7Q4）

趣味や生きがいがあるかについては、「はい（ある）」が65.6%、「いいえ（ない）」が16.6%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（ある）」が68.9%と女性の62.2%に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（ある）」が少なくなっており、「85～89歳」で46.0%、「90歳以上」で38.8%となっている。

#### (5) 趣味や生きがい活動の参加頻度（問7Q5）

##### ① ボランティア活動

ボランティア活動への参加頻度については、「週4回以上」が4.6%、「週2～3回」が6.2%、「週1回」が4.1%、「月1～3回」が7.9%、「年に数回」が13.2%、「参加していない」が48.6%となっている。

年齢別にみると、年代が低いほど参加頻度が高い傾向にあり、「月1回以上」参加している人は「65～79歳」で25%前後となっている。

##### ② スポーツなど健康保持や体力づくりのための活動（散歩なども含む）

スポーツなど健康保持や体力づくりのための活動（散歩なども含む）の参加頻度については、「週4回以上」が18.7%、「週2～3回」が19.4%、「週1回」が8.3%、「月1～3回」が6.6%、「年に数回」が6.0%、「参加していない」が31.4%となっている。

男女別にみると、「月1回以上」運動している人は男性の方が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「参加していない」が多い傾向にあり、「85～89歳」で43.1%、「90歳以上」で61.3%となっている。

##### ③ 学習・教養サークル（習い事）など趣味や生きがいのための活動

学習・教養サークル（習い事）など趣味や生きがいのための活動の参加頻度については、「週4回以上」が2.7%、「週2～3回」が5.5%、「週1回」が6.6%、「月1～3回」が9.6%、「年に数回」が8.1%、「参加していない」が56.3%となっている。

男女別にみると、男性は「参加していない」が62.2%と、女性に比べて多くなっている。

##### ④ 自治会・町内会・老人クラブなどの活動

自治会・町内会・老人クラブなどの活動の参加頻度については、「週4回以上」が1.3%、「週2～3回」が2.2%、「週1回」が3.4%、「月1～3回」が11.5%、「年に数回」が29.7%、「参加していない」が43.6%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「85～89歳」で51.7%、「90歳以上」で76.3%と多くなっている。

## ⑤その他の団体や会

その他の団体や会の参加頻度については、「週4回以上」が1.5%、「週2～3回」が2.7%、「週1回」が3.1%、「月1～3回」が8.7%、「年に数回」が19.8%、「参加していない」が51.5%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「85～89歳」で62.6%、「90歳以上」で81.3%と多くなっている。

## (6)社会参加活動や仕事の参加頻度（問7Q6）

### ①見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動

見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の参加頻度については、「週4回以上」が1.2%、「週2～3回」が1.9%、「週1回」が1.9%、「月1～3回」が4.4%、「年に数回」が6.7%、「参加していない」が70.1%となっている。

男女別にみると、男性は「参加していない」が73.3%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「65～69歳」で77.2%、「90歳以上」で83.8%と多くなっている。

### ②子育て中の親を支援する活動

子育て中の親を支援する活動の参加頻度については、「週4回以上」が1.7%、「週2～3回」が1.2%、「週1回」が0.9%、「月1～3回」が2.9%、「年に数回」が6.3%、「参加していない」が73.0%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「85～89歳」で73.0%、「90歳以上」で87.5%と多くなっている。

### ③地域の生活環境の改善(美化)活動

地域の環境美化活動の参加頻度については、「週4回以上」が0.5%、「週2～3回」が0.5%、「週1回」が1.2%、「月1～3回」が2.8%、「年に数回」が34.6%、「参加していない」が48.7%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

### ④収入のある仕事

収入のある仕事の従事頻度については、「週4回以上」が14.1%、「週2～3回」が5.2%、「週1回」が1.5%、「月1～3回」が2.2%、「年に数回」が4.3%、「参加していない」が62.8%となっている。

男女別にみると、男性は「週4回以上」が18.1%など、従事している人が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど従事頻度が高く、「週4回以上」従事している人は、「65～69歳」で27.9%、「70～74歳」で16.2%と多くなっている。

## (7)まわりの人の「たすけあい」について（問7Q7）

### ①心配事や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が54.2%と最も多く、次いで「友人」が28.8%、「別居の子ども」と「兄弟姉妹・親戚・親・孫」がそれぞれ27.2%、「同居の子ども」が21.7%などと

なっており、「そのような人はいない」は5.1%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が70.4%と女性に比べて際立って多く、女性は「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」などが男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、年代が高いほど「別居の子ども」、「同居の子ども」が多い傾向にある。

## ②看病や世話をしてくれる人

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が62.2%と最も多く、次いで「同居の子ども」が30.5%、「別居の子ども」が25.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」12.1%などとなっており、「そのような人はいない」は4.4%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が80.2%と女性に比べて際立って多く、女性は「同居の子ども」、「別居の子ども」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」が多く、年代が高いほど「同居の子ども」、「別居の子ども」が多い傾向にある。

## (8) 家族や友人・知人以外の相談相手（問7Q8）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が22.1%と多く、「市役所・地域包括支援センター」が13.2%、「自治会・町内会・老人クラブ」が12.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が12.2%などとなっており、「そのような人はいない」は39.7%となっている。

男女別にみると、男性は「自治会・町内会・老人クラブ」が女性に比べて多く、女性は「ケアマネージャー」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」で、「そのような人はいない」が51.5%と多くなっている。

## (9) 友人関係（問7Q9）

### ①友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度については、「週4回以上」が8.8%、「週2～3回」が15.9%、「週1回」が12.1%、「月1～3回」が21.2%、「年に数回」が23.6%、「会っていない」が13.1%となっている。

男女別にみると、女性の方が友人・知人と会う頻度が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど友人・知人と会う頻度が少なく、「会っていない」人は「85～89歳」で25.9%、「90歳以上」で46.3%と多くなっている。

### ②よく会う友人・知人の関係

よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が46.8%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が30.3%、「仕事での同僚・元同僚」が28.9%、「学生時代の友人」が16.3%などとなっており、「いない」は9.7%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「仕事での同僚・元同僚」が多く、女性は「近所・同じ地域の人」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「いない」が多く、「85～89歳」で19.0%、「90歳以上」で35.0%となっている。

## 8 健康について

### (1)健康づくりや介護予防のためにしていること（問8Q1）

健康づくりや介護予防のためにしていることについては、「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」が55.1%と最も多く、次いで「休養や睡眠を十分とるようにしている」が50.6%、「健康診断を受診している」が50.3%、「規則的な生活を心がけている」が48.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」、「酒やタバコを控えている」が多く、女性は男性に比べて「気持ちをなるべく明るく持つようにしている」、「友人との交流を大切にしている」が多くなっている。

年齢別にみると、「80歳以上」は「休養や睡眠を十分とるようにしている」が「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」を上回り、最も多い項目となっている。

### (2)健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと（問8Q2）

健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことについては、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が55.6%と最も多く、次いで「友人との交流」が30.4%、「趣味や教養活動」が29.3%、「家事や家庭内の世話」が22.8%の順となっており、「特になし」は15.6%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動（散歩など軽い運動を含む）」、「働くこと」、「地域活動（長寿会や自治会活動を含む）」が多く、女性は男性に比べて「友人との交流」、「家事や家庭内の世話」が多くなっている。

### (3)自分が健康であると思うか（問8Q3）

普段、自分が健康だと思うかについては、「とても健康」が6.9%、「まあまあ健康」が64.3%、「あまり健康でない」が17.2%、「健康でない」が5.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

### (4)現在治療中または後遺症のある病気（問8Q4）

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が40.7%と最も多く、次いで「目の病気」が14.7%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が14.1%、「糖尿病」が13.9%などとなっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」が多く、女性は男性に比べて「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「高脂血症（脂質異常）」が多く、年代が高いほど「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」が多い傾向にある。

### (5)薬を何種類飲んでいるか（問8Q5）

現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるかについては、「5種類」が20.3%と最も多くなっており、「1種類」が13.6%、「2種類」が16.8%、「3種類」が15.2%、「4種類」が9.8%、「飲んでいない」が18.6%となっている。

### (6) 通院の状況（問 8 Q 6）

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかについては、「はい（通院している）」が 76.9%、「いいえ（通院していない）」が 17.1%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、通院している人は「75～89 歳」で 8 割超となっている。

### ②通院の頻度（問 8 Q 6－1）

通院頻度については、「週 1 回以上」が 6.0%、「月 2～3 回」が 12.3%、「月 1 回程度」が 55.6%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 17.0%、「3 ヶ月に 1 回程度」が 6.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど通院頻度が高い傾向にあり、「90 歳以上」は「週 1 回以上」が 8.5%、「月 2～3 回」が 20.3%となっている。

### ③通院に介助が必要か（問 8 Q 6－2）

通院に介助が必要かについては、「はい（必要である）」が 10.0%、「いいえ（必要でない）」が 76.9%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（必要である）」が 13.1%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（必要である）」が多く、「85～89 歳」で 26.7%、「90 歳以上」で 49.2%となっている。

### (7) 福祉サービスの利用状況（問 8 Q 7）

在宅サービス及び福祉サービスの利用状況については、「通所介護（デイサービス）」が 4.8%と最も多く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が 1.8%、「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」と「配食サービス」が 1.6%の順となっている。

男女別にみると、女性は「通所介護（デイサービス）」が 6.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「通所介護（デイサービス）」が多く、「85～89 歳」で 21.8%、「90 歳以上」で 35.0%となっている。

### (8) 日ごろの生活状況（問 8 Q 8）

日ごろ（ここ 2 週間）の生活状況については、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」が 32.9%、「わけもなく疲れたような感じがする」が 17.6%、「毎日の生活に充実感がない」が 15.5%、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が 10.4%、「自分が役に立つ人間だと思えない」が 8.3%となっている。

男女別にみると、男性は「毎日の生活に充実感がない」が女性に比べて多く、女性は「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」、「わけもなく疲れたような感じがする」、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が多くなる傾向にある。

## 9 高齢者福祉について

### (1) 地域包括支援センターの認知度（問9Q1）

地域包括支援センターの認知度については、「はい（知っている）」が 63.2%、「いいえ（知らない）」が 31.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

圏域別にみると、「堀川南、蝸川」、「奥田、奥田北」、「岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎」で「はい（知っている）」が 7 割を超えている一方、「東部、山室」、「西田地方、堀川、光陽」、「藤ノ木、山室中部」は約 5 割にとどまっている。

### (2) 地域包括支援センターの利用状況（問9Q1-1）

地域包括支援センターの利用状況については、「（利用したことが）ある」が 24.4%、「（利用したことが）ない」が 73.7%となっている。

男女別にみると、女性は「（利用したことが）ある」が 27.7%と、男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「（利用したことが）ある」と回答した人が多く、「85～89 歳」で 52.1%、「90 歳以上」で 65.2%となっている。

圏域別にみると、「岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎」、「針原、豊田」で「（利用したことが）ある」が 3 割を超えている一方、「桜谷、五福、神明」、「藤ノ木、山室中部」、「四方、八幡、草島、倉垣」、「大沢野地域、細入地域」で 2 割を下回っている。

### (3) 地域包括支援センターの利用内容（問9Q2）

地域包括支援センターの利用内容については「介護に関すること（介護保険制度を含む）」が 56.0%と最も多く、次いで「介護予防に関すること（水のみ運動・楽々いきいき運動・パワーリハビリ・ふれあいサークルなど）」が 22.7%、「健康や医療に関すること」が 18.4%、「配食サービス・おむつ支給・介護手当などの福祉サービスに関すること」が 14.4%の順となっている。

年齢別にみると、「介護に関すること（介護保険制度を含む）」は「65～69 歳」および「85 歳以上」で 6～7 割と多くなっている。また、「75～79 歳」で「介護予防に関すること（水のみ運動・楽々いきいき運動・パワーリハビリ・ふれあいサークルなど）」が 34.2%と、他の年代に比べて多い傾向にある。

### (4) 望ましい介護の生活形態（問9Q3）

介護を受けながら生活していく際の望ましい介護の生活形態については、「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が 31.3%、「在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい」が 26.3%、「自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい」が 4.5%などとなっており、約 6 割の人が住み慣れた地域での生活を望んでいる。

男女別にみると、男性は女性に比べて「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が多く、女性は男性に比べて「在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい」が多くなっている。

年齢別にみると、「80～84 歳」で「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が 38.4%、「65～69 歳」で「在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿

泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい」が 32.4%と他の年代に比べて多くなっている。

同居状況別にみると、「家族など同居」の人は「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が 34.5%と多い。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて、住み慣れた地域で暮らしたいとする人が多くなっている。

介護・介助の必要性別にみると、「介護・介助を受けている」人は、住み慣れた地域で暮らしたいとする人が約7割と多くなっている。

#### (5) 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと（問9Q4）

介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なことについては、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が 43.3%と最も多く、次いで「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が 40.6%、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が 38.3%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が多く、女性は男性に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が多い傾向にある。また、「90歳以上」は「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が 51.3%と多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が多くなっている。一方、受けていない人は「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が多くなっている。

#### (6) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な見守りや支援（問9Q5）

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に必要なと思う見守りや支援については「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が 55.3%、「閉じこもりを予防するための誘い出し」が 9.8%、「地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり」が 10.2%、「老人クラブによる友愛訪問」が 3.9%などとなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が多い。

同居状況別にみると、「家族など同居」は「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が他と比べて多く、「一人暮らし」は「地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり」が他と比べて多くなっている。

#### (7) 認知症の人が地域で暮らすために必要な支援（問9Q6）

認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために必要なと思う支援については、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が 53.1%と最も多く、次いで「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」が 37.8%、「地域の見守り体制の充実」が 36.1%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「地域の見守り体制の充実」が多く、女性は男性に比べて「認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（「認知症カフェ」など）の設置」が多くなっている。

年齢別にみると、「65～69 歳」は「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が 63.0%と多くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「地域の見守り体制の充実」が 34.8%と最も多くなっている。

#### (8) 身近に整備してほしい介護・福祉施設（問 9 Q 7）

身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等については、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が 43.2%と最も多く、次いで「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が 35.2%、「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が 35.0%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が 30.2%の順となっている。

男女別にみると、男性は「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が 38.0%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69 歳」で「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が 52.3%と他の年代に比べて多くなっている。また、「85～89 歳」は「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が 38.5%と最も多い。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が多くなっている。一方、受けていない人は受けている人に比べて「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が多くなっている。

#### (9) 介護保険制度における費用負担の考え方（問 9 Q 8）

介護保険制度における費用負担の考え方については、「現状（1割負担）程度の費用負担が適当である」が 59.7%、「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が 19.3%、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が 9.9%などとなっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「85～89 歳」で「現状（1割負担）程度の費用負担が適当である」が 64.4%と他の年代に比べて多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は「現状（1割負担）程度の費用負担が適当である」が 63.3%と、受けていない人に比べて多くなっている。要介護認定を受けていない人は「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が 20.2%と、受けている人に比べて多くなっている。



### Ⅲ 調査結果



### Ⅲ 調査結果

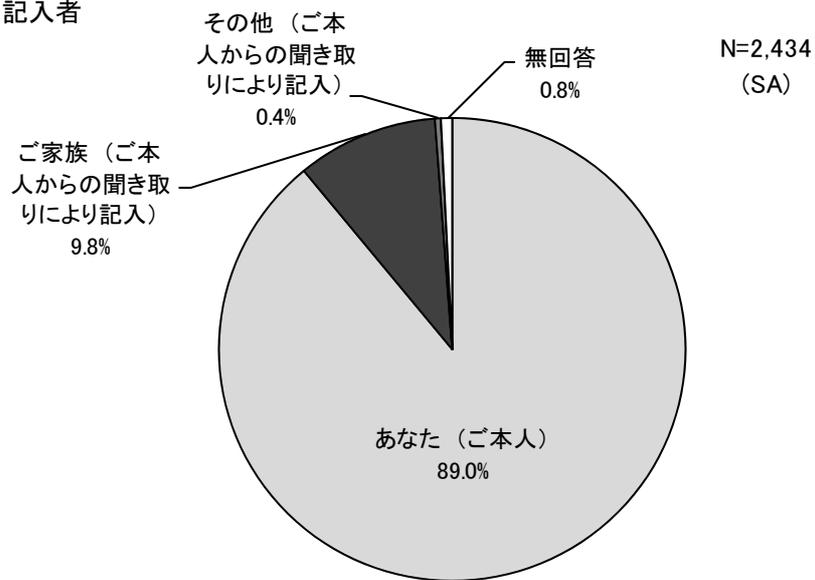
#### 1 回答者の属性

##### (1) アンケート記入者

問1 Q1. このアンケートに記入していただく方を教えてください。

アンケート記入者の属性をみると、本人記入が89.0%、家族記入が9.8%となっている。

図表 1-1 アンケート記入者

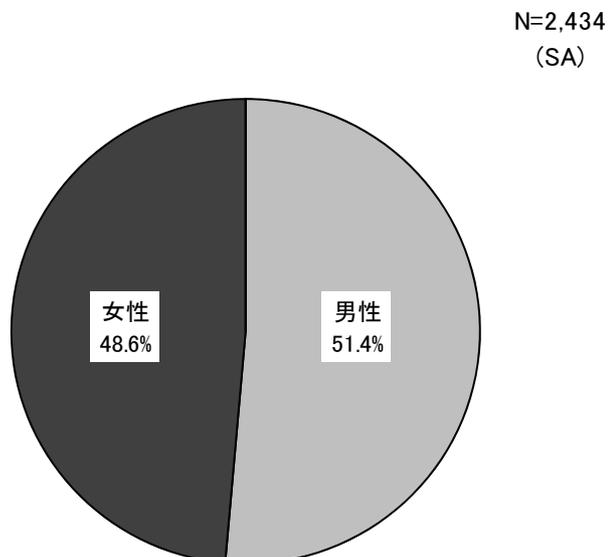


##### (2) 性別

問1 Q2. あなたの性別を教えてください。

回答者の性別をみると、男性が51.4%、女性が48.6%となっている。

図表 1-2 性別



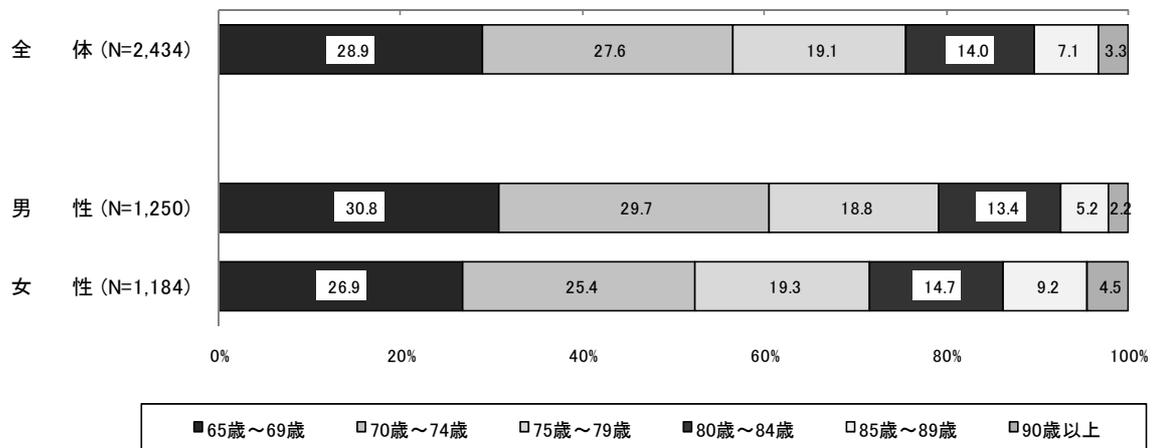
### (3) 年齢

問1 Q3. あなたの平成26年（今年）1月1日現在の満年齢を教えてください。

年齢は、「65～69歳」が28.9%、「70～74歳」が27.6%と、「65～74歳」が56.5%を占め、「75歳以上」は43.5%となっている。

男女別にみると、男性は「65～74歳」が60.5%、「75歳以上」が39.6%であり、女性は「65～74歳」が52.3%、「75歳以上」が47.7%となっている。

図表 1-3 年齢

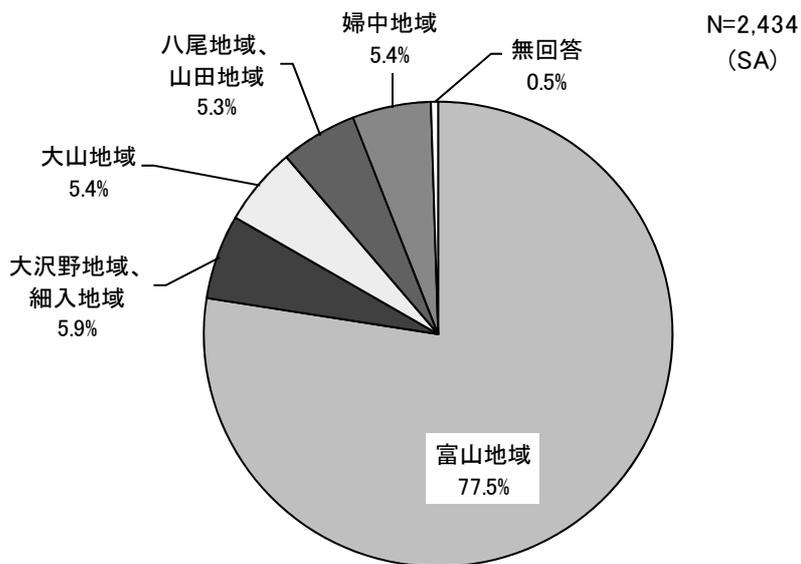


### (4) 居住地域

問1 Q4. あなたはどの地域にお住まいですか。小学校区などを参考にして1から18までの該当する地域番号1つに○印を付けてください。

居住地域については、圏域ごとに200人を抽出したため、「富山地域」が77.5%、「大沢野地域、細入地域」が5.9%、「大山地域」が5.4%、「八尾地域、山田地域」が5.3%、「婦中地域」が5.4%となっている。

図表 1-4 居住地域



図表 1-5 居住地域（圏域別）

圏域	地域(小学校区等)別	件数	%
1	総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	129	5.3
2	東部、山室	152	6.2
3	西田地方、堀川、光陽	125	5.1
4	堀川南、蜷川	144	5.9
5	奥田、奥田北	135	5.5
6	桜谷、五福、神明	138	5.7
7	岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	148	6.1
8	針原、豊田	133	5.5
9	広田、新庄、新庄北	125	5.1
10	藤ノ木、山室中部	123	5.1
11	太田、新保、熊野、月岡	121	5.0
12	四方、八幡、草島、倉垣	138	5.7
13	呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	143	5.9
14	水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	132	5.4
15	大沢野地域、細入地域	143	5.9
16	大山地域	132	5.4
17	八尾地域、山田地域	129	5.3
18	婦中地域	132	5.4
	無回答	12	0.5
	計	2,434	100

(5) 要介護認定の状況

問1 Q5. あなたは、介護認定を受けていますか。また、受けている場合、要介護度は次のどれにあたりますか。

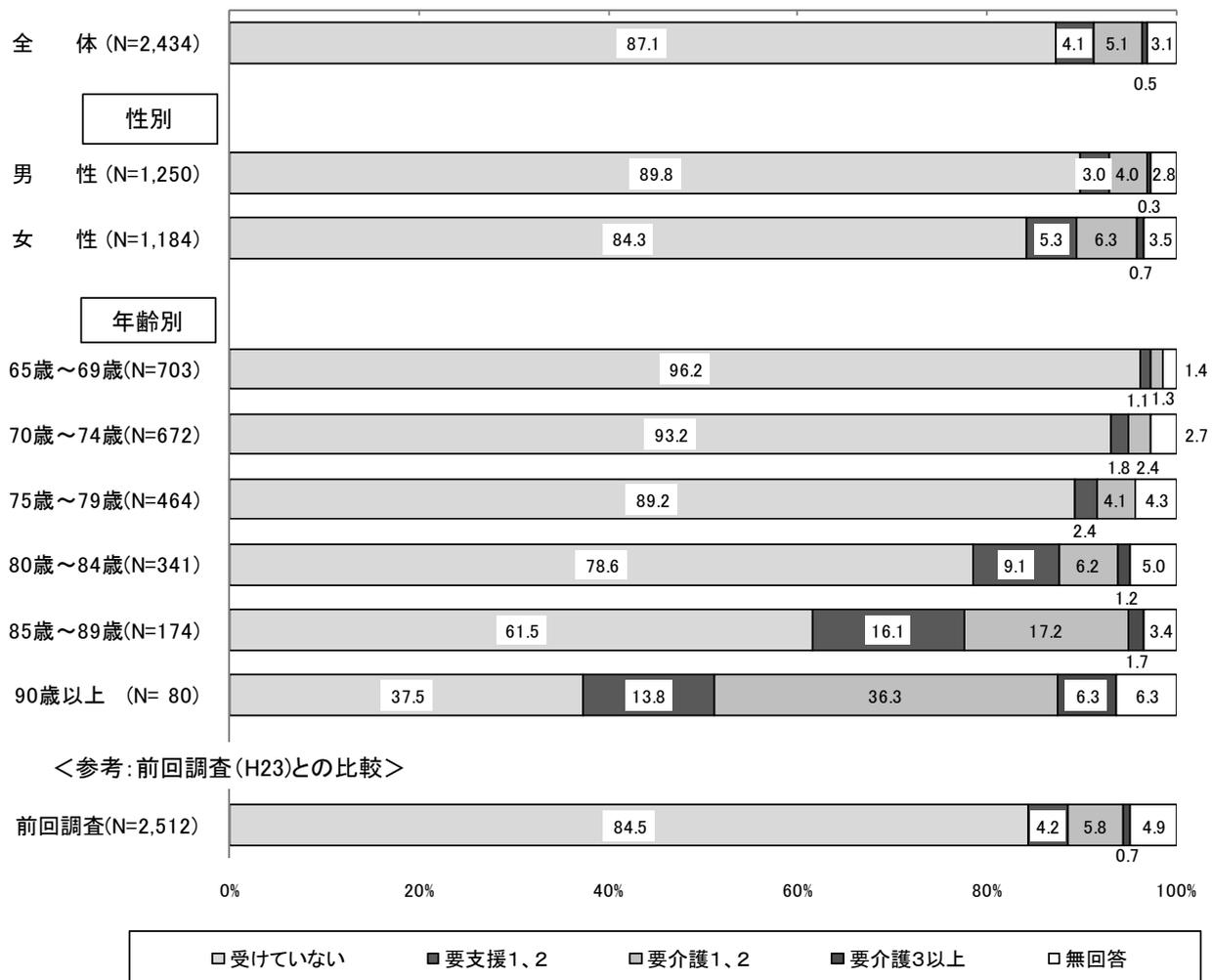
要介護認定の状況をみると、「受けていない」が87.1%、「要支援1、2」が4.1%、「要介護1、2」が5.1%、「要介護3以上」が0.5%となっている。

男女別にみると、男性は「受けていない」が89.8%と、女性に比べて多くなっている。また、何らかの支援・介護が必要な人（「要支援1、2」、「要介護1、2」および「要介護3以上」）は、女性の方が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど要介護認定を受けている人が多くなっており、要介護認定を受けている人は、「85～90歳」で35.0%、「90歳以上」で56.4%となっている。

前回調査と比較すると、「受けていない」と答えた人の割合が2.6ポイント高くなっている。

図表 1-6 要介護認定の状況



## 2 家族や生活状況について

### (1) 家族の状況

#### ① 家族構成

問2 Q1. 家族構成をお教えてください。

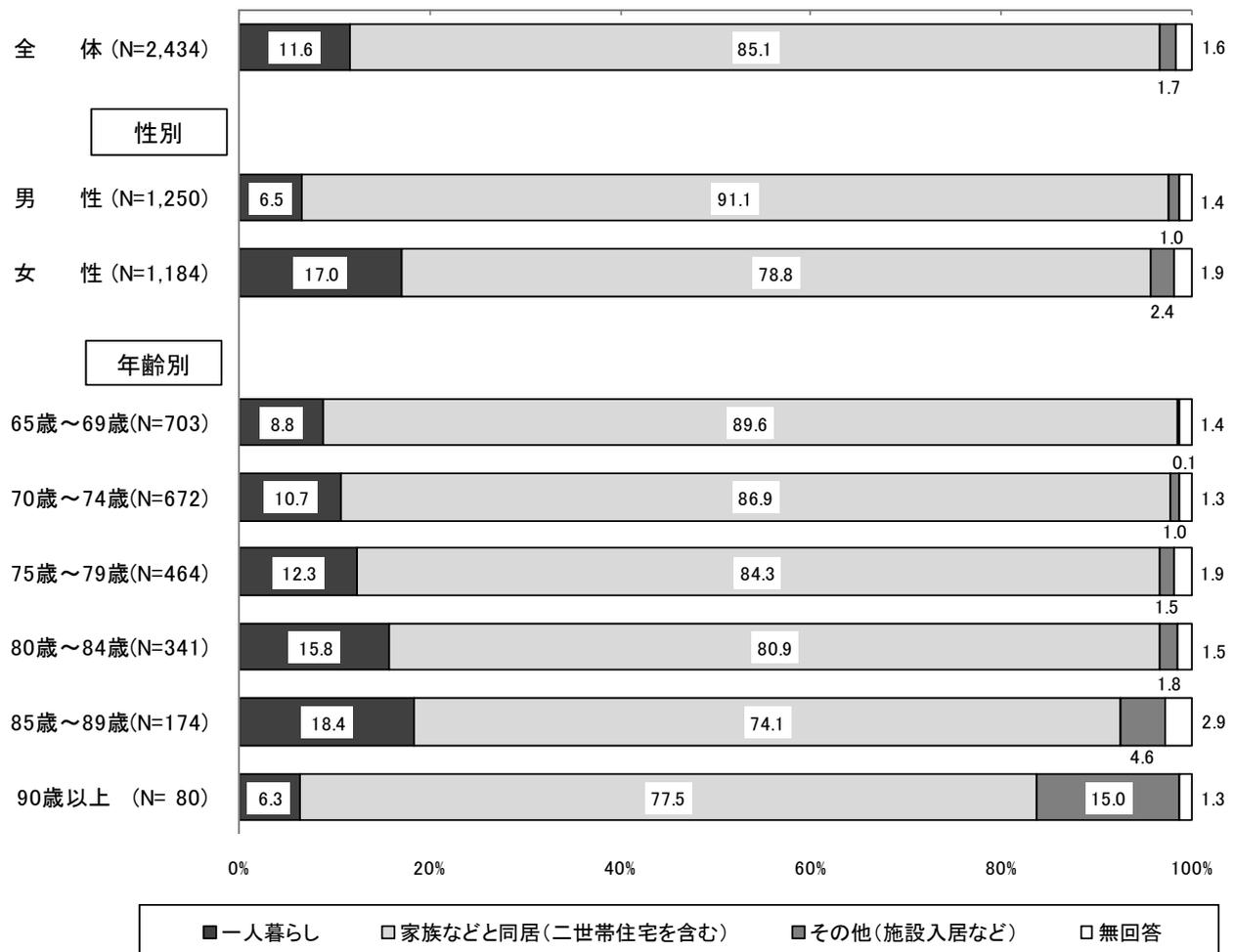
家族構成をみると、「一人暮らし」が11.6%、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が85.1%、「その他（施設入居など）」が1.7%となっている。

男女別にみると、女性は「一人暮らし」が17.0%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「一人暮らし」が多い傾向にあるが、「90歳以上」では6.3%と少なく、一方で「その他（施設入居など）」が15.0%と多くなっている。

地域別にみると、「八尾地域、山田地域」および「婦中地域」で、「一人暮らし」が8%台と、他の地域と比べて少なくなっている。

図表 2-1 家族構成



図表 2-2 家族構成【地域別・圏域別】

		一人暮らし	（二世帯住宅を含む） 家族などと同居	（その他 施設入居など）	無回答
地域別	富山地域 (N=1,886)	11.9	85.0	1.5	1.6
	大沢野地域、細入地域 (N= 143)	11.2	86.7	1.4	0.7
	大山地域 (N= 132)	12.1	83.3	3.0	1.5
	八尾地域、山田地域 (N= 129)	8.5	86.0	3.1	2.3
	婦中地域 (N= 132)	8.3	88.6	1.5	1.5
圏域（小学校区等）別	総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=129)	23.3	74.4	-	2.3
	東部、山室 (N=152)	17.1	81.6	0.7	0.7
	西田地方、堀川、光陽 (N=125)	20.8	76.8	0.8	1.6
	堀川南、蜷川 (N=144)	10.4	83.3	2.8	3.5
	奥田、奥田北 (N=135)	9.6	86.7	2.2	1.5
	桜谷、五福、神明 (N=138)	14.5	83.3	0.7	1.4
	岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=148)	10.8	87.2	2.0	-
	針原、豊田 (N=133)	12.0	84.2	3.0	0.8
	広田、新庄、新庄北 (N=125)	9.6	88.0	1.6	0.8
	藤ノ木、山室中部 (N=123)	12.2	85.4	0.8	1.6
	太田、新保、熊野、月岡 (N=121)	6.6	88.4	2.5	2.5
	四方、八幡、草島、倉垣 (N=138)	7.2	89.9	-	2.9
	呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=143)	7.7	89.5	2.1	0.7
	水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=132)	5.3	90.9	1.5	2.3
	大沢野地域、細入地域 (N=143)	11.2	86.7	1.4	0.7
	大山地域 (N=132)	12.1	83.3	3.0	1.5
	八尾地域、山田地域 (N=129)	8.5	86.0	3.1	2.3
婦中地域 (N=132)	8.3	88.6	1.5	1.5	

## ② 同居の状況

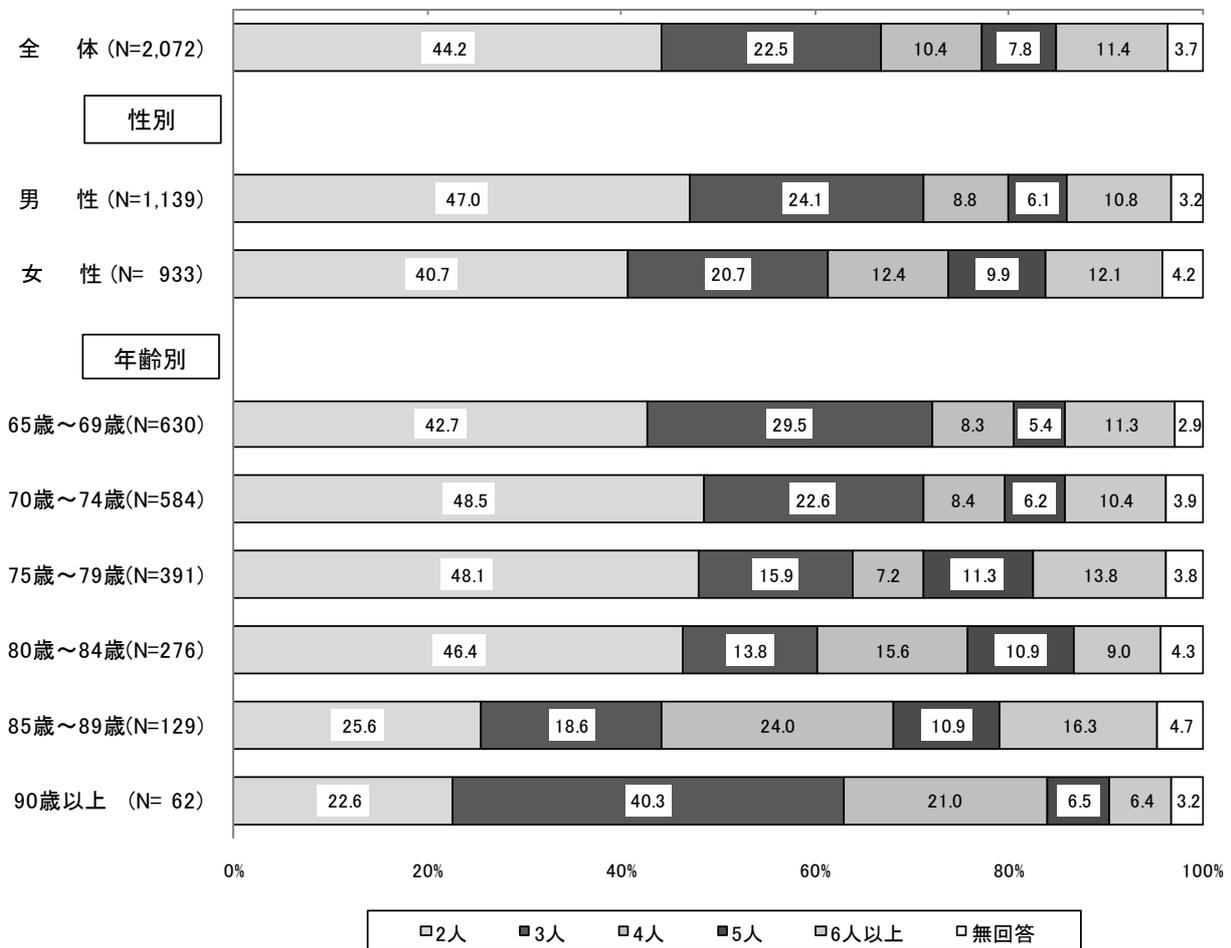
問2 Q1-1. (家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。  
また、同居されている方はどなたですか。(いくつでも)

「家族など同居（二世帯住宅を含む）」とした2,072人に同居人数をきいたところ、「2人」が44.2%と最も多く、「3人」も22.5%と、「3人以下」が66.7%となっている。一方、「6人以上」は11.4%となっている。

男女別にみると、男性は「3人以下」が71.1%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「85～89歳」で「4人以上」が51.2%と、他の年代に比べて多くなっている。

図表 2-3 同居人数

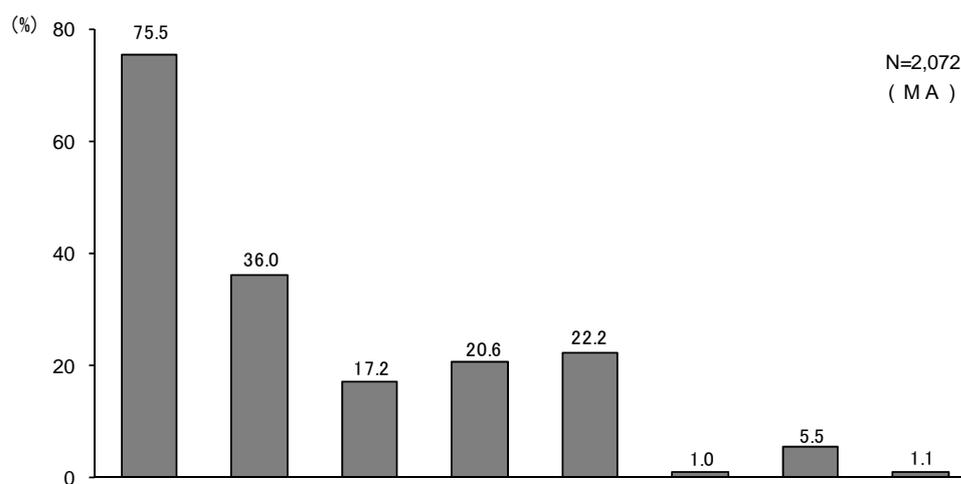


誰と同居しているかきいたところ、「配偶者（夫・妻）」が75.5%と最も多く、次いで「息子」が36.0%、「孫」が22.2%、「子の配偶者」が20.6%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「配偶者（夫・妻）」が多く、女性は男性に比べて「子の配偶者」、「孫」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者（夫・妻）」が多く、年代が高いほど「子の配偶者」、「孫」が多くなっている。

図表 2-4 同居している人



		配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	親	その他
全体 (N=2,072)		75.5	36.0	17.2	20.6	22.2	1.0	5.5	1.1
性別	男性 (N=1,139)	86.4	32.4	16.2	15.3	17.6	0.5	7.2	0.6
	女性 (N= 933)	62.3	40.4	18.4	27.1	27.7	1.5	3.3	1.6
年齢別	65歳～69歳(N=630)	82.2	31.4	20.5	14.0	17.5	1.7	12.7	1.0
	70歳～74歳(N=584)	80.8	32.7	15.8	14.0	18.3	1.4	5.0	0.5
	75歳～79歳(N=391)	78.3	37.9	15.3	23.0	25.8	0.3	0.8	0.3
	80歳～84歳(N=276)	67.0	39.9	15.9	29.0	28.6	-	-	1.1
	85歳～89歳(N=129)	50.4	52.7	17.8	42.6	31.8	-	-	3.9
	90歳以上 (N= 62)	30.6	50.0	14.5	51.6	33.9	-	1.6	6.5

### ③日中、一人になることがあるか

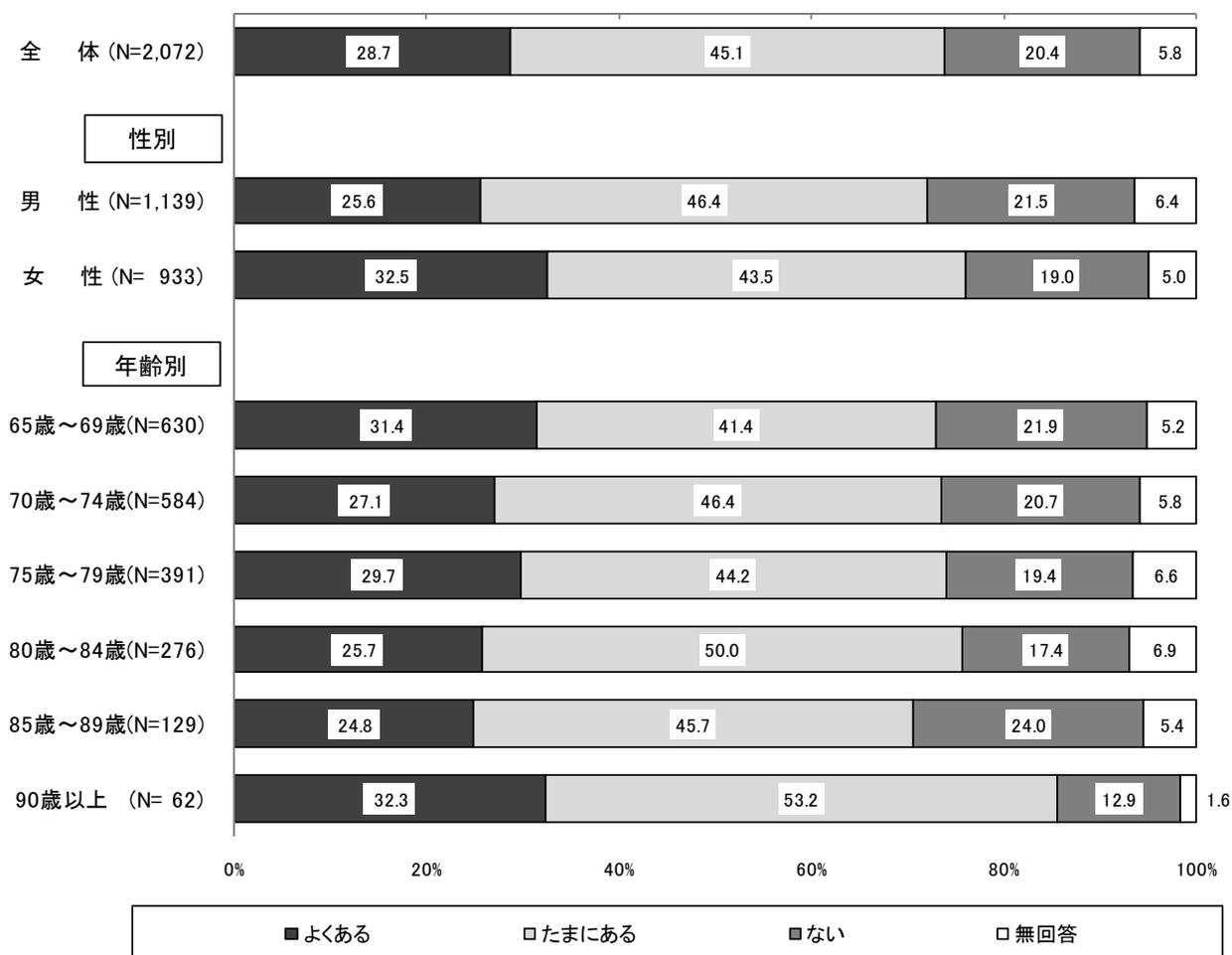
問2 Q1-2. (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」とした2,072人に日中、一人になることがあるかきいたところ、「よくある」が28.7%、「たまにある」が45.1%、「ない」が20.4%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が32.5%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」で「よくある」が32.3%、「たまにある」が53.2%と、他の年代に比べて多くなっている。

図表 2-5 日中、一人になることがあるか



## (2) 介護・介助の必要性

問2 Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

普段の生活で介護・介助が必要かきいたところ、「介護・介助は必要ない」が68.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が8.6%となっている。

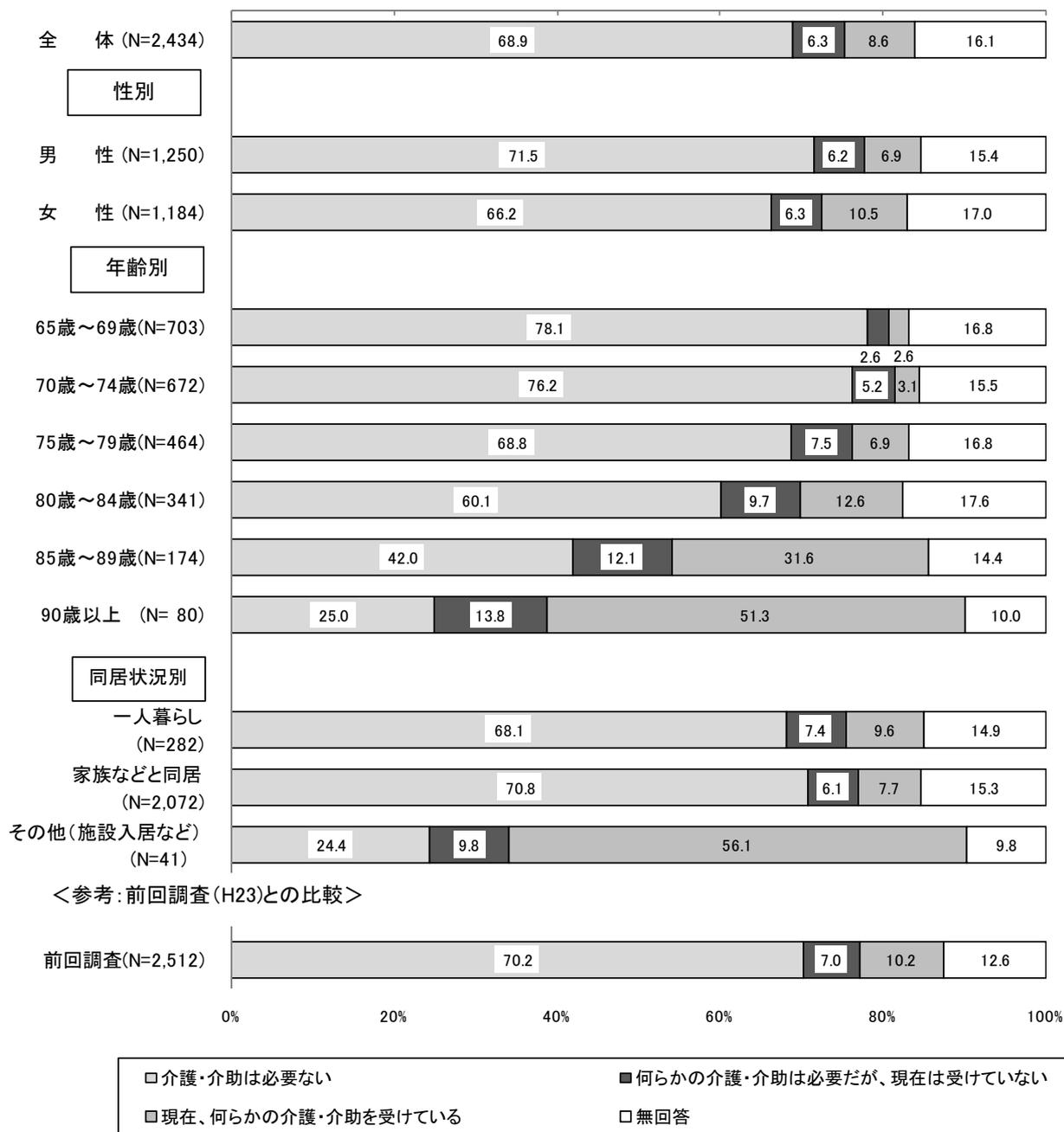
男女別にみると、女性は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が10.5%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が多くなっており、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した人は、「85～89歳」で31.6%、「90歳以上」で51.3%に達する。

同居状況別にみると、「その他(施設入所など)」で「現在、何らかの介護・介助を受けている」が56.1%と多くなっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられなかった。

図表 2-6 介護・介助の必要性



### (3) 介護・介助が必要になった原因

問2 Q2-1. (介護・介助が必要な方・受けている方のみ)

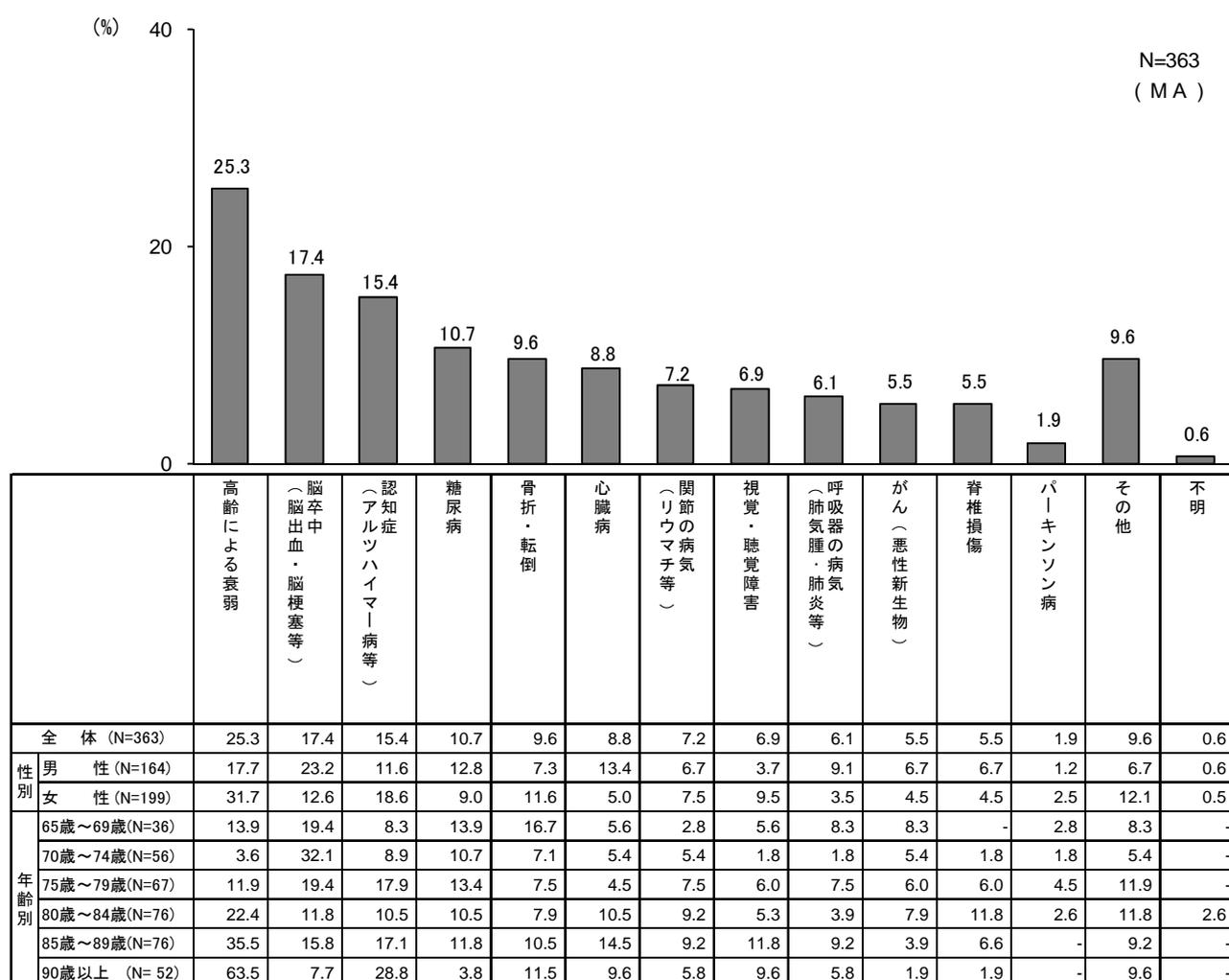
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した363人に、介護・介助が必要になった主な原因についてきいたところ、「高齢による衰弱」が25.3%と最も多く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が17.4%、「認知症(アルツハイマー病等)」が15.4%、「糖尿病」が10.7%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「心臓病」、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」が多く、女性は男性に比べて「高齢による衰弱」、「認知症(アルツハイマー病等)」、「骨折・転倒」、「視覚・聴覚障害」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「高齢による衰弱」、「認知症(アルツハイマー病等)」が多い傾向にある。また、「70~74歳」で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が32.1%と多い。

図表 2-7 介護・介助が必要になった原因



#### (4) 主な介護・介助者

問2Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ)

主にどなたの介護・介助を受けていますか。

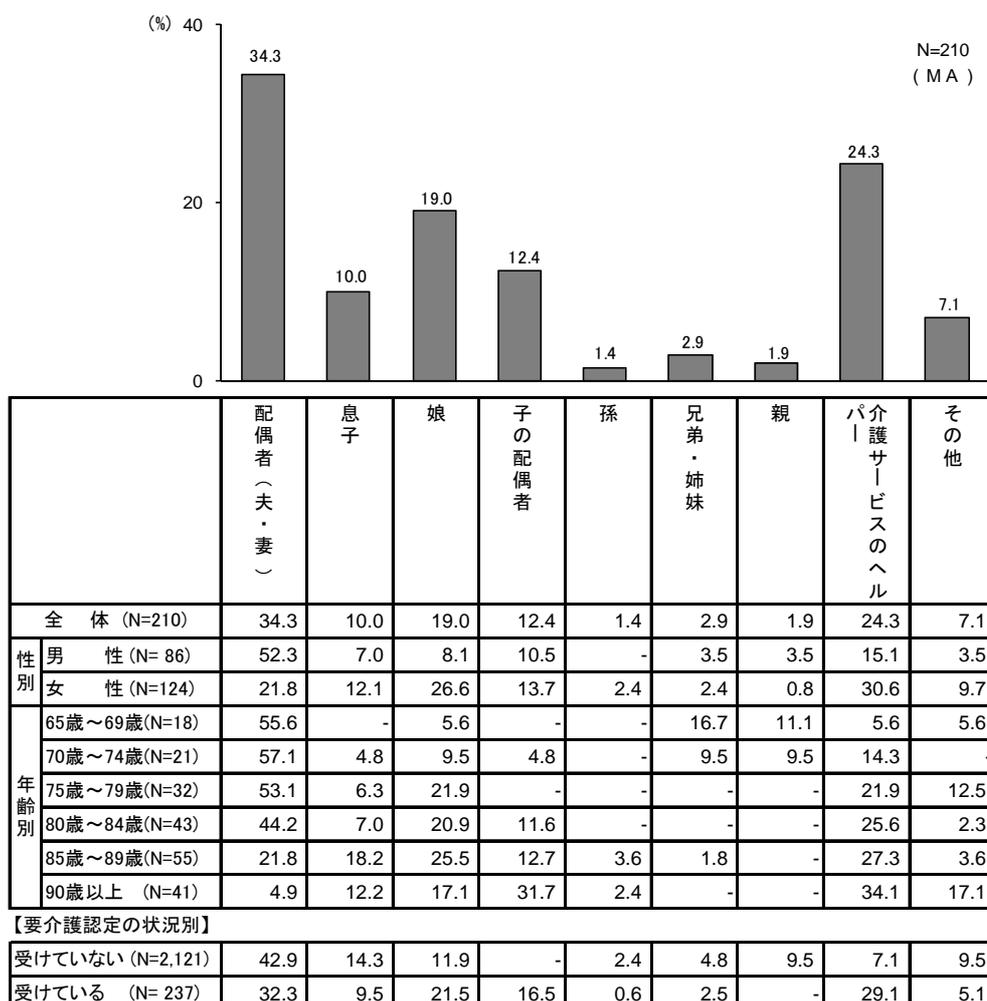
「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した 210 人に、主な介護・介助者についてきいたところ、「配偶者(夫・妻)」が 34.3%と最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 24.3%、「娘」が 19.0%、「子の配偶者」が 12.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「配偶者(妻)」が多く、女性は男性に比べて「息子」、「娘」、「介護サービスのヘルパー」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者(夫・妻)」が多く、年代が高いほど「介護サービスのヘルパー」が多い傾向にある。

要介護認定の状況(問1Q5)から、認定を「受けている」と「受けていない」(要支援1~2、要介護1~2および3以上を合わせたもの。以下同じ)の状況別にみると、要介護認定を受けていない人は受けている人と比べて「配偶者(夫・妻)」、「息子」が多く、要介護認定を受けている人は受けていない人と比べて「介護サービスのヘルパー」、「娘」、「子の配偶者」が多くなっている。

図表 2-8 主に介護・介助をしている人



(5) 介護・介助をしている人の年齢

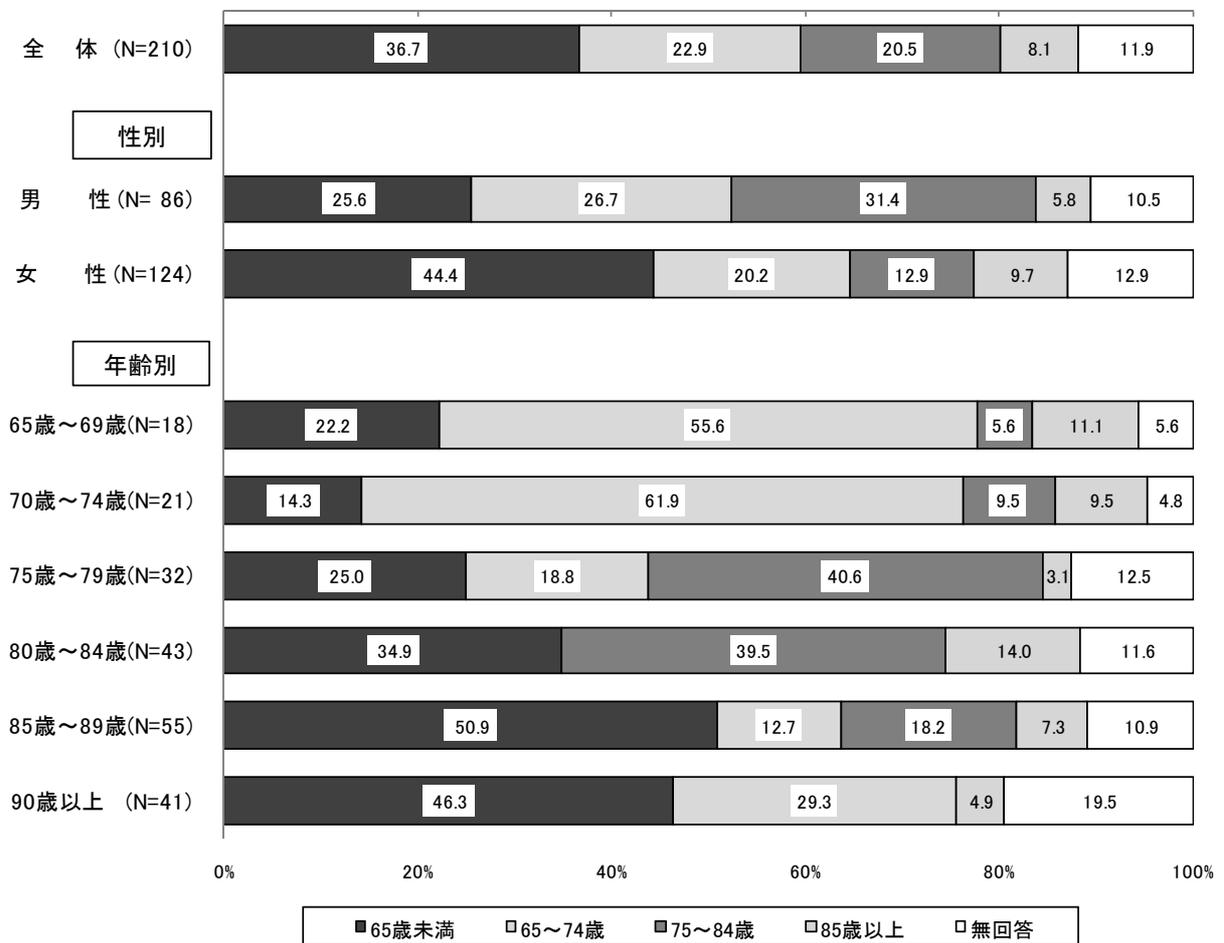
問2 Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ)

主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。

「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した 210 人に、主に介護・介助をしている人の年齢についてきいたところ、「65歳未満」が36.7%、「65～74歳」が22.9%、「75～84歳」が20.5%、「85歳以上」が8.1%となっており、「65歳以上」が51.5%、「75歳以上」が28.6%となっている。

男女別にみると、男性は「75～84歳」が最も多く、女性は「65歳未満」が最も多くなっている。年齢別にみると、「85歳以上」で「65歳未満」が約5割と多くなっている。

図表 2-9 介護・介助をしている人の年齢



## (6) 現在の暮らしの状況

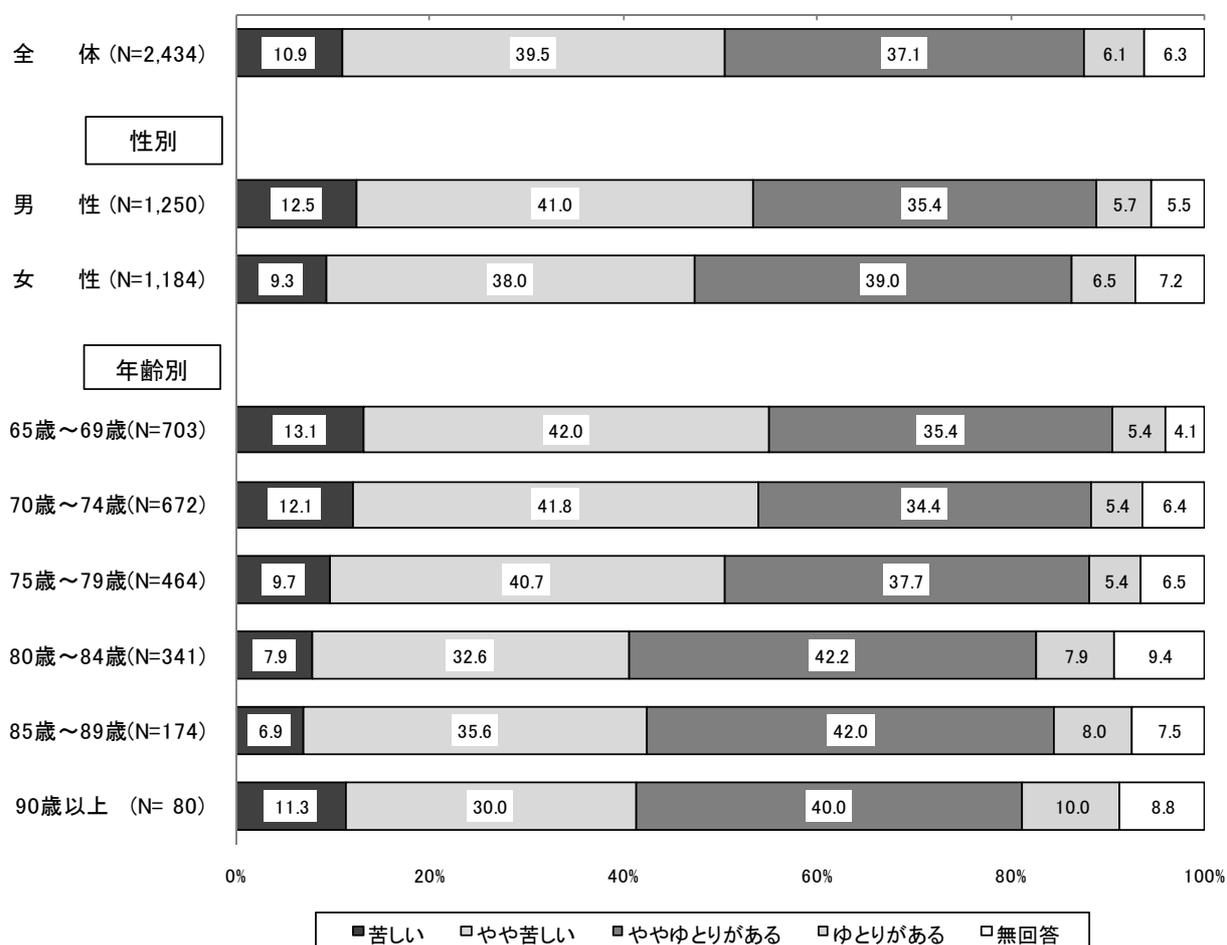
問2 Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかきいたところ、「苦しい」が10.9%、「やや苦しい」が39.5%、「ややゆとりがある」が37.1%、「ゆとりがある」が6.1%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「苦しい」、「やや苦しい」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「ややゆとりがある」、「ゆとりがある」と回答した人が多い傾向にある。

図表 2-10 現在の暮らしの状況



## (7)生活の中で不安に思うこと

問2Q4. あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

生活の中で不安に思うことがあるかきいたところ、「病気に関する不安」が62.6%と最も多く、次いで「寝たきりになることの不安」が54.7%、「認知症になることの不安」が52.1%、「災害(地震、火事、水害など)に関する不安」が32.2%の順となっている。

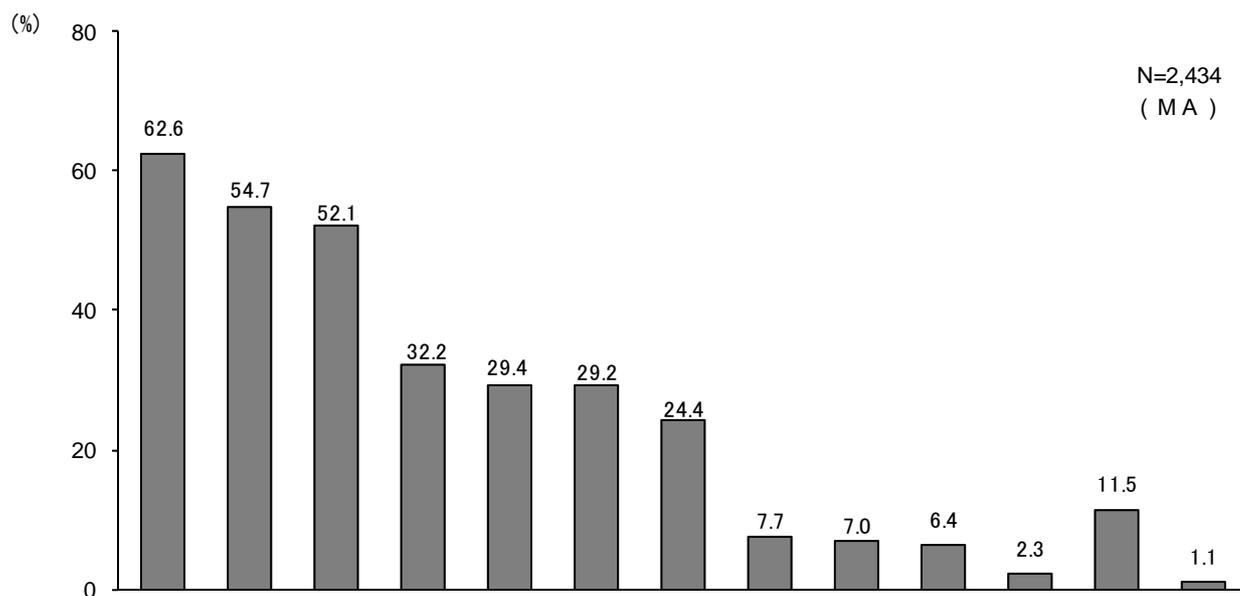
男女別にみると、男性は女性に比べて「病気に関する不安」、「経済(生活費など)に関する不安」が多く、女性は男性に比べて「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「病気に関する不安」、「経済(生活費など)に関する不安」が多い傾向にあり、年代が高いほど「寝たきりになることの不安」が多い傾向にある。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「住宅の維持管理(除雪、庭木の手入れ、修繕など)に関する不安」、「孤独に関する不安(ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど)」、「いざという時に頼れる人がいないことの不安」が多く、「家族などと同居」は「家族の介護に関する不安」が他と比べて多くなっている。

前回調査と比較すると、「経済(生活費など)に関する不安」が前回と比べて6.7ポイント、「家族の介護に関する不安」が4.4ポイント高くなっている。

図表 2-11 生活の中で不安に思うこと



N=2,434  
( MA )

	病気に関する不安	寝たきりになることへの不安	認知症になることへの不安	災害（地震、火事、水害など）に関する不安	経済（生活費など）に関する不安	住宅の維持管理（除雪、庭木の手入れ、修繕など）に関する不安	家族の介護に関する不安	いざという時に頼れる人がいないことへの不安	孤独に関する不安（ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど）	詐欺（「オレオレ詐欺」、「振り込め詐欺」など）	犯罪に対する不安（「オレオレ詐欺」、「振り込め詐欺」など）	人権侵害に対する不安（暴力、無視、金銭の要求・無断使用など）	特になし	その他
全体 (N=2,434)	62.6	54.7	52.1	32.2	29.4	29.2	24.4	7.7	7.0	6.4	2.3	11.5	1.1	
性別														
男性 (N=1,250)	65.4	52.2	48.3	32.4	32.7	30.8	25.4	8.8	7.4	4.9	1.8	11.3	1.4	
女性 (N=1,184)	59.6	57.4	56.1	32.0	25.9	27.4	23.4	6.6	6.5	8.0	2.7	11.7	0.8	
年齢別														
65歳～69歳 (N=703)	65.1	51.2	52.5	31.7	37.1	29.3	25.2	7.5	6.3	4.6	2.0	11.5	0.7	
70歳～74歳 (N=672)	63.1	49.7	53.9	30.7	31.8	26.3	24.9	7.7	5.4	6.7	2.2	12.2	1.6	
75歳～79歳 (N=464)	64.9	57.3	55.2	36.2	27.4	35.1	25.9	9.1	7.8	6.7	3.0	10.1	1.5	
80歳～84歳 (N=341)	59.5	57.8	47.5	31.7	19.1	30.8	20.8	7.6	7.3	8.2	1.8	12.0	0.3	
85歳～89歳 (N=174)	56.3	68.4	49.4	34.5	18.4	24.7	24.1	5.2	12.1	9.8	2.9	12.1	0.6	
90歳以上 (N= 80)	48.8	70.0	41.3	23.8	21.3	20.0	22.5	7.5	10.0	3.8	1.3	8.8	2.5	
同居状況別														
一人暮らし (N=282)	63.5	59.6	50.7	36.5	28.4	40.8	6.7	12.8	22.7	8.9	4.6	8.5	0.7	
家族など同居 (N=2,072)	63.3	54.6	53.1	31.9	29.7	27.8	27.3	7.1	4.9	6.1	1.9	12.1	1.1	
その他(施設入居など) (N=41)	58.5	56.1	39.0	22.0	26.8	22.0	17.1	2.4	7.3	2.4	2.4	9.8	4.9	

<参考：前回調査(H23)との比較>

前回調査(N=2,512)	62.0	53.7	50.3	28.5	22.7	29.3	20.0	5.1	5.4	7.1	2.3	12.3	1.5
---------------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	------	-----

※「人権侵害に対する不安（暴力、無視、金銭の要求・無断使用など）」は前回調査では項目なし

## (8) 住居の形態

問2 Q5. お住まいは、次のどれにあたりますか。

住居の形態についてきいたところ、「持ち家（一戸建て）」が 90.6%と際立って多くなっている。その他、「持ち家（マンション等集合住宅）」が 1.6%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 0.7%、「民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）」が 1.2%、「公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社など）」が 2.4%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）」が 0.6%、「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」が 0.7%、「借間」が 0.1%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」は「持ち家（一戸建て）」が 78.8%と他の年代に比べて少なく、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）」が 11.3%と他の年代に比べて多い。

図表 2-12 住居の形態 (SA)

(単位：%)

		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション等集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社など）	介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型施設、グループホームなどの施設）	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス	借間	その他
全 体 (N=2,434)		90.6	1.6	0.7	1.2	2.4	0.6	0.7	0.1	0.7
性別	男 性 (N=1,250)	91.6	1.8	0.5	1.4	2.2	0.2	0.5	0.1	0.2
	女 性 (N=1,184)	89.5	1.4	1.0	1.1	2.5	1.0	0.8	0.2	1.1
年齢別	65歳～69歳(N=703)	91.7	1.0	0.9	2.1	2.3	-	0.1	0.1	0.7
	70歳～74歳(N=672)	90.8	2.2	0.7	1.0	2.5	0.1	0.6	-	0.3
	75歳～79歳(N=464)	91.4	1.3	0.4	0.9	3.2	0.2	-	0.2	0.6
	80歳～84歳(N=341)	91.2	2.1	1.2	1.2	2.1	-	1.2	-	0.3
	85歳～89歳(N=174)	87.4	1.7	0.6	-	1.1	2.3	2.9	-	2.3
	90歳以上 (N= 80)	78.8	2.5	-	-	1.3	11.3	2.5	1.3	1.3

## (9)住居の階数

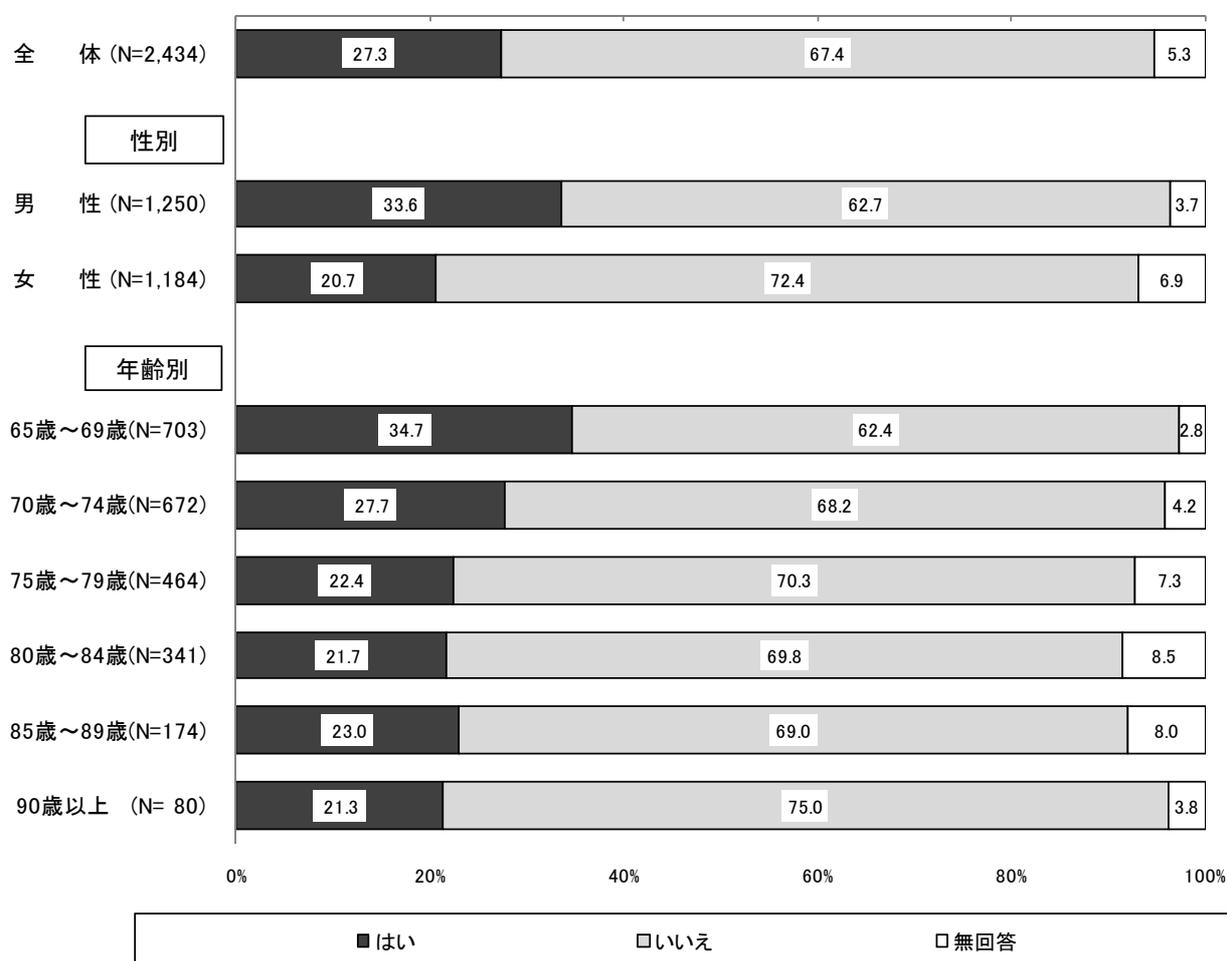
問2 Q 6. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。

住居(主に生活する部屋)が2階以上にあるかきいたところ、「はい(2階以上)」が27.3%、「いいえ(1階)」が67.4%となっている。

男女別にみると、男性は「はい(2階以上)」が33.6%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「はい(2階以上)」と回答した人が多い傾向にある。

図表 2-13 住居の階数



## (10) 住居のエレベーターの設置

問2 Q6-1. (主に生活する部屋が2階以上の方のみ)

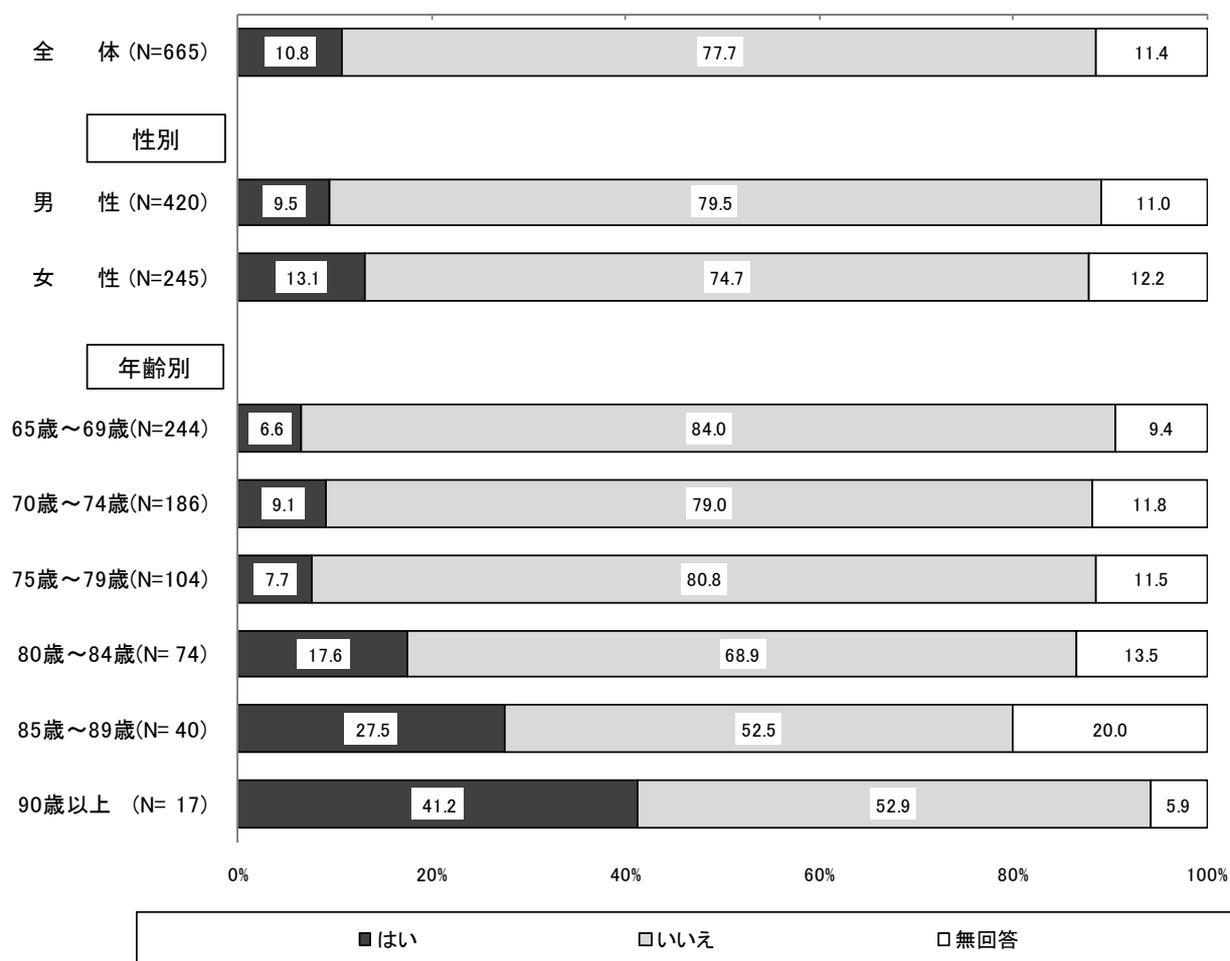
お住まいにエレベーターは設置されていますか。

住居（主に生活する部屋）が2階以上にあると回答した665人に、住居にエレベーターがあるかきいたところ、「はい（エレベーターがある）」が10.8%、「いいえ（エレベーターがない）」が77.7%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（エレベーターがある）」が13.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（エレベーターがある）」と回答した人が多い傾向にあり、「90歳以上」は41.2%となっている。

図表 2-14 エレベーターの有無



## (11)現在の住まいで困っていること

問2 Q7. 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

現在の住まいで困っていることについてきいたところ、「冬期の除雪」が30.6%と最も多く、次いで「住宅の修繕などの維持・管理」が26.1%、「庭木の手入れや除草」が21.2%、「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)」が19.1%の順となっており、「特に困っていることはない」が35.2%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「住宅の修繕などの維持・管理」が多く、女性は男性に比べて「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)」が多くなっている。

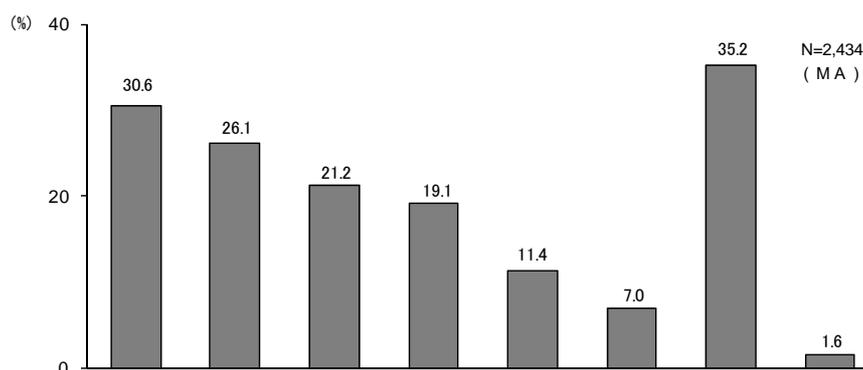
年齢別にみると、年代が低いほど「住宅の修繕などの維持・管理」が多く、年代が高いほど「玄関や敷居等の段差」が多くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「冬期の除雪」、「庭木の手入れや除草」が多くなっている。一方、「その他(施設入居など)」は「特に困っていることはない」が51.2%と多くなっている

住居の形態別にみると、「持ち家(一戸建て)」は「冬期の除雪」、「住宅の修繕などの維持・管理」、「庭木の手入れや除草」が他と比べて多くなっている。一方、「持ち家(マンション等集合住宅)」、「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」は、「特に困っていることはない」が約6割と多くなっている。

地域別にみると、「大山地域」は「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)」が45.5%と多く、「大沢野地域、細入地域」は「近くに医療機関や介護保険施設などが無い」が他の地域と比べて多くなっている。一方、「婦中地域」は「特に困っていることはない」が43.2%と多くなっている

図表 2-15 現在の住まいで困っていること



		冬の除雪	住宅の修繕などの維持・管理	庭木の手入れや除草	生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）	玄関や敷居等の段差	近くに医療機関や介護保険施設がない	特に困っていることはない	その他
全体 (N=2,434)		30.6	26.1	21.2	19.1	11.4	7.0	35.2	1.6
性別	男性 (N=1,250)	31.6	30.6	20.5	16.7	10.9	7.3	35.0	1.7
	女性 (N=1,184)	29.5	21.4	22.0	21.7	12.0	6.7	35.5	1.5
年齢別	65歳～69歳 (N=703)	27.5	29.7	18.1	15.4	7.5	5.8	38.3	1.3
	70歳～74歳 (N=672)	29.3	28.1	19.0	19.5	8.0	5.5	36.2	1.5
	75歳～79歳 (N=464)	34.5	26.9	27.8	23.3	13.1	9.3	30.2	1.9
	80歳～84歳 (N=341)	36.4	19.6	23.5	22.6	15.0	7.9	32.0	1.5
	85歳～89歳 (N=174)	30.5	19.0	21.8	20.1	23.0	10.9	34.5	2.3
	90歳以上 (N=80)	21.3	16.3	17.5	8.8	23.8	3.8	45.0	2.5
同居状況別	一人暮らし (N=282)	44.7	28.7	27.0	23.8	9.6	8.2	27.7	1.4
	家族などと同居 (N=2,072)	29.2	26.3	20.9	18.5	11.9	6.9	36.5	1.6
	その他(施設入居など) (N=41)	12.2	9.8	4.9	14.6	7.3	4.9	51.2	2.4
住居の形態別	持ち家(一戸建て) (N=2,205)	32.1	27.9	22.9	19.5	11.7	7.3	34.7	1.4
	持ち家(マンション等集合住宅) (N=40)	5.0	7.5	5.0	5.0	15.0	2.5	60.0	2.5
	民間賃貸住宅(一戸建て) (N=18)	22.2	5.6	-	11.1	11.1	-	55.6	-
	民間賃貸住宅(アパート等集合住宅) (N=30)	20.0	6.7	-	10.0	13.3	16.7	40.0	10.0
	公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社など) (N=58)	27.6	12.1	3.4	19.0	10.3	-	32.8	3.4
	介護保険施設 (N=15)	6.7	6.7	6.7	6.7	-	-	40.0	-
	有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅 (N=16)	-	6.3	-	18.8	6.3	-	62.5	-
	借間 (N=3)	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-
その他 (N=16)	25.0	18.8	12.5	43.8	6.3	12.5	43.8	6.3	

【地域別】

		冬の除雪	住宅の修繕などの維持・管理	庭木の手入れや除草	生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど）	玄関や敷居等の段差	近くに医療機関や介護保険施設がない	特に困っていることはない	その他
地域別	富山地域 (N=1,886)	29.5	26.2	22.0	16.8	11.6	4.8	36.2	1.5
	大沢野地域、細入地域 (N=143)	39.9	27.3	17.5	25.2	9.1	20.3	32.9	0.7
	大山地域 (N=132)	37.1	30.3	20.5	45.5	9.8	18.9	18.2	3.0
	八尾地域、山田地域 (N=129)	36.4	25.6	18.6	24.0	16.3	10.1	33.3	3.1
	婦中地域 (N=132)	25.0	21.2	19.7	12.1	9.1	7.6	43.2	-

### 3 運動・閉じこもり・転倒予防について

#### (1) 運動を行う頻度

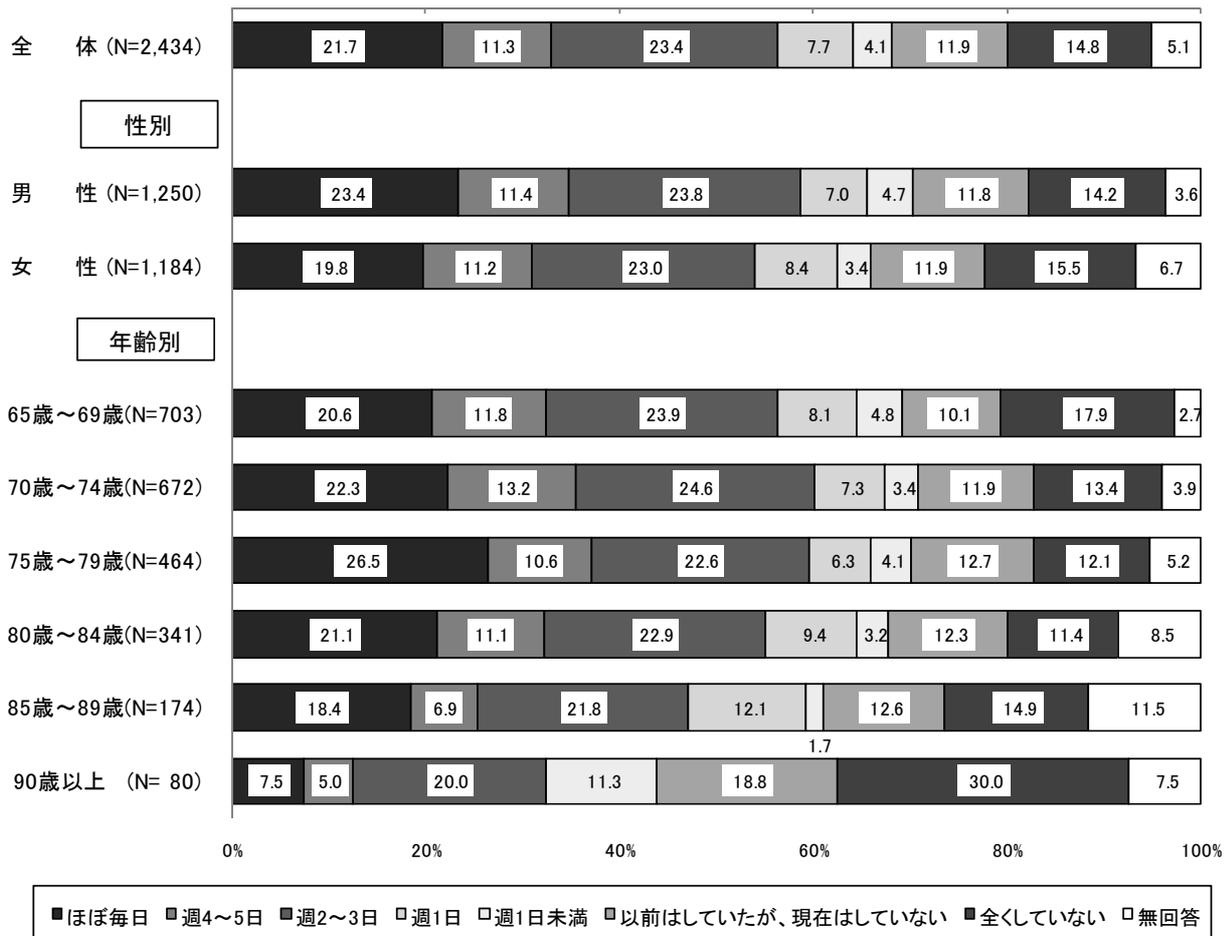
問3 Q1. 運動（散歩など軽い運動を含む）を行う頻度はどのくらいですか。

運動（散歩など軽い運動を含む）を行う頻度についてきいたところ、「ほぼ毎日」が21.7%、「週4～5日」が11.3%、「週2～3日」が23.4%、「週1日」が7.7%であり、「週1日以上」運動している人は約6割となっている。一方、「以前はしていたが、現在はしていない」が11.9%、「全くしていない」が14.8%となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が23.4%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「70～79歳」で「週1日以上」が7割弱と他の年代に比べて多くなっている。一方、「90歳以上」は「週1日以上」が32.5%と他の年代に比べて少なく、「以前はしていたが、現在はしていない」が18.8%、「全くしていない」が30.0%と多くなっている。

図表 3-1 運動の頻度



## (2) 身体を動かさない理由

問3 Q1-1. (以前はしていたが現在はしていない、全くしていない方のみ)

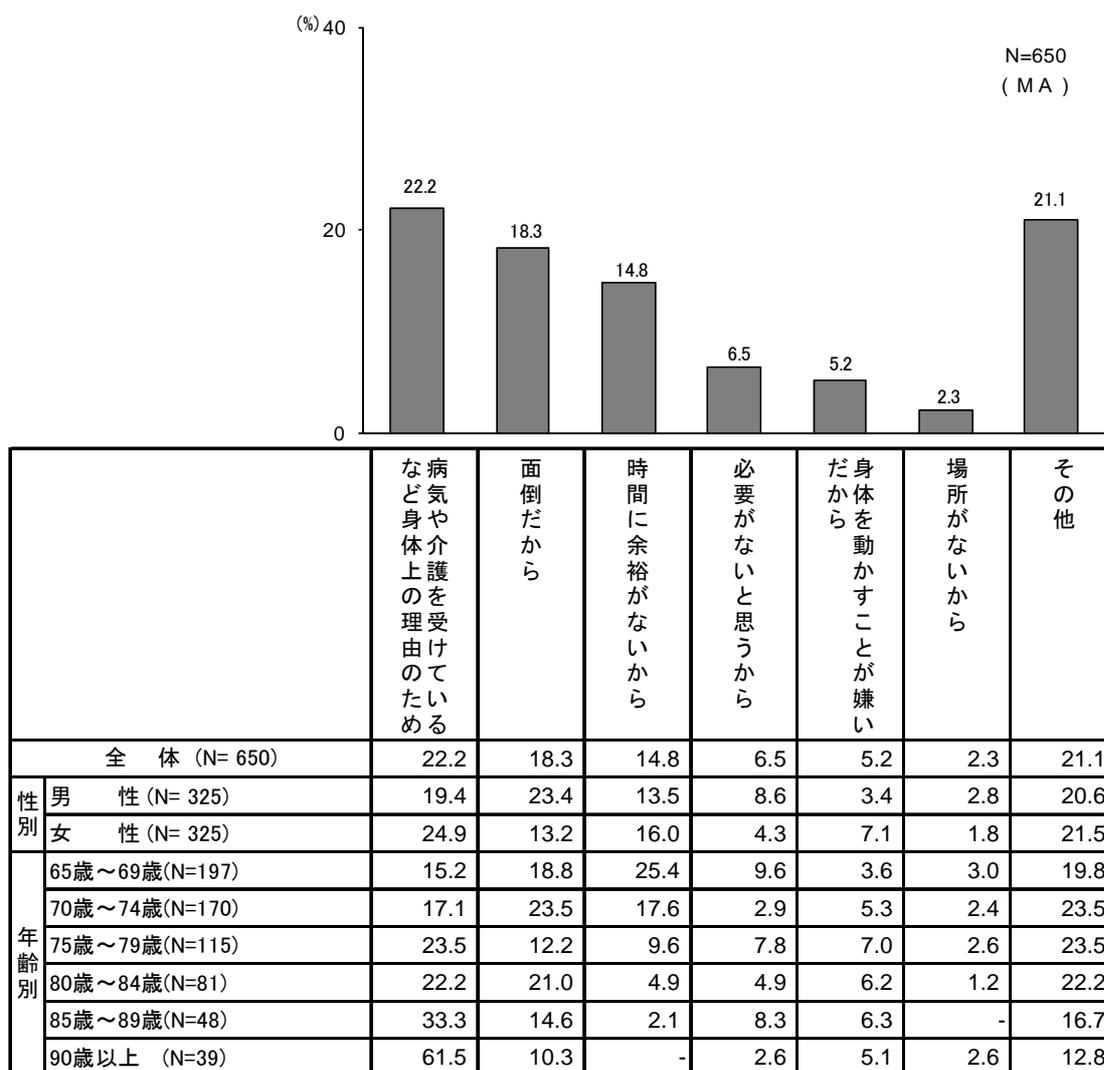
身体を動かさないのはなぜですか。当てはまるもの1つに○印を付けてください。

運動（散歩など軽い運動を含む）を「以前はしていたが、現在はしていない」、「全くしていない」と回答した650人に、身体を動かさない理由についてきいたところ、「病気や介護を受けているなど身体上の理由のため」が22.2%と最も多く、次いで「面倒だから」が18.3%、「時間に余裕がないから」が14.8%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「面倒だから」が多く、女性は男性に比べて「病気や介護を受けているなど身体上の理由のため」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「病気や介護を受けているなど身体上の理由のため」が多く、年代が低いほど「時間に余裕がないから」が多くなっている。

図表 3-2 身体を動かさない理由



### (3) 運動機能

問3 Q2. あなたの運動機能についてお尋ねします。普段から次のことができますか。(いくつでも)

運動機能についてみると、「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」が 54.3%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる」が 60.7%、「15 分くらい続けて歩ける」が 65.4%、「5m以上歩ける」が 58.3%となっている。

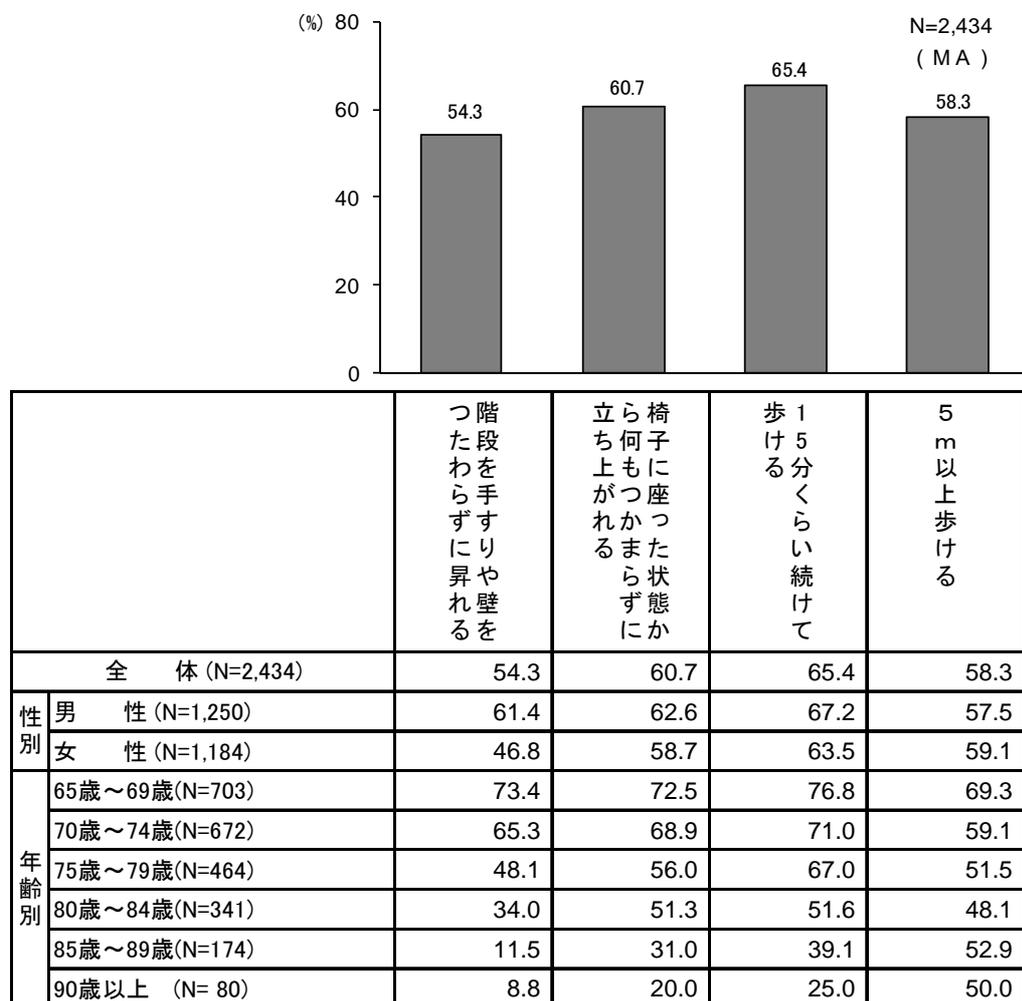
「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」について男女別にみると、男性は 61.4%と女性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど少なくなっており、「65～69 歳」で 73.4%、「70～74 歳」で 65.3%である一方、「85 歳以上」は約 1 割にとどまっている。

「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる」について男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別にみると、年代が高いほど少なくなっており、「65～74 歳」では約 7 割と多い一方、「90 歳以上」は 20.0%となっている。

「15 分くらい続けて歩ける」について男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別にみると、年代が高いほど少なくなっており、「65～74 歳」は 7 割台、「90 歳以上」は 25.0%となっている。

「5m以上歩ける」について、男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別にみると、「65～69 歳」で 69.3%、「70～74 歳」で 59.1%と多いが、「75 歳以上」は約 5 割となっている。

図表 3-3 運動機能



		階段を手すりや壁をつたわずに昇れる	椅子に座った状態から立ち上がる	15分くらい続けて歩ける	5m以上歩ける
全 体 (N=2,434)		54.3	60.7	65.4	58.3
性別	男性 (N=1,250)	61.4	62.6	67.2	57.5
	女性 (N=1,184)	46.8	58.7	63.5	59.1
年齢別	65歳～69歳(N=703)	73.4	72.5	76.8	69.3
	70歳～74歳(N=672)	65.3	68.9	71.0	59.1
	75歳～79歳(N=464)	48.1	56.0	67.0	51.5
	80歳～84歳(N=341)	34.0	51.3	51.6	48.1
	85歳～89歳(N=174)	11.5	31.0	39.1	52.9
	90歳以上 (N= 80)	8.8	20.0	25.0	50.0

#### (4) 外出の頻度

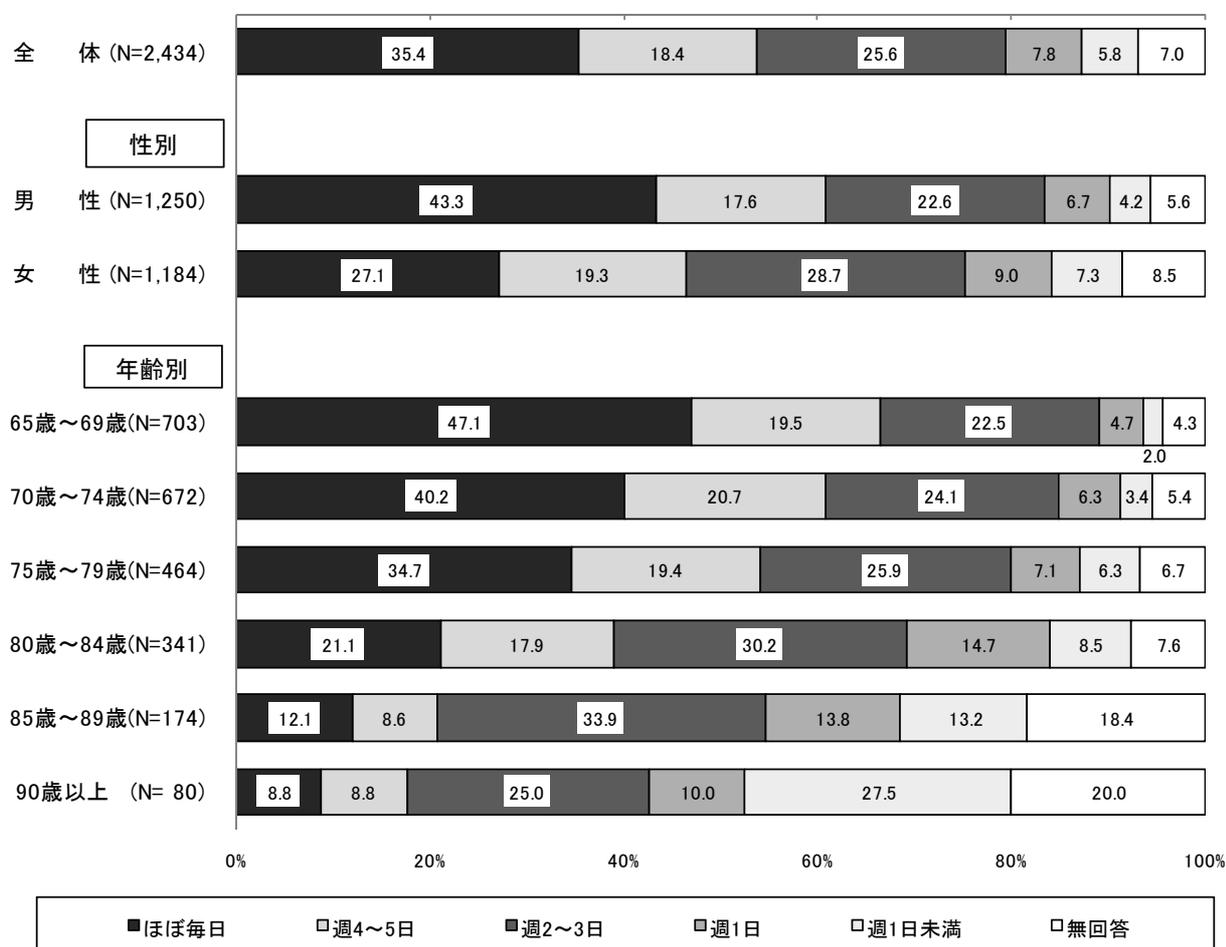
問3 Q3. 外出する頻度はどのくらいですか。

外出する頻度についてきいたところ、「ほぼ毎日」が35.4%、「週4～5日」が18.4%、「週2～3日」が25.6%、「週1日」が7.8%、「週1日未満」が5.8%となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が43.3%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど外出頻度が多く、「65～69歳」で「ほぼ毎日」が47.1%、「70～74歳」で40.2%となっている。一方、「90歳以上」は「ほぼ毎日」が8.8%と少なく、「週1日未満」が27.5%と多くなっている。

図表 3-4 外出の頻度



## (5) 外出回数の変化

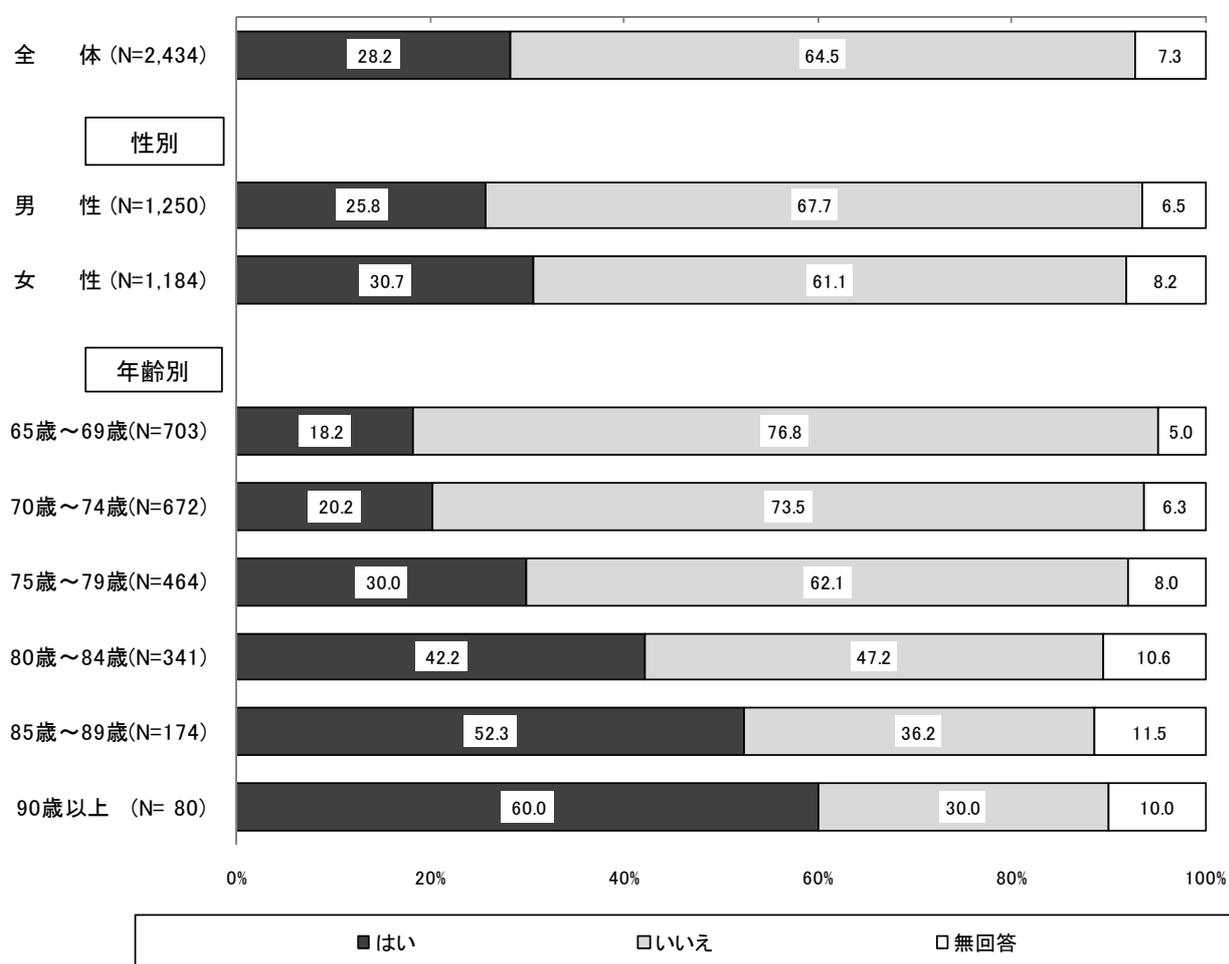
問 3 Q 4. 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。

昨年と比べて外出回数が減っているかきいたところ、「はい（減っている）」が 28.2%、「いいえ（減っていない）」が 64.5%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（減っている）」が 30.7%と、男性に比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど外出回数が減った人が多く、「65～74 歳」は約 2 割であるのに対し、「85～89 歳」で 52.3%、「90 歳以上」で 60.0%となっている。

図表 3-5 外出回数の変化



(6) 外出回数が減った理由

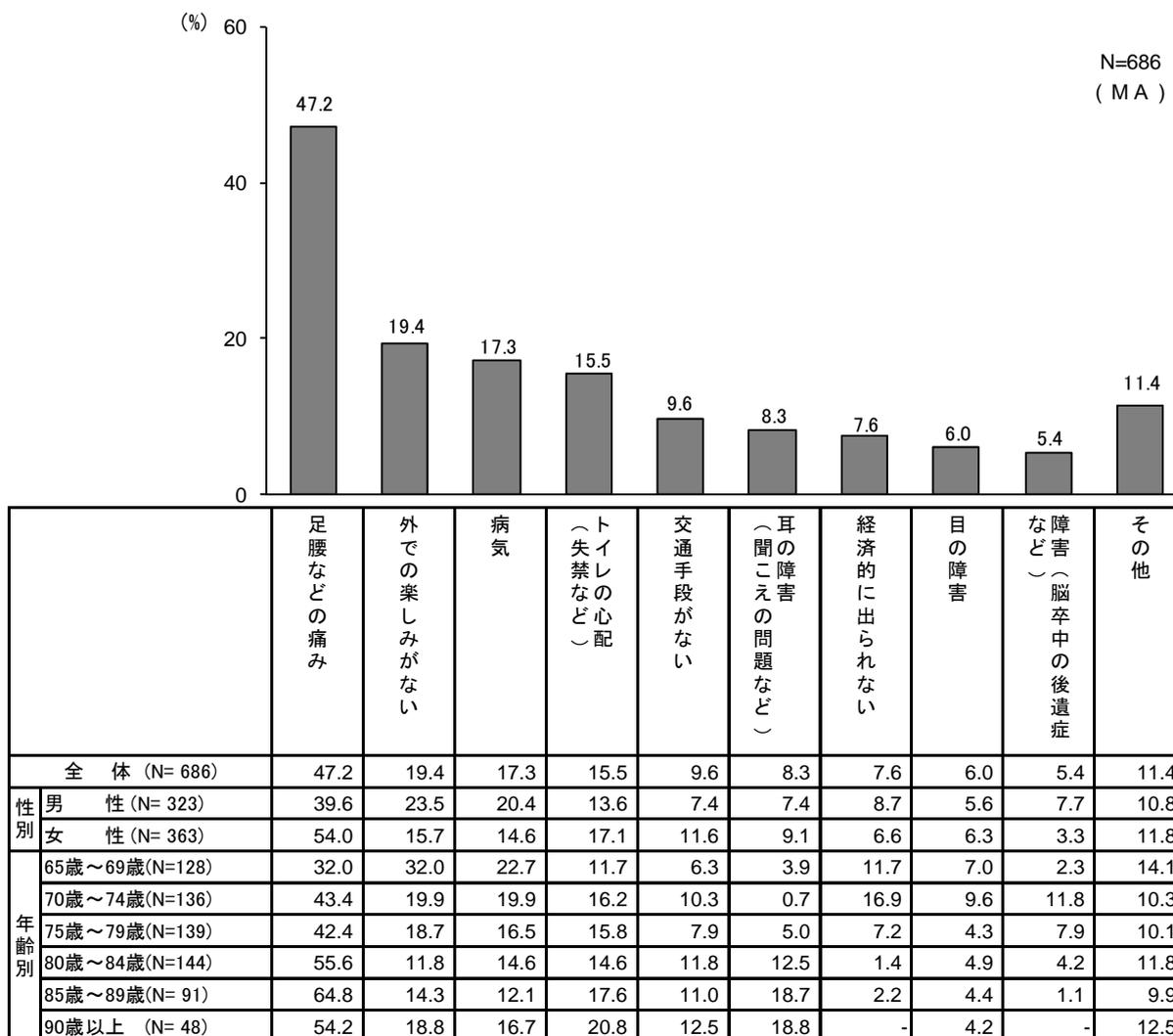
問3Q4-1. (外出の回数が減っている方のみ) その理由は、次のどれですか。(いくつでも)

外出回数が減っていると回答した686人に、外出回数が減った理由についてきいたところ、「足腰などの痛み」が47.2%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が19.4%、「病気」が17.3%、「トイレの心配(失禁など)」が15.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「外での楽しみがない」、「病気」が多く、女性は男性に比べて「足腰などの痛み」、「交通手段がない」が多くなっている。

年齢別にみると、「85～89歳」は「足腰などの痛み」が64.8%と多く、「65～69歳」で「外での楽しみがない」が32.0%と、他の年代に比べて多くなっている。

図表 3-6 外出回数が減った理由



(7)外出の際の移動手段

問 3 Q 5. 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

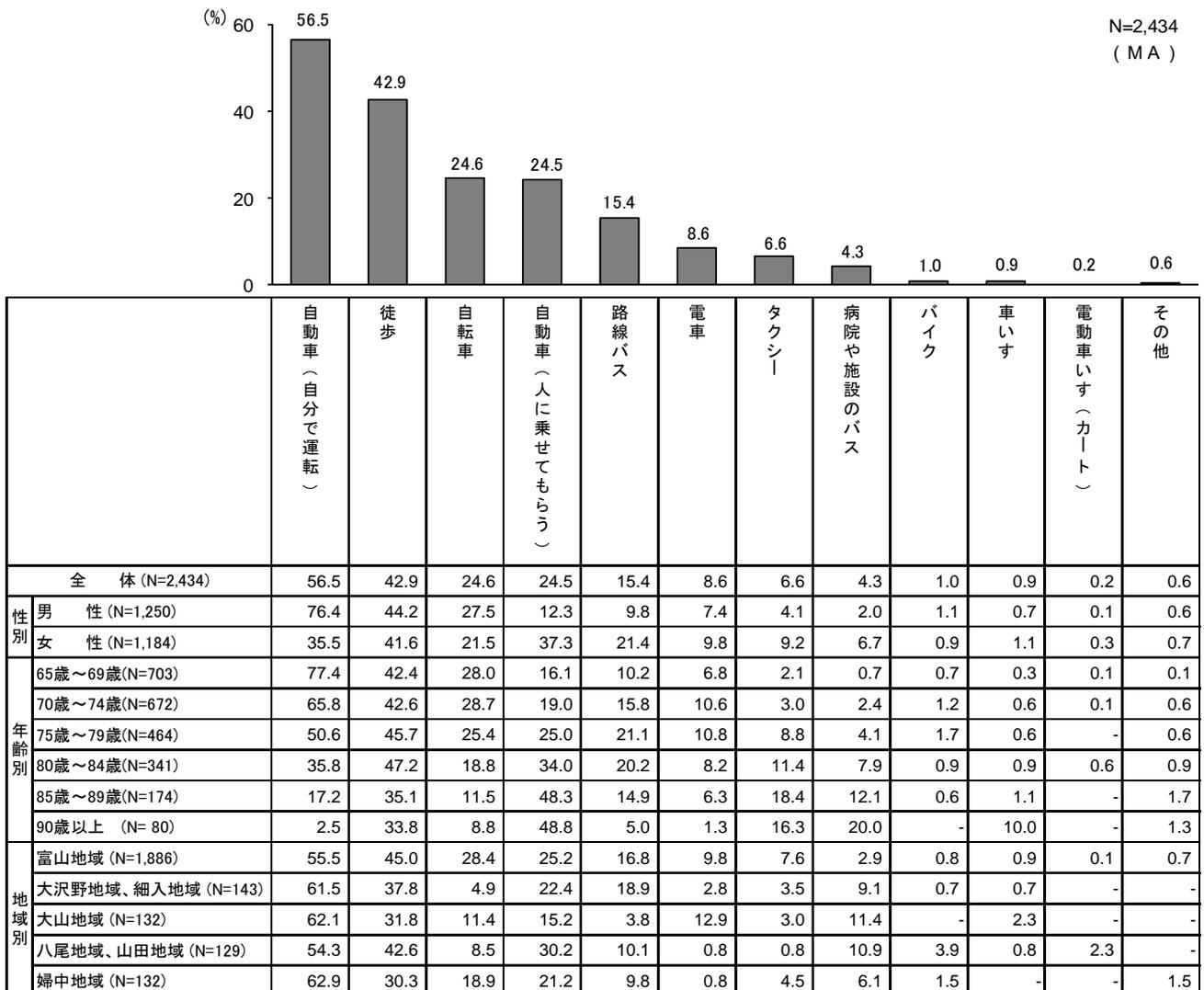
外出する際の移動手段についてきいたところ、「自動車（自分で運転）」が 56.5%と最も多く、次いで「徒歩」が 42.9%、「自転車」が 24.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 24.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は「自動車（自分で運転）」が 76.4%と、女性に比べて多くなっている。一方、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が 37.3%、「路線バス」が 21.4%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「自動車（自分で運転）」が多く、「65～69 歳」で 77.4%、「70～74 歳」で 65.8%であるのに対し、「90 歳以上」で 2.5%となっている。また、年代が高いほど「自動車（人に乗せてもらう）」が多く、「85 歳以上」で約 5 割となっている。

地域別にみると、「富山地域」は「徒歩」と「自転車」、「大山地域」は「電車」、「八尾、山田地域」は「自動車（人に乗せてもらう）」がそれぞれ他の地域と比べて多くなっている。

図表 3-7 外出の際の移動手段



図表 3-8 外出の際の移動手段【圏域別】

	自動車 (自分で運転)	徒歩	自転車	自動車 (人に乗せてもらう)	路線バス	電車	タクシー	病院や施設のバス	バイク	車いす	電動車いす (カート)	その他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=129)	46.5	66.7	41.1	24.0	21.7	20.2	14.0	2.3	0.8	1.6	-	0.8
東部、山室 (N=152)	52.0	47.4	28.3	26.3	23.7	2.0	7.2	2.6	-	0.7	-	0.7
西田地方、堀川、光陽 (N=125)	52.0	54.4	32.0	28.0	20.0	12.8	9.6	2.4	0.8	-	-	0.8
堀川南、蟻川 (N=144)	50.7	54.9	25.7	25.0	20.8	11.8	8.3	3.5	0.7	-	-	0.7
奥田、奥田北 (N=135)	53.3	57.0	39.3	29.6	19.3	22.2	12.6	2.2	-	-	-	0.7
桜谷、五福、神明 (N=138)	57.2	42.0	29.7	27.5	18.8	8.7	9.4	0.7	1.4	0.7	0.7	-
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=148)	58.8	42.6	27.0	25.7	8.8	21.6	9.5	3.4	0.7	1.4	-	0.7
針原、豊田 (N=133)	60.2	45.1	31.6	23.3	21.8	11.3	8.3	0.8	2.3	-	-	-
広田、新庄、新庄北 (N=125)	52.8	48.8	33.6	28.0	13.6	8.8	5.6	3.2	0.8	-	-	1.6
藤ノ木、山室中部 (N=123)	61.0	43.9	27.6	22.0	22.8	3.3	7.3	2.4	1.6	0.8	-	0.8
太田、新保、熊野、月岡 (N=121)	54.5	25.6	15.7	23.1	15.7	0.8	1.7	7.4	2.5	-	-	2.5
四方、八幡、草島、倉垣 (N=138)	62.3	37.0	26.8	22.5	8.0	3.6	5.1	2.2	0.7	1.4	-	0.7
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=143)	64.3	36.4	17.5	22.4	10.5	3.5	2.8	2.8	-	4.2	-	-
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=132)	50.8	28.0	22.7	25.8	9.8	6.1	4.5	4.5	-	1.5	-	-
大沢野地域、細入地域 (N=143)	61.5	37.8	4.9	22.4	18.9	2.8	3.5	9.1	0.7	0.7	-	-
大山地域 (N=132)	62.1	31.8	11.4	15.2	3.8	12.9	3.0	11.4	-	2.3	-	-
八尾地域、山田地域 (N=129)	54.3	42.6	8.5	30.2	10.1	0.8	0.8	10.9	3.9	0.8	2.3	-
婦中地域 (N=132)	62.9	30.3	18.9	21.2	9.8	0.8	4.5	6.1	1.5	-	-	1.5

## (8) 転倒（予防）

問3 Q6. 転倒（予防）についてお尋ねします。（いくつでも）

転倒（予防）についてみると、「この1年間に転んだことがある」が19.5%、「転倒に対する不安は大きい」が24.3%、「背中が丸くなってきた」が22.2%、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」が49.3%となっている。

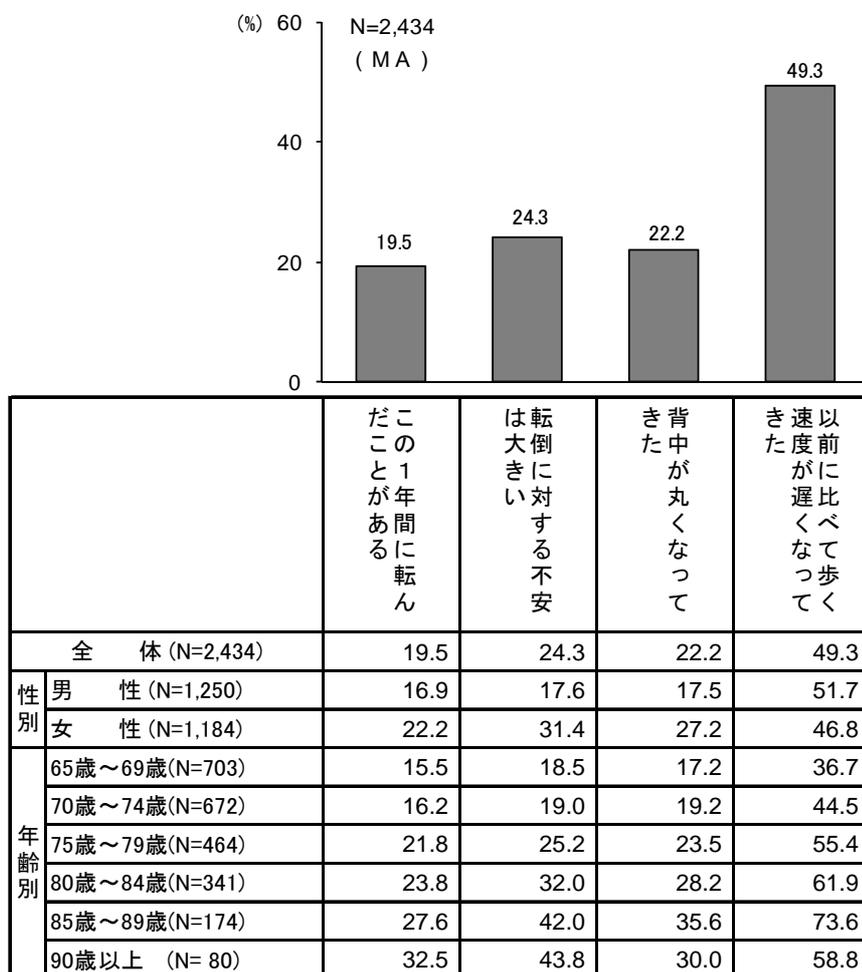
「この1年間に転んだことがある」について男女別にみると、女性は22.2%と男性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85～89歳」で27.6%、「90歳以上」で32.5%となっている。

「転倒に対する不安は大きい」について男女別にみると、女性は31.4%と男性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど多くなっており、「85歳以上」で4割強となっている。

「背中が丸くなってきた」について男女別にみると、女性は27.2%と男性に比べて多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど多い傾向にあり、「85～89歳」で35.6%、「90歳以上」で30.0%となっている。

「以前に比べて歩く速度が遅くなってきた」について男女別にみると、男性は51.7%と女性に比べてやや多くなっている。年齢別にみると、「80～84歳」で61.9%、「85～89歳」で73.6%と多くなっている。

図表 3-9 転倒（予防）



### (9) 歩行補助具の使用状況

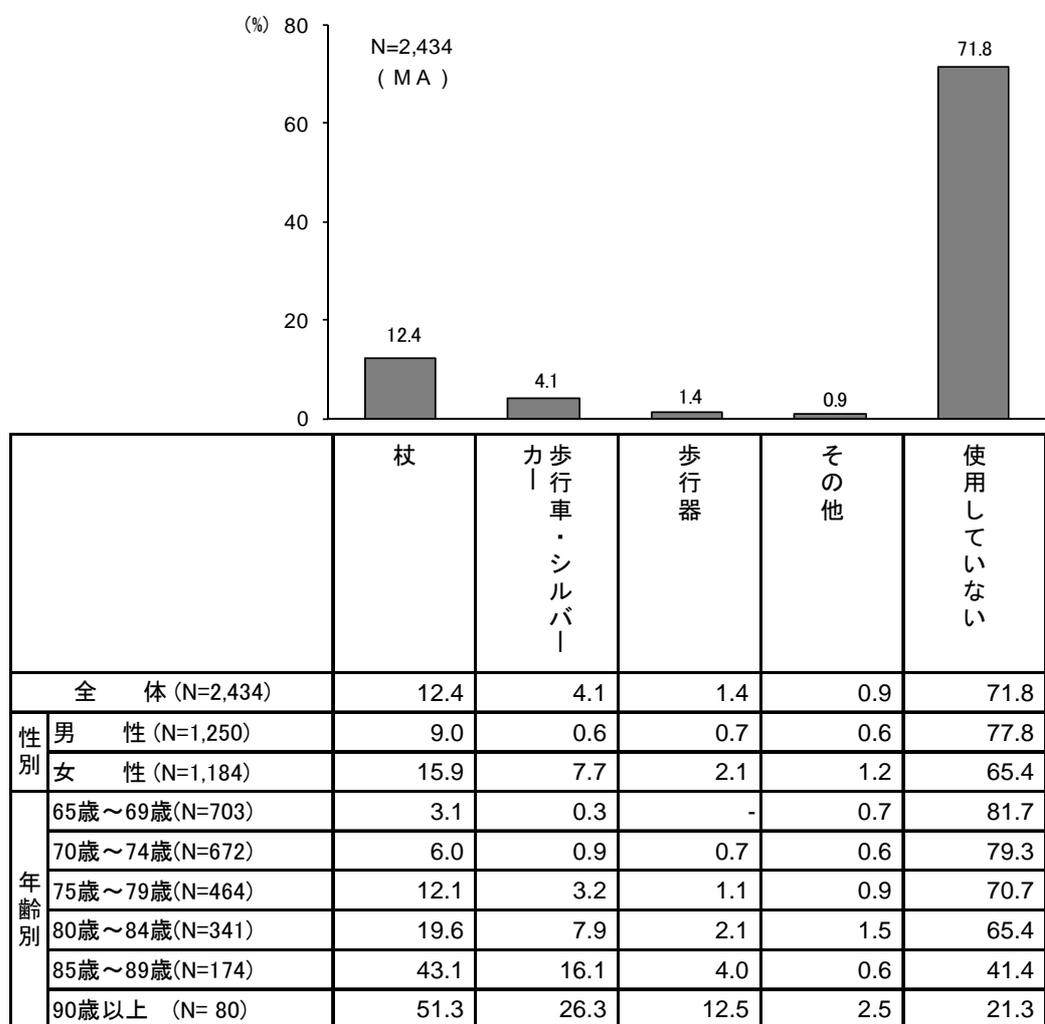
問3 Q7. 以下の歩行補助具を使用していますか。(いくつでも)

歩行補助具の使用状況についてきいたところ、「杖」が12.4%、次いで「歩行車・シルバーカー」が4.1%、「歩行器」が1.4%であり、「使用していない」は71.8%となっている。

男女別にみると、女性は「杖」が15.9%、「歩行車・シルバーカー」が7.7%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、各歩行補助具の使用者が多く、「90歳以上」で「杖」が51.3%、「歩行車・シルバーカー」が26.3%となっている。

図表 3-10 歩行補助具の使用状況



## 4 口腔・栄養について

### (1) 口腔の状態

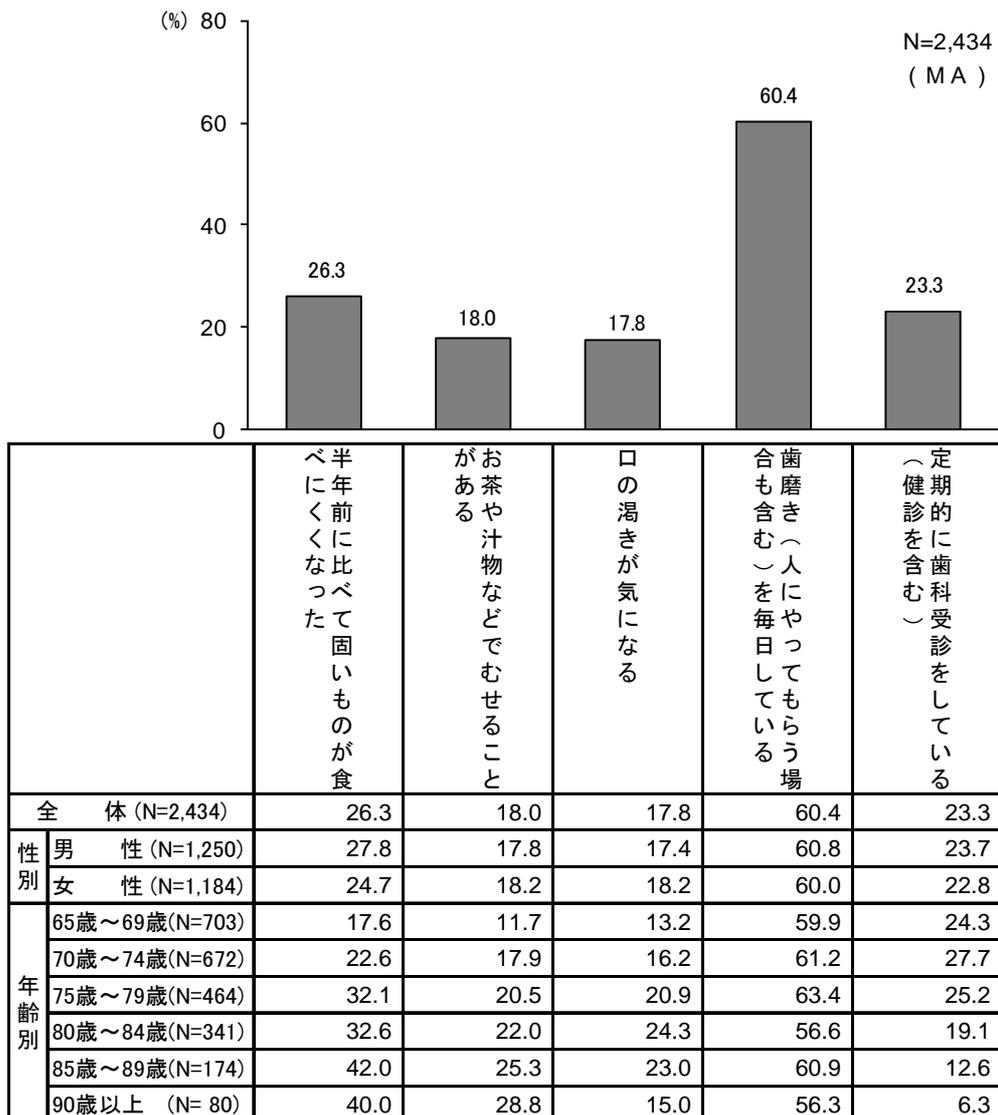
問4 Q1. あなたの口腔(こうくう)の状態についてお尋ねします。(いくつでも)

口腔の状態についてきいたところ、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が 26.3%、「お茶や汁物などでむせることがある」が 18.0%、「口の渇きが気になる」が 17.8%、「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している」が 60.4%、「定期的に歯科受診をしている(健診を含む)」が 23.3% となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」、「お茶や汁物などでむせることがある」が多く、「定期的に歯科受診をしている(健診を含む)」が少ない傾向にある。

図表 4-1 口腔の状態



## (2) 入れ歯の使用状況

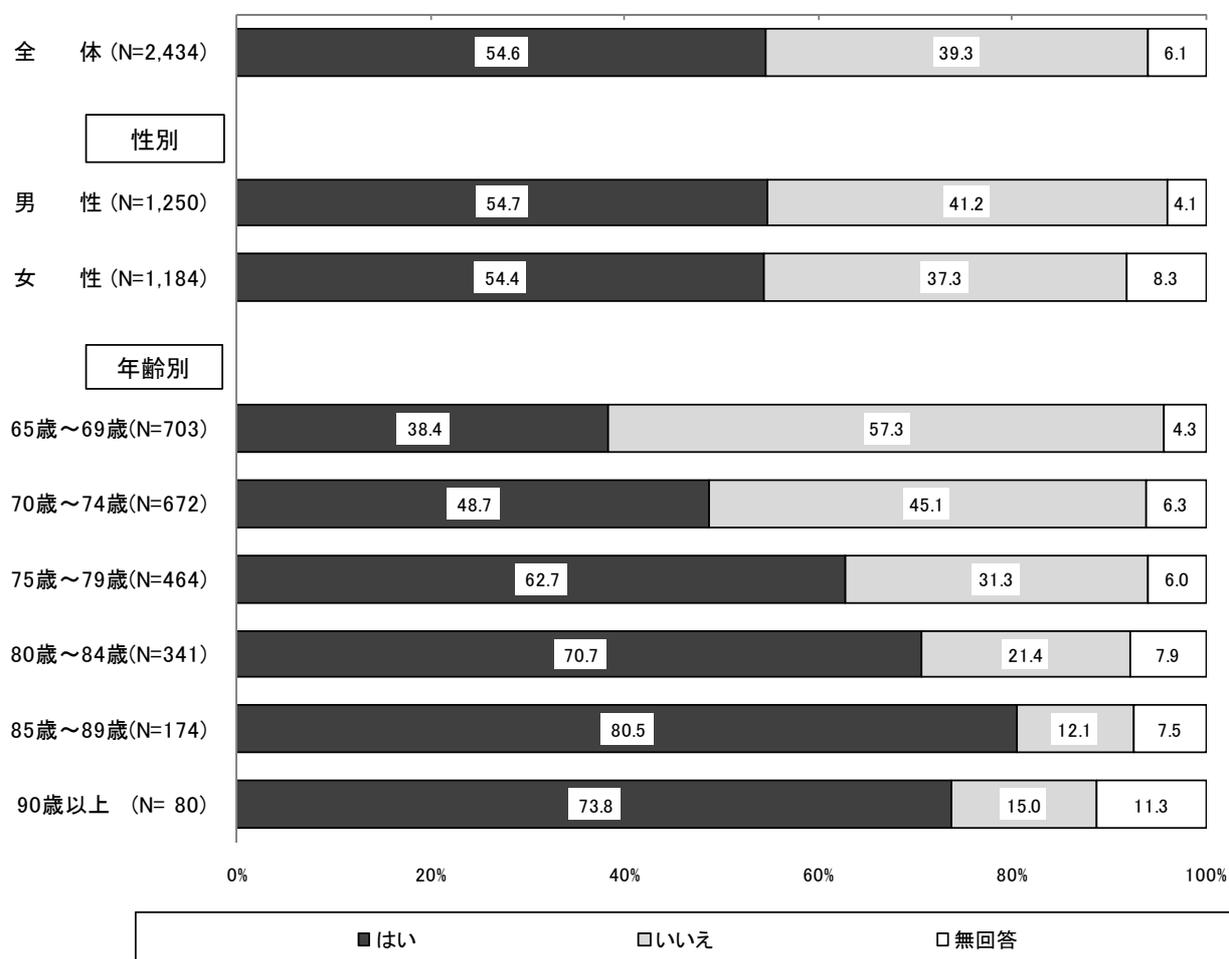
問 4 Q 2. 入れ歯を使用していますか。

入れ歯の使用状況についてきいたところ、「はい（使用している）」が 54.6%、「いいえ（使用していない）」が 39.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった

年齢別にみると、年代が高いほど使用している人が多い傾向にあり、「65～69 歳」は 38.4%であるのに対し、「85～89 歳」で 80.5%、「90 歳以上」で 73.8%となっている。

図表 4-2 入れ歯の使用状況



### (3) 噛み合わせの状態

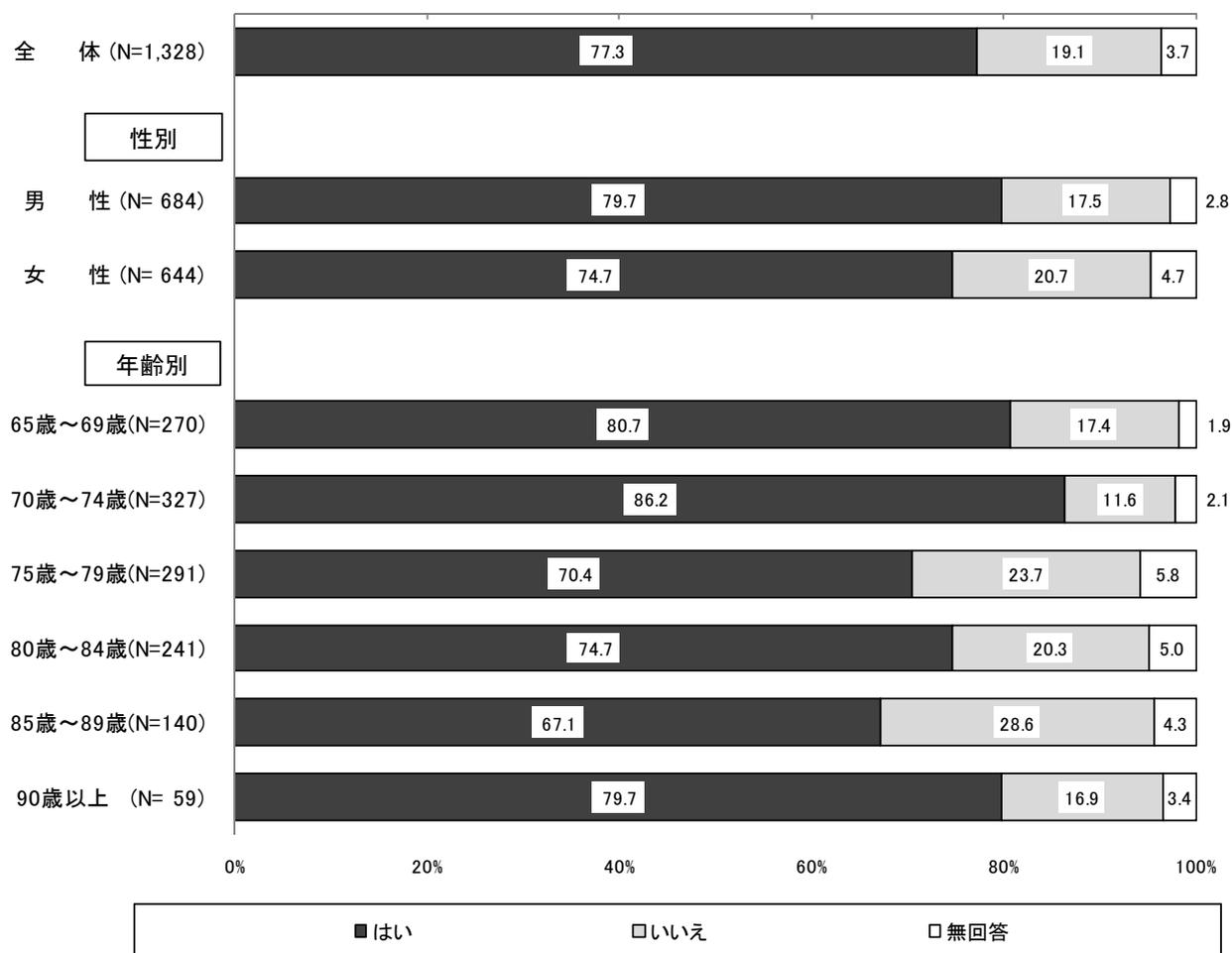
問4Q2-1. (入れ歯を使用している方のみ) 噛み合わせは良いですか。

入れ歯を使用している1,328人に、噛み合わせの状態は良いかきいたところ、「はい(良い)」が77.3%、「いいえ(良くない)」が19.1%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「はい(良い)」とする人がやや多くなっている。

年齢別にみると、「70～74歳」は「はい(良い)」が86.2%と多い一方、「85～89歳」は67.1%と少なくなっている。

図表 4-3 噛み合わせの状態



#### (4) 入れ歯の手入れの状況

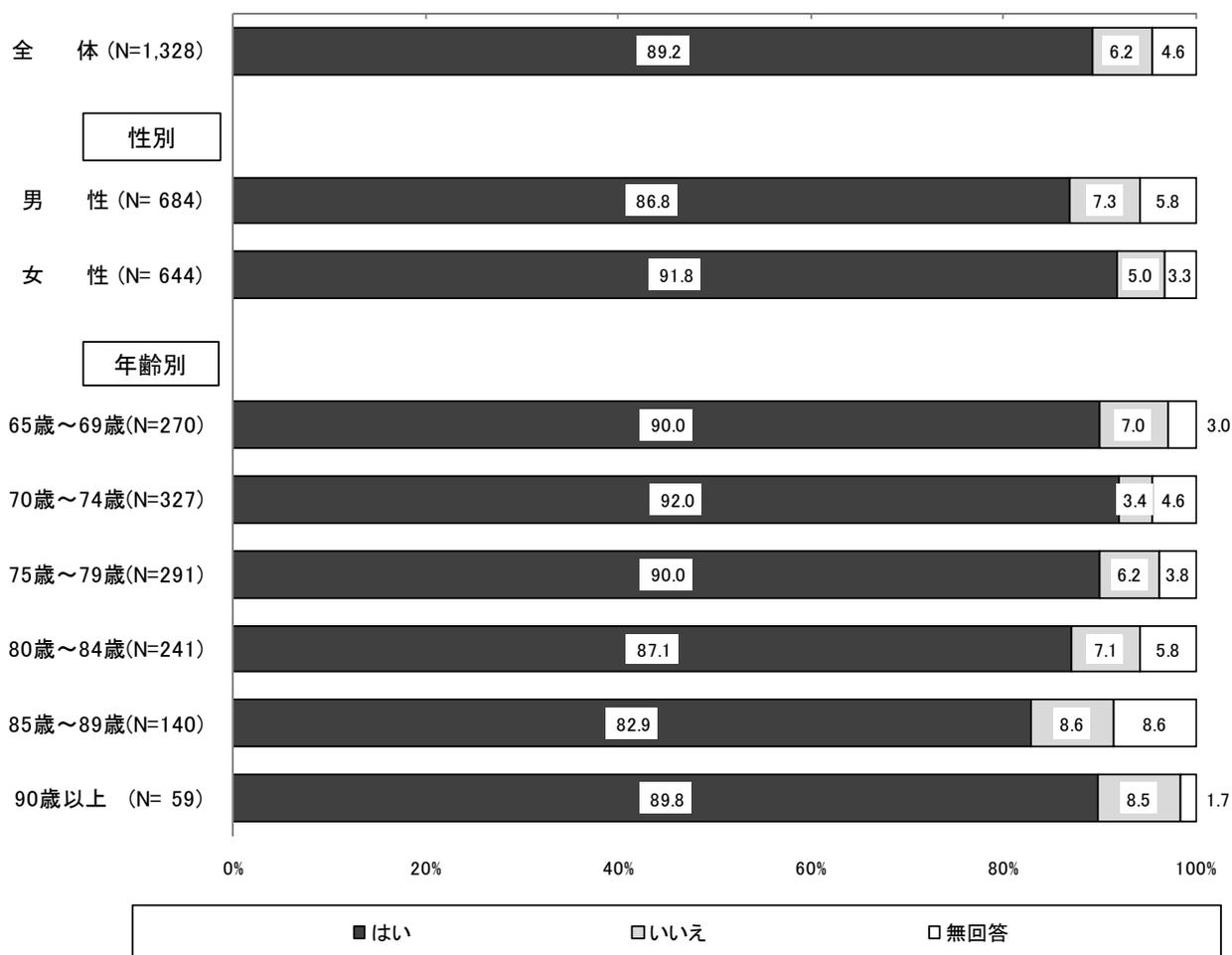
問 4 Q 2 - 2. (入れ歯を使用している方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

入れ歯を使用している 1,328 人に、毎日入れ歯の手入れをしているかきいたところ、「はい(している)」が 89.2%、「いいえ(していない)」が 6.2%となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べて「はい(している)」とする人がやや多くなっている。

年齢別にみると、「70～74 歳」は「はい(している)」が 92.0%と多く、「85～89 歳」は 82.9%と少なくなっている。

図表 4-4 入れ歯の手入れの状況



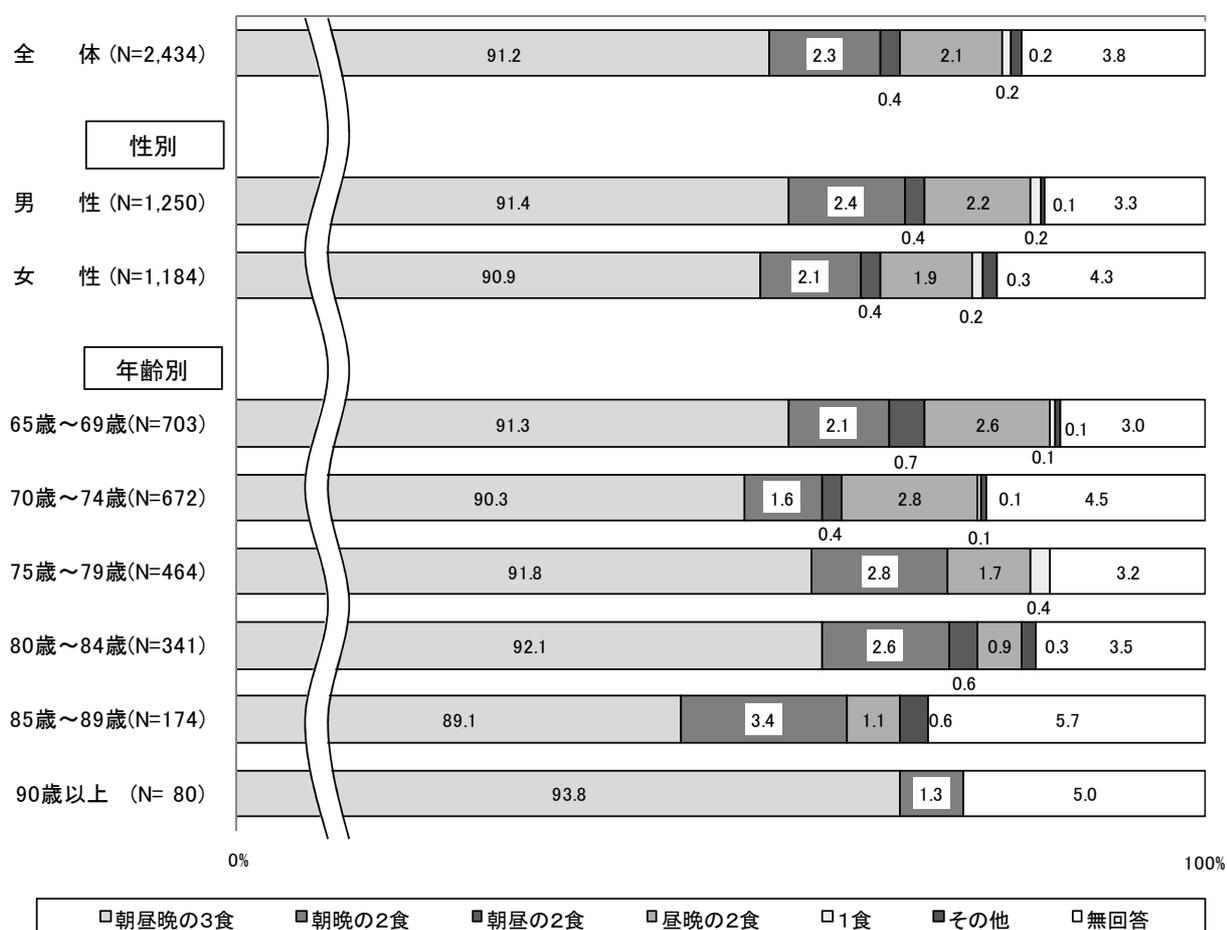
### (5) 1日の食事の回数

問4 Q3. 1日の食事の回数は何回ですか。

1日の食事の回数についてきいたところ、「朝昼晩の3食」が91.2%と際立って多くなっている。男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」は「朝昼晩の3食」が93.8%と全年代を通して一番多くなっている。

図表 4-5 1日の食事の回数



## (6) 欠食について

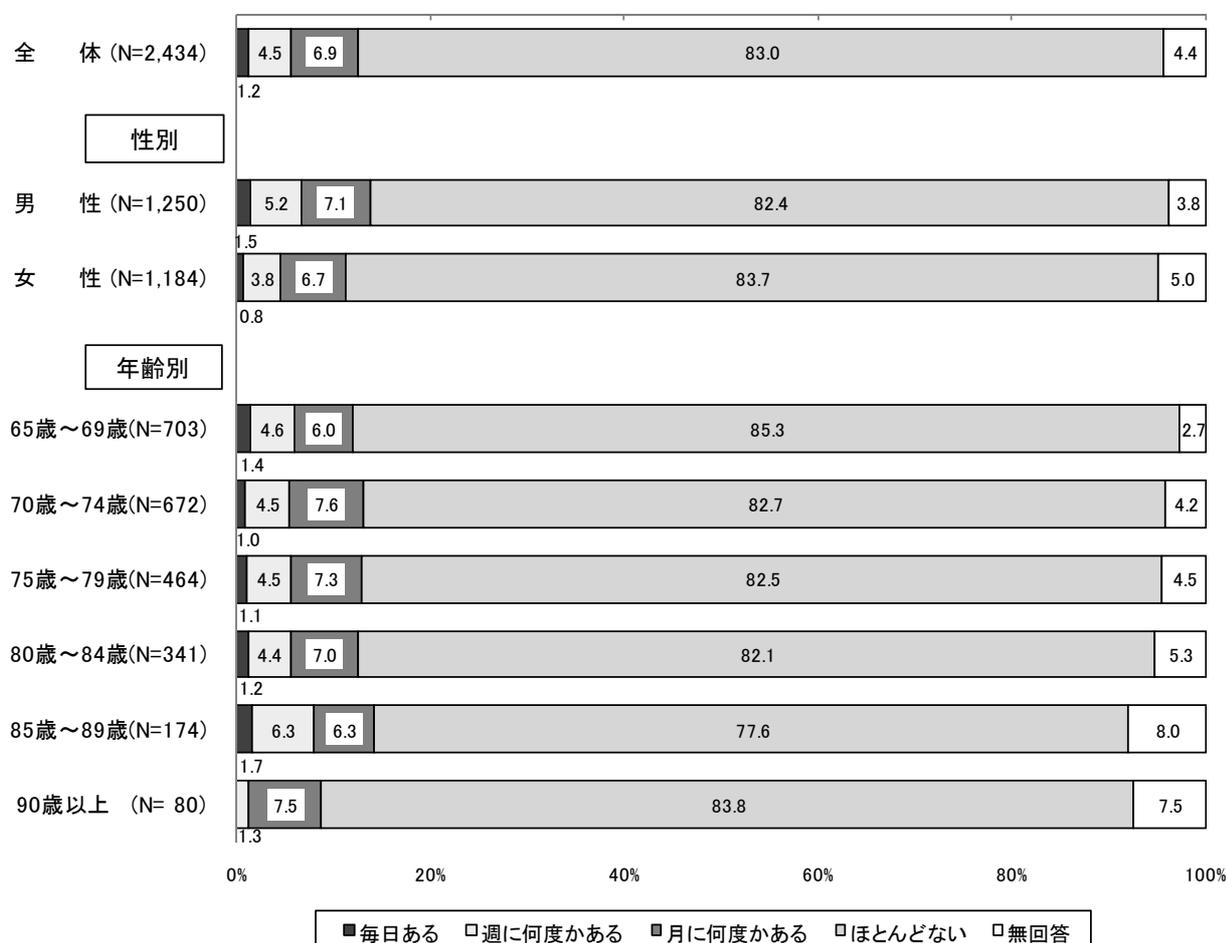
問4 Q4. 食事を抜くことがありますか。

食事を抜くことがあるかきいたところ、「毎日ある」が1.2%、「週に何度かある」が4.5%、「月に何度かある」が6.9%、「ほとんどない」が83.0%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった

年齢別にみると、「90歳以上」は「毎日ある」、「週に何度かある」とする人が他の年代に比べて少なくなっている。

図表 4-6 欠食について



## (7) 栄養バランスの意識

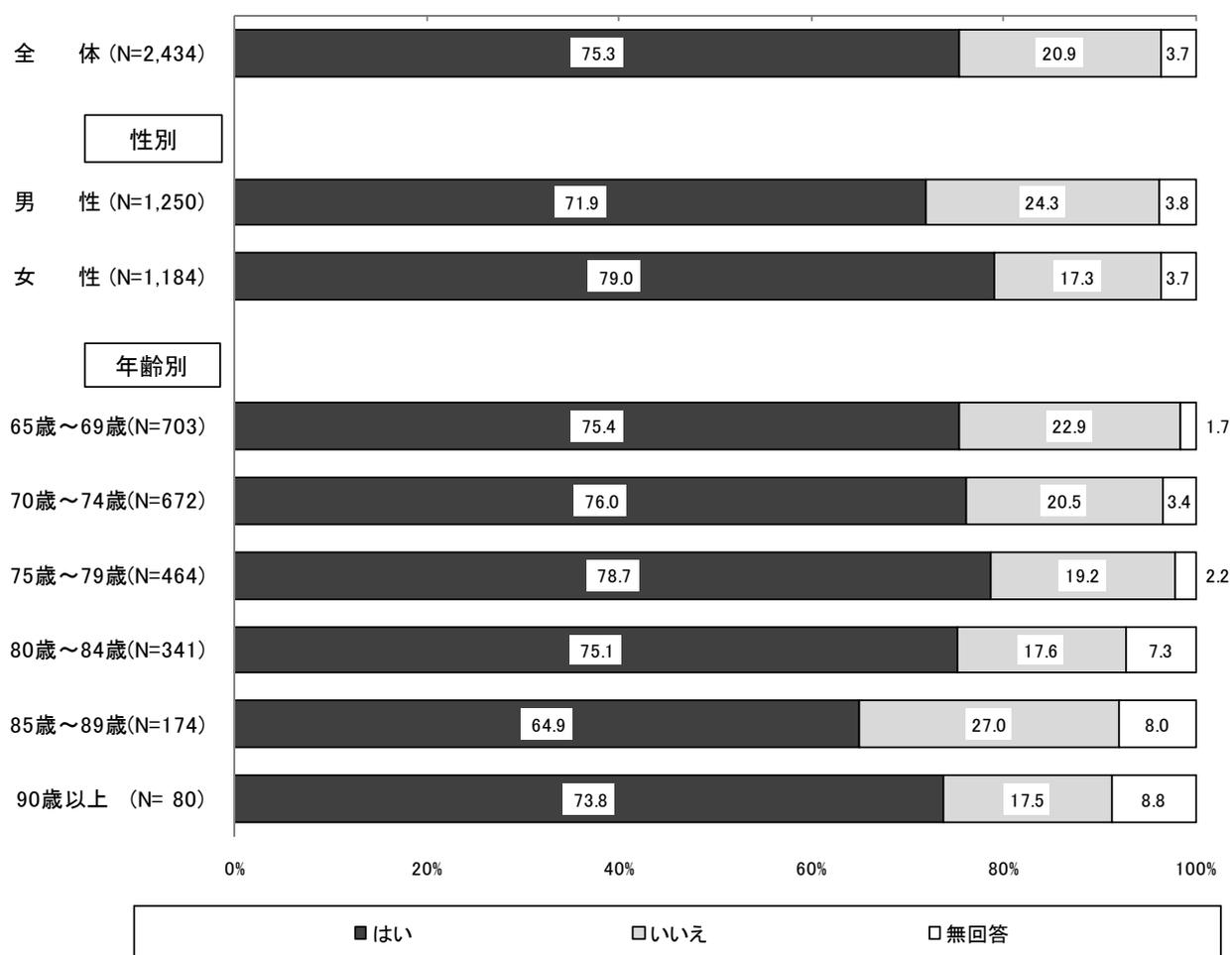
問4 Q5. 普段の食事で、栄養のバランスを意識していますか。

普段の食事で、栄養のバランスを意識しているかきいたところ、「はい（意識している）」が75.3%、「いいえ（意識していない）」が20.9%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（意識している）」が79.0%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「85～89歳」で「はい（意識している）」が64.9%と、他の年代に比べて少なくなっている。

図表 4-7 栄養バランスの意識



## (8)水分の摂取

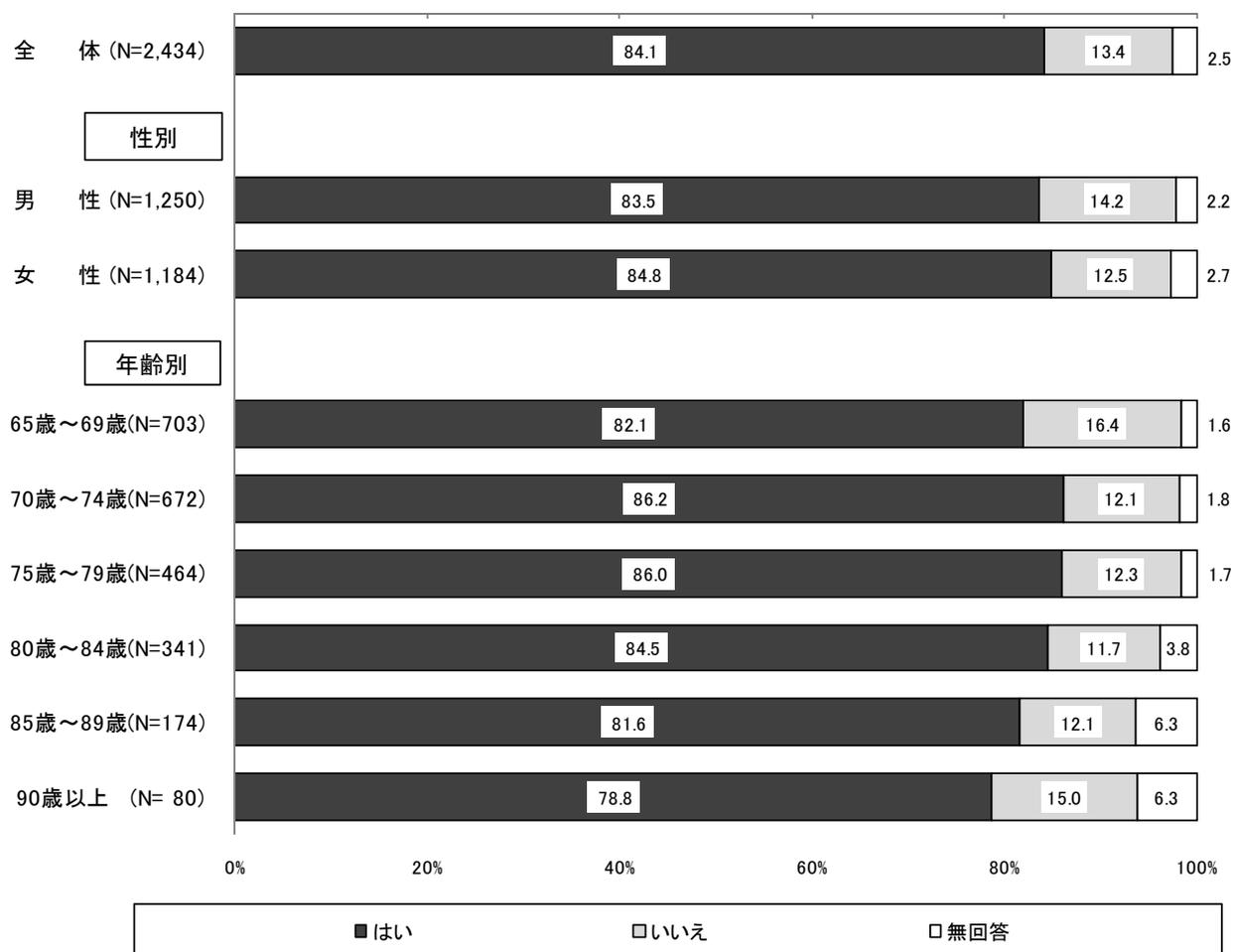
問4Q6. 水やお茶、コーヒーなどの水分を意識して飲んでいますか。

水やお茶、コーヒーなどの水分を意識して飲んでいるかきいたところ、「はい（飲んでいる）」が84.1%、「いいえ（飲んでいない）」が13.4%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「90歳以上」で「はい（意識している）」が78.8%と、他の年代に比べて少なくなっている。

図表 4-8 水分の摂取



## 5 物忘れについて

### (1)物忘れ（いつも同じことを聞く）

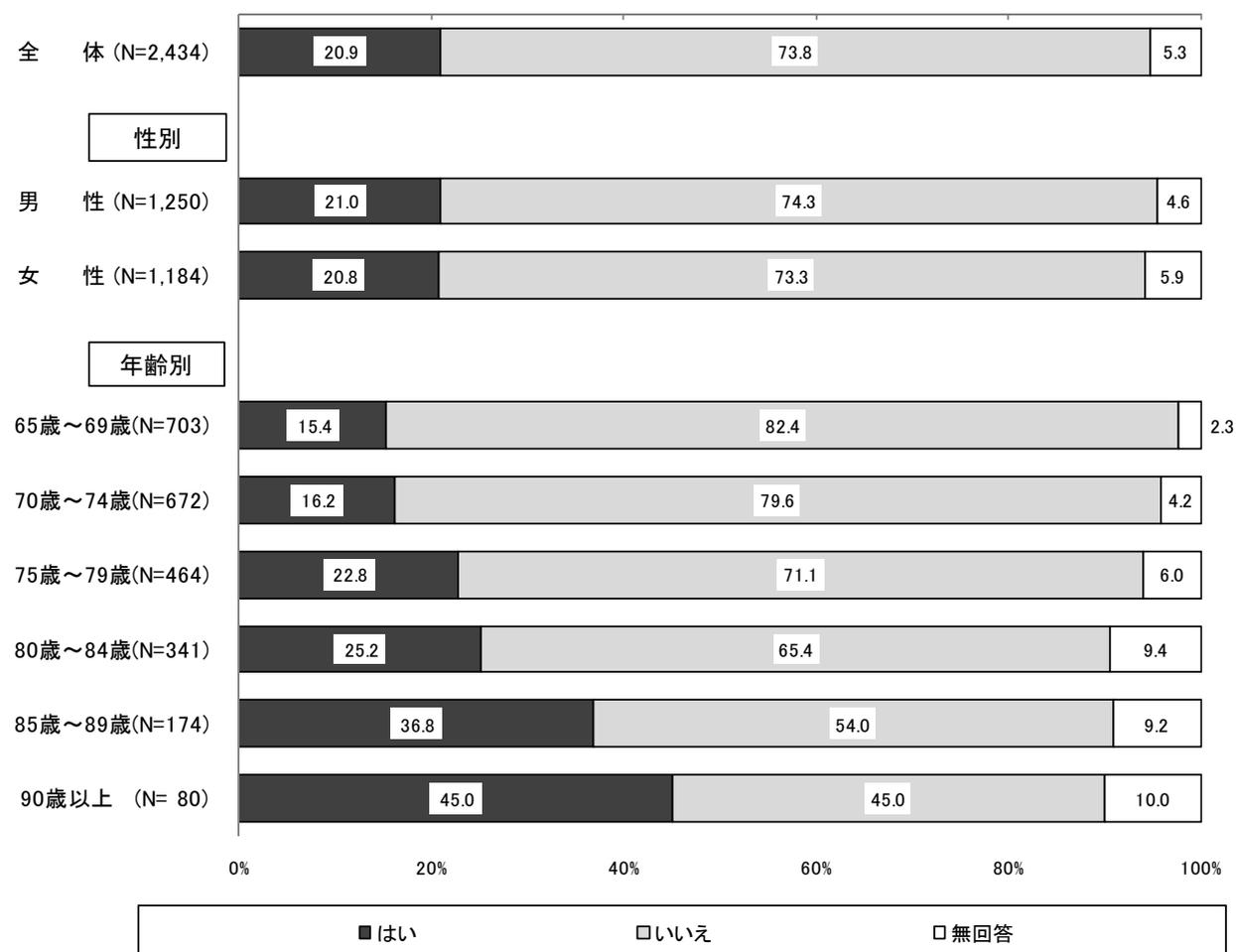
問5 Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。

物忘れの状況についてみていく。周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされるかきいたところ、「はい（言われる）」が20.9%、「いいえ（言われない）」が73.8%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「はい（言われる）」が多く、「85～89歳」で36.8%、「90歳以上」で45.0%となっている。

図表 5-1 物忘れ（いつも同じことを聞く）



## (2) 物忘れ（自分で電話をかける）

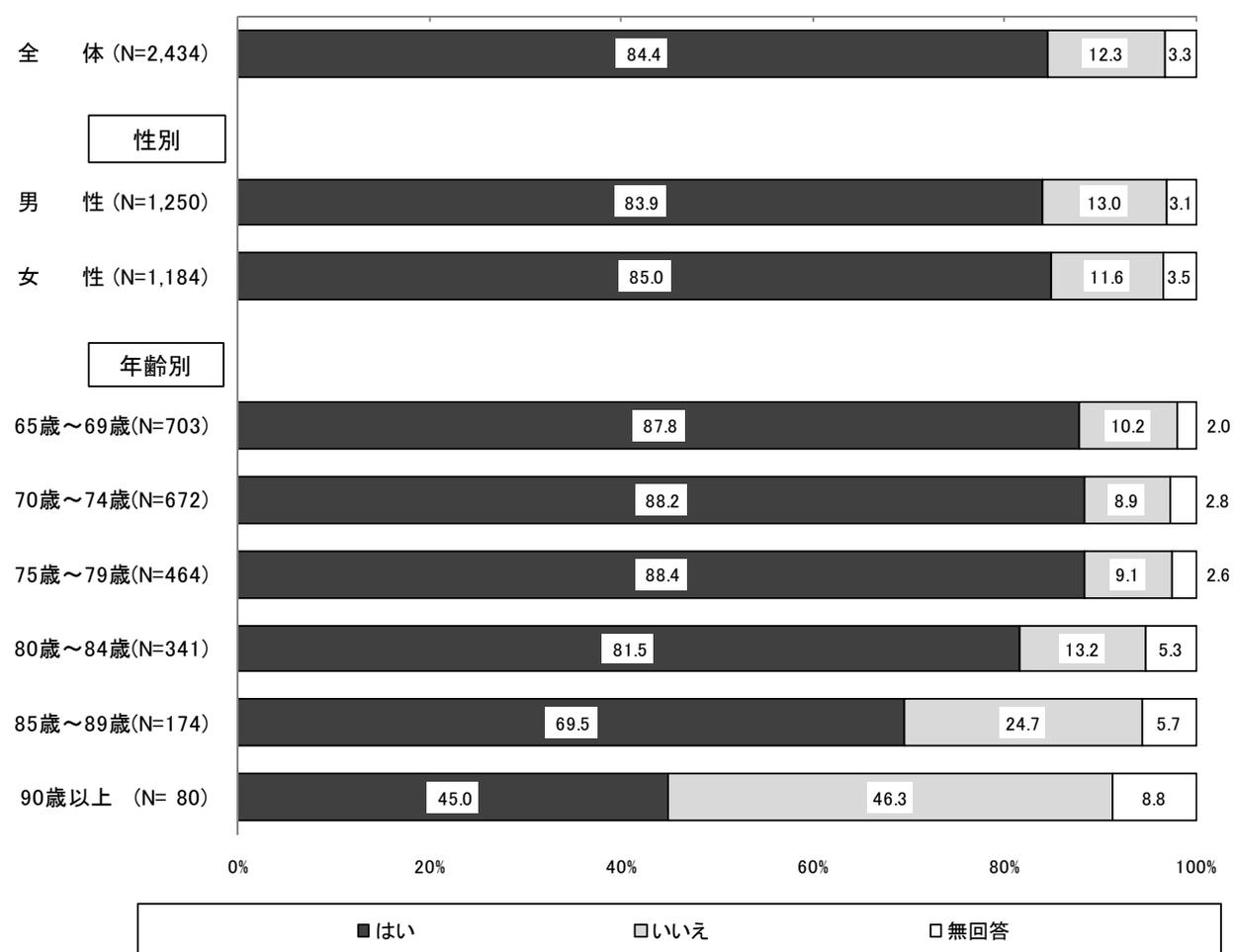
問5 Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかきいたところ、「はい（している）」が84.4%、「いいえ（していない）」が12.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「いいえ（していない）」が多い傾向にあり、「85～89歳」で24.7%、「90歳以上」で46.3%となっている。

図表 5-2 物忘れ（自分で電話をかける）



### (3) 物忘れ（何月何日かわからない）

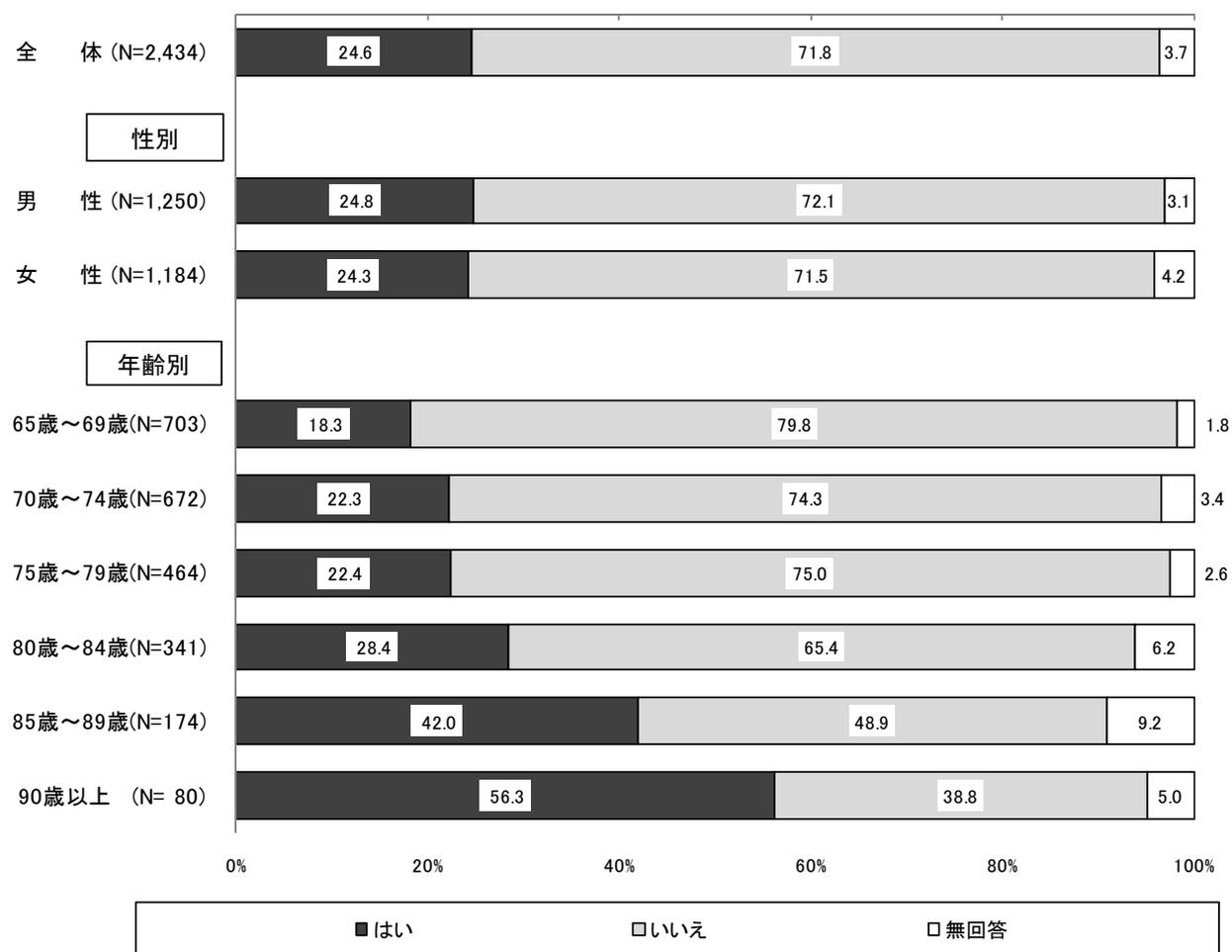
問5 Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

今日が何月何日かわからない時があるかきいたところ、「はい（ある）」が24.6%、「いいえ（ない）」が71.8%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「はい（ある）」が多く、「85～89歳」で42.0%、「90歳以上」で56.3%となっている。

図表 5-3 物忘れ（何月何日かわからない）



(4) 物忘れ（5分前のことが思い出せる）

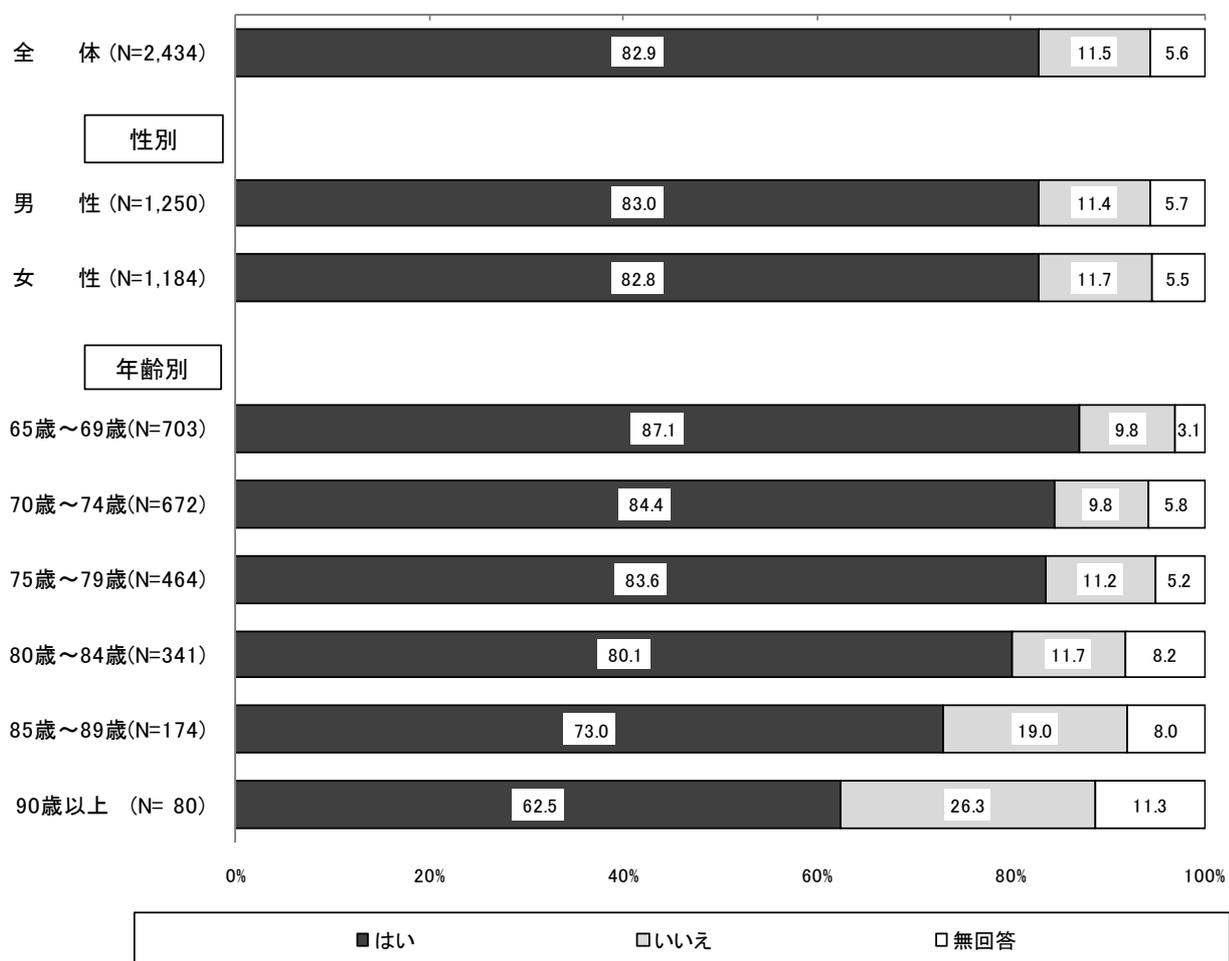
問5 Q4. 5分前のことが思い出せますか。

5分前のことが思い出せるかきいたところ、「はい（思い出せる）」が82.9%、「いいえ（思い出せない）」が11.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「いいえ（思い出せない）」が多く、「85～89歳」で19.0%、「90歳以上」で26.3%となっている。

図表 5-4 物忘れ（5分前のことが思い出せる）



### (5) その日の活動を自分で判断できるか

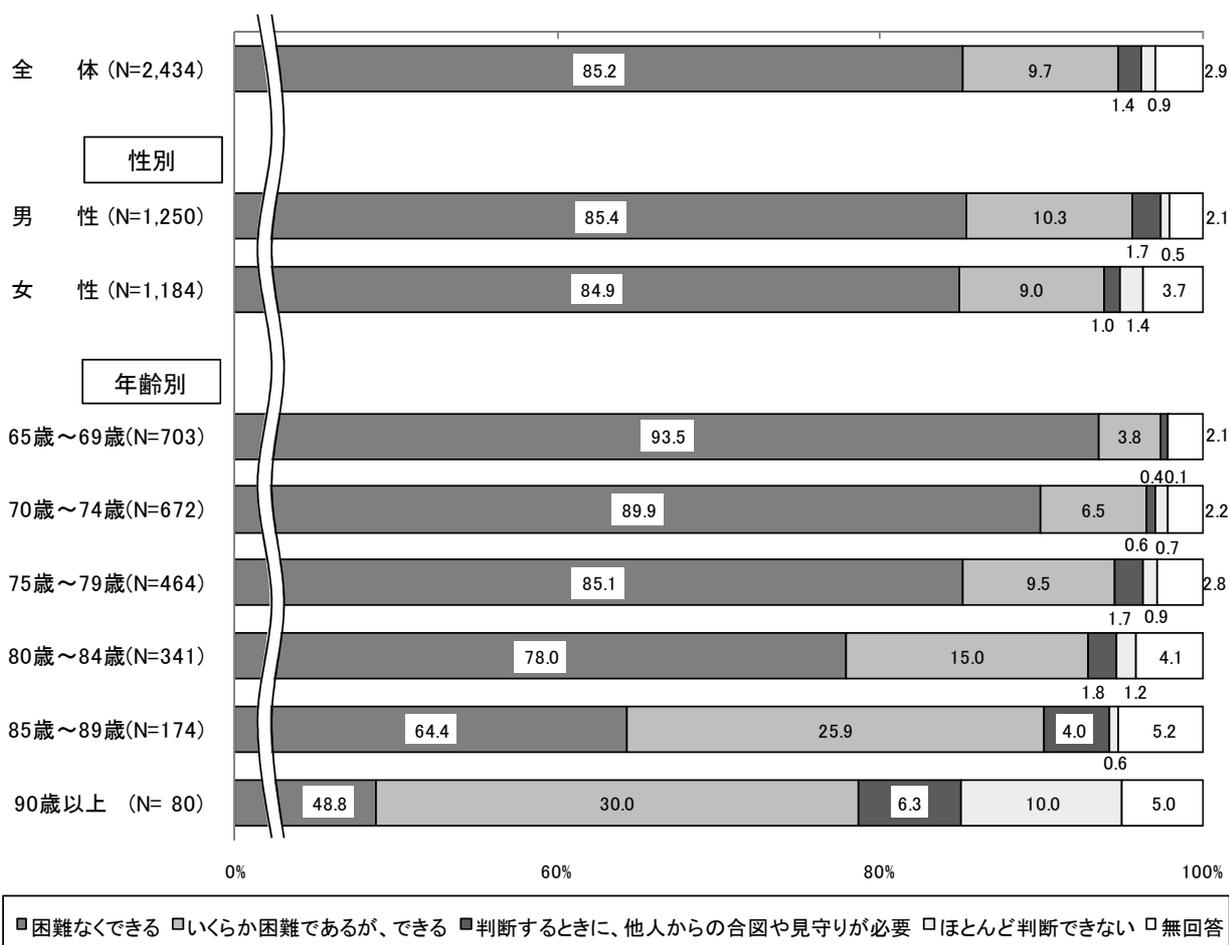
問5 Q5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。

その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できるかきいたところ、「困難なくできる」が85.2%、「いくらか困難であるが、できる」が9.7%、「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」が1.4%、「ほとんど判断できない」が0.9%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「困難なくできる」が少なく、「ほとんど判断できない」が多くなっている。「90歳以上」は「困難なくできる」が48.4%と約半数にとどまっている。

図表 5-5 その日の活動を自分で判断できるか



## (6) 自分の考えを伝えられるか

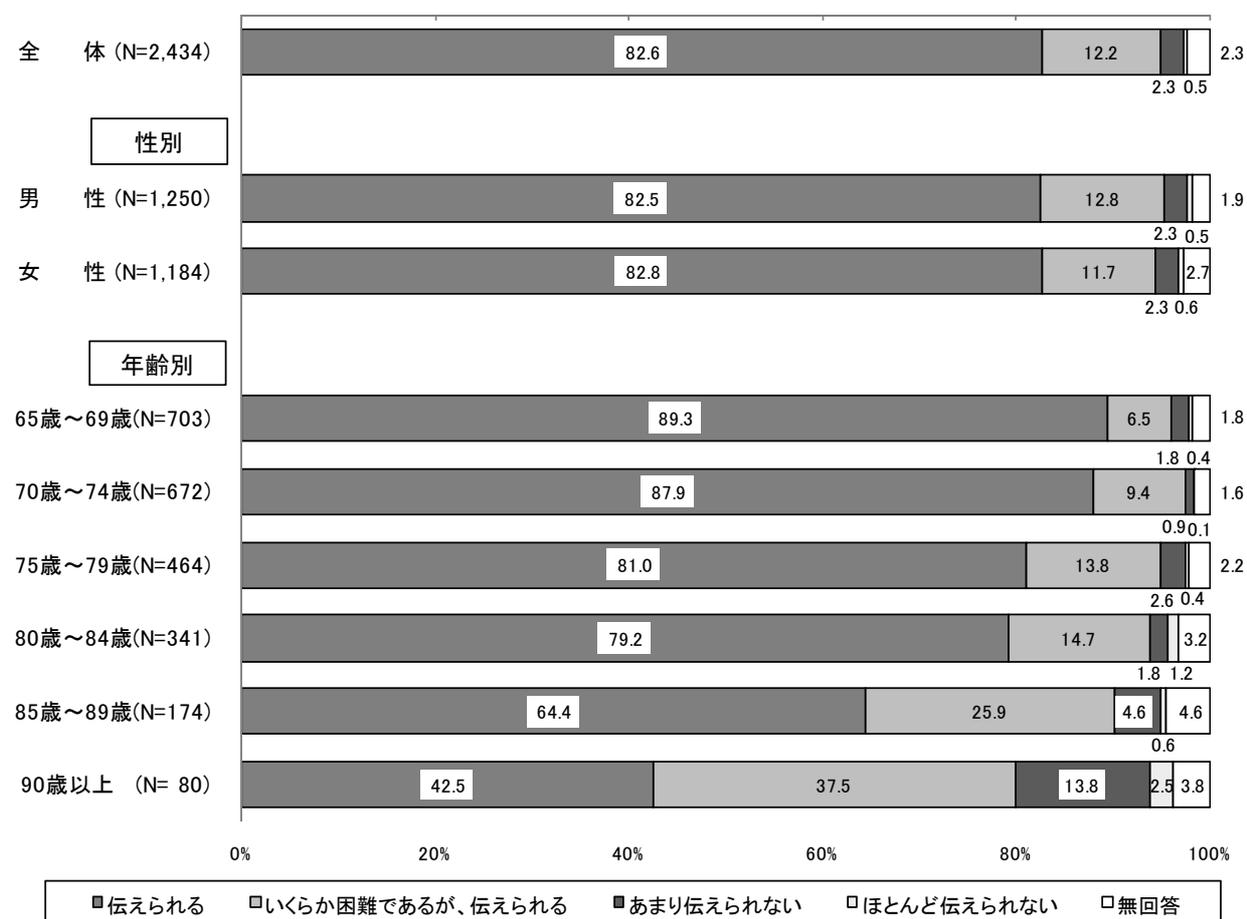
問5 Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

人に自分の考えをうまく伝えられるかきいたところ、「伝えられる」が82.6%、「いくらか困難であるが、伝えられる」が12.2%、「あまり伝えられない」が2.3%、「ほとんど伝えられない」が0.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「伝えられる」が少なくなっており、「90歳以上」は「伝えられる」が42.5%となっている。

図表 5-6 自分の考えを伝えられるか



## 6 日常生活について

### (1)日用品の買物をしているか

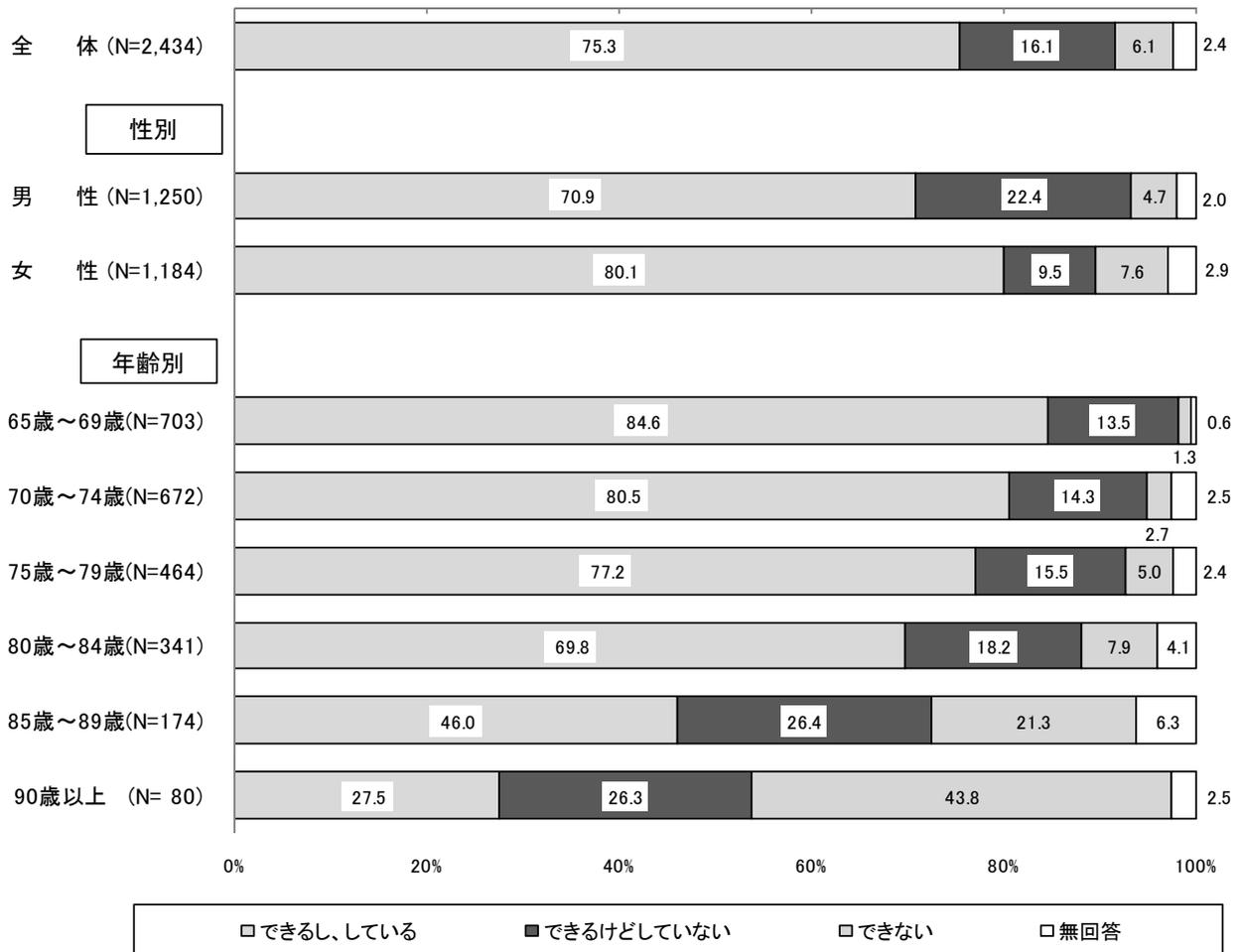
問6 Q1. 日用品の買物をしていますか。

日用品の買物をしているかきいたところ、「できるし、している」が75.3%、「できるけどしていない」が16.1%、「できない」が6.1%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が80.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できるし、している」が少なくなっており、「85～89歳」で46.0%、「90歳以上」で27.5%となっている。また、「できない」が「85～89歳」で21.3%、「90歳以上」で43.8%となっている。

図表 6-1 日用品の買物をしているか



## (2) 代わりに買い物をする人

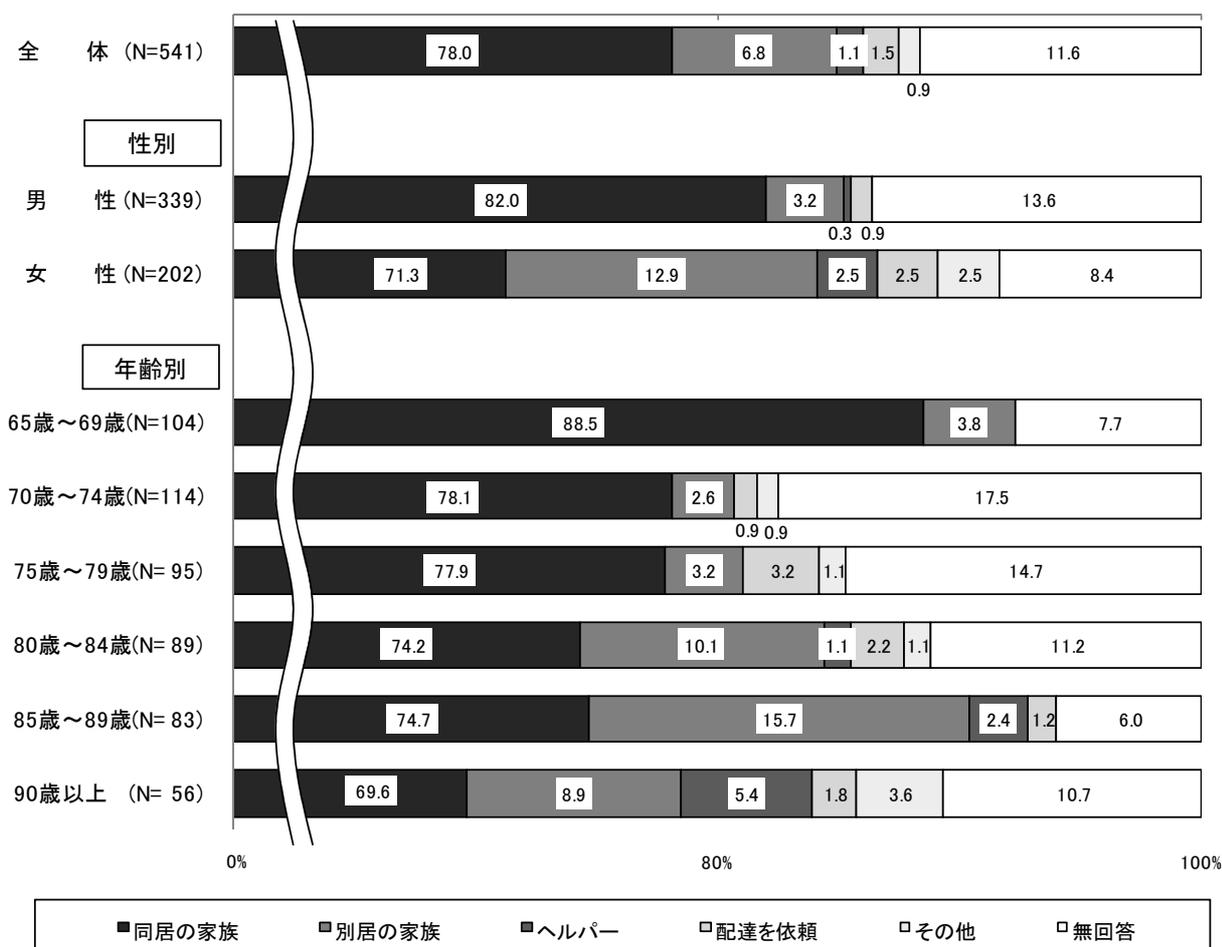
問6 Q1-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ)  
日用品の買物をする人は主にどなたですか。

日用品の買物を「できるけどしていない」、「できない」と回答した 541 人に、誰が日用品の買物をしているかきいたところ、「同居の家族」が 78.0%と大半を占め、「別居の家族」が 6.8%、「ヘルパー」が 1.1%、「配達を依頼」が 1.5%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が 82.0%と女性に比べて多く、女性は「別居の家族」が 12.9%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「同居の家族」が多い傾向にある。

図表 6-2 代わりに買い物をする人



### (3) 自分で食事の用意ができるか

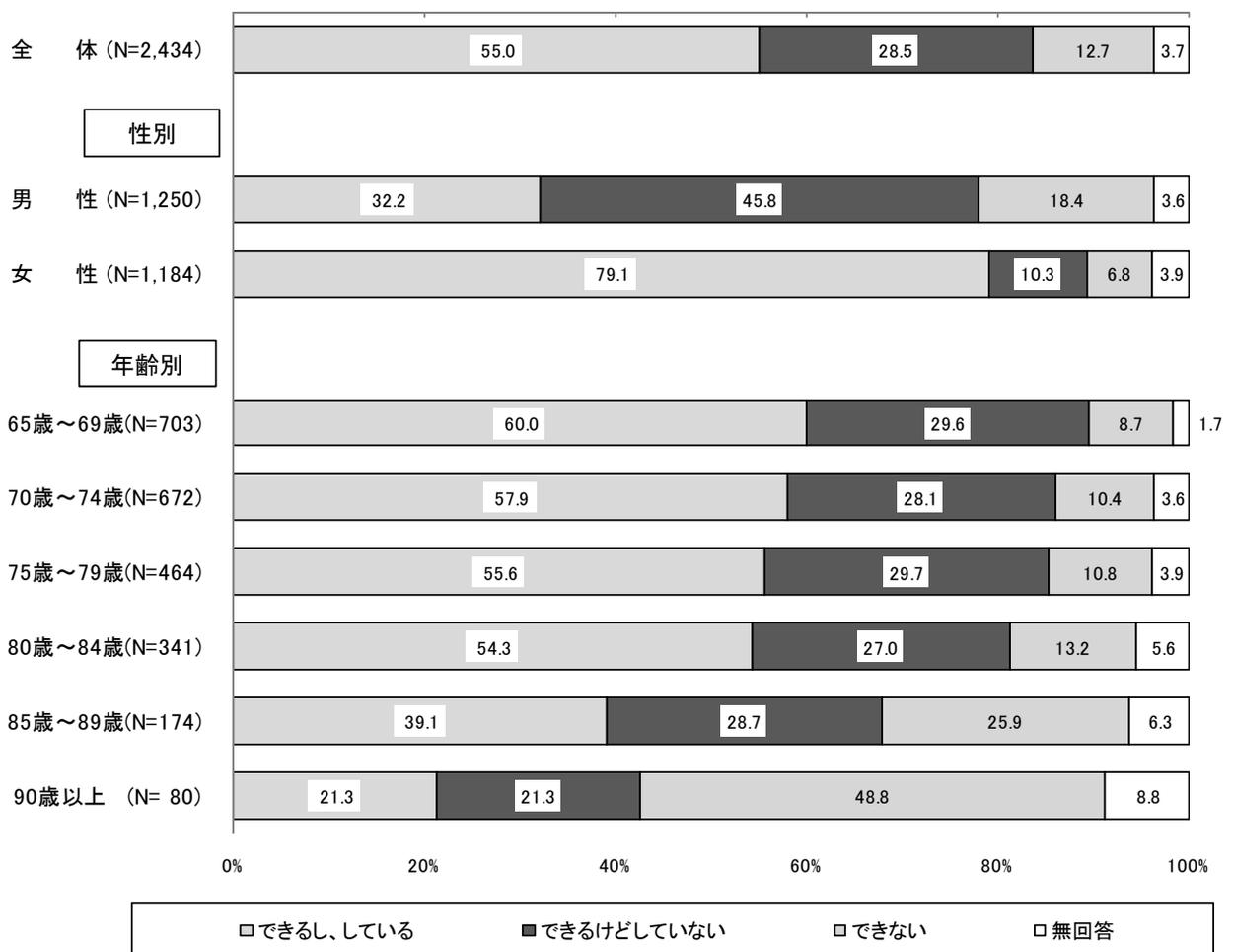
問6 Q2. 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意をしているかきいたところ、「できるし、している」が55.0%、「できるけどしていない」が28.5%、「できない」が12.7%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が79.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89歳」で25.9%、「90歳以上」が48.8%と約半数になっている。

図表 6-3 自分で食事の用意ができるか



#### (4) 主に食事の用意をする人

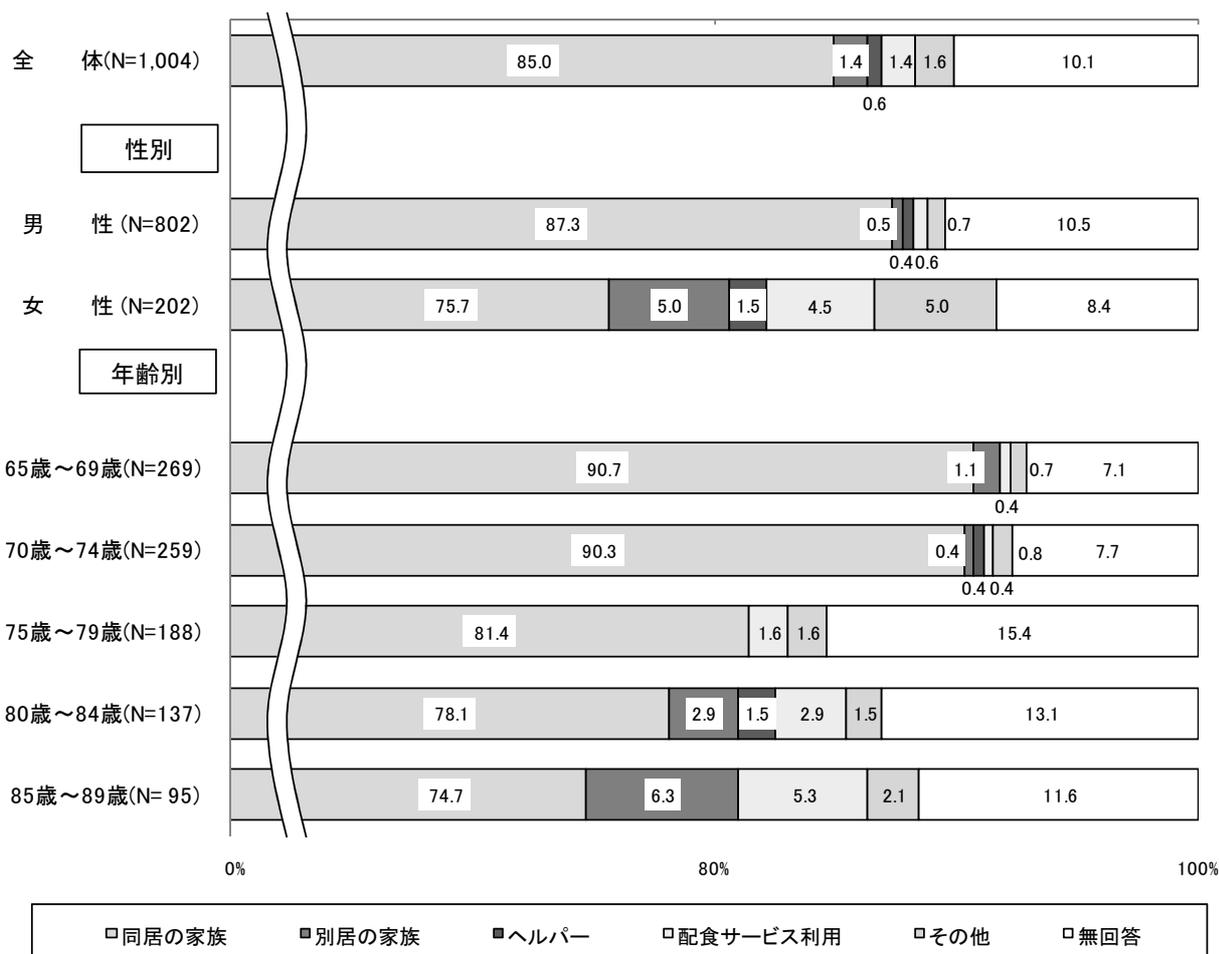
問6 Q2-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)  
 食事の用意をする人は主にどなたですか。

自分で食事の用意を「できるけどしていない」、「できない」と回答した 1,004 人に、誰が食事の用意をしているかきいたところ、「同居の家族」が 85.0%と大半を占め、「別居の家族」が 1.4%、「ヘルパー」が 0.6%、「配食サービス利用」が 1.4%などとなっている。

男女別にみると、男性は「同居の家族」が 87.3%と女性に比べて多く、女性は「別居の家族」が 5.0%、「配食サービス利用」が 5.0%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「同居の家族」が多い傾向にある。

図表 6-4 主に食事の用意をする人



(5) 支払いを自分でしているか

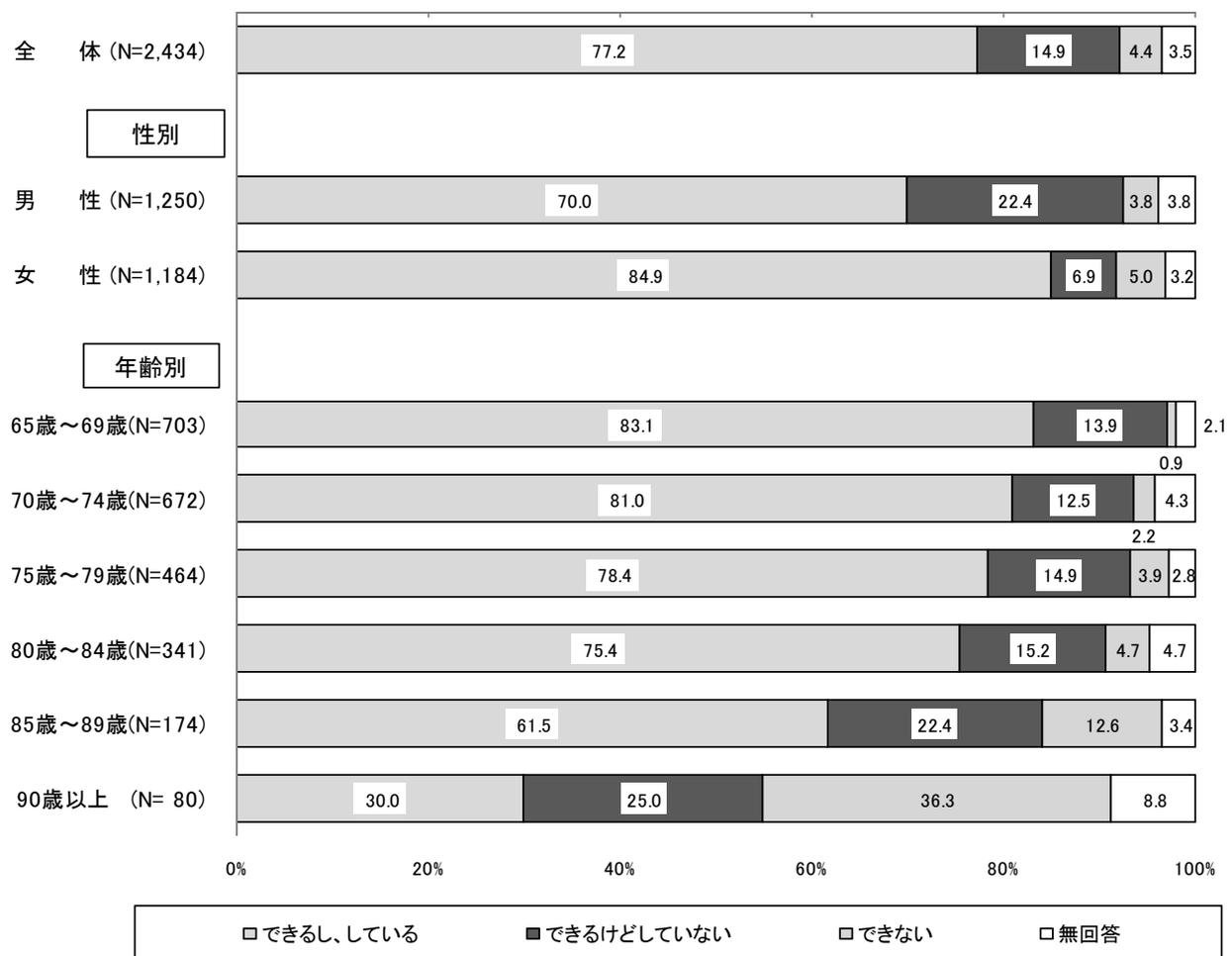
問 6 Q 3. 買い物などの請求書の支払いを自分でしていますか。

買い物などの請求書の支払いを自分でしているかきいたところ、「できるし、している」が 77.2%、「できるけどしていない」が 14.9%、「できない」が 4.4%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 84.9%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89 歳」で 12.6%、「90 歳以上」で 36.3%となっている。

図表 6-5 支払いを自分でしているか



(6) 預貯金の出し入れを自分でしているか

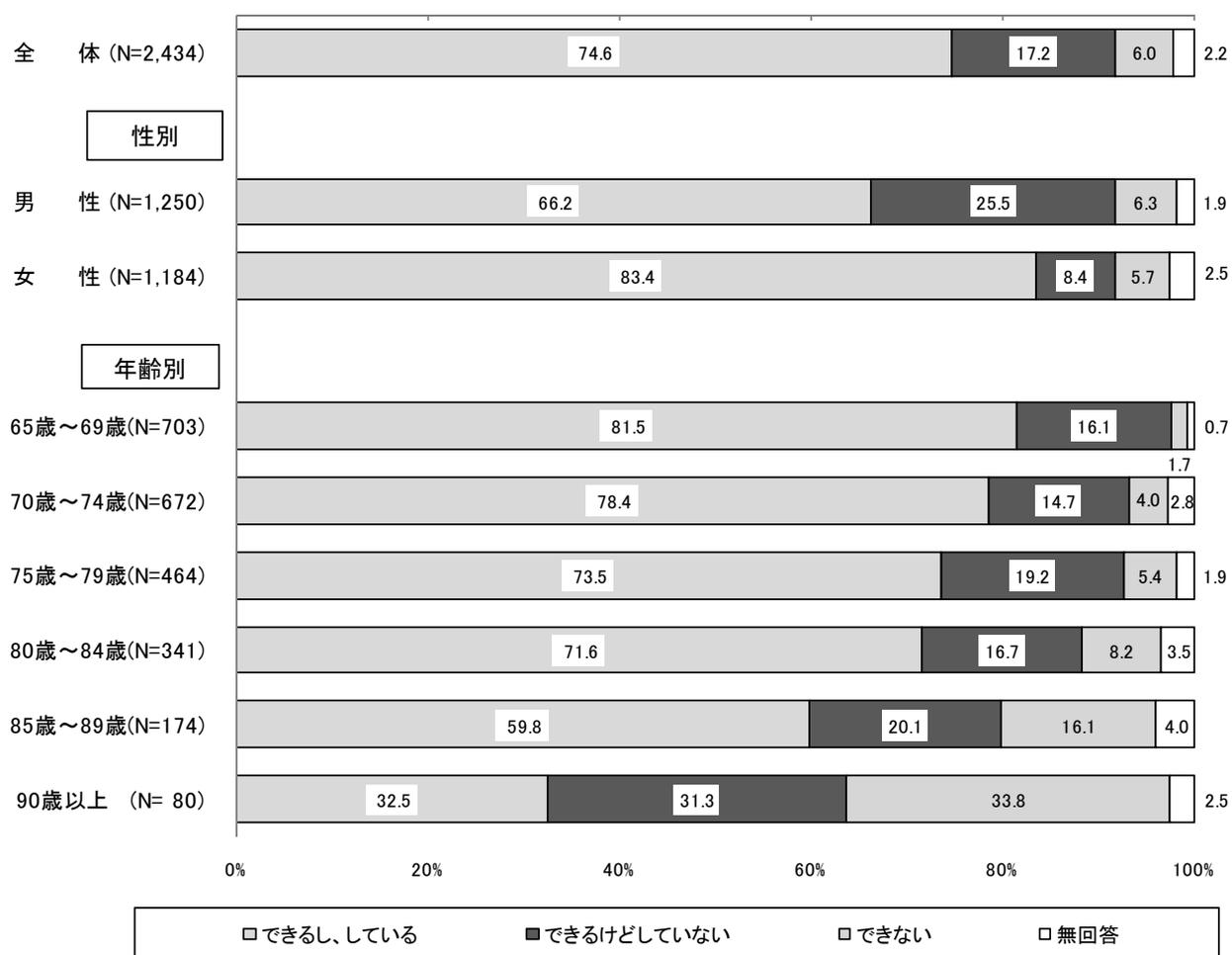
問 6 Q 4. 預貯金の出し入れを自分でしていますか。

預貯金の出し入れを自分でしているかきいたところ、「できるし、している」が 74.6%、「できるけどしていない」が 17.2%、「できない」が 6.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が 83.4%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できない」が多くなっており、「85～89 歳」で 16.1%、「90 歳以上」で 33.8%となっている。

図表 6-6 預貯金の出し入れを自分でしているか



## (7) 食事を自分で食べられるか

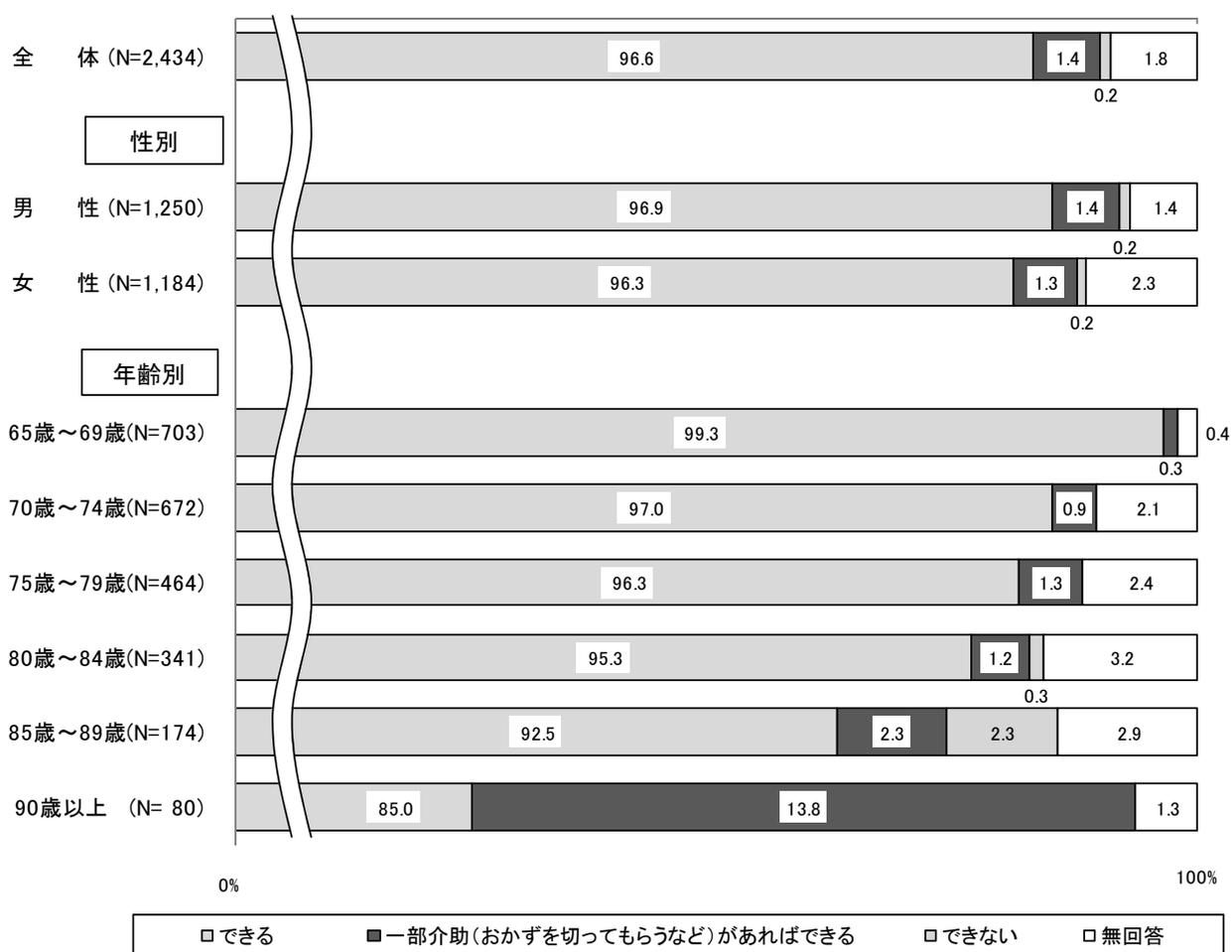
問6 Q5. 食事は自分で食べられますか。

食事は自分で食べられるかきいたところ、「できる」が96.6%、「一部介助（おかずを切ってもらふなど）があればできる」が1.4%、「できない」が0.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少なくなっており、「90歳以上」で85.0%となっている。

図表 6-7 食事を自分で食べられるか



(8) 自分でトイレができるか

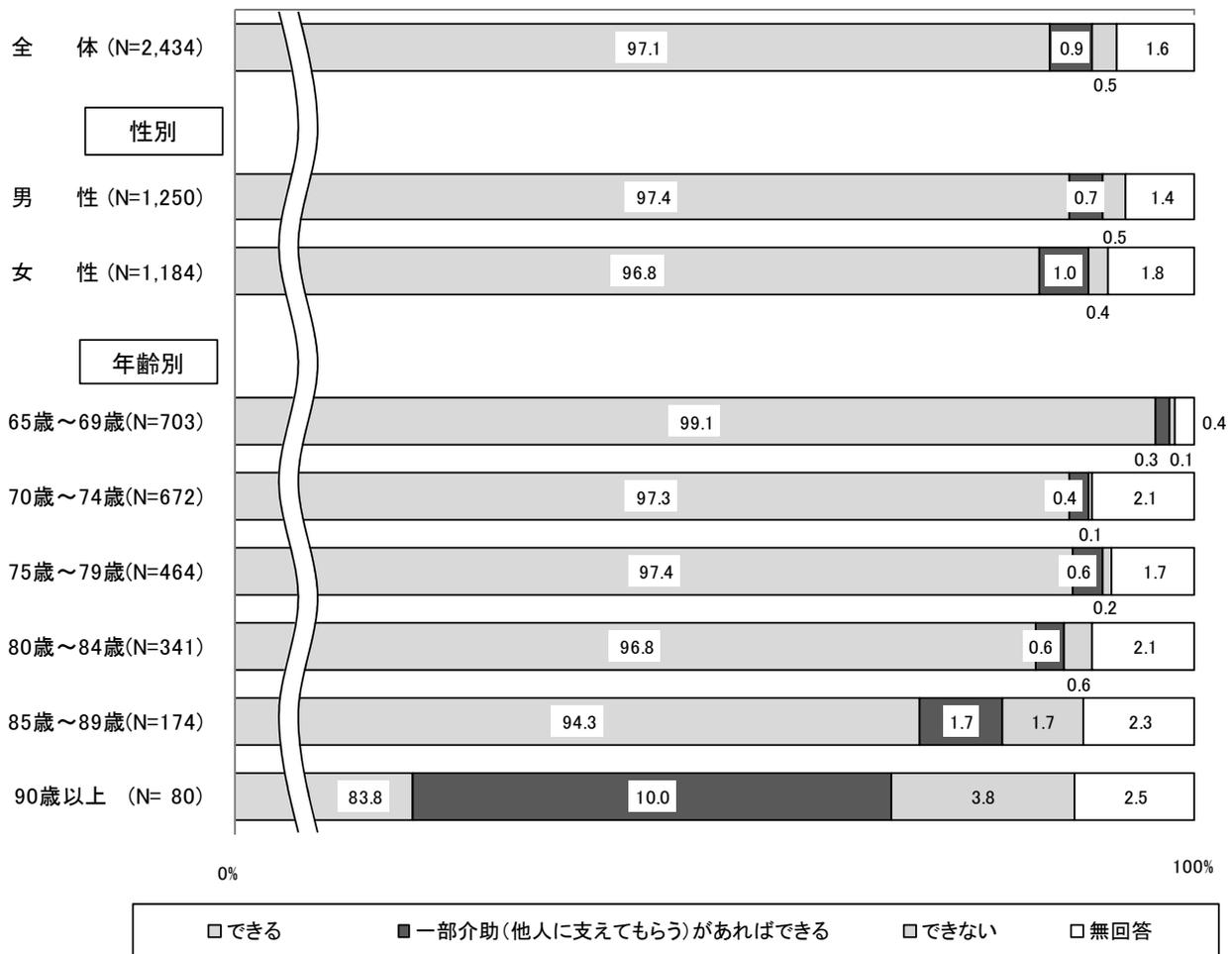
問6 Q6. 自分でトイレができますか。

自分でトイレができるかきいたところ、「できる」が 97.1%、「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 0.9%、「できない」が 0.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少ない傾向にあり、「90 歳以上」は「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 10.0%、「できない」が 3.8%となっている。

図表 6-8 自分でトイレができるか



(9) 自分で入浴できるか

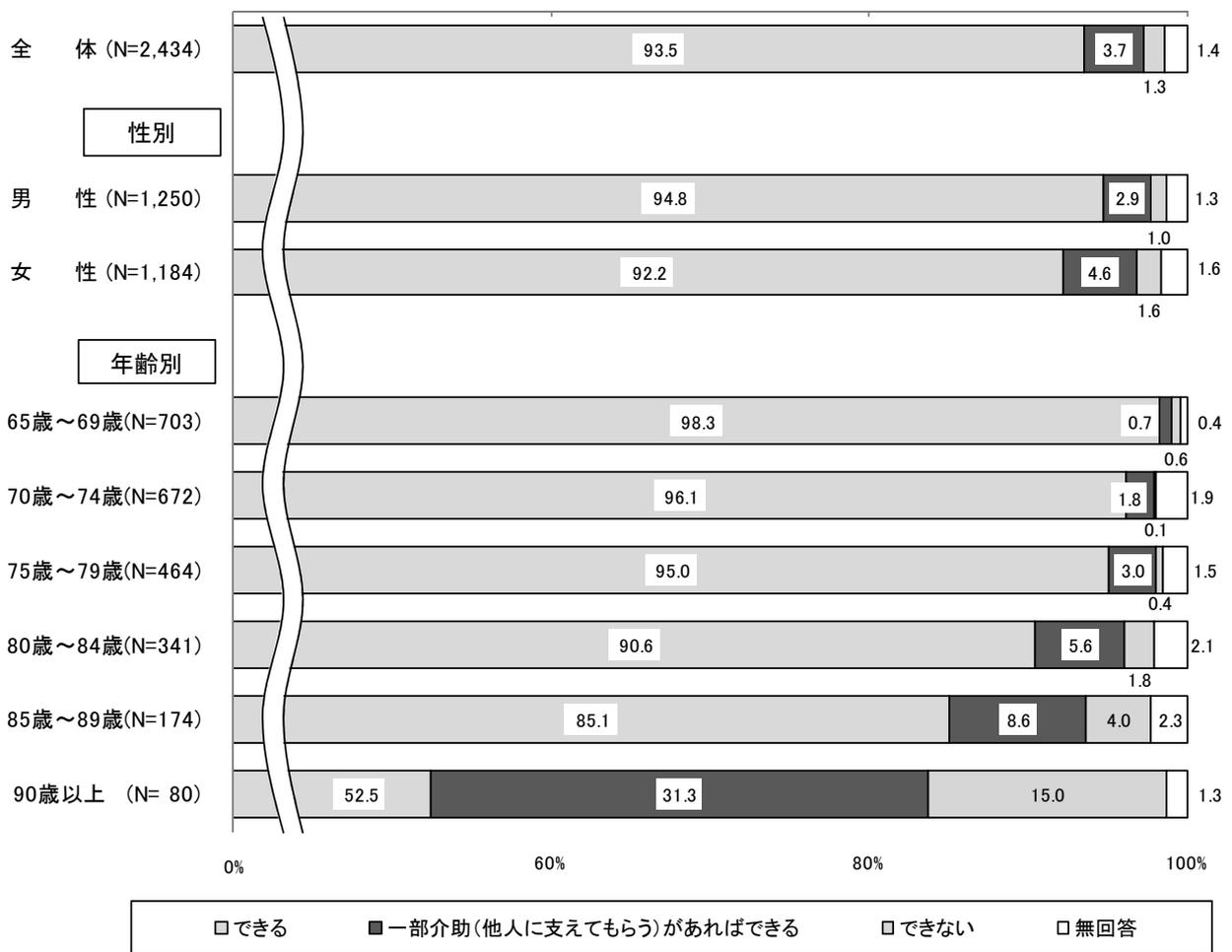
問 6 Q 7. 自分で入浴ができますか。

自分で入浴ができるかきいたところ、「できる」が 93.5%、「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 3.7%、「できない」が 1.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少ない傾向にあり、「90 歳以上」は「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が 31.3%、「できない」が 15.0%となっている。

図表 6-9 自分で入浴できるか



(10) 自分で着替えができるか

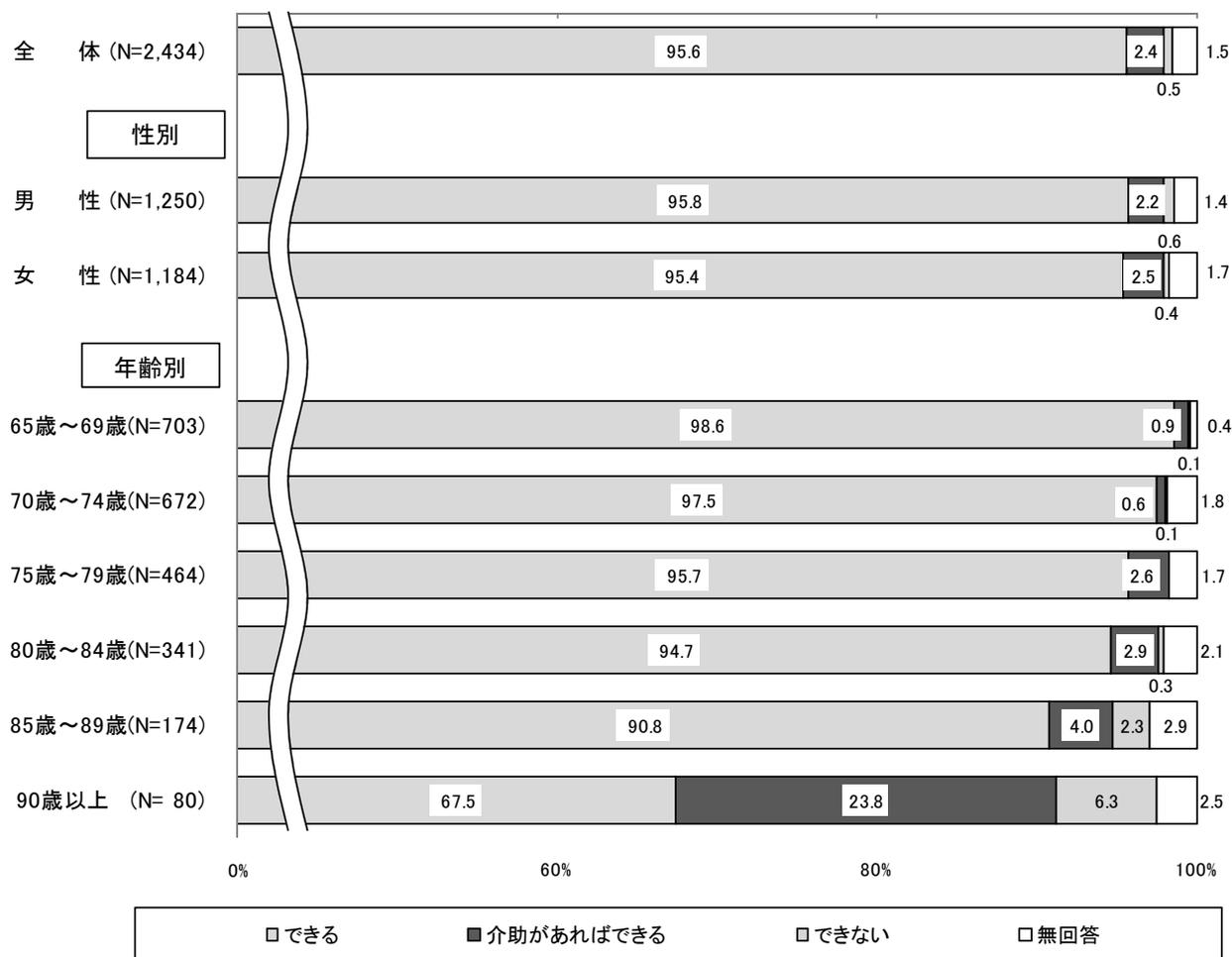
問6 Q8. 自分で着替えができますか。

自分で着替えができるかきいたところ、「できる」が95.6%、「介助があればできる」が2.4%、「できない」が0.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど、「できる」が少ない傾向にあり、「90歳以上」は「介助があればできる」が23.8%、「できない」が6.3%となっている。

図表 6-10 自分で着替えができるか



(11) 家庭における役割

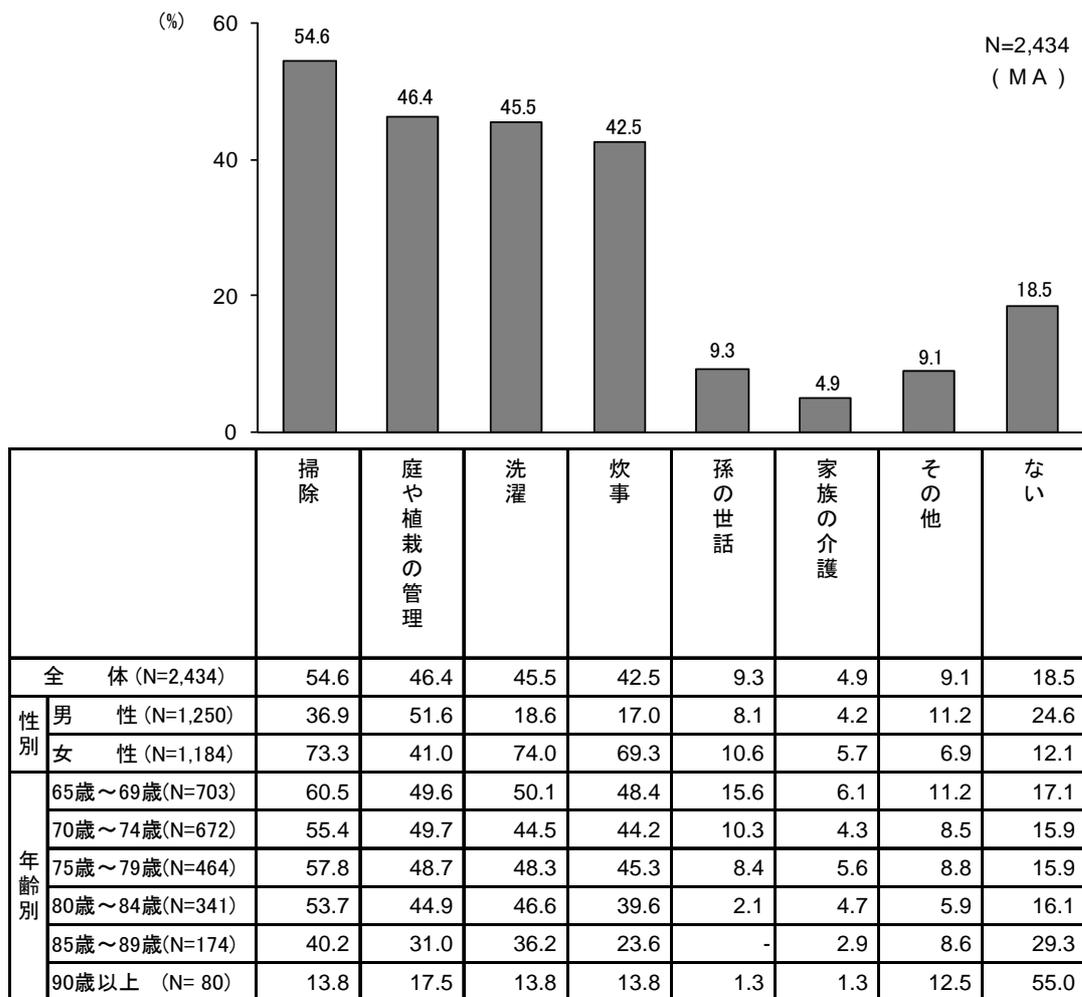
問6 Q9. 家庭内で何か役割はありますか。(いくつでも)

家庭内で何か役割があるかきいたところ、役割が「ある」とした人が 81.5%、「ない」が 18.5%となっている。役割があるとした人の内訳をみると、「掃除」が 54.6%と最も多く、次いで「庭や植栽の管理」が 46.4%、「洗濯」が 45.5%、「炊事」が 42.5%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「庭や植栽の管理」が多く、女性は男性に比べて「洗濯」、「掃除」、「炊事」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど家庭内で役割を持つ人が多くなっているが、役割が「ない」とする人は、「85～89歳」で 29.3%、「90歳以上」で 55.0%となっている。

図表 6-11 家庭における役割



## 7 社会参加について

### (1) 新聞や本、雑誌を読んでいるか

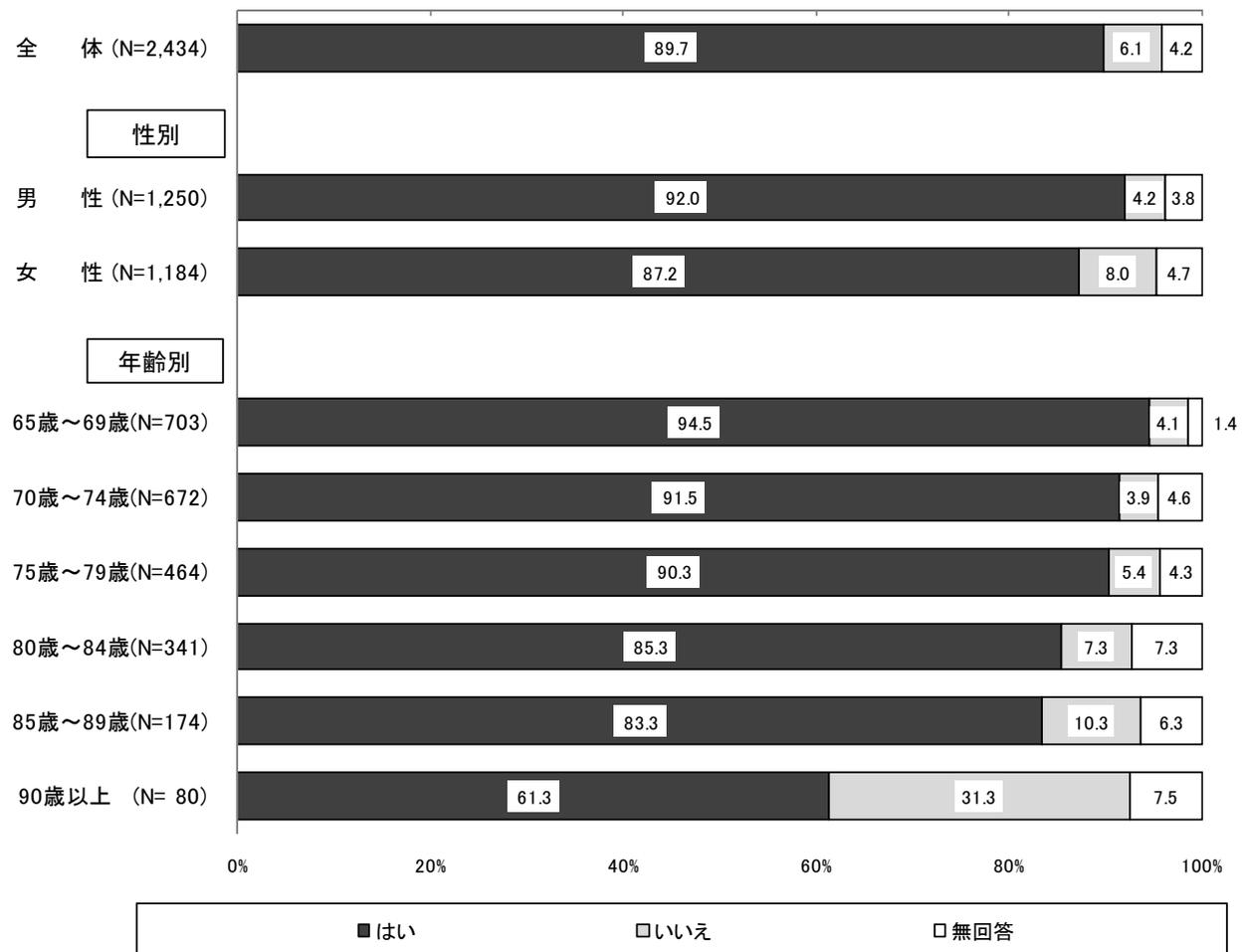
問 7 Q 1. 新聞や本、雑誌を読んでいますか

新聞や本、雑誌を読んでいるかきいたところ、「はい（読んでいる）」が 89.7%、「いいえ（読んでいない）」が 6.1%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（読んでいる）」が 92.0%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（読んでいる）」が少なく、「65～69 歳」は 94.5%と高い一方、「85～89 歳」で 83.3%、「90 歳以上」で 61.3%となっている。

図表 7-1 新聞や本、雑誌を読んでいるか



(2) 友人の家を訪ねているか

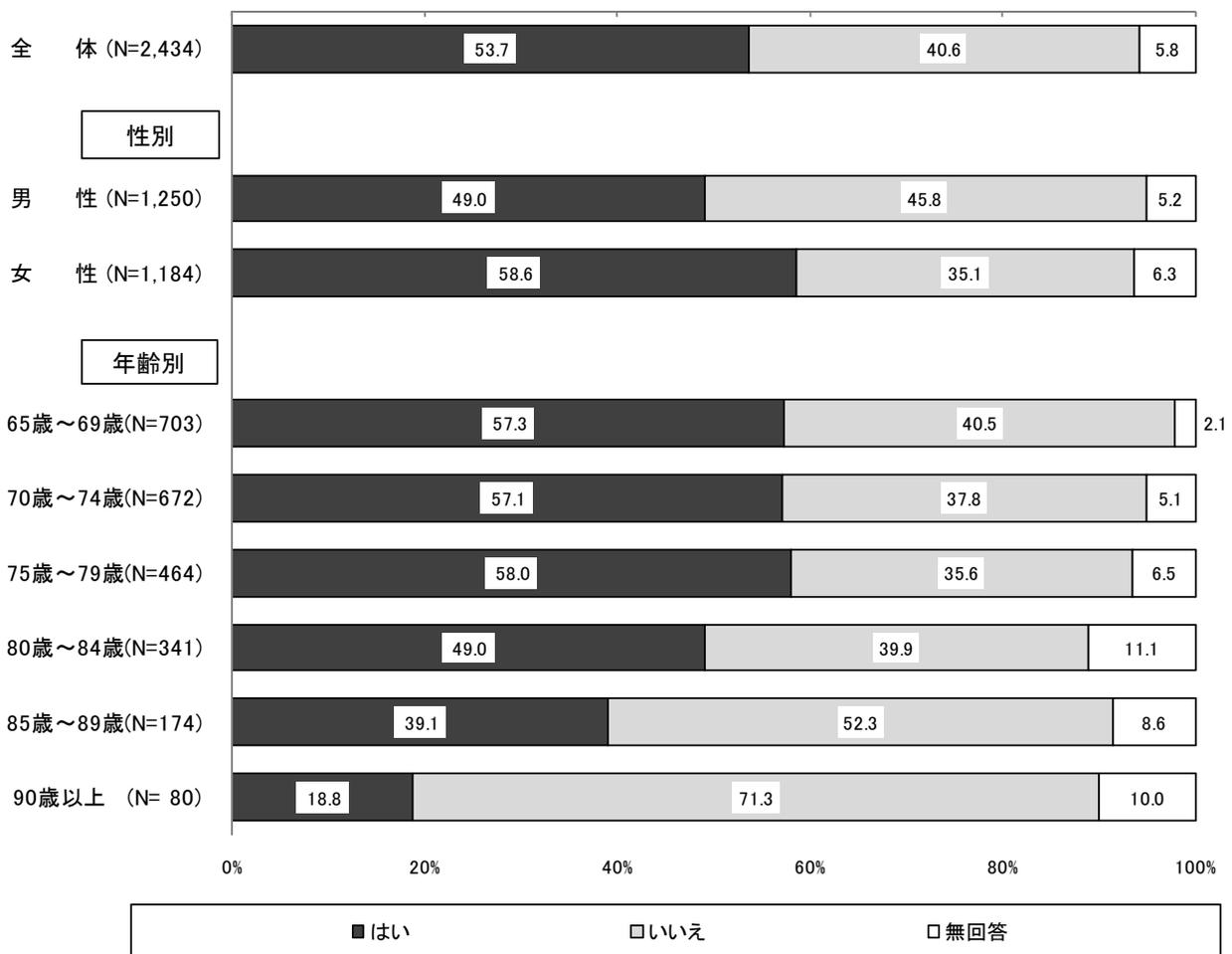
問7 Q2. 友人の家を訪ねていますか。

友人の家を訪ねているかきいたところ、「はい（訪ねている）」が 53.7%、「いいえ（訪ねていない）」が 40.6%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（訪ねている）」が 58.6%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（訪ねている）」が少ない傾向にあり、「85～89歳」で 39.1%、「90歳以上」で 18.8%となっている。

図表 7-2 友人の家を訪ねているか



### (3) 家族や友人の相談にのっているか

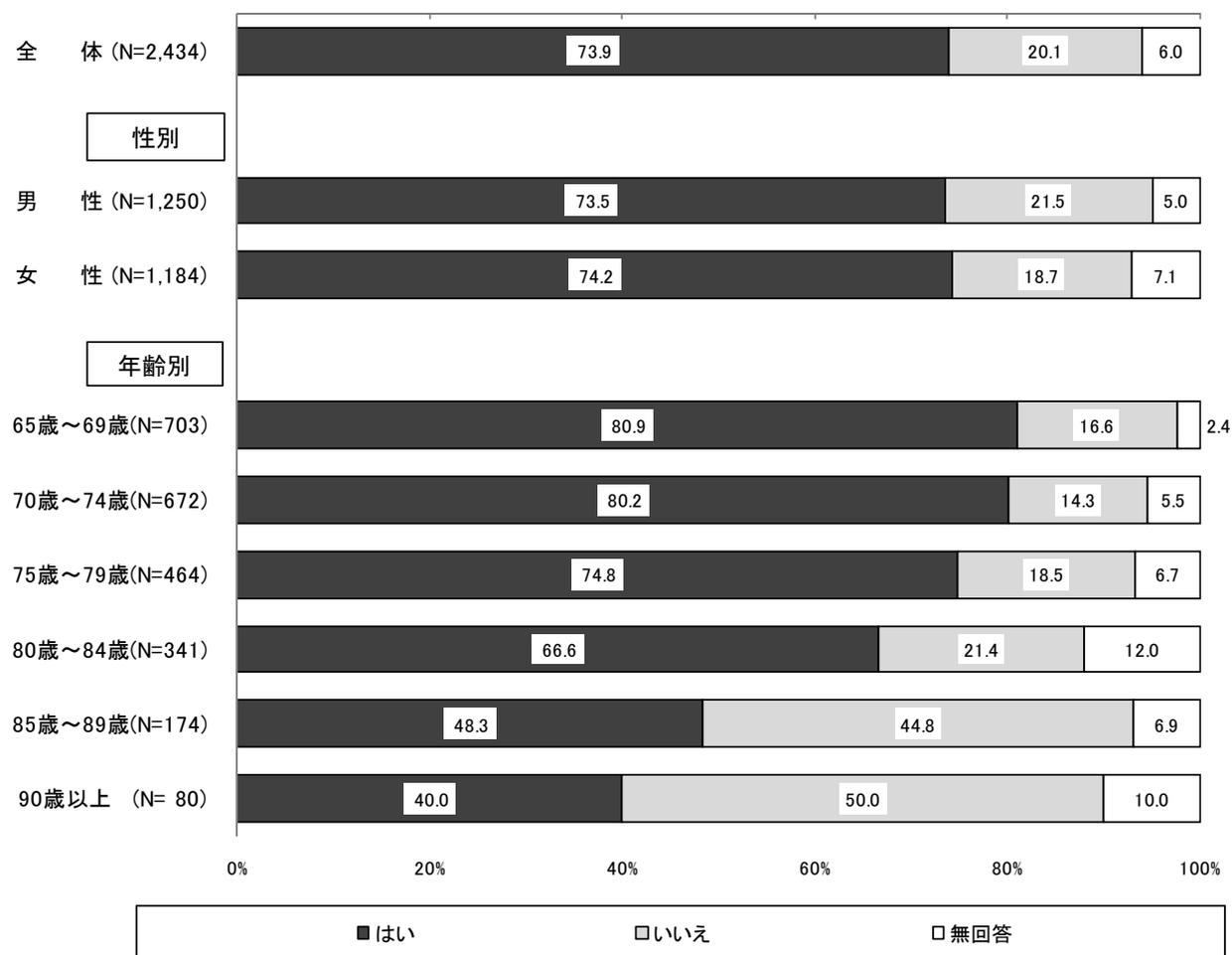
問7 Q3. 家族や友人の相談にのっていますか。

家族や友人の相談にのっているかきいたところ、「はい (のっている)」が73.9%、「いいえ (のっていない)」が20.1%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい (のっている)」が少なくなっており、「85～89歳」で48.3%、「90歳以上」で40.0%となっている。

図表 7-3 家族や友人の相談にのっているか



#### (4) 趣味や生きがいはあるか

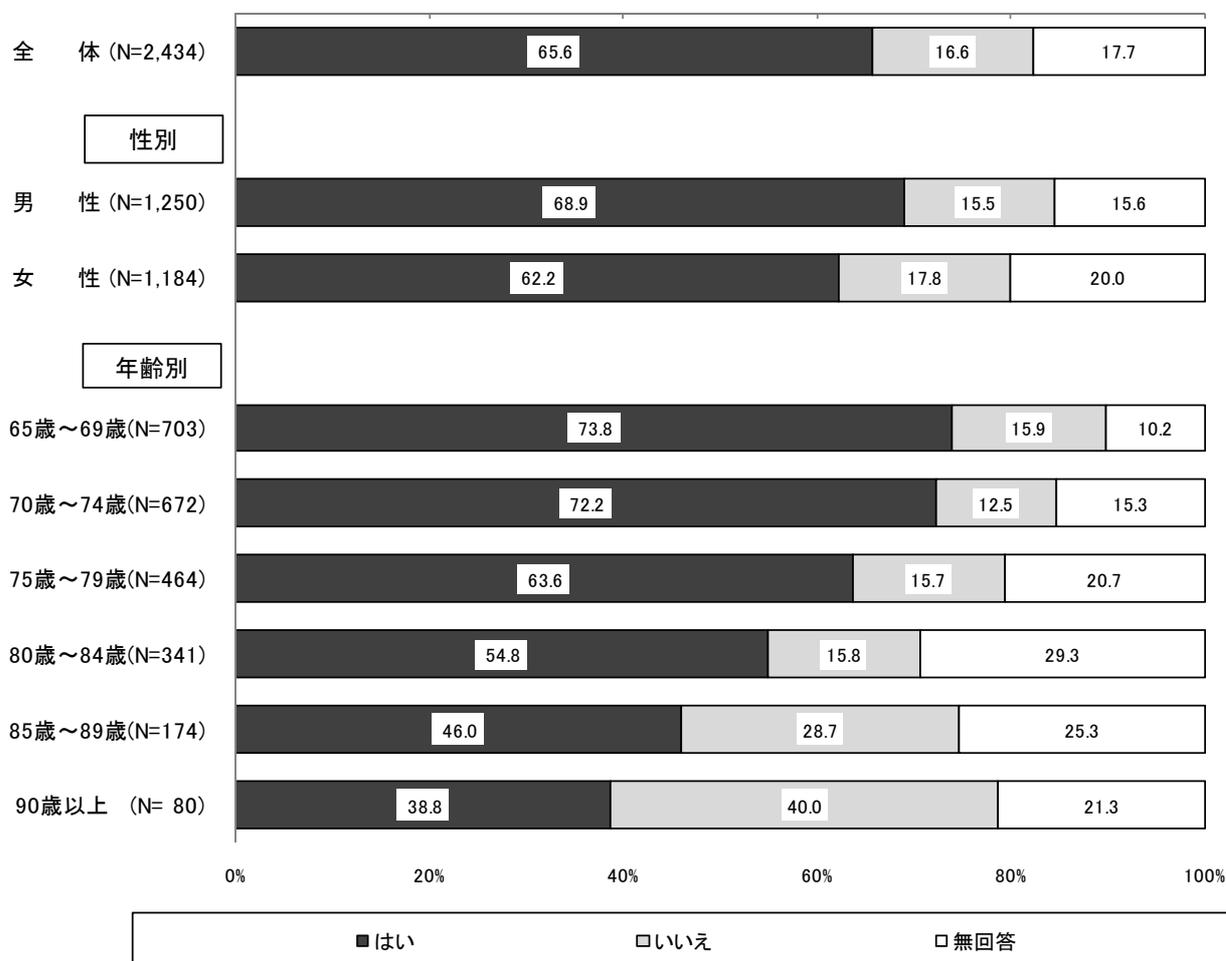
問7 Q4. 趣味や生きがいはありますか。

趣味や生きがいはあるかきいたところ、「はい（ある）」が65.6%、「いいえ（ない）」が16.6%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（ある）」が68.9%と女性の62.2%に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（ある）」が少なくなっており、「85～89歳」で46.0%、「90歳以上」で38.8%となっている。

図表 7-4 趣味や生きがいはあるか



## (5) 趣味や生きがい活動の参加頻度

問7Q5. 以下のような趣味や生きがい活動にどのくらいの頻度で参加（又は外出）していますか。

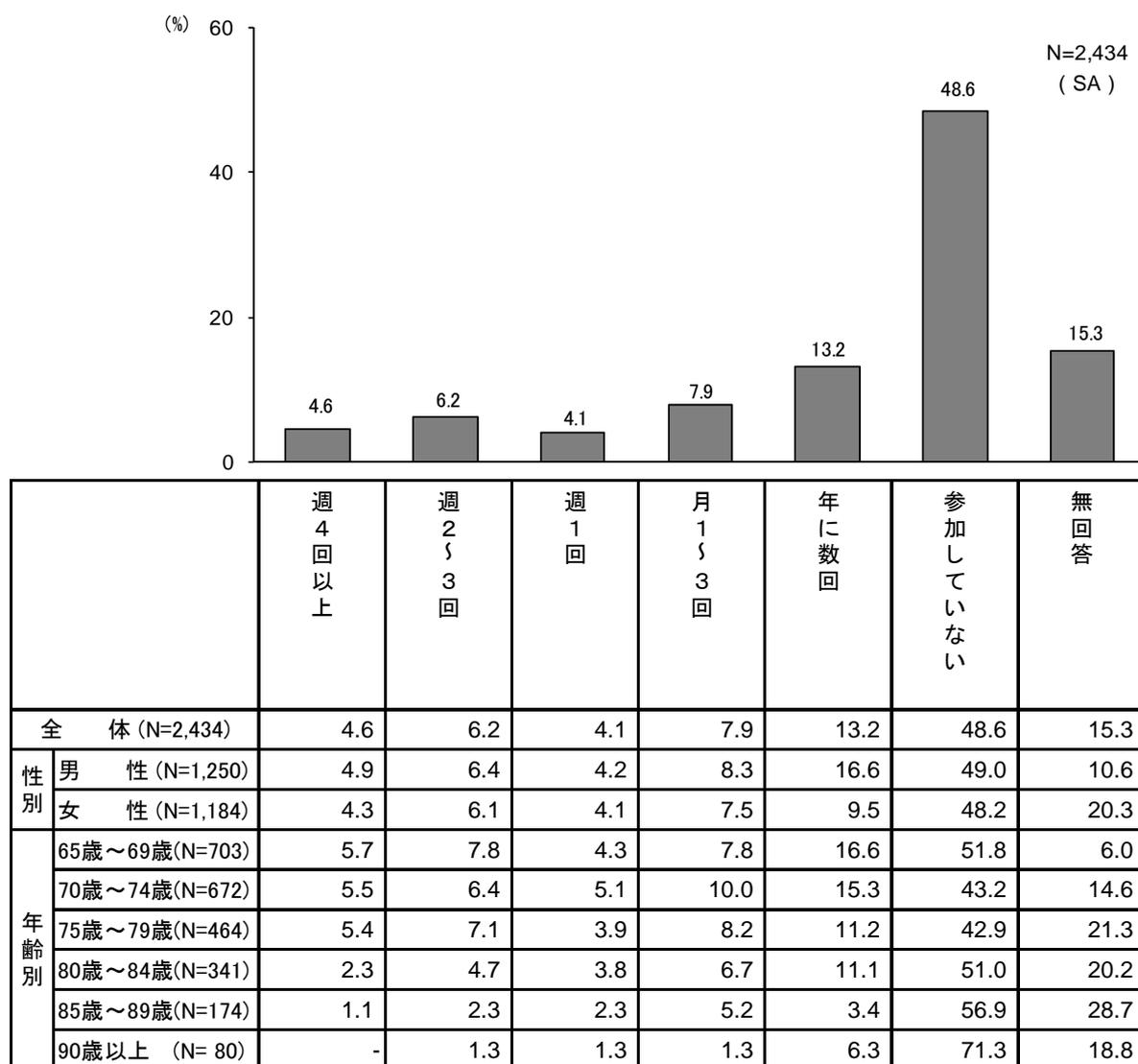
### ① ボランティア活動

趣味や生きがい活動にどのくらいの頻度で参加（又は外出）しているかみていく。まず、ボランティア活動への参加頻度をみると、「週4回以上」が4.6%、「週2～3回」が6.2%、「週1回」が4.1%、「月1～3回」が7.9%、「年に数回」が13.2%、「参加していない」が48.6%となっている。

男女別にみると、「月1回以上」の割合で大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が低いほど参加頻度が高い傾向にあり、「月1回以上」参加している人は「65～79歳」で25%前後となっている。

図表 7-5 参加頻度（ボランティア活動）



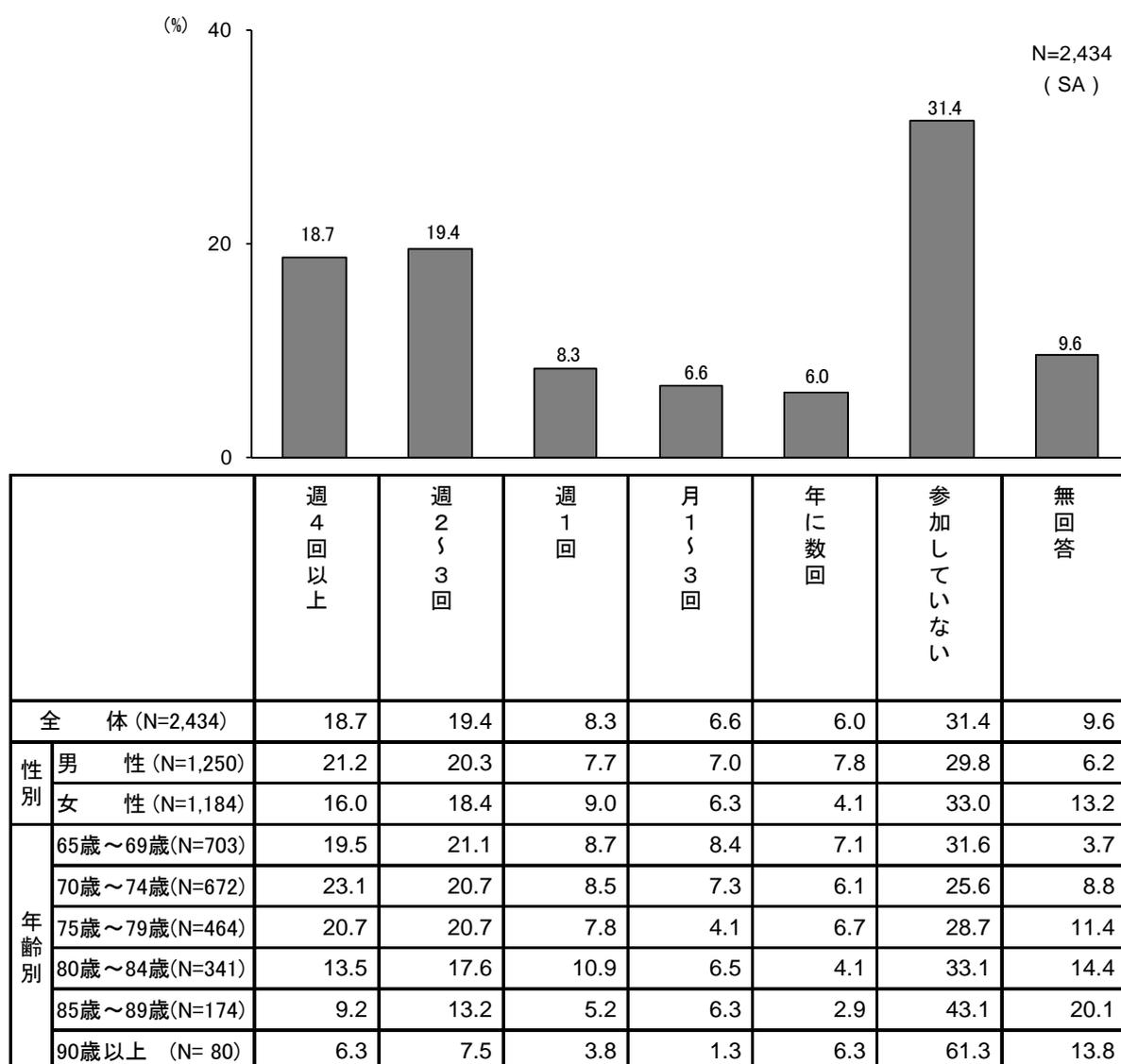
## ②スポーツなど健康保持や体力づくりのための活動（散歩なども含む）

スポーツなど健康保持や体力づくりのための活動（散歩なども含む）の参加頻度についてみると、「週4回以上」が18.7%、「週2～3回」が19.4%、「週1回」が8.3%、「月1～3回」が6.6%、「年に数回」が6.0%、「参加していない」が31.4%となっている。

男女別にみると、「月1回以上」運動している人は男性の方が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「参加していない」が多い傾向にあり、「85～89歳」で43.1%、「90歳以上」で61.3%となっている。

図表 7-6 参加頻度（スポーツなど健康保持や体力づくりのための活動）



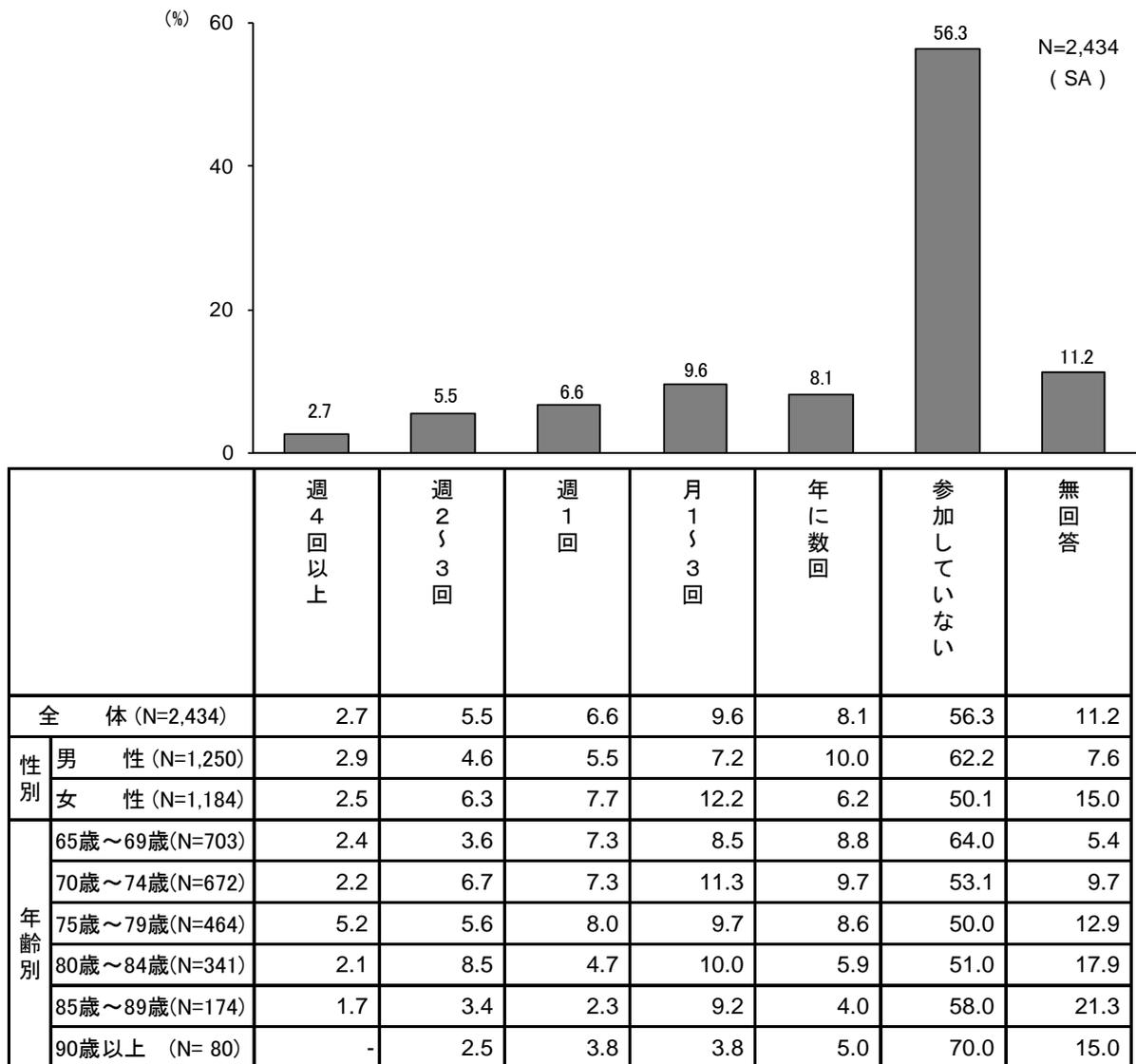
③学習・教養サークル（習い事）など趣味や生きがいのための活動

学習・教養サークル（習い事）など趣味や生きがいのための活動の参加頻度についてみると、「週4回以上」が2.7%、「週2～3回」が5.5%、「週1回」が6.6%、「月1～3回」が9.6%、「年に数回」が8.1%、「参加していない」が56.3%となっている。

男女別にみると、男性は「参加していない」が62.2%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「月1回以上」参加している人は「70～79歳」で約3割となっている。

図表 7-7 参加頻度（学習・教養サークル）



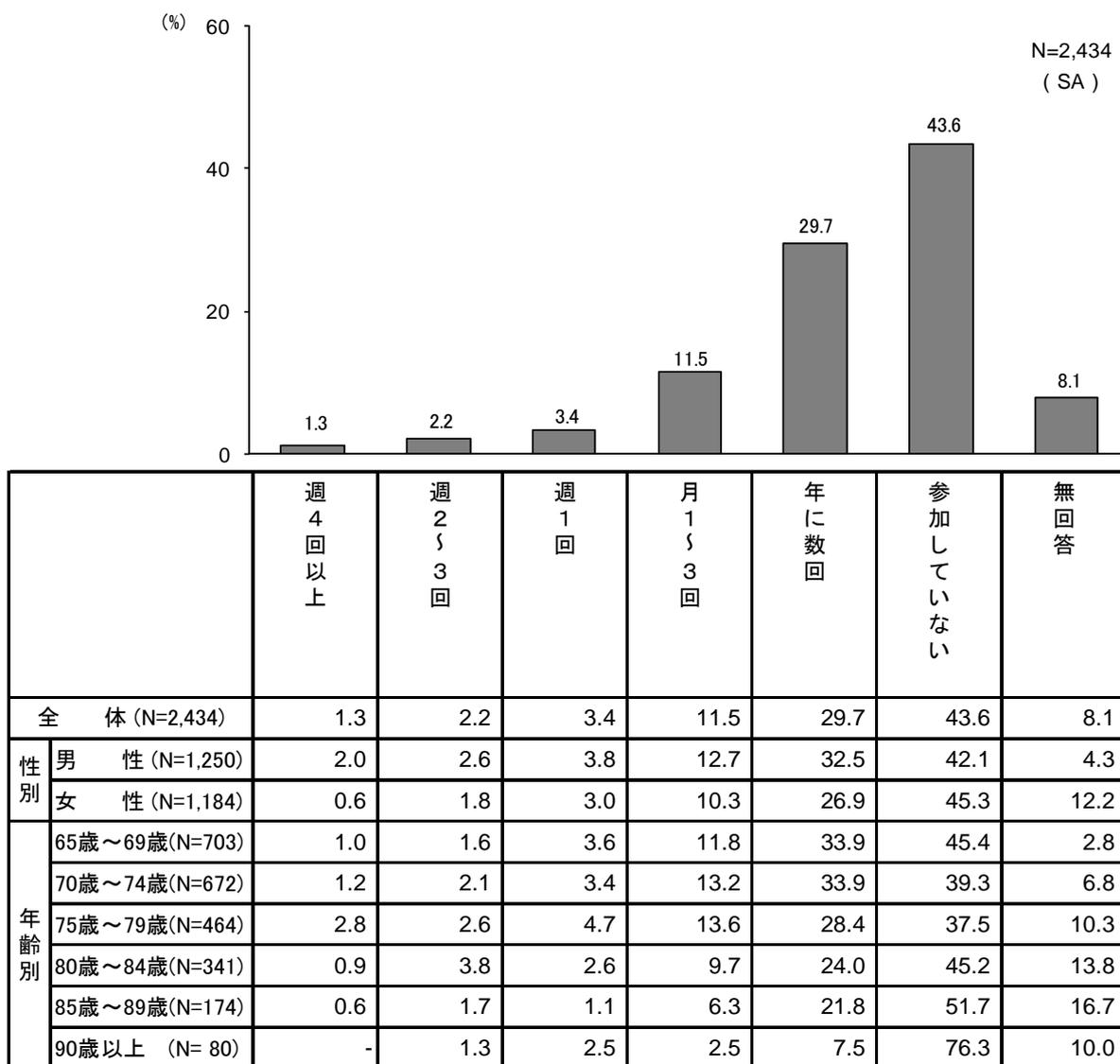
#### ④自治会・町内会・老人クラブなどの活動

自治会・町内会・老人クラブなどの活動の参加頻度についてみると、「週4回以上」が1.3%、「週2～3回」が2.2%、「週1回」が3.4%、「月1～3回」が11.5%、「年に数回」が29.7%、「参加していない」が43.6%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「85～89歳」で51.7%、「90歳以上」で76.3%と多くなっている。

図表 7-8 参加頻度（自治会・町内会・老人クラブなどの活動）



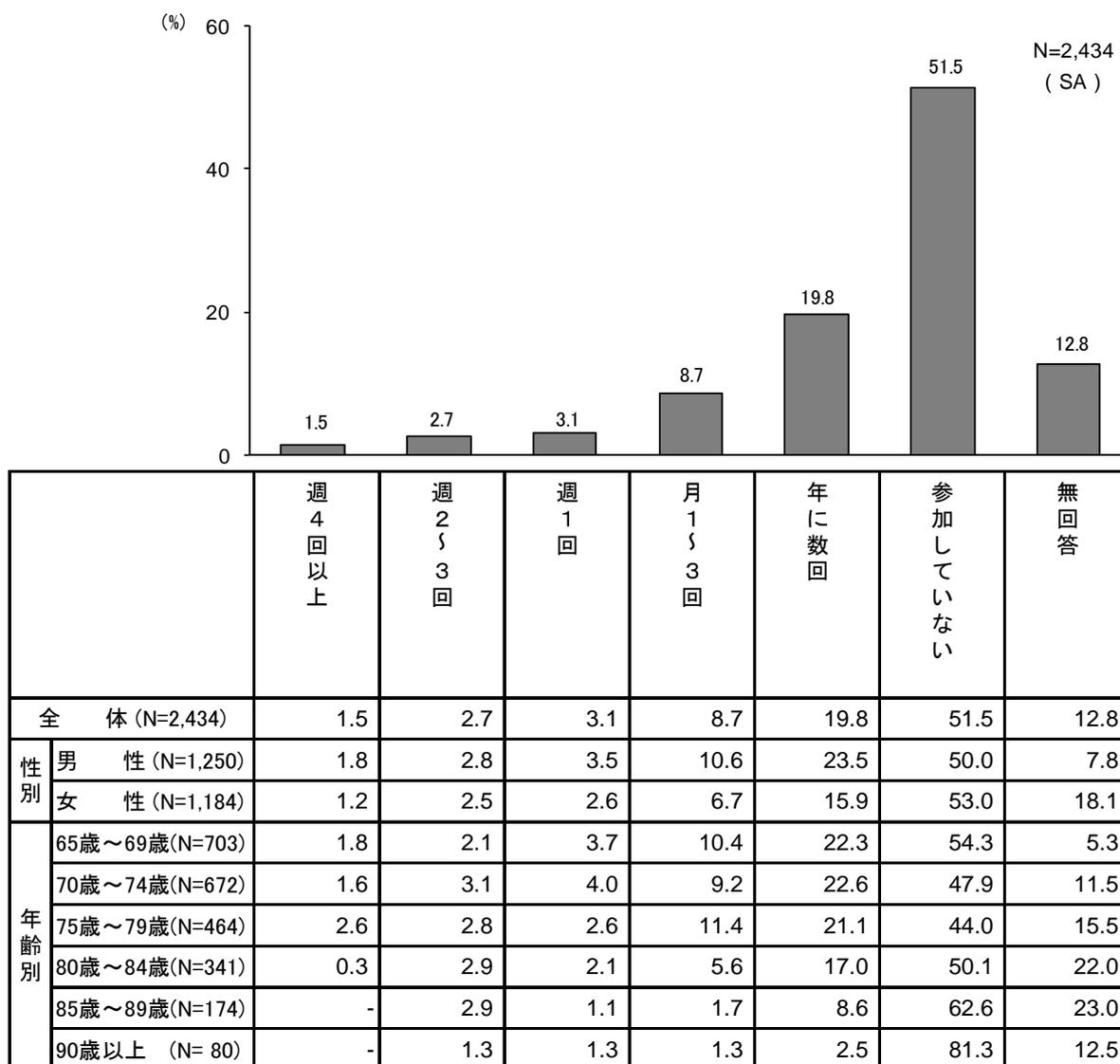
### ⑤その他の団体や会

その他の団体や会の参加頻度についてみると、「週4回以上」が1.5%、「週2～3回」が2.7%、「週1回」が3.1%、「月1～3回」が8.7%、「年に数回」が19.8%、「参加していない」が51.5%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「85～89歳」で62.6%、「90歳以上」で81.3%と多くなっている。

図表 7-9 参加頻度（その他の団体や会）



## (6) 社会参加活動や仕事の参加頻度

問7Q6. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。

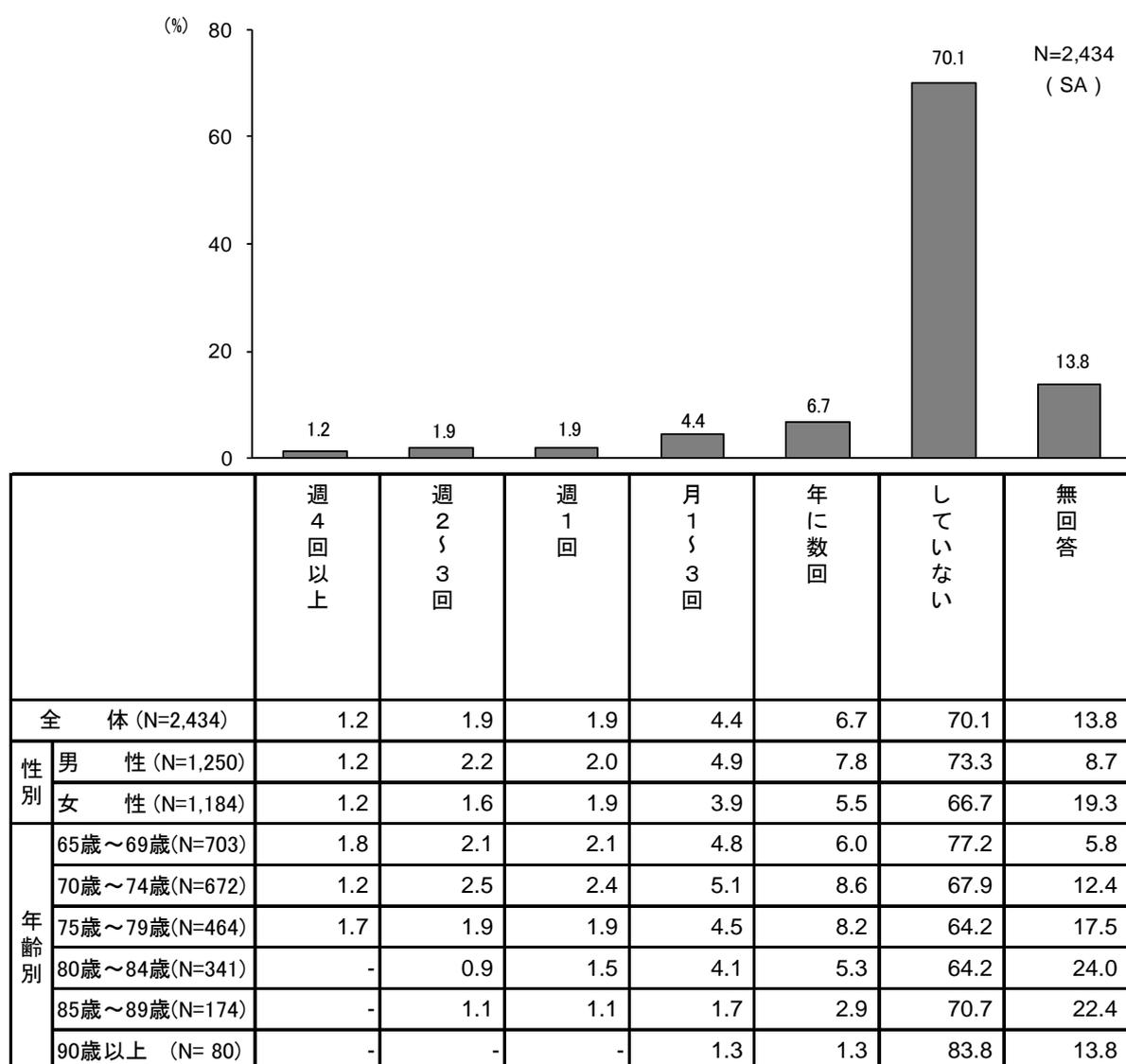
### ①見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動

社会参加活動や仕事にどのくらいの頻度で参加しているかみていく。まず、見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の参加頻度についてみると、「週4回以上」が1.2%、「週2～3回」が1.9%、「週1回」が1.9%、「月1～3回」が4.4%、「年に数回」が6.7%、「参加していない」が70.1%となっている。

男女別にみると、男性は「参加していない」が73.3%と女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「65～69歳」で77.2%、「90歳以上」で83.8%と多くなっている。

図表 7-10 参加頻度（高齢者を支援する活動）



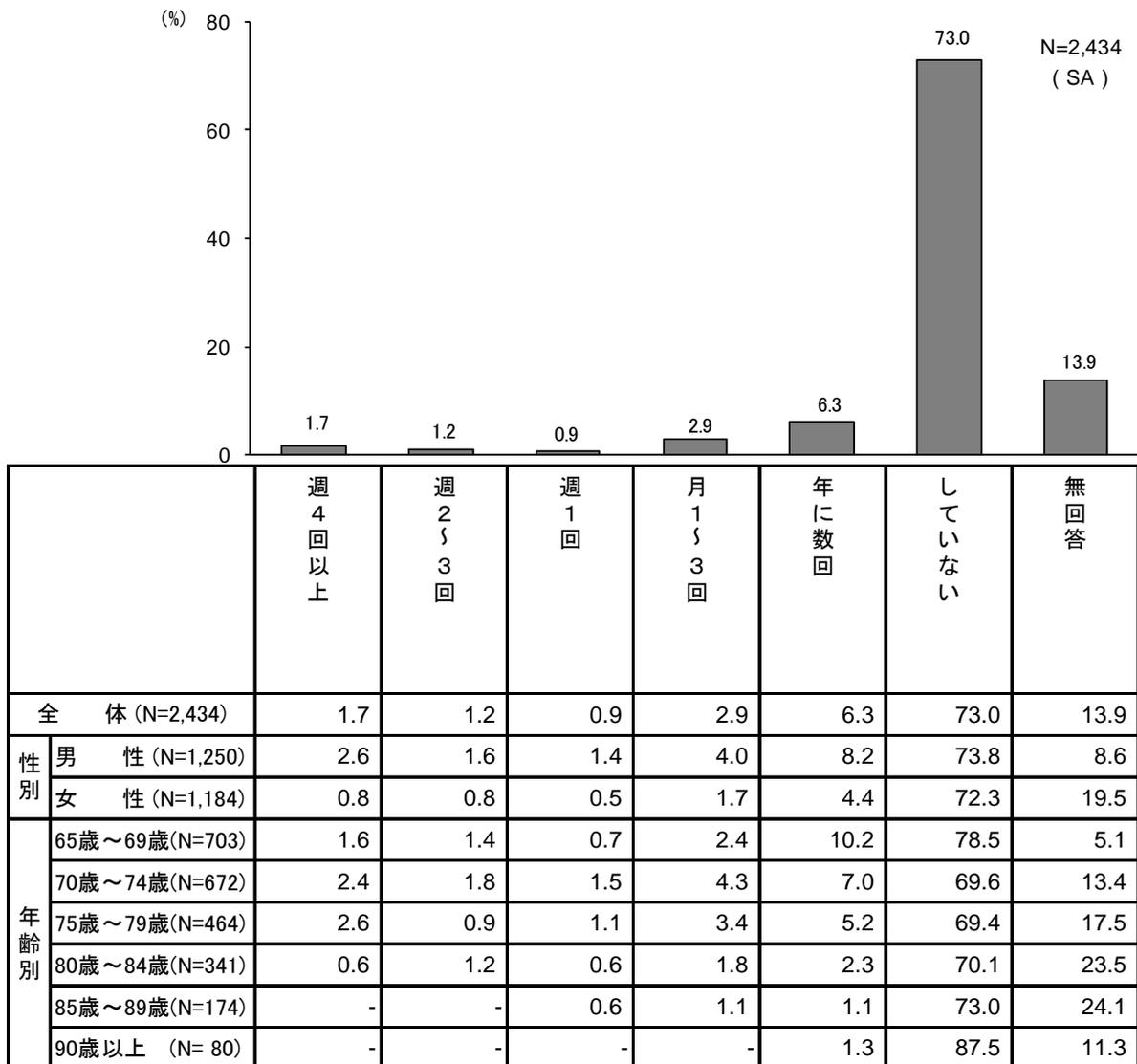
## ②子育て中の親を支援する活動

子育て中の親を支援する活動の参加頻度についてみると、「週4回以上」が1.7%、「週2～3回」が1.2%、「週1回」が0.9%、「月1～3回」が2.9%、「年に数回」が6.3%、「参加していない」が73.0%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、「参加していない」人は「85～89歳」で73.0%、「90歳以上」で87.5%と多くなっている。

図表 7-11 参加頻度（子育て中の親を支援する活動）



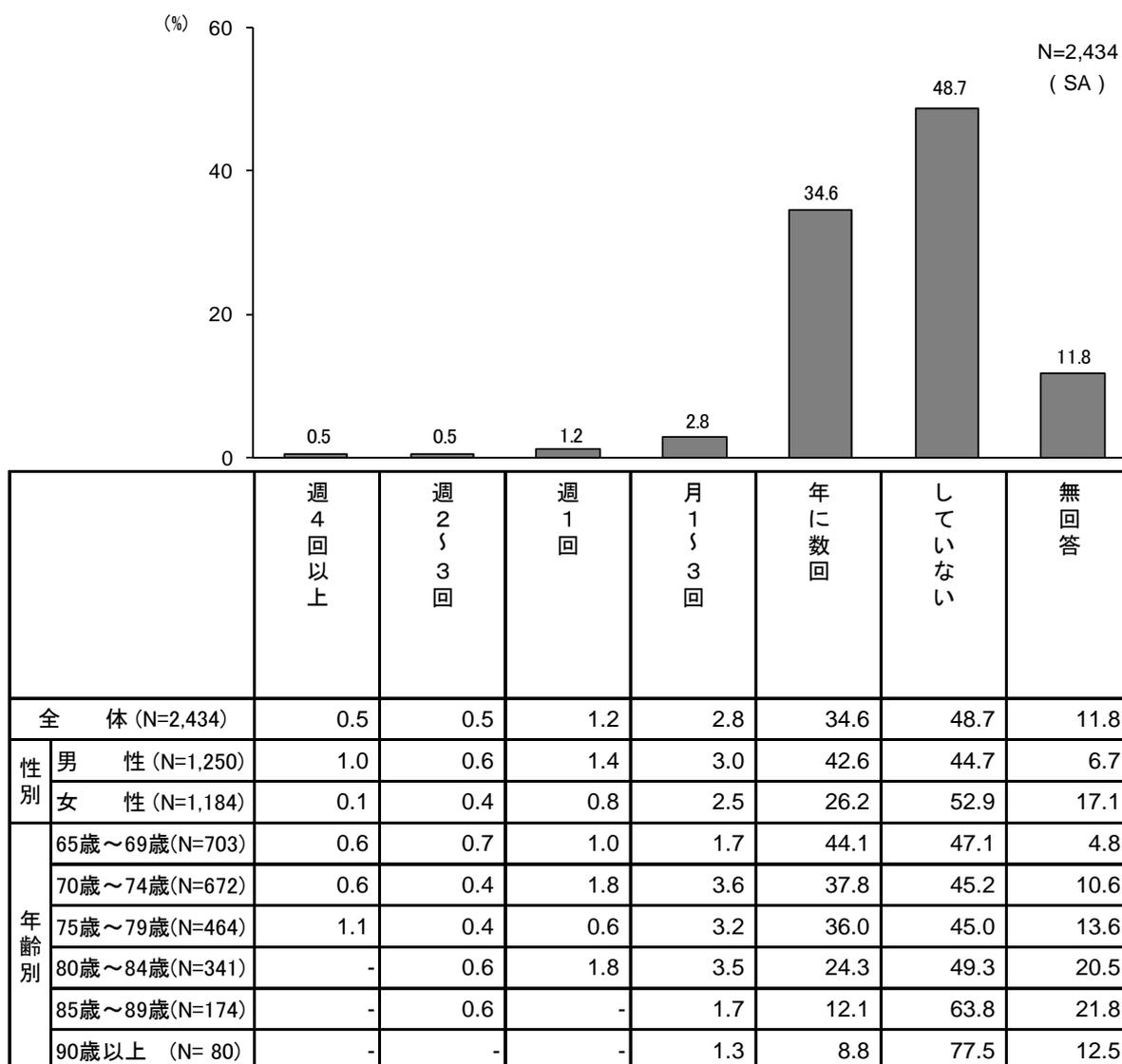
### ③地域の生活環境の改善(美化)活動

地域の環境美化活動の参加頻度についてみると、「週4回以上」が0.5%、「週2～3回」が0.5%、「週1回」が1.2%、「月1～3回」が2.8%、「年に数回」が34.6%、「参加していない」が48.7%となっている。

男女別にみると、男性の方が参加している人が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど参加している人が多くなっている。

図表 7-12 趣味や生きがい活動の参加頻度（地域の環境美化活動）



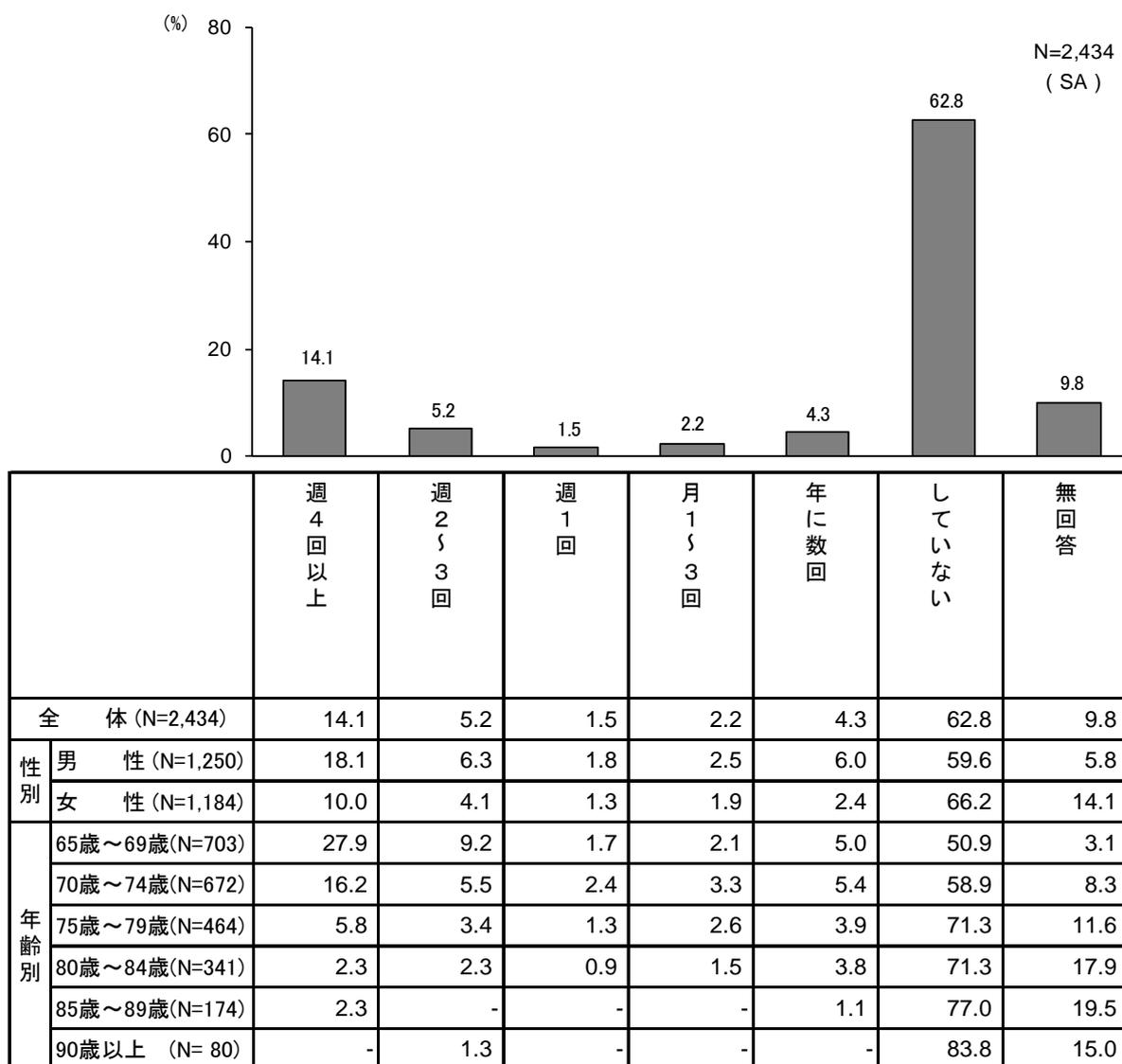
#### ④収入のある仕事

収入のある仕事の従事頻度についてみると、「週4回以上」が14.1%、「週2～3回」が5.2%、「週1回」が1.5%、「月1～3回」が2.2%、「年に数回」が4.3%、「参加していない」が62.8%となっている。

男女別にみると、男性は「週4回以上」が18.1%など、従事している人が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど従事頻度が高く、「週4回以上」従事している人は、「65～69歳」で27.9%、「70～74歳」で16.2%と多くなっている。

図表 7-13 趣味や生きがい活動の参加頻度（収入のある仕事）



(7)まわりの人の「たすけあい」について

①心配事や愚痴を聞いてくれる人

問7 Q7. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお尋ねします。

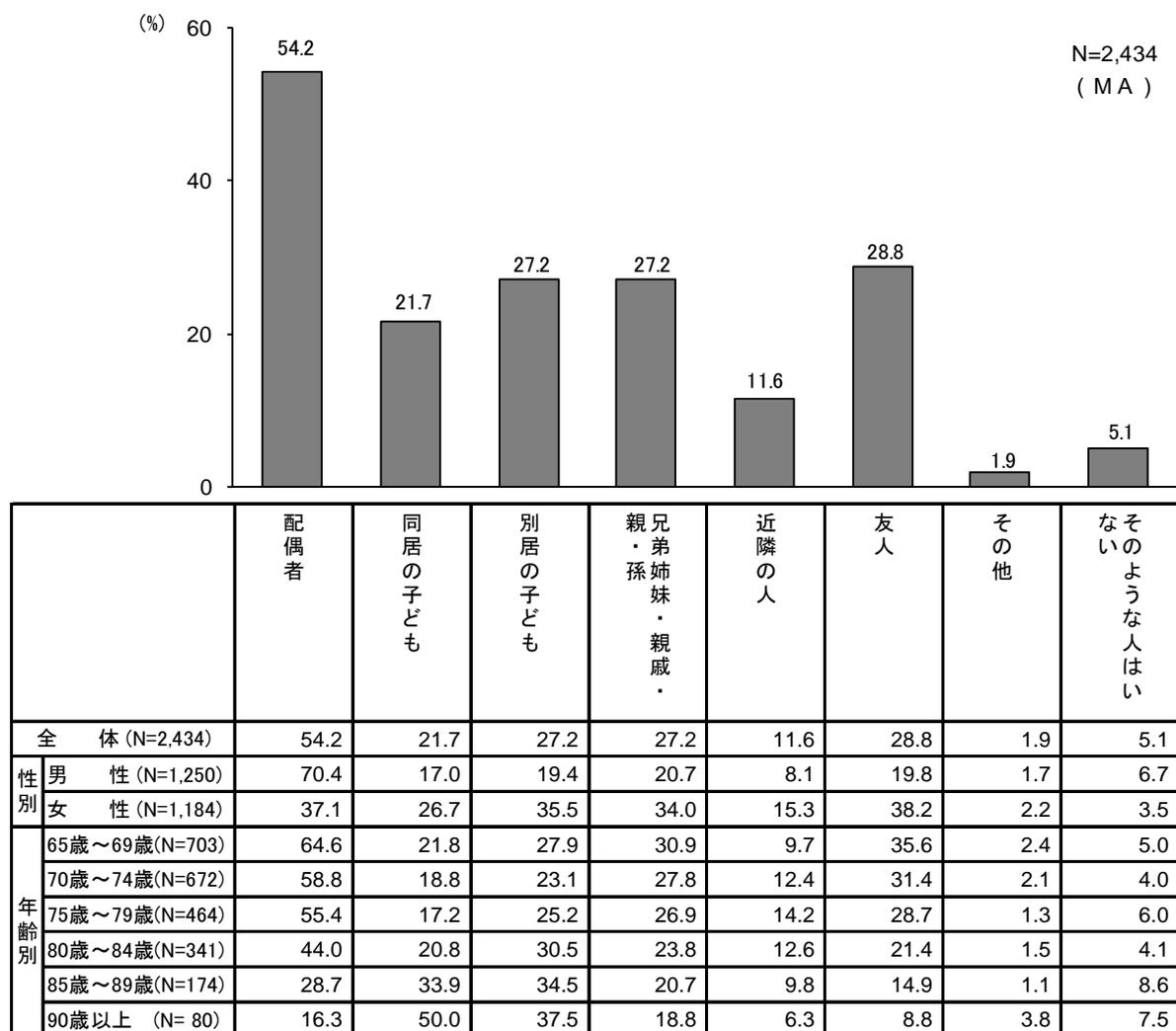
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてきいたところ、「配偶者」が54.2%と最も多く、次いで「友人」が28.8%、「別居の子ども」と「兄弟姉妹・親戚・親・孫」がそれぞれ27.2%、「同居の子ども」が21.7%などとなっており、「そのような人はいない」は5.1%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が70.4%と女性に比べて際立って多く、女性は「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」などが男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」、「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、年代が高いほど「別居の子ども」、「同居の子ども」が多い傾向にある。

図表 7-14 心配事や愚痴を聞いてくれる人



②看病や世話をしてくれる人

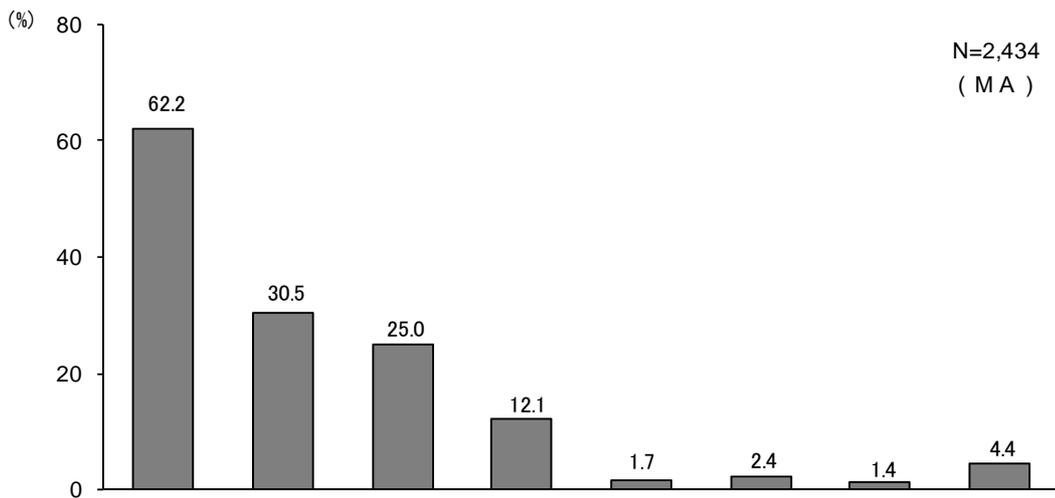
(2) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

看病や世話をしてくれる人についてきいたところ、「配偶者」が62.2%と最も多く、次いで「同居の子ども」が30.5%、「別居の子ども」が25.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」12.1%などとなっており、「そのような人はいない」は4.4%となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が80.2%と女性に比べて際立って多く、女性は「同居の子ども」、「別居の子ども」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「配偶者」が多く、年代が高いほど「同居の子ども」、「別居の子ども」が多い傾向にある。

図表 7-15 看病や世話をしてくれる人



		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の人	友人	その他	ない/そのような人はいない
全 体 (N=2,434)		62.2	30.5	25.0	12.1	1.7	2.4	1.4	4.4
性別	男 性 (N=1,250)	80.2	24.6	17.4	10.1	0.8	1.4	1.1	4.0
	女 性 (N=1,184)	43.2	36.7	33.0	14.3	2.6	3.5	1.8	4.9
年齢別	65歳～69歳(N=703)	74.1	28.4	21.9	12.7	0.7	2.4	0.9	4.7
	70歳～74歳(N=672)	69.5	24.7	23.4	14.0	2.4	3.4	1.3	3.6
	75歳～79歳(N=464)	61.4	28.4	24.6	11.2	2.4	2.2	1.9	5.0
	80歳～84歳(N=341)	50.4	31.7	31.4	11.1	2.3	1.8	0.6	3.8
	85歳～89歳(N=174)	31.0	51.1	28.7	9.2	-	1.7	2.3	6.9
	90歳以上 (N= 80)	18.8	58.8	32.5	7.5	1.3	-	6.3	3.8

(8) 家族や友人・知人以外の相談相手

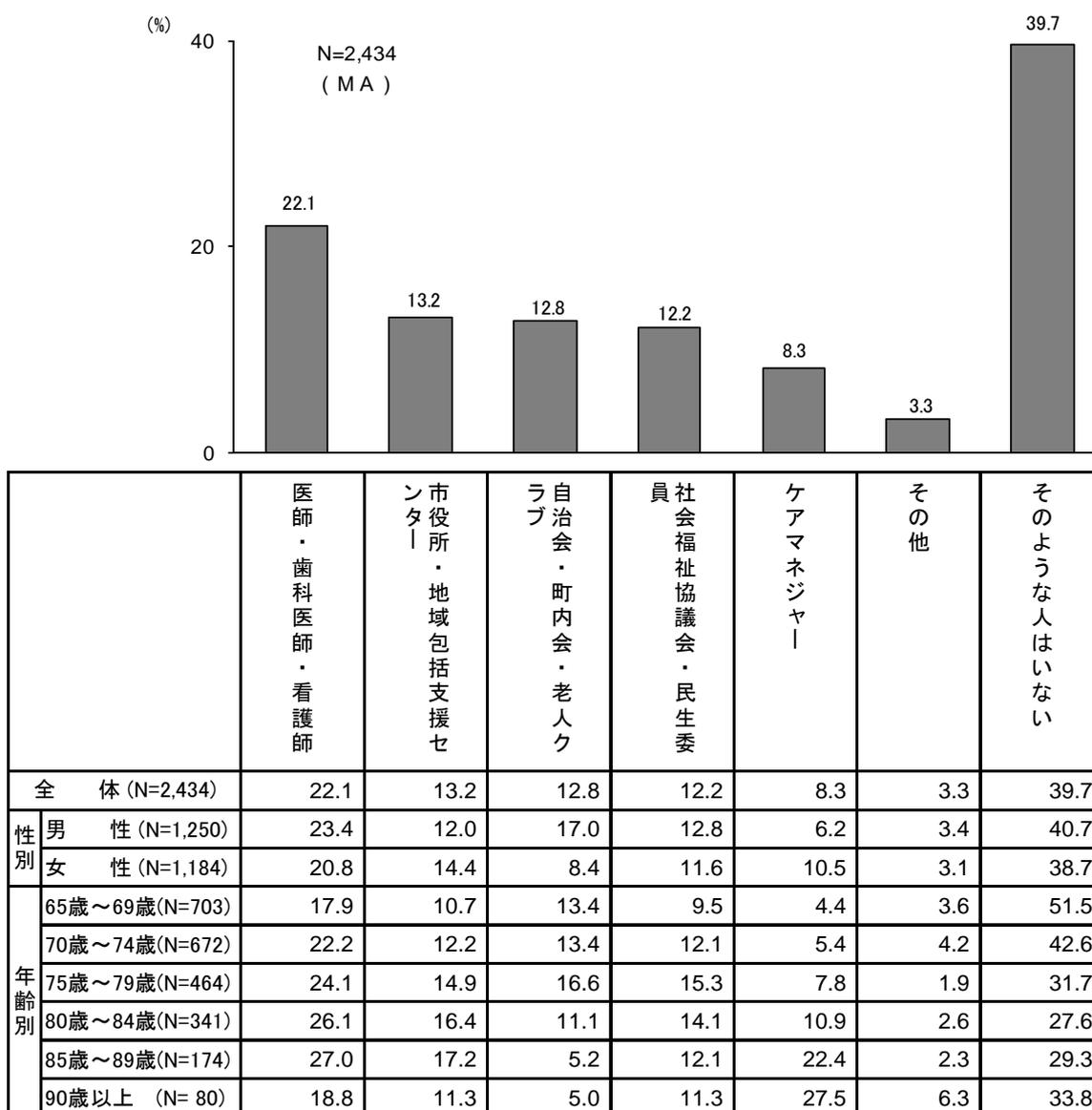
問7Q8. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてきいたところ、「医師・歯科医師・看護師」が22.1%と多く、「市役所・地域包括支援センター」が13.2%、「自治会・町内会・老人クラブ」が12.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が12.2%などとなっており、「そのような人はいない」は39.7%となっている。

男女別にみると、男性は「自治会・町内会・老人クラブ」が女性に比べて多く、女性は「ケアマネジャー」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」で、「そのような人はいない」が51.5%と多くなっている。

図表 7-16 家族や友人・知人以外の相談相手



(9) 友人関係

①友人・知人と会う頻度

問7Q9. 友人関係についてお尋ねします。

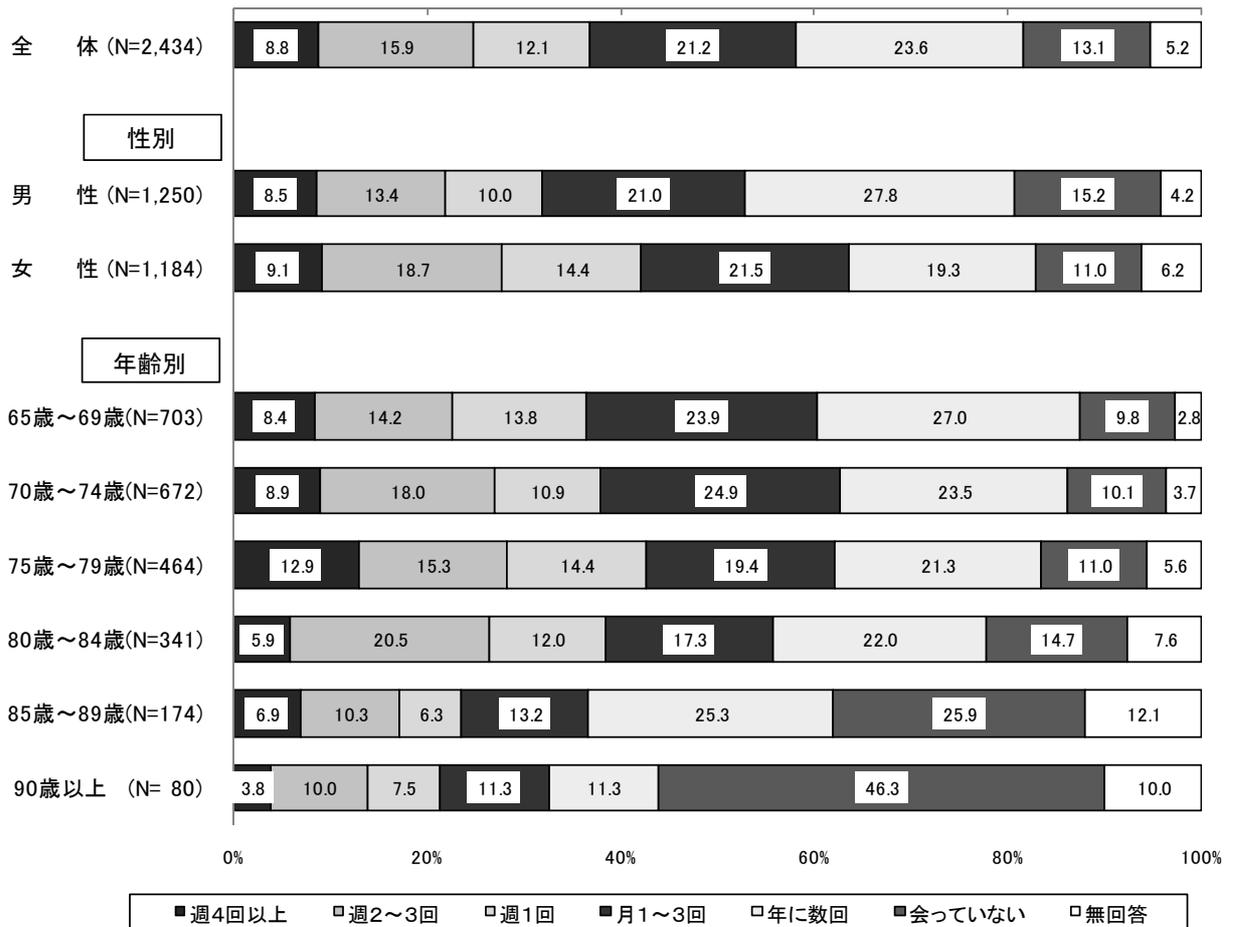
(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

友人・知人と会う頻度についてきいたところ、「週4回以上」が8.8%、「週2~3回」が15.9%、「週1回」が12.1%、「月1~3回」が21.2%、「年に数回」が23.6%、「会っていない」が13.1%となっている。

男女別にみると、女性の方が友人・知人と会う頻度が多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど友人・知人と会う頻度が少なく、「会っていない」人は「85~89歳」で25.9%、「90歳以上」で46.3%と多くなっている。

図表 7-17 友人・知人と会う頻度



## ②よく会う友人・知人の関係

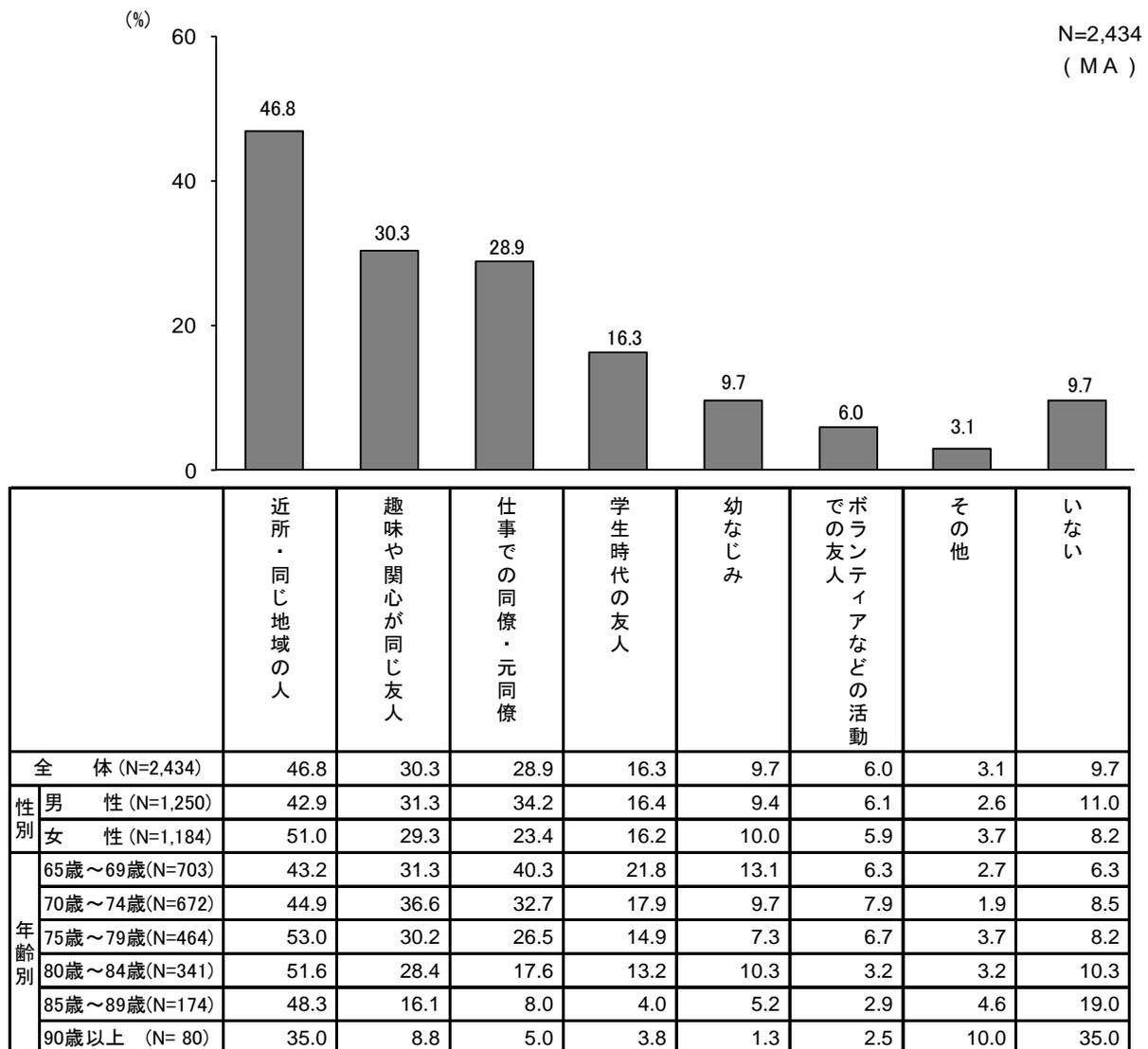
(2) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

よく会う友人・知人の関係についてきいたところ、「近所・同じ地域の人」が46.8%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が30.3%、「仕事での同僚・元同僚」が28.9%、「学生時代の友人」が16.3%などとなっており、「いない」は9.7%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「仕事での同僚・元同僚」が多く、女性は「近所・同じ地域の人」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」、「学生時代の友人」が多い傾向にある。一方、年代が高いほど「いない」が多く、「85～89歳」で19.0%、「90歳以上」で35.0%となっている。

図表 7-18 よく会う友人・知人の関係



## 8 健康について

### (1) 健康づくりや介護予防のためにしていること

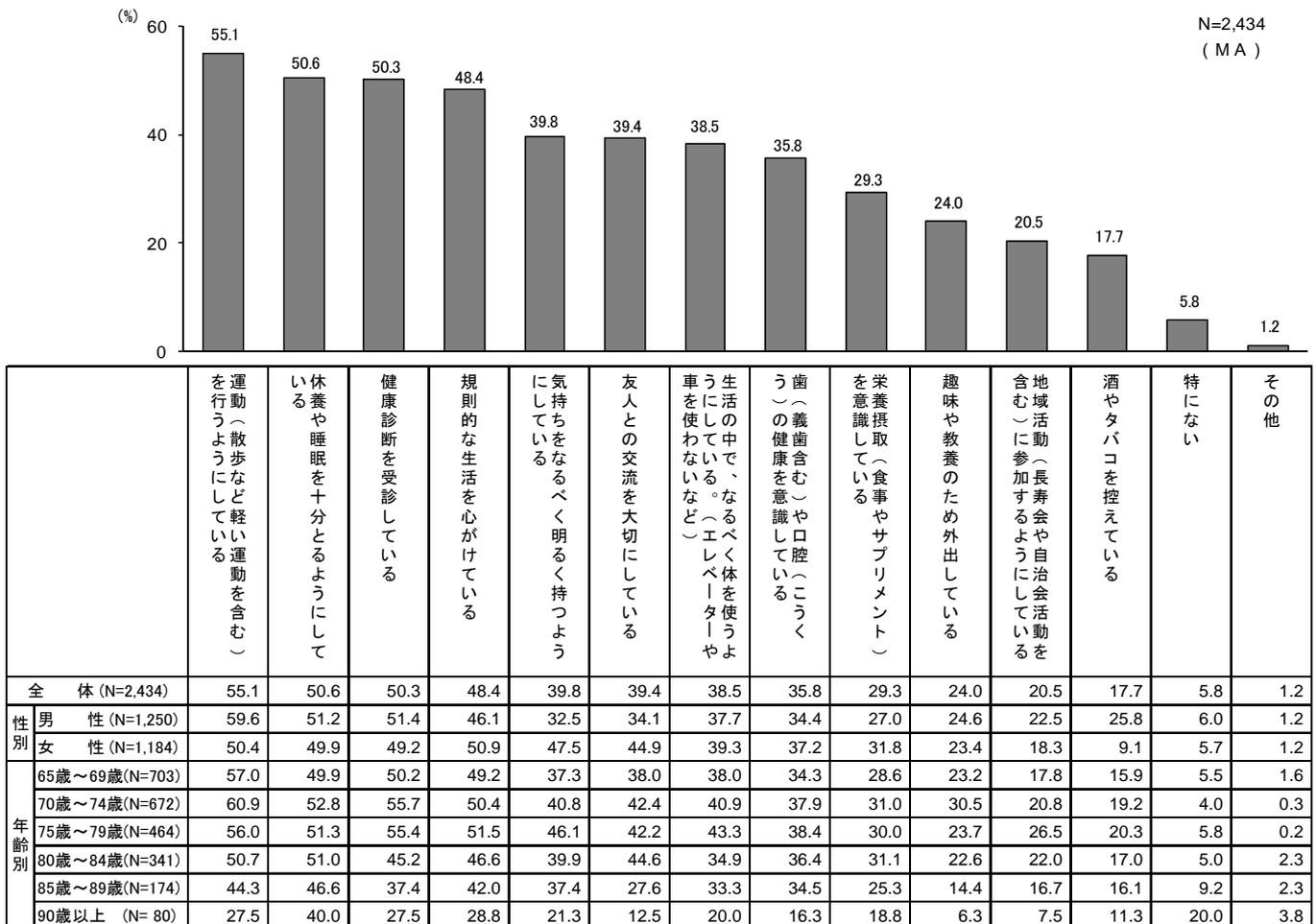
問8 Q1. 健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。(いくつでも)

健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしているかきいたところ、「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」が55.1%と最も多く、次いで「休養や睡眠を十分とるようにしている」が50.6%、「健康診断を受診している」が50.3%、「規則的な生活を心がけている」が48.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」、「酒やタバコを控えている」が多く、女性は男性に比べて「気持ちをなるべく明るく持つようにしている」、「友人との交流を大切にしている」が多くなっている。

年齢別にみると、「80歳以上」は「休養や睡眠を十分とるようにしている」が「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」を上回り、最も多い項目となっている。また、年代が低いほど「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」、「健康診断を受診している」が多い傾向にある。

図表 8-1 健康づくりや介護予防のためにしていること



## (2) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと

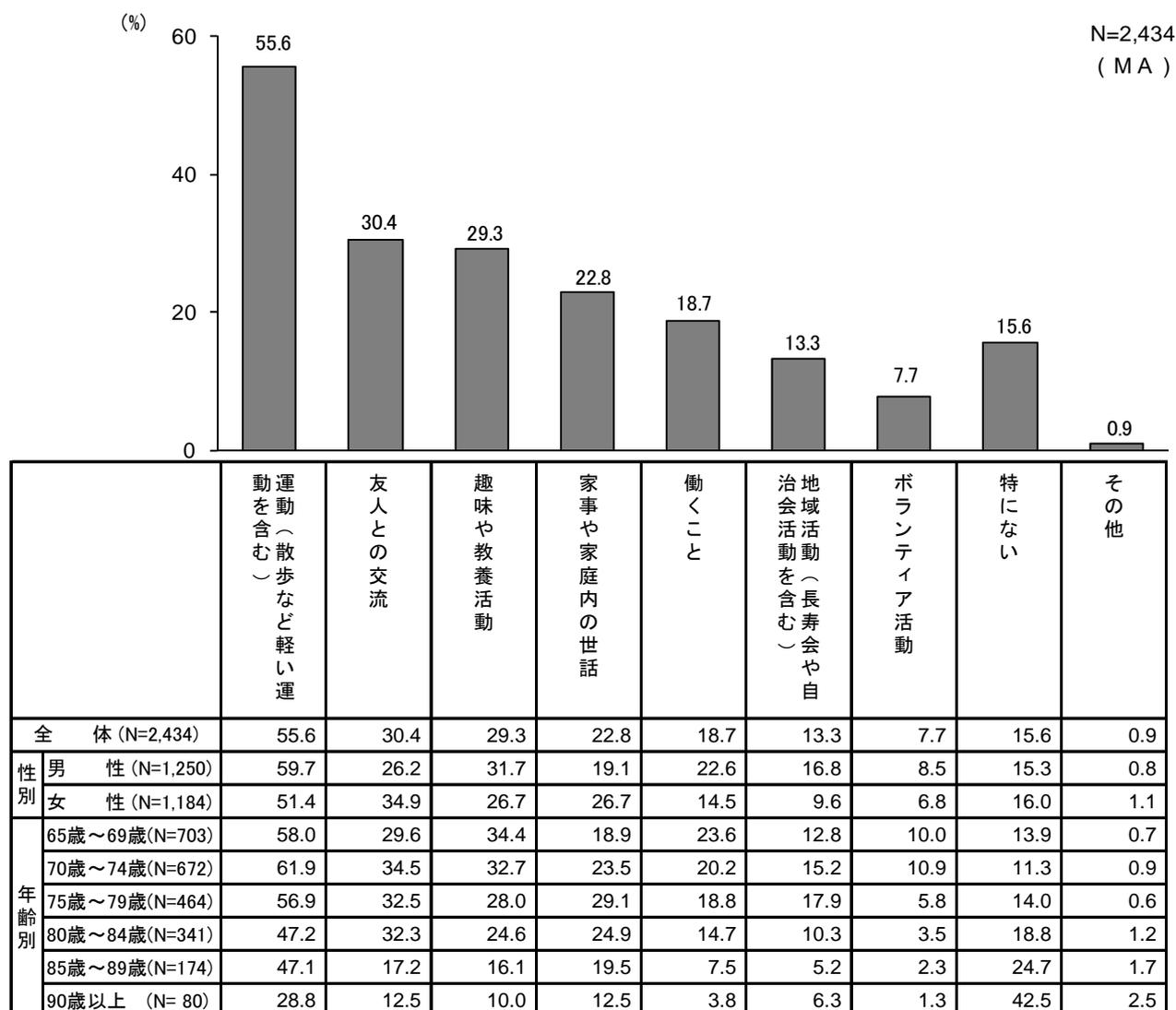
問 8 Q 2. 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことについてきいたところ、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が 55.6%と最も多く、次いで「友人との交流」が 30.4%、「趣味や教養活動」が 29.3%、「家事や家庭内の世話」が 22.8%の順となっており、「特にない」は 15.6%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「運動（散歩など軽い運動を含む）」、「働くこと」、「地域活動（長寿会や自治会活動を含む）」が多く、女性は男性に比べて「友人との交流」、「家事や家庭内の世話」が多くなっている。

年齢別にみると、全年代で「運動（散歩など軽い運動を含む）」が多くなっている。また、年代が高いほど、「特にない」が多い傾向にあり、「85～89歳」で 24.7%、「90歳以上」で 42.5%となっている。

図表 8-2 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと



### (3) 自分が健康であると思うか

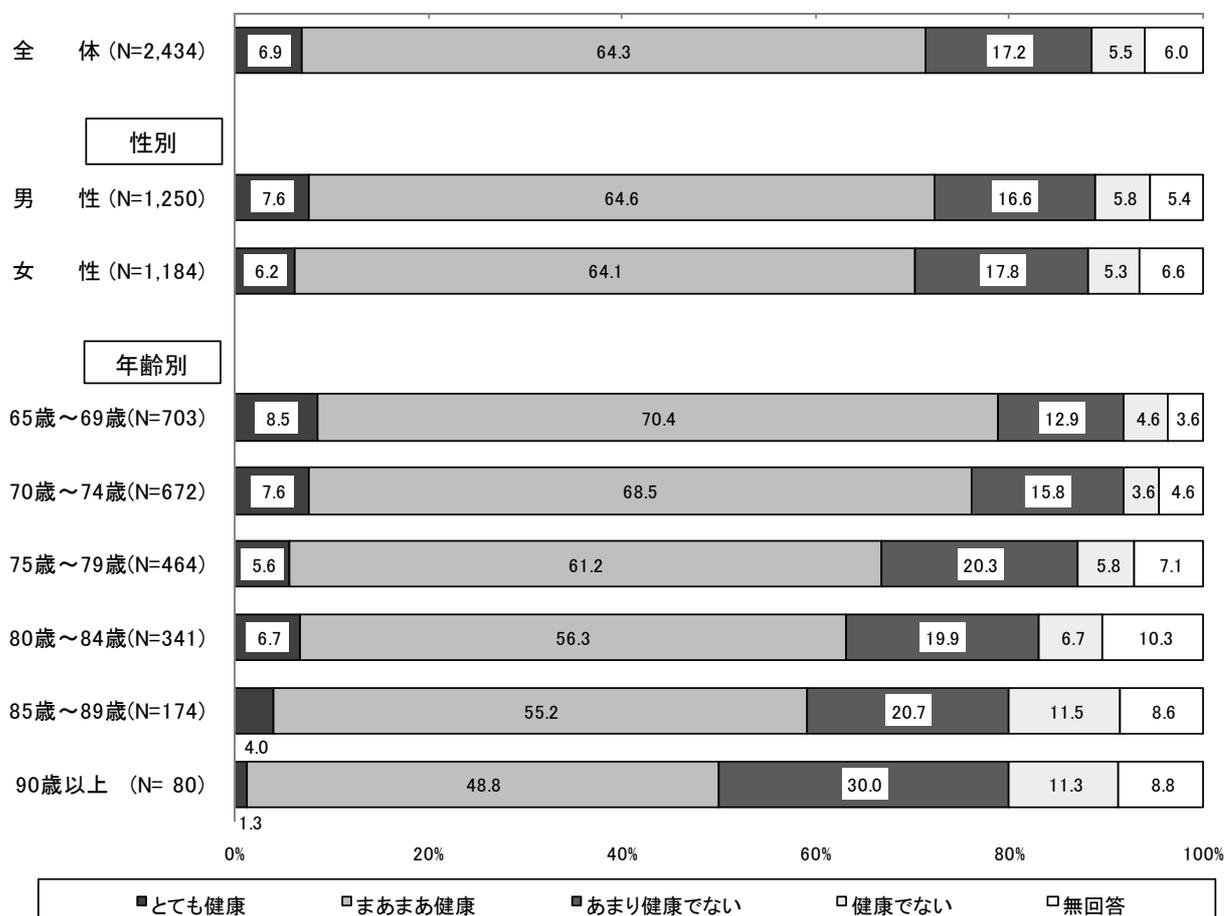
問8Q3. 普段、ご自分で健康だと思いますか。

普段、自分が健康だと思うかきいたところ、「とても健康」が6.9%、「まあまあ健康」が64.3%、「あまり健康でない」が17.2%、「健康でない」が5.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「あまり健康でない」、「健康でない」とする人が多い傾向にあり、「85～89歳」は「あまり健康でない」が20.7%、「健康でない」が11.5%、「90歳以上」は「あまり健康でない」が30.0%、「健康でない」が11.3%となっている。

図表 8-3 自分が健康であると思うか



#### (4) 現在治療中または後遺症のある病気

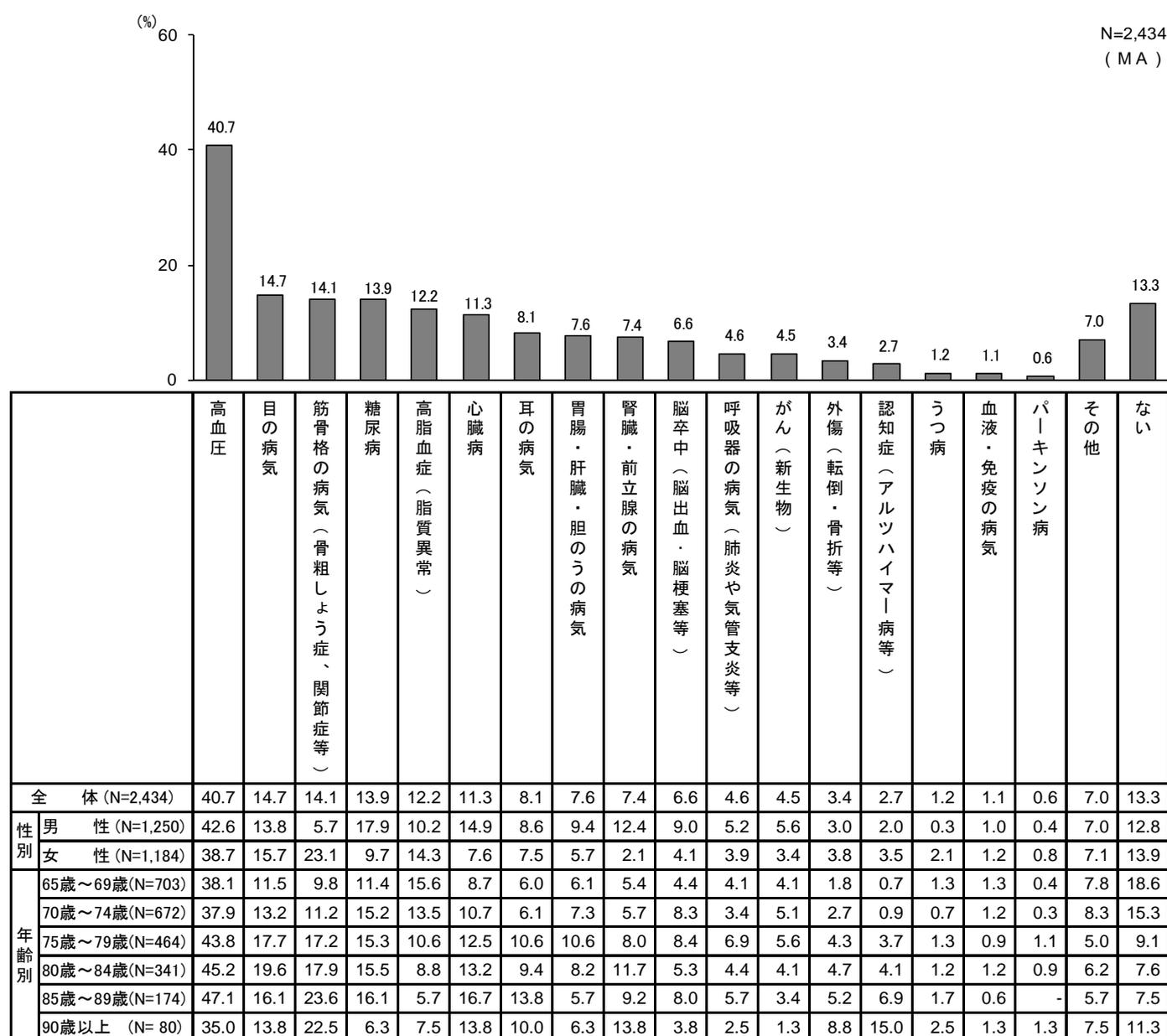
問8 Q4. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気についてきいたところ、「高血圧」が40.7%と最も多く、次いで「目の病気」が14.7%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が14.1%、「糖尿病」が13.9%などとなっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」が多く、女性は男性に比べて「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「高脂血症(脂質異常)」が多く、年代が高いほど「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「認知症(アルツハイマー病等)」が多い傾向にある。

図表 8-4 現在治療中または後遺症のある病気



(5)薬を何種類飲んでいるか

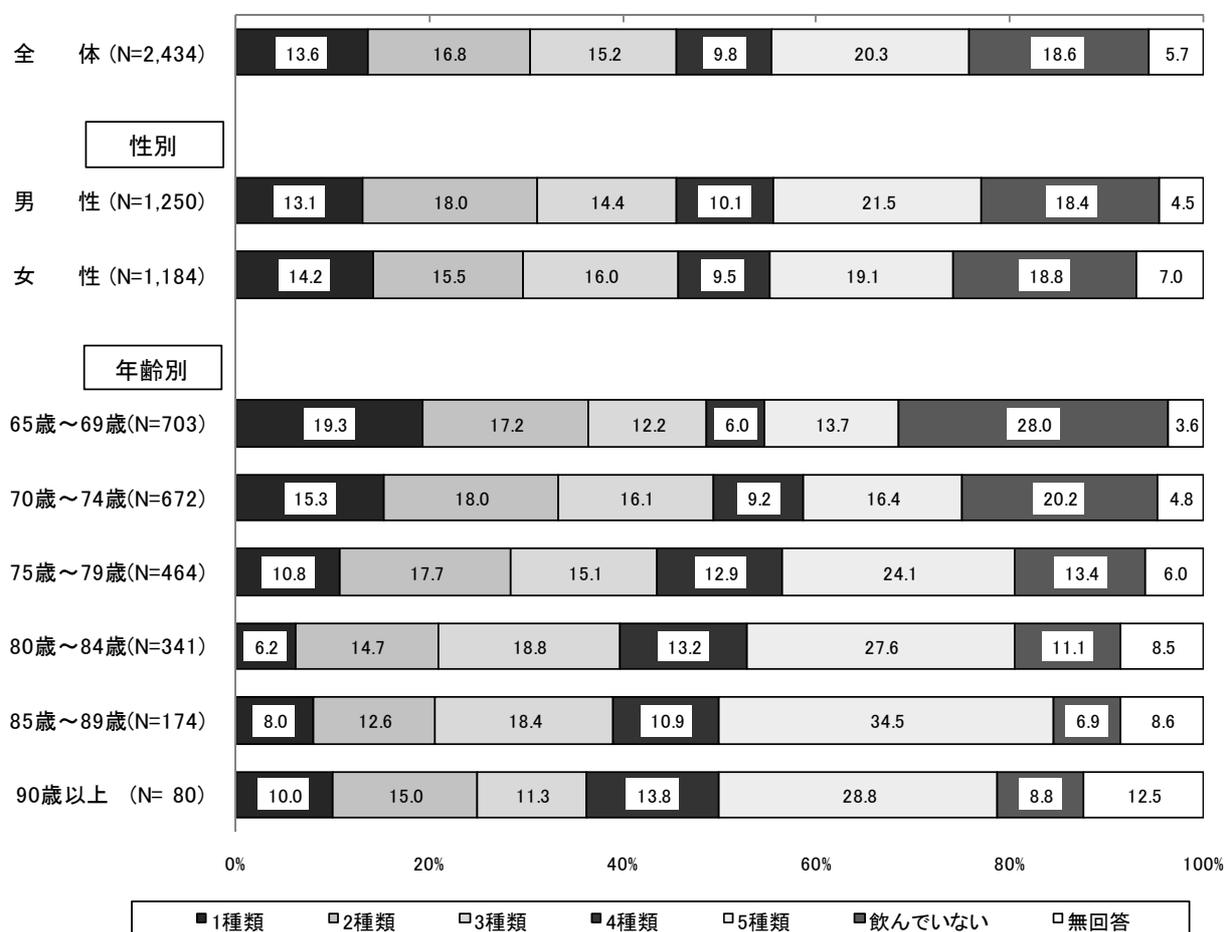
問8 Q5. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるかきいたところ、「5種類」が20.3%と最も多くなっており、「1種類」が13.6%、「2種類」が16.8%、「3種類」が15.2%、「4種類」が9.8%、「飲んでいない」が18.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が低いほど「飲んでいない」と回答した人が多い傾向にある。

図表 8-5 飲んでいる薬の種類



## (6) 通院の状況

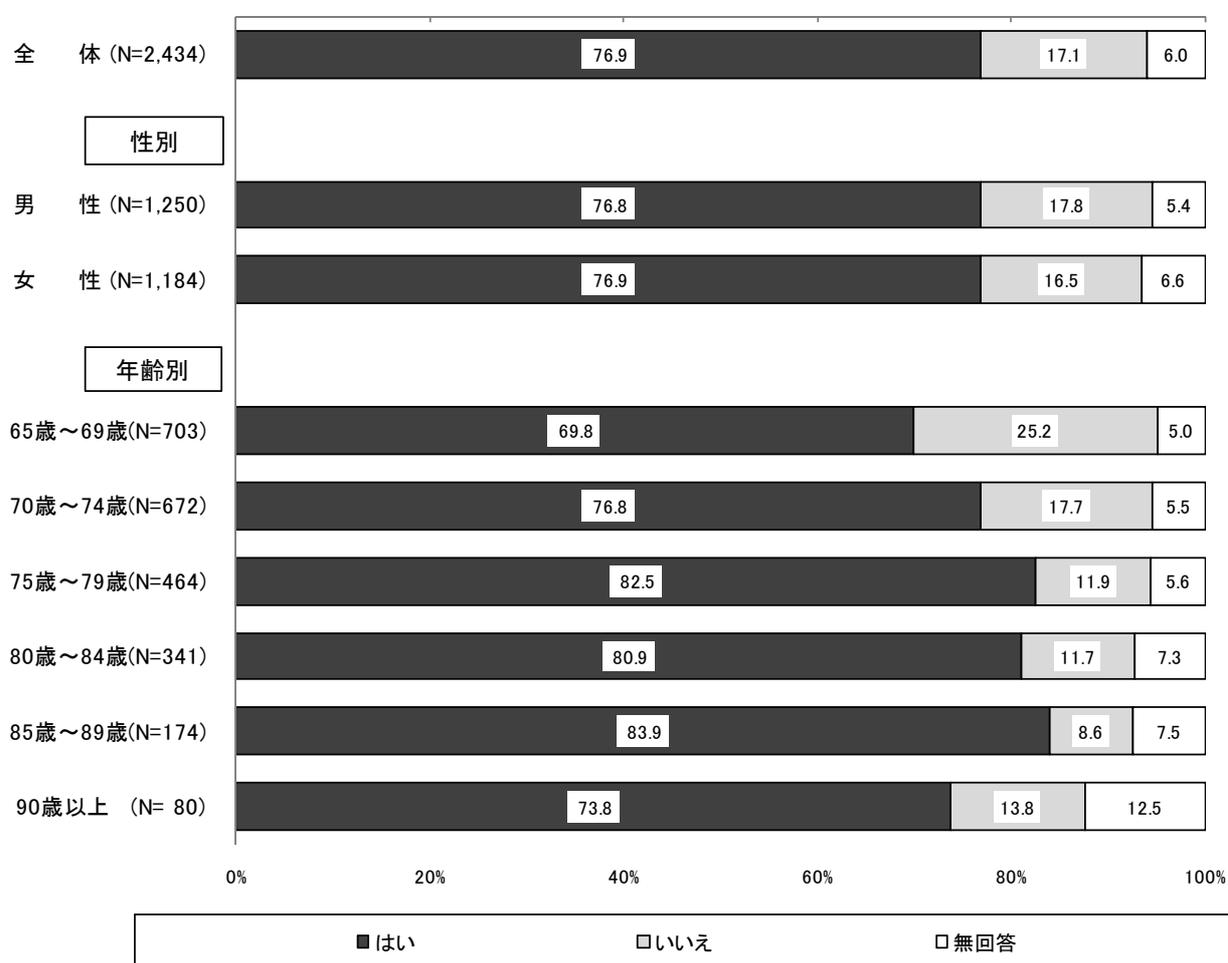
問8Q6. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているかきいたところ、「はい（通院している）」が76.9%、「いいえ（通院していない）」が17.1%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、通院している人は「75～89歳」で8割超となっている。

図表 8-6 通院の状況



## ②通院の頻度

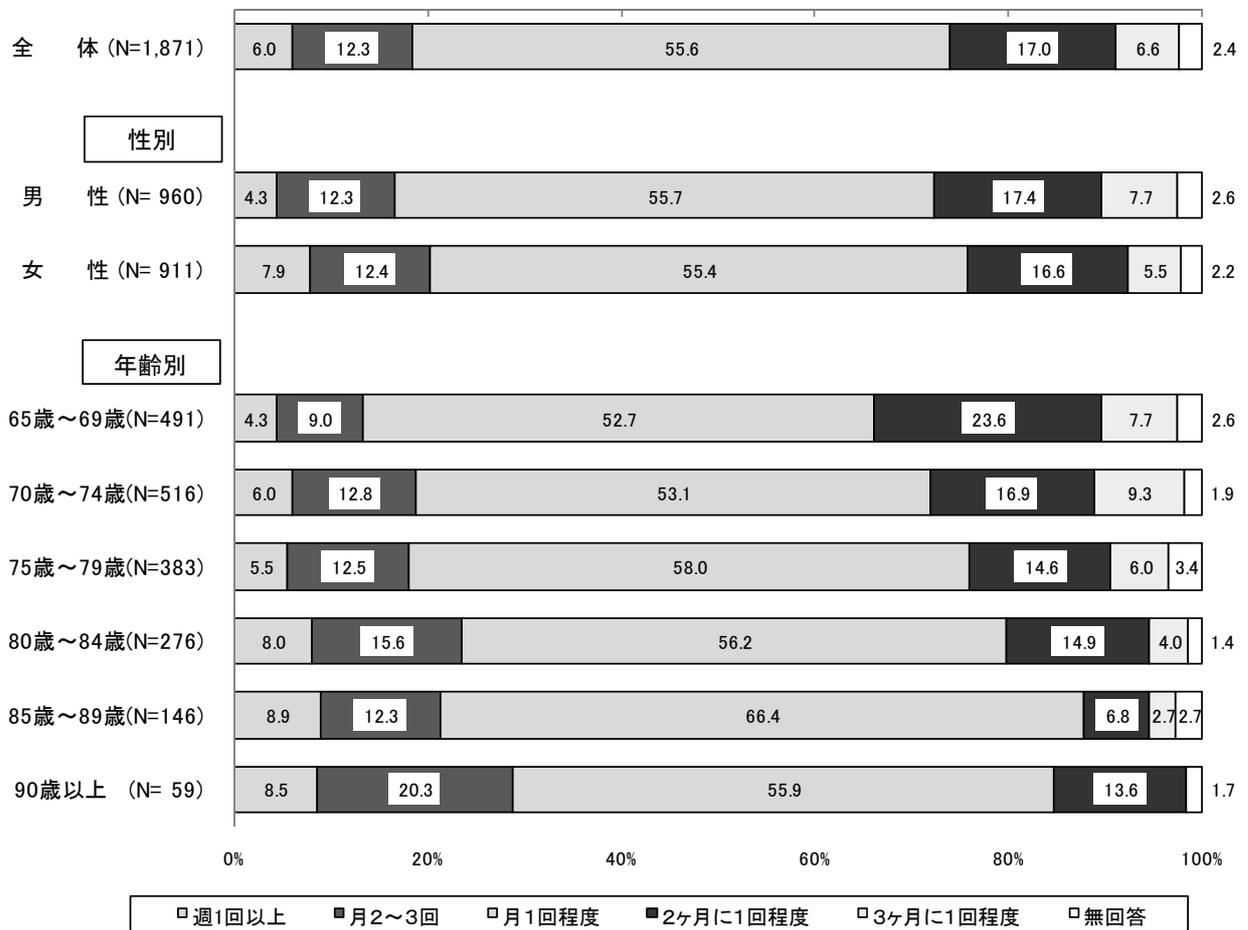
問8 Q6-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。

病院・医院（診療所、クリニック）に通院していると回答した1,871人に、通院頻度をきいたところ、「週1回以上」が6.0%、「月2～3回」が12.3%、「月1回程度」が55.6%、「2ヶ月に1回程度」が17.0%、「3ヶ月に1回程度」が6.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど通院頻度が高い傾向にあり、「90歳以上」は「週1回以上」が8.5%、「月2～3回」が20.3%となっている。

図表 8-7 通院頻度



### ③通院に介助が必要か

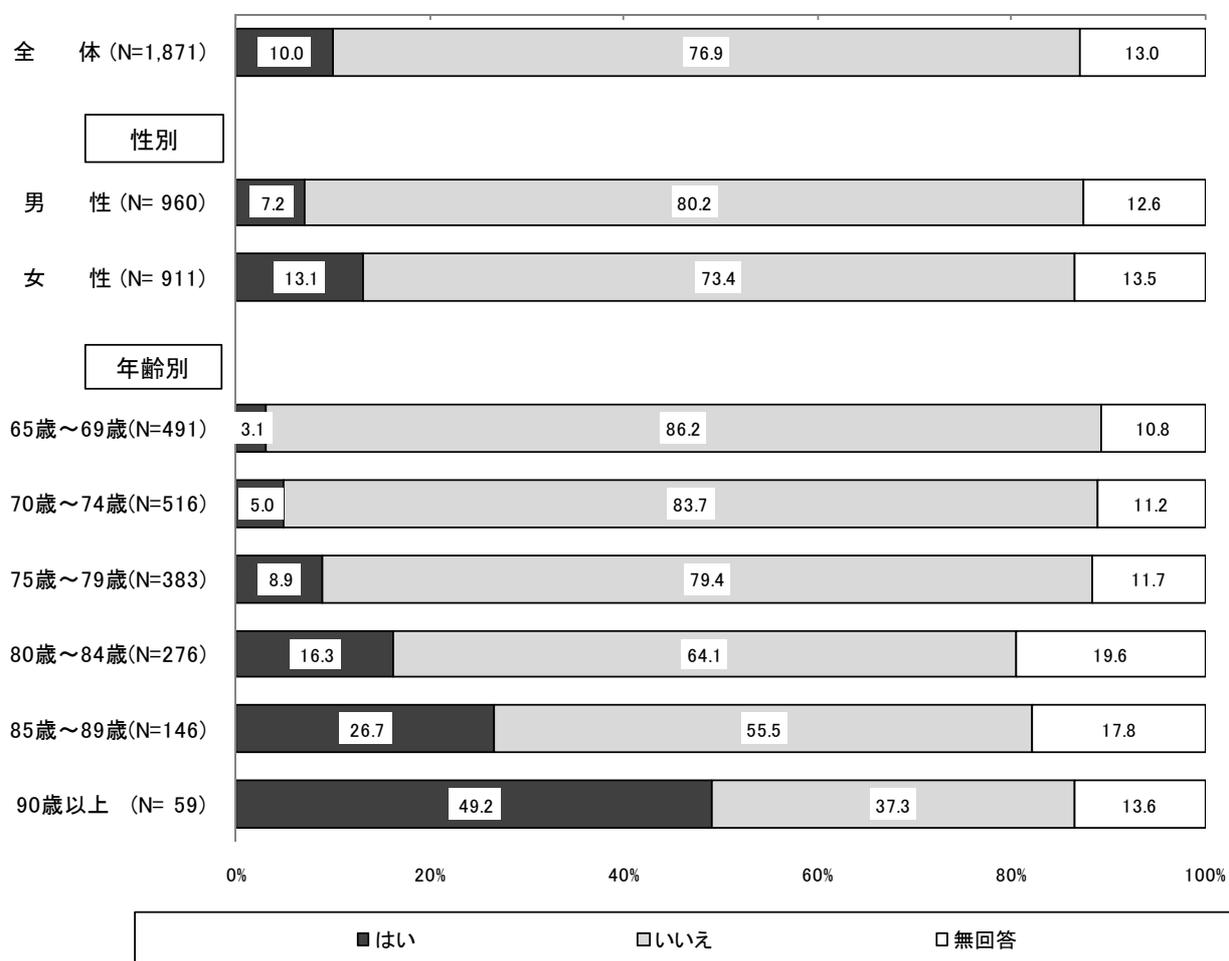
問 8 Q 6 - 2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。

病院・医院（診療所、クリニック）に通院していると回答した 1,871 人に、通院に介助が必要か聞いたところ、「はい（必要である）」が 10.0%、「いいえ（必要でない）」が 76.9%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（必要である）」が 13.1%と男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい（必要である）」が多く、「85～89 歳」で 26.7%、「90 歳以上」で 49.2%となっている。

図表 8-8 通院に介助が必要か



(7) 福祉サービスの利用状況

問8 Q7. 以下の在宅サービス及び福祉サービスを利用していますか。(いくつでも)

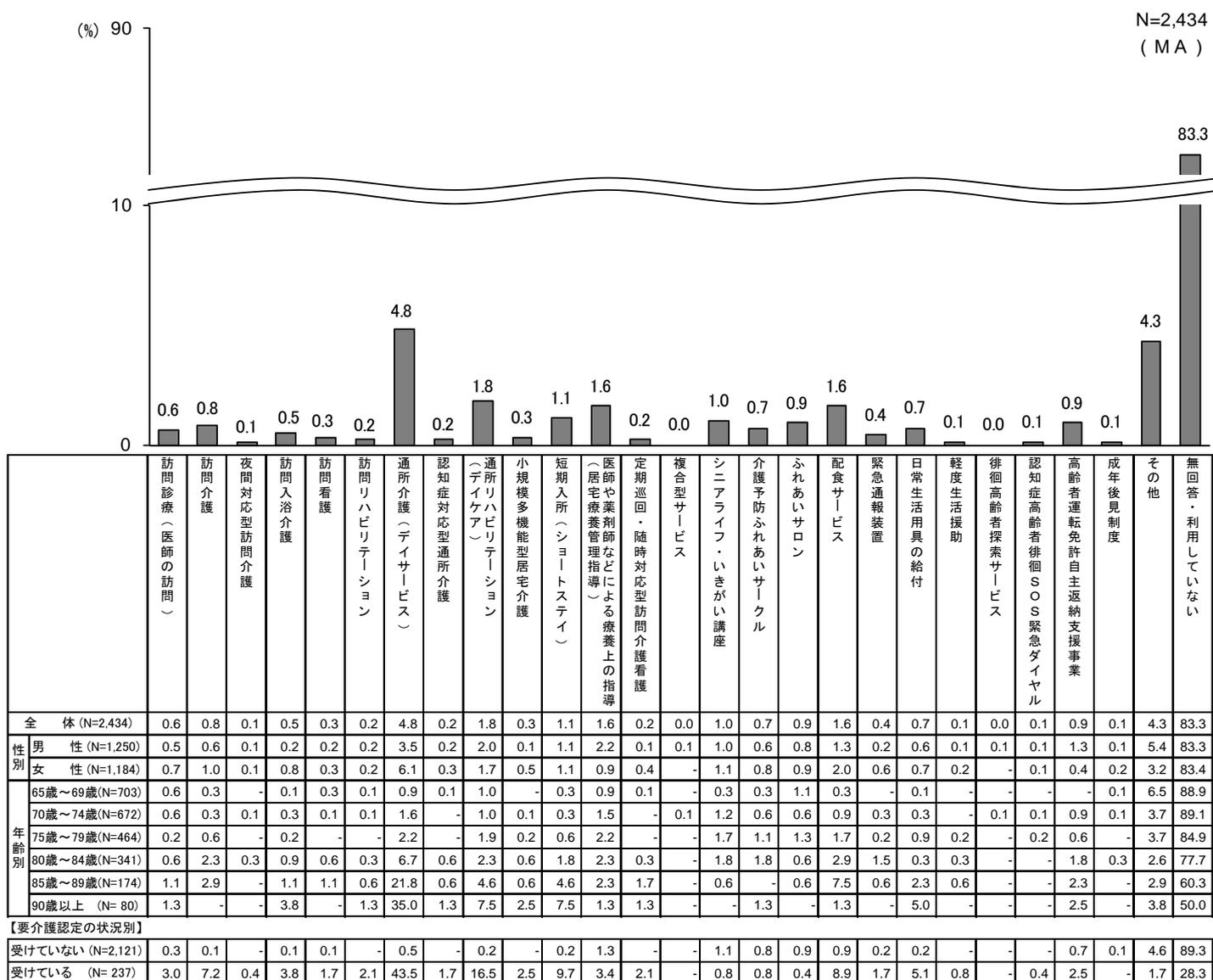
在宅サービス及び福祉サービスの利用状況についてきたところ、「通所介護(デイサービス)」が4.8%と最も多く、次いで「通所リハビリテーション(デイケア)」が1.8%、「医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導)」と「配食サービス」が1.6%の順となっている。

男女別にみると、女性は「通所介護(デイサービス)」が6.1%と、男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「通所介護(デイサービス)」が多く、「85～89歳」で21.8%、「90歳以上」で35.0%となっている。

要介護の認定状況別にみると、認定を受けている人は、「通所介護(デイサービス)」が43.5%、「通所リハビリテーション(デイケア)」が16.5%と多くなっている。

図表 8-9 福祉サービスの利用状況



(8) 日ごろの生活状況

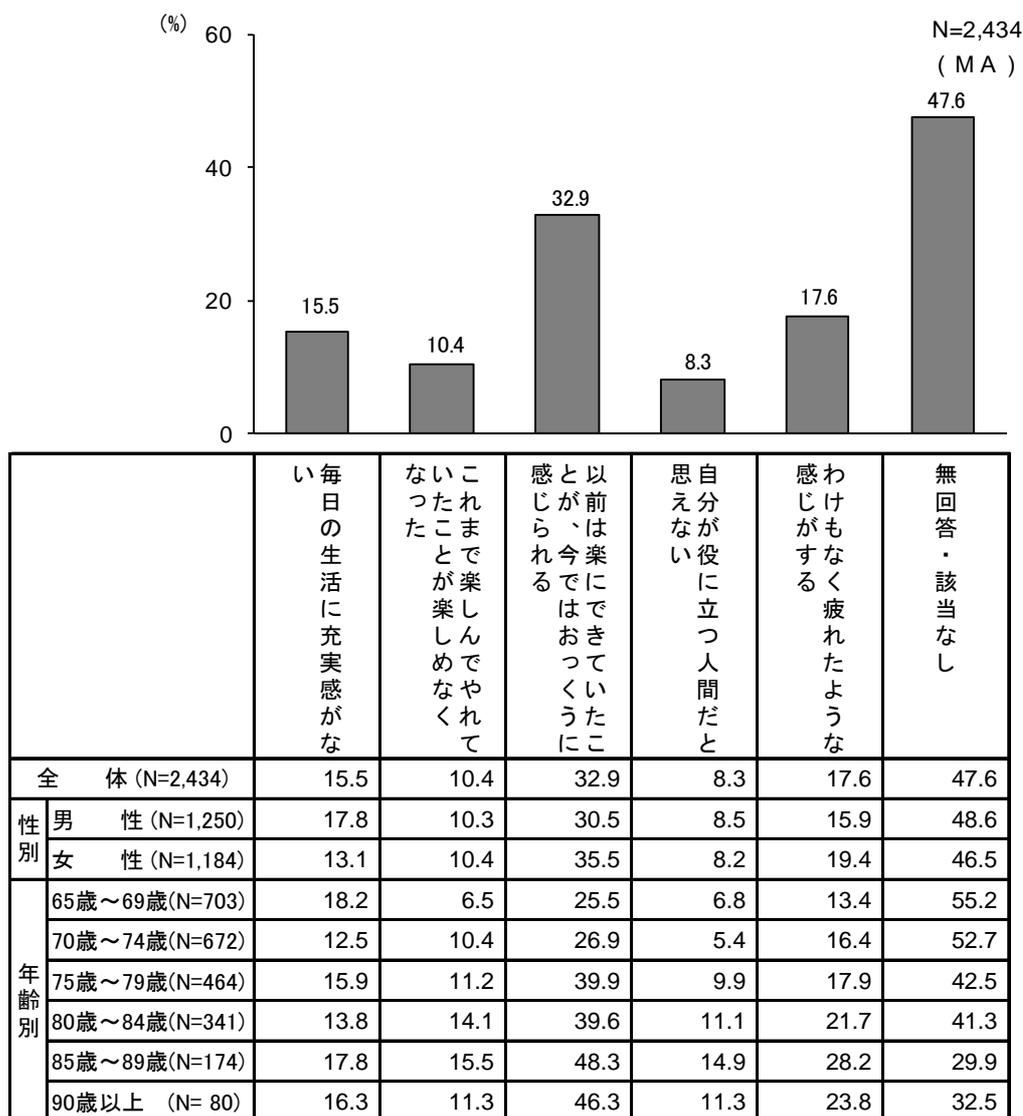
問8 Q8. あなたの日ごろ（ここ2週間）の生活状況についてお尋ねします。（いくつでも）

日ごろ（ここ2週間）の生活状況についてきいたところ、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」が32.9%、「わけもなく疲れたような感じがする」が17.6%、「毎日の生活に充実感がない」が15.5%、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が10.4%、「自分が役に立つ人間だと思えない」が8.3%となっている。

男女別にみると、男性は「毎日の生活に充実感がない」が女性に比べて多く、女性は「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」、「わけもなく疲れたような感じがする」、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」が多くなる傾向にある。

図表 8-10 日ごろの生活状況



## 9 高齢者福祉について

### (1) 地域包括支援センターの認知度

問9 Q1. 身近な地域で総合的な相談に対応できる機関として、地域包括支援センターがあることをご存知ですか。

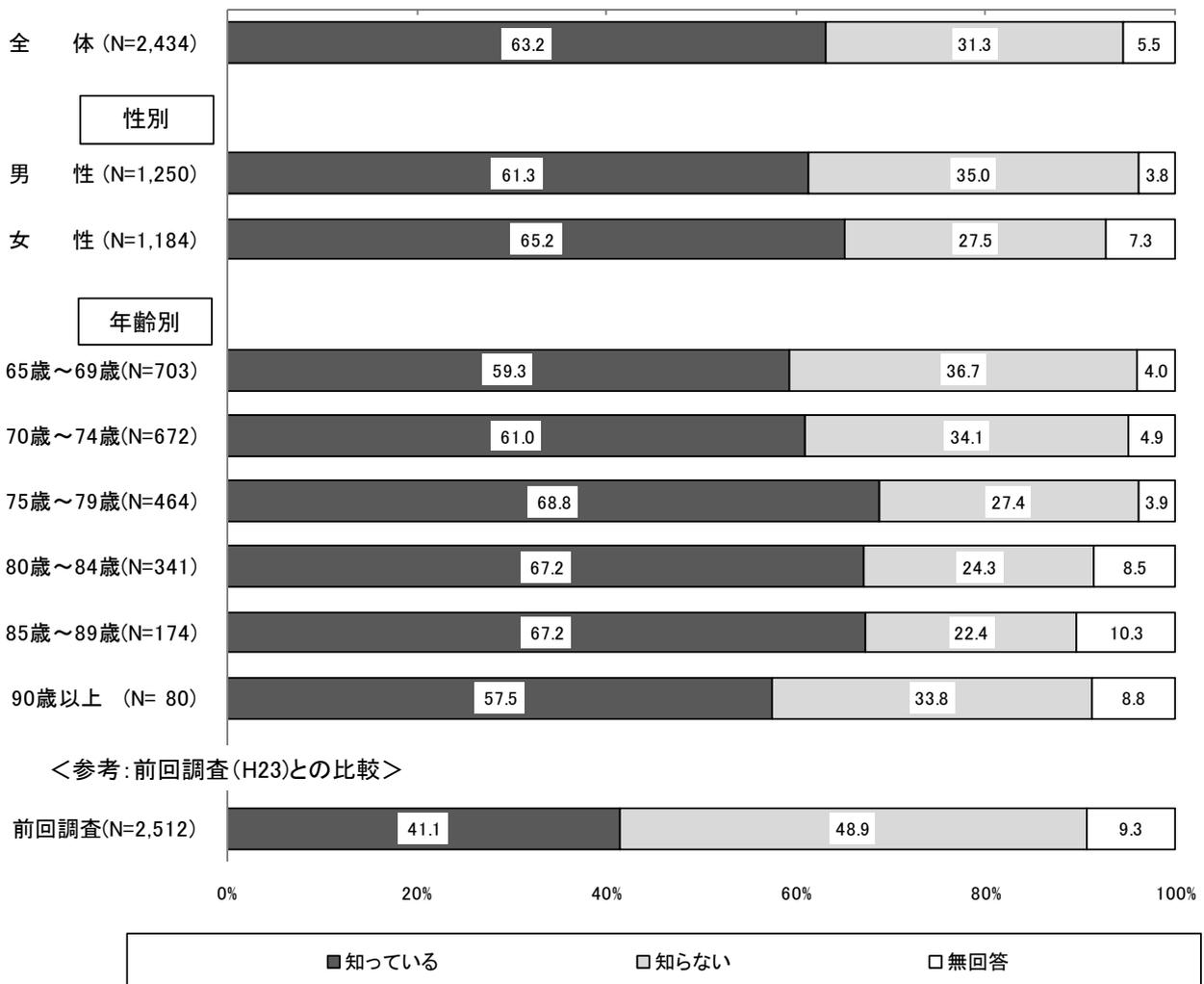
身近な地域で総合的な相談に対応できる機関として、地域包括支援センターがあることを知っているかきいたところ、「はい（知っている）」が63.2%、「いいえ（知らない）」が31.3%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

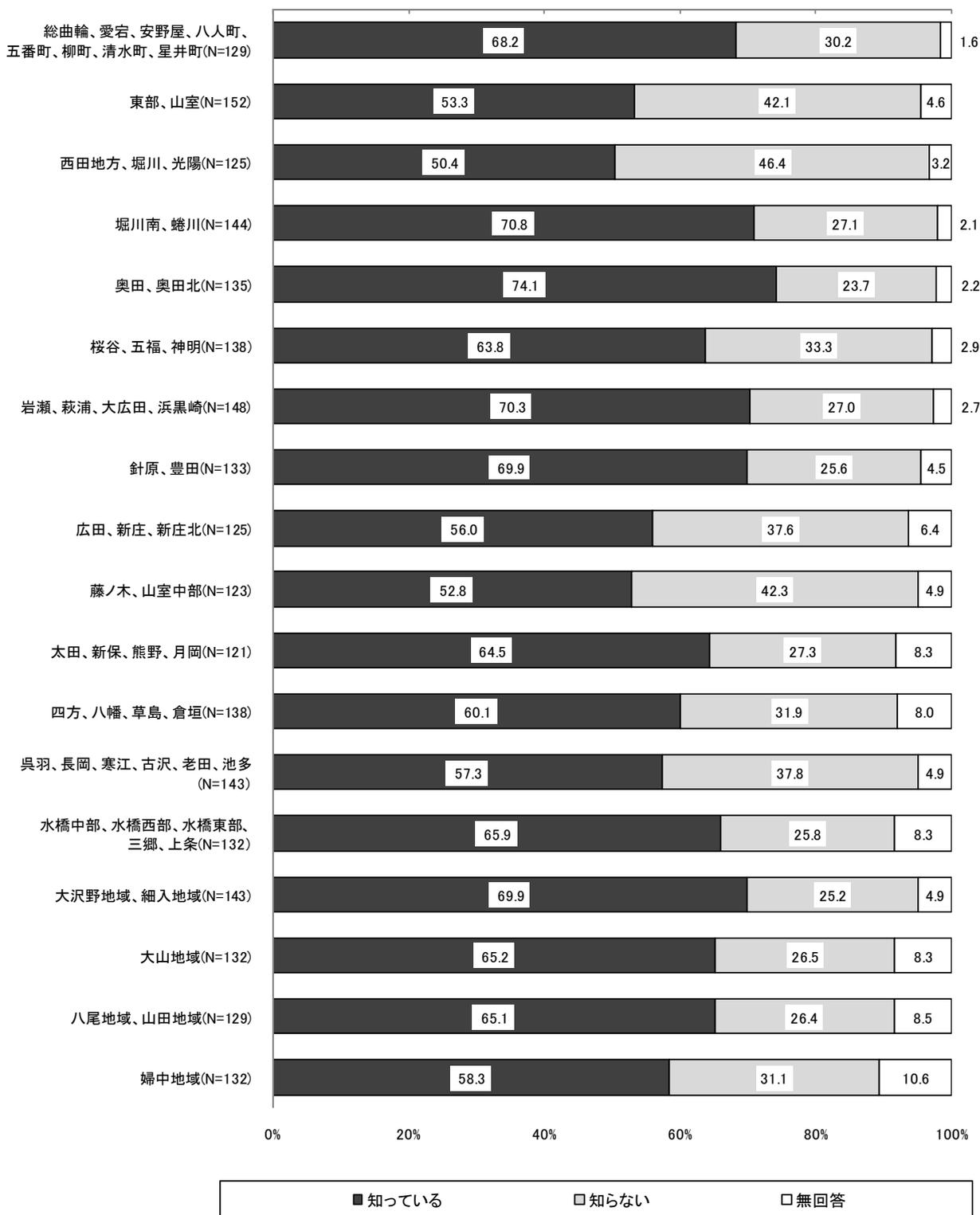
年齢別にみると、「75～89歳」で「はい（知っている）」が7割弱と多くなっている。

圏域別にみると、「堀川南、蜷川」、「奥田、奥田北」、「岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎」で「はい（知っている）」が7割を超えている一方、「東部、山室」、「西田地方、堀川、光陽」、「藤ノ木、山室中部」は約5割にとどまっている。

図表 9-1 地域包括支援センターの認知度



図表 9-2 地域包括支援センターの認知度【圏域別】



## (2) 地域包括支援センターの利用状況

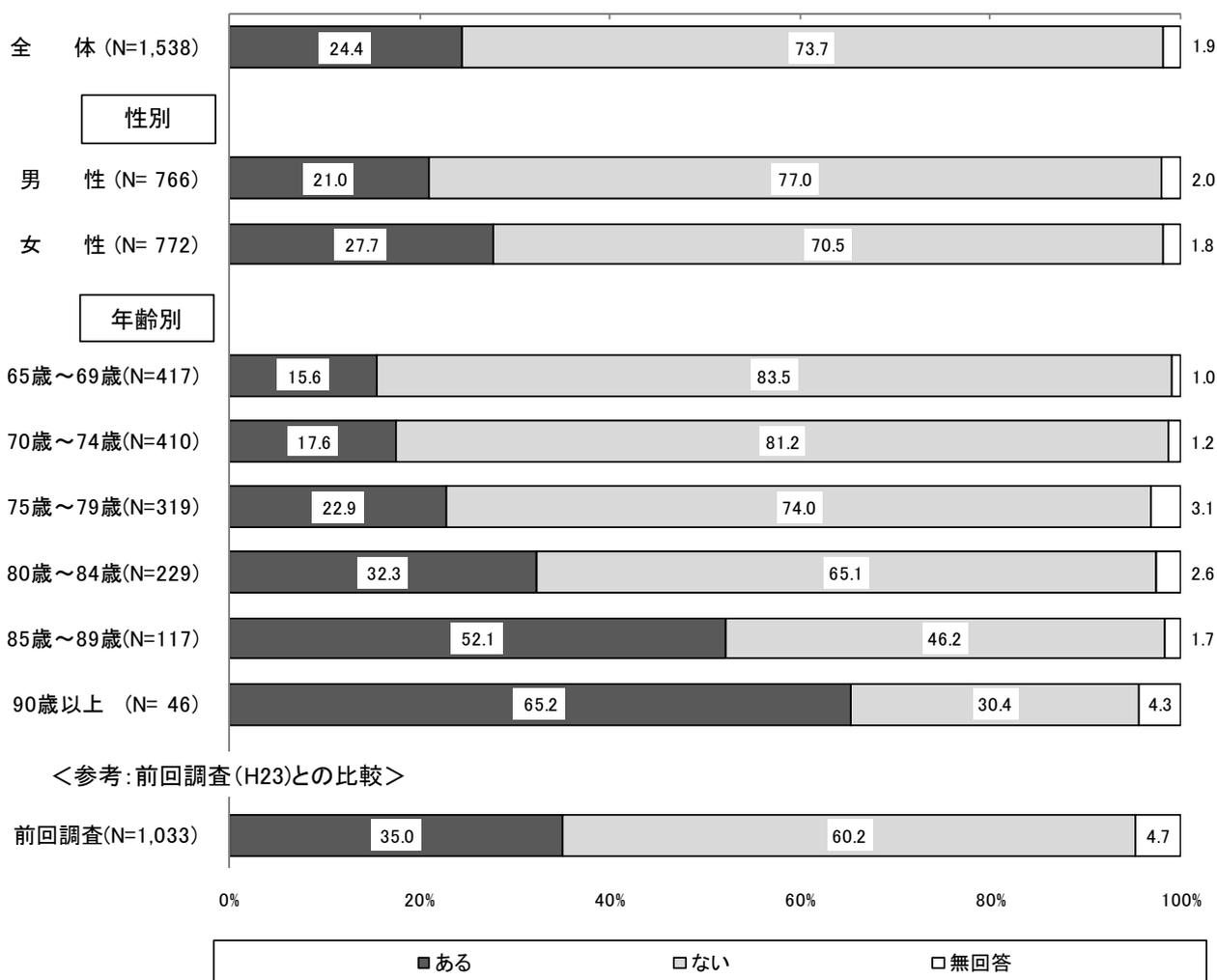
問9 Q1-1. (知っている方のみ) 地域包括支援センターを利用したことがありますか。

地域包括支援センターを知っているとした1,538人に、地域包括支援センターを利用したことがあるかきいたところ、「(利用したことが) ある」が24.4%、「(利用したことが) ない」が73.7%となっている。

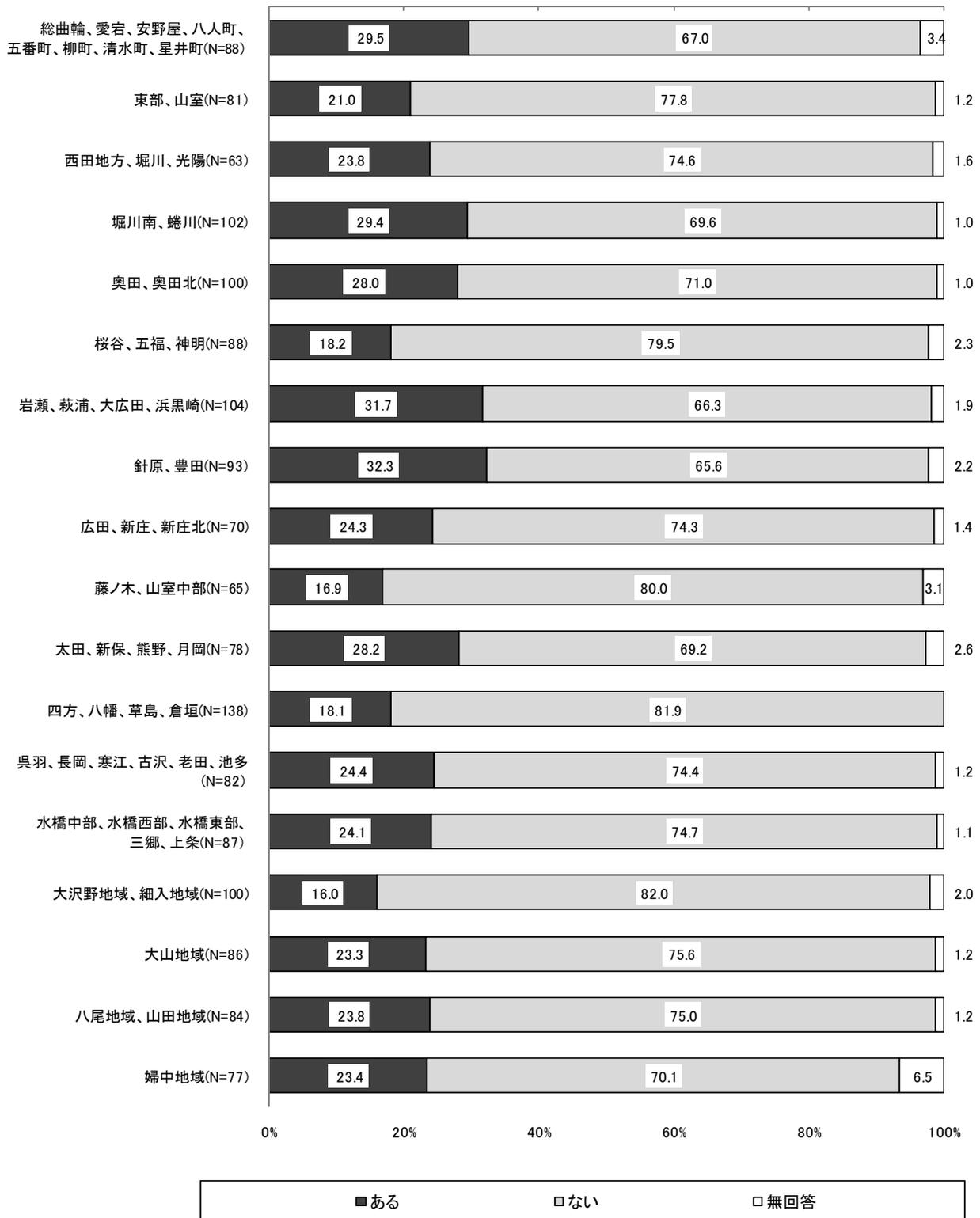
男女別にみると、女性は「(利用したことが) ある」が27.7%と、男性に比べてやや多くなっている。年齢別にみると、年代が高いほど「(利用したことが) ある」と回答した人が多く、「85～89歳」で52.1%、「90歳以上」で65.2%となっている。

圏域別にみると、「岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎」、「針原、豊田」で「(利用したことが) ある」が3割を超えている一方、「桜谷、五福、神明」、「藤ノ木、山室中部」、「四方、八幡、草島、倉垣」、「大沢野地域、細入地域」で2割を下回っている。

図表 9-3 地域包括支援センターの利用状況



図表 9-4 地域包括支援センターの利用状況【圏域別】



### (3) 地域包括支援センターの利用内容

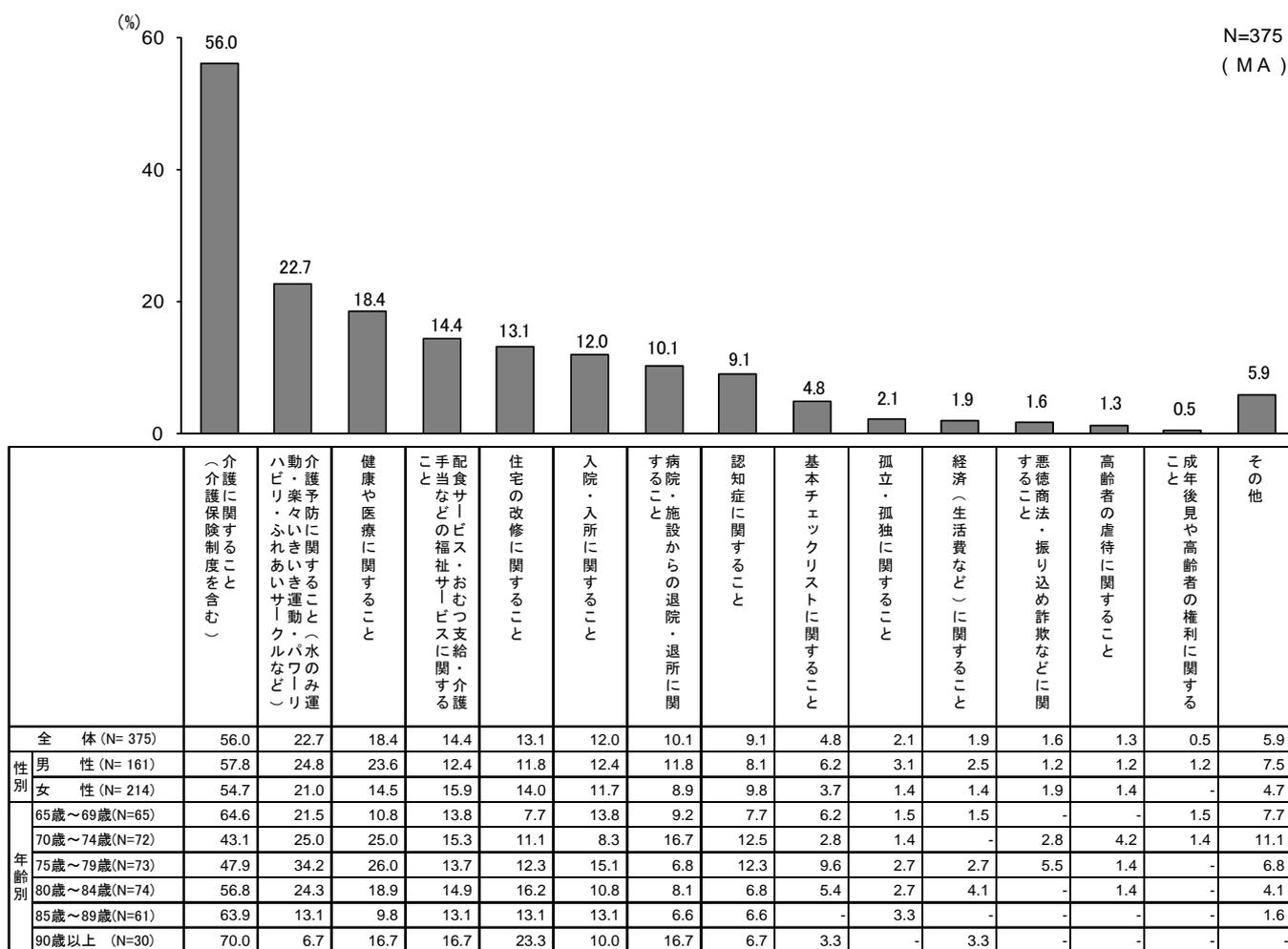
問9 Q2. (地域包括支援センターを利用したことがある方のみ)  
 どのような用件で相談されましたか。(いくつでも)

地域包括支援センターを利用したことがある375人に、どのような用件で相談したかきいたところ、「介護に関すること（介護保険制度を含む）」が56.0%と最も多く、次いで「介護予防に関すること（水のみ運動・楽々いきいき運動・パワーリハビリ・ふれあいサークルなど）」が22.7%、「健康や医療に関すること」が18.4%、「配食サービス・おむつ支給・介護手当などの福祉サービスに関すること」が14.4%の順となっている。

男女別にみると、男性は「健康や医療に関すること」が23.6%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「介護に関すること（介護保険制度を含む）」は「65～69歳」および「85歳以上」で6～7割と多くなっている。また、「75～79歳」で「介護予防に関すること（水のみ運動・楽々いきいき運動・パワーリハビリ・ふれあいサークルなど）」が34.2%と、他の年代に比べて多い傾向にある。

図表 9-5 地域包括支援センターの利用内容



図表 9-6 地域包括支援センターの利用内容【圏域別】

	介護に関すること（介護保険制度を含む）	介護予防に関すること（水のみ運動・楽々いクルなど）	健康や医療に関すること	福祉サービスに関すること	配食サービス・おむつ支給・介護手当などの	住宅の改修に関すること	入院・入所に関すること	病院・施設からの退院・退所に関すること	認知症に関すること	基本チェックリストに関すること	孤立・孤独に関すること	経済（生活費など）に関すること	悪徳商法・振り込み詐欺などに関すること	高齢者の虐待に関すること	成年後見や高齢者の権利に関すること	その他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=26)	50.0	23.1	3.8	23.1	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	-	-	-	-	-	-	7.7
東部、山室 (N=17)	58.8	11.8	5.9	29.4	5.9	11.8	-	11.8	5.9	11.8	-	-	5.9	-	-	-
西田地方、堀川、光陽 (N=15)	46.7	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	-	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	-	6.7
堀川南、滝川 (N=30)	73.3	20.0	20.0	6.7	16.7	10.0	20.0	20.0	6.7	-	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7
奥田、奥田北 (N=28)	67.9	17.9	10.7	10.7	17.9	21.4	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	-	3.6
桜谷、五福、神明 (N=16)	68.8	18.8	-	31.3	6.3	-	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	12.5
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=33)	51.5	18.2	21.2	9.1	18.2	21.2	12.1	9.1	3.0	-	3.0	3.0	-	-	-	6.1
針原、豊田 (N=30)	56.7	30.0	26.7	10.0	-	6.7	6.7	20.0	6.7	-	-	-	-	-	-	10.0
広田、新庄、新庄北 (N=17)	76.5	11.8	17.6	11.8	11.8	17.6	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	-
藤ノ木、山室中部 (N=11)	36.4	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	27.3	18.2	-	18.2	-	-	-	9.1
太田、新保、熊野、月岡 (N=22)	31.8	36.4	27.3	9.1	18.2	13.6	27.3	4.5	-	-	-	-	4.5	-	-	-
四方、八幡、草島、倉垣 (N=15)	60.0	26.7	20.0	6.7	13.3	-	13.3	6.7	26.7	-	-	-	-	-	-	6.7
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=20)	50.0	25.0	20.0	10.0	10.0	15.0	15.0	10.0	-	-	5.0	5.0	-	-	-	-
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=21)	57.1	33.3	28.6	38.1	33.3	14.3	14.3	-	-	4.8	9.5	-	-	-	-	-
大沢野地域、細入地域 (N=16)	62.5	18.8	18.8	-	6.3	-	12.5	6.3	-	-	6.3	-	-	-	-	12.5
大山地域 (N=20)	50.0	10.0	25.0	10.0	20.0	20.0	10.0	15.0	-	-	-	-	5.0	5.0	10.0	10.0
八尾地域、山田地域 (N=20)	40.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	-	5.0	5.0	-	10.0	10.0
婦中地域 (N=18)	61.1	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	-	5.6	-	5.6	-	-	-	-	5.6

#### (4) 望ましい介護の生活形態

問9 Q3. 介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。  
当てはまるもの1つに○印を付けてください。

介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思うかきいたところ、「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が31.3%、「在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい」が26.3%、「自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい」が4.5%、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で、安心した生活を送りたい」が12.0%、「特別養護老人ホームなどで、安心した生活を送りたいが、個室にはこだわらない」が6.1%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい」が4.6%などとなっており、約6割の人が、住み慣れた地域での生活を望んでいる。

男女別にみると、男性は女性に比べて「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が多く、女性は男性に比べて「在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい」が多くなっている。

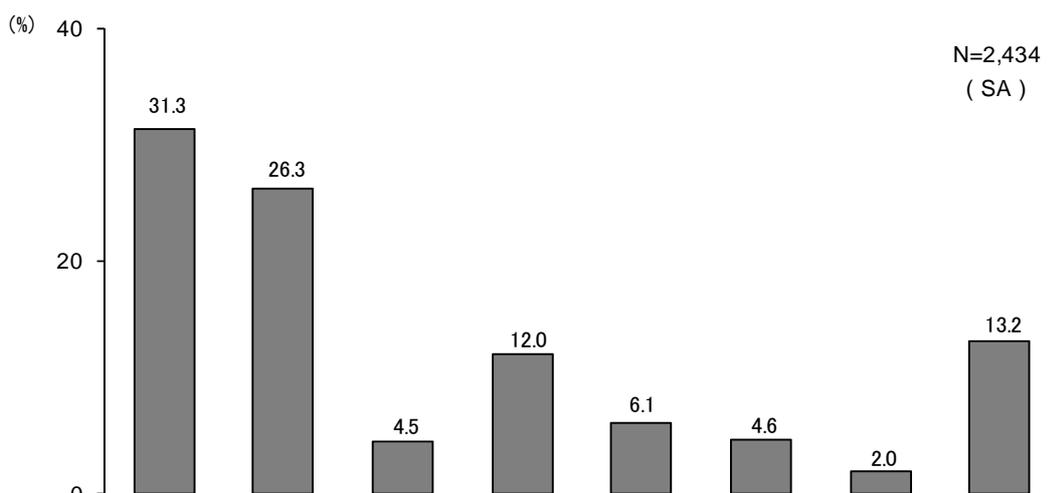
年齢別にみると、「80～84歳」で「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が38.4%、「65～69歳」で「在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい」が32.4%と他の年代に比べて多くなっている。

同居状況別にみると、「家族など同居」の人は「在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい」が34.5%と多い。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて、住み慣れた地域で暮らしたいとする人が多くなっている。

介護・介助の必要性別にみると、「介護・介助を受けている」人は、住み慣れた地域で暮らしたいとする人が約7割と多くなっている。

図表 9-7 望ましい介護の生活形態



		在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい	在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰り施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい	自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい	特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で、安心した生活を送りたい	特別養護老人ホームなどで、安心して生活を送りたいが、個室にはこだわらない	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい	その他	無回答
全体 (N=2,434)		31.3	26.3	4.5	12.0	6.1	4.6	2.0	13.2
性別	男性 (N=1,250)	37.7	22.9	4.3	12.0	6.2	3.8	2.1	11.0
	女性 (N=1,184)	24.7	29.9	4.6	12.1	6.0	5.3	1.9	15.5
年齢別	65歳～69歳 (N=703)	25.5	32.4	6.5	13.1	6.4	5.0	3.8	7.3
	70歳～74歳 (N=672)	29.9	26.6	4.5	14.3	5.8	4.9	1.3	12.6
	75歳～79歳 (N=464)	35.3	21.3	3.0	9.9	7.8	3.9	1.7	17.0
	80歳～84歳 (N=341)	38.4	20.5	3.8	9.1	4.4	4.1	1.2	18.5
	85歳～89歳 (N=174)	33.9	25.9	1.1	10.3	4.0	5.7	0.6	18.4
	90歳以上 (N= 80)	36.3	23.8	5.0	12.5	7.5	1.3	-	13.8
同居状況別	一人暮らし (N=282)	13.5	30.9	4.6	14.5	6.7	8.5	2.5	18.8
	家族など同居 (N=2,072)	34.5	26.2	4.4	11.3	5.9	3.7	1.9	12.1
	その他(施設入居など) (N=41)	17.1	7.3	7.3	26.8	12.2	19.5	2.4	7.3
【要介護認定の状況別】									
受けていない (N=2,121)		31.2	26.1	4.6	12.4	6.2	4.7	2.1	12.7
受けている (N=237)		33.3	31.6	4.2	10.5	4.6	4.2	0.8	10.5
【介護・介助の必要性別】									
必要ない (N=1,678)		31.4	26.9	4.8	12.0	6.4	4.9	2.2	11.3
介護・介助は必要だが、受けていない (N=153)		32.7	20.3	3.9	7.8	6.5	3.9	-	24.8
介護・介助を受けている (N=210)		34.3	33.3	3.3	11.0	5.7	3.3	2.4	6.7

(5) 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと

問9 Q4. 介護サービスなどを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思えますか。(いくつでも)

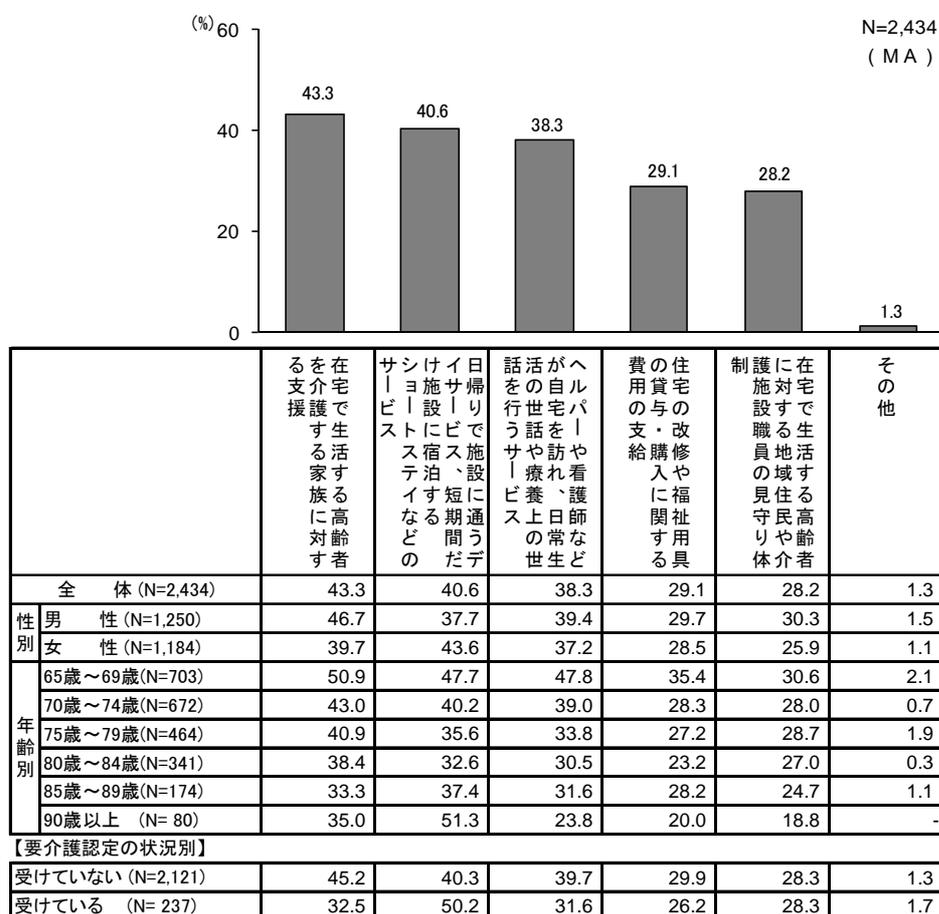
介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なことについてきいたところ、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が43.3%と最も多く、次いで「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が40.6%、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が38.3%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」が多く、女性は男性に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が多い傾向にある。また、「90歳以上」は「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が51.3%と多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて「日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が多くなっている。一方、受けていない人は「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が多くなっている。

図表 9-8 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと



図表 9-9 介護サービスを受けながら自宅で生活するために必要なこと【圏域別】

	在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援	サービス提供期間に合わせた宿泊施設	ヘルパーや看護師などが自宅に常駐するサービス	住宅の改修や福祉用具の支給	在宅生活する高齢者に対する介護施設職員の対応	その他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=129)	31.8	41.9	38.8	25.6	22.5	3.1
東部、山室 (N=152)	38.8	42.1	40.1	28.9	29.6	2.0
西田地方、堀川、光陽 (N=125)	44.0	38.4	40.0	32.8	34.4	0.8
堀川南、蜷川 (N=144)	47.9	43.1	40.3	25.7	27.8	0.7
奥田、奥田北 (N=135)	41.5	46.7	41.5	25.9	25.9	0.7
桜谷、五福、神明 (N=138)	37.7	40.6	40.6	26.8	30.4	-
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=148)	50.7	45.3	48.0	35.1	27.7	0.7
針原、豊田 (N=133)	45.1	41.4	39.1	32.3	27.1	0.8
広田、新庄、新庄北 (N=125)	49.6	38.4	39.2	28.0	29.6	0.8
藤ノ木、山室中部 (N=123)	45.5	44.7	40.7	28.5	30.9	0.8
太田、新保、熊野、月岡 (N=121)	44.6	33.9	30.6	33.9	25.6	-
四方、八幡、草島、倉垣 (N=138)	48.6	42.8	44.2	34.1	28.3	2.9
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=143)	41.3	38.5	41.3	30.8	28.0	2.1
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=132)	46.2	34.8	29.5	29.5	25.8	2.3
大沢野地域、細入地域 (N=143)	39.2	43.4	42.7	30.8	31.5	0.7
大山地域 (N=132)	45.5	37.9	32.6	22.0	28.8	1.5
八尾地域、山田地域 (N=129)	41.1	38.0	26.4	34.1	32.6	0.8
婦中地域 (N=132)	43.9	38.6	34.1	21.2	21.2	3.0

(6)ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な見守りや支援

問9Q5. ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、どのような見守りや支援が必要だと思いますか。当てはまるもの1つに○印を付けてください。

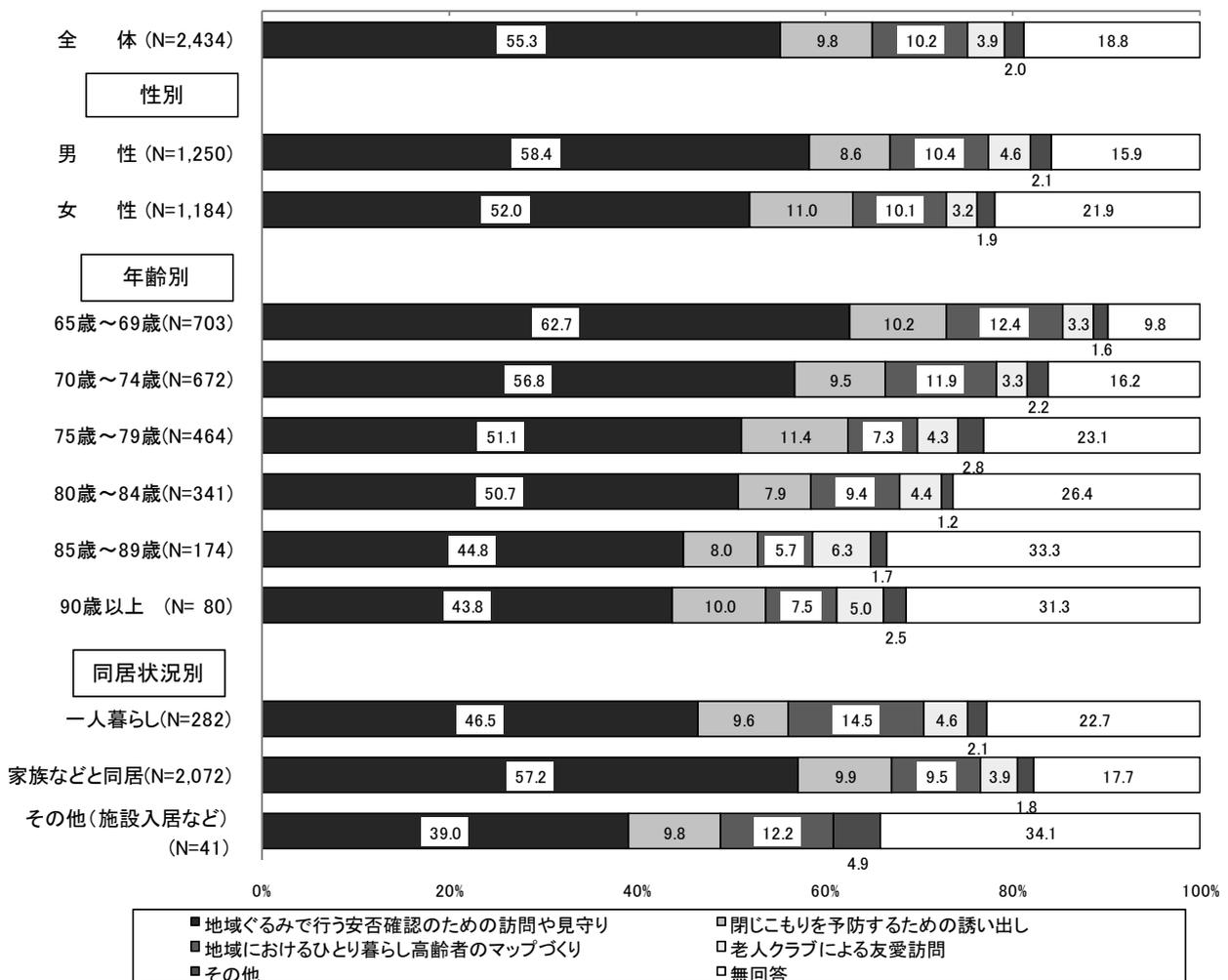
ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、どのような見守りや支援が必要だと思うかきいたところ、「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が55.3%、「閉じこもりを予防するための誘い出し」が9.8%、「地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり」が10.2%、「老人クラブによる友愛訪問」が3.9%などとなっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が多くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が多い。

同居状況別にみると、「家族など同居」は「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り」が他と比べて多く、「一人暮らし」は「地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり」が他と比べて多くなっている。

図表9-10 ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な見守りや支援



(7) 認知症の人が地域で暮らすために必要な支援

問9 Q6. 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思いますか。当てはまるもの3つまでに○印を付けてください。

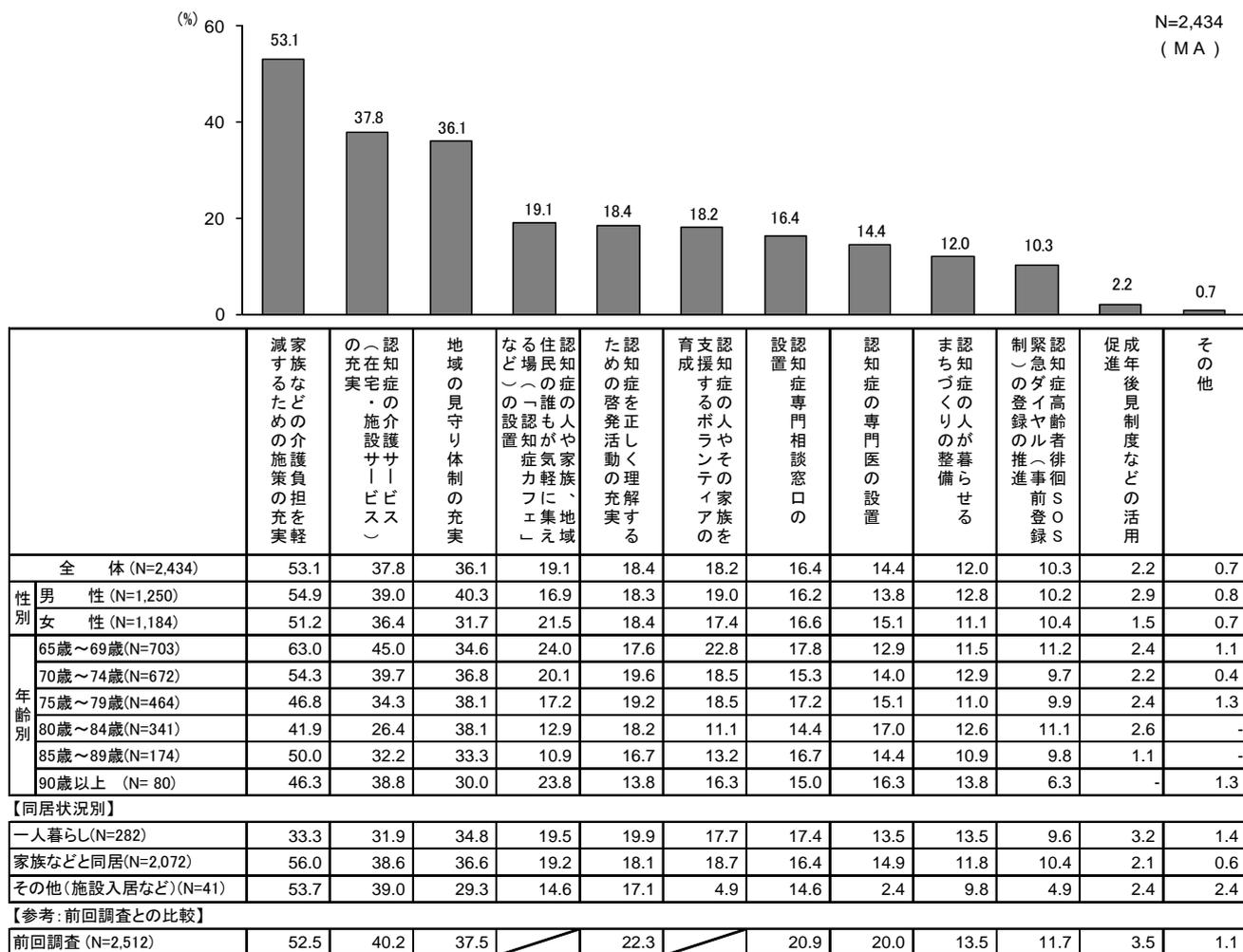
認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思うかきいたところ、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が53.1%と最も多く、次いで「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」が37.8%、「地域の見守り体制の充実」が36.1%の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「地域の見守り体制の充実」が多く、女性は男性に比べて「認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（「認知症カフェ」など）の設置」が多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」は「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が63.0%と多くなっている。

同居状況別にみると、「一人暮らし」は「地域の見守り体制の充実」が34.8%と最も多くなっている。

図表 9-11 認知症の人が地域で暮らすために必要な支援



## (8) 身近に整備してほしい介護・福祉施設

問9 Q7. あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設などはどれですか。(いくつでも)

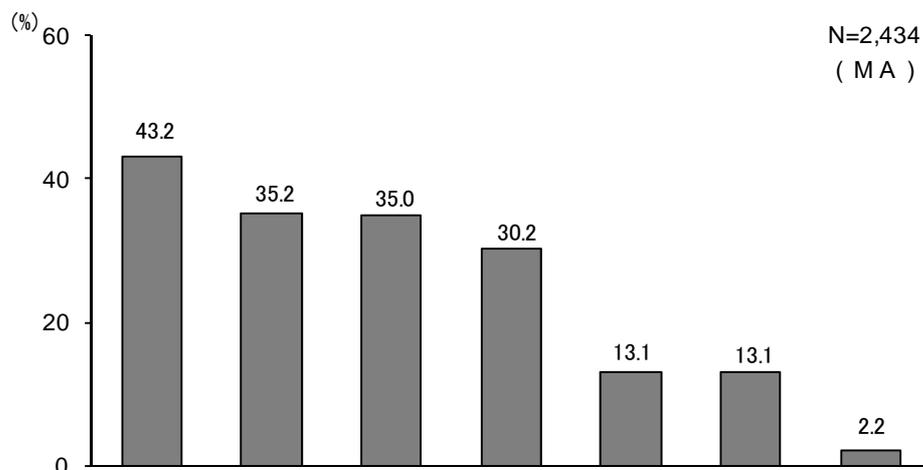
身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等についてきいたところ、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が43.2%と最も多く、次いで「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が35.2%、「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が35.0%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が30.2%の順となっている。

男女別にみると、男性は「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が38.0%と、女性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、「65～69歳」で「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が52.3%と他の年代に比べて多くなっている。また、「85～89歳」は「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」が38.5%と最も多い。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は受けていない人に比べて「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が多くなっている。一方、受けていない人は受けている人に比べて「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」が多くなっている。

図表 9-12 身近に整備してほしい介護・福祉施設



		ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設 (小規模多機能型居宅介護)	日帰り通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設	筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	少人数で共同生活を行う施設 (グループホームなど)	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設	その他
全 体 (N=2,434)		43.2	35.2	35.0	30.2	13.1	13.1	2.2
性別	男 性 (N=1,250)	42.3	36.0	38.0	32.1	11.8	12.7	2.7
	女 性 (N=1,184)	44.1	34.4	31.8	28.1	14.4	13.6	1.6
年齢別	65歳～69歳(N=703)	52.3	38.3	39.0	33.6	15.6	13.1	2.8
	70歳～74歳(N=672)	42.0	35.6	37.8	31.5	14.4	13.5	1.6
	75歳～79歳(N=464)	41.2	32.5	34.9	28.0	12.9	13.1	2.6
	80歳～84歳(N=341)	33.4	29.6	31.1	23.8	10.0	12.0	2.1
	85歳～89歳(N=174)	35.6	38.5	22.4	26.4	8.0	14.9	0.6
	90歳以上 (N= 80)	42.5	37.5	20.0	36.3	3.8	11.3	2.5
【要介護認定の状況別】								
受けていない (N=2,121)		44.0	35.2	35.8	29.9	13.8	13.4	2.1
受けている (N= 237)		42.2	38.0	27.8	33.8	9.3	13.1	2.5
【参考: 前回調査との比較】								
前回調査 (N=2,512)		41.2	45.3	31.9	29.1	16.9	23.2	2.1

図表 9-13 身近に整備してほしい介護・福祉施設【圏域別】

	(に組み合わせた多機能型居宅介護)	サ一ヒ ービス の事 業所 で、 訪問 介護 やデ イ	日 だけ 宿 泊 す る シ ョ ー ト ス テ イ の 施 設	筋 力 向 上 ト レ ー ニ ン グ や 転 倒 予 防 な ど の 介 護 予 防 を 目 的 と し た 施 設	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど の 介 護 保 険 施 設	(少 人 数 で 共 同 生 活 を 行 う 施 設 グ ル ー プ ホ ー ム な ど)	有 料 老 人 ホ ー ム や サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 な ど の 施 設	そ の 他
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=129)	47.3	39.5	32.6	25.6	14.7	20.9	3.1	
東部、山室 (N=152)	42.8	35.5	33.6	31.6	15.8	13.8	2.6	
西田地方、堀川、光陽 (N=125)	47.2	40.0	30.4	24.8	12.8	16.8	1.6	
堀川南、蟻川 (N=144)	43.8	34.7	35.4	28.5	10.4	18.8	3.5	
奥田、奥田北 (N=135)	43.7	37.0	39.3	34.8	12.6	22.2	1.5	
桜谷、五福、神明 (N=138)	46.4	39.1	35.5	24.6	11.6	17.4	2.2	
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=148)	49.3	40.5	38.5	31.8	8.8	10.8	2.0	
針原、豊田 (N=133)	45.1	43.6	37.6	33.1	15.8	12.8	-	
広田、新庄、新庄北 (N=125)	44.8	33.6	35.2	29.6	14.4	17.6	0.8	
藤ノ木、山室中部 (N=123)	40.7	31.7	39.0	32.5	12.2	13.0	0.8	
太田、新保、熊野、月岡 (N=121)	34.7	28.1	30.6	28.1	6.6	7.4	5.8	
四方、八幡、草島、倉垣 (N=138)	48.6	29.0	39.1	39.9	8.7	13.8	4.3	
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=143)	42.7	29.4	38.5	30.1	16.1	7.7	1.4	
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=132)	41.7	34.8	39.4	18.2	14.4	12.1	3.8	
大沢野地域、細入地域 (N=143)	38.5	34.3	32.2	31.5	14.0	10.5	2.1	
大山地域 (N=132)	42.4	33.3	34.8	35.6	12.1	5.3	0.8	
八尾地域、山田地域 (N=129)	38.0	41.9	24.8	30.2	15.5	7.0	0.8	
婦中地域 (N=132)	39.4	28.8	31.1	31.8	19.7	9.1	2.3	

### (9) 介護保険制度における費用負担の考え方

問9 Q8. あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。  
当てはまるもの1つに○印を付けてください。

介護保険制度における費用負担の考え方についてきいたところ、「現状（1割負担）程度の費用負担が適当である」が59.7%、「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」が19.3%、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が9.9%などとなっている。

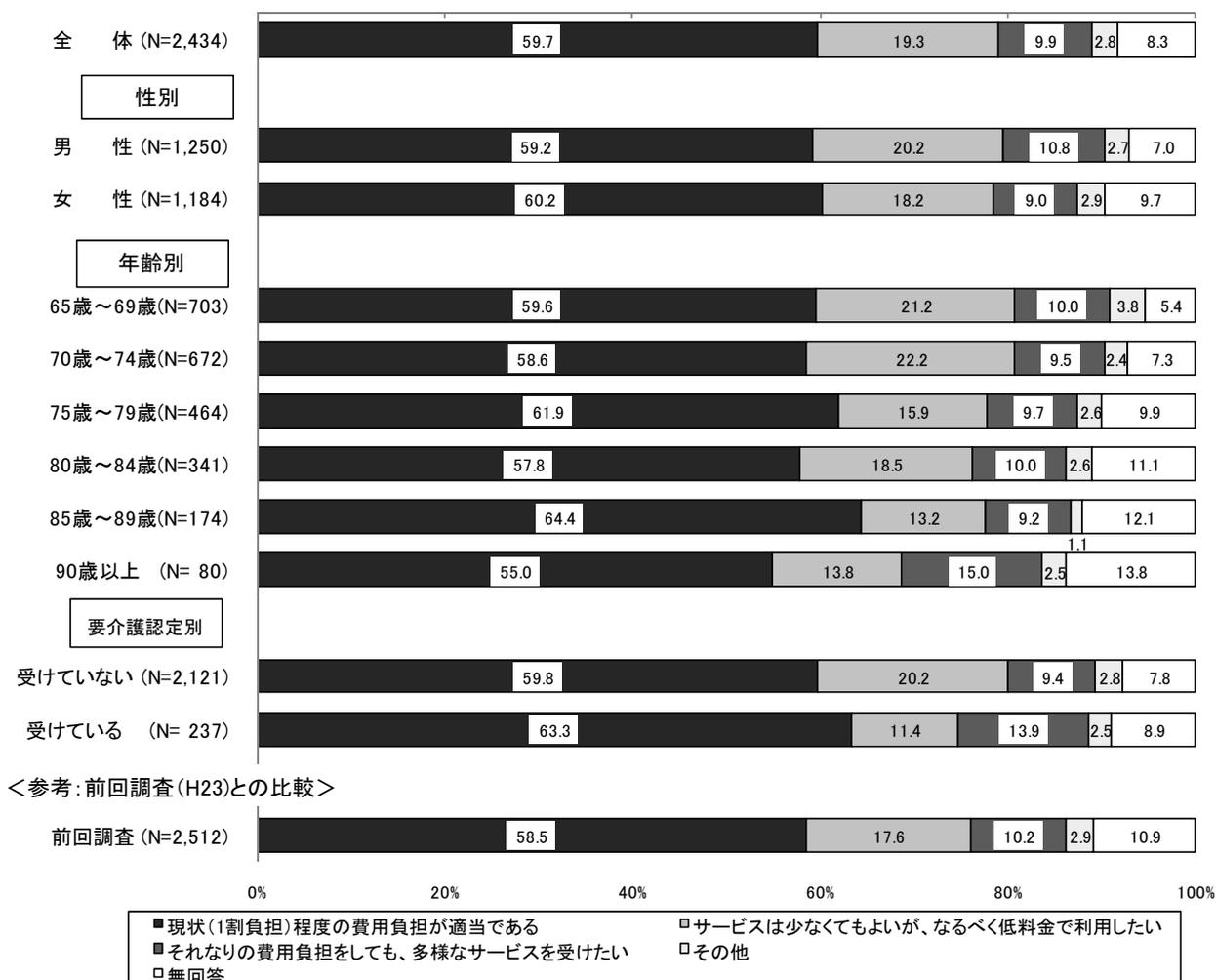
男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「85～89歳」で「現状（1割負担）程度の費用負担が適当である」が64.4%と他の年代に比べて多くなっている。

要介護認定の状況別にみると、要介護認定を受けている人は「現状（1割負担）程度の費用負担が適当である」が63.3%と、受けていない人に比べて多くなっている。要介護認定を受けていない人は「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」が20.2%と、受けている人に比べて多くなっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられなかった。

図表 9-14 介護保険制度における費用負担の考え方



<参考: 前回調査(H23)との比較>



## IV 調査票



# 高齢者保健福祉実態調査

平成26年1月  
富山市

※回答は、この用紙の該当する答えの番号に直接○印をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

(別に回答用紙はありません。)

## 問1 設問のはじめに

Q1. このアンケートに記入していただく方を教えてください。

1. あなた (ご本人)
2. ご家族 (ご本人からの聞き取りにより記入)
3. その他 (                   〃                   )

Q2. あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

Q3. あなたの平成26年(今年)1月1日現在の満年齢を教えてください。

1. 65歳～69歳
2. 70歳～74歳
3. 75歳～79歳
4. 80歳～84歳
5. 85歳～89歳
6. 90歳以上

Q4. あなたはどの地域にお住まいですか。

小学校区などを参考にして1から18までの該当する地域番号1つに○印を付けてください。

1. 総曲輪、愛宕、安野屋、八人町
2. 五番町、柳町、清水町、星井町
3. 東部、山室
4. 西田地方、堀川、光陽
5. 堀川南、蜷川
6. 奥田、奥田北
7. 桜谷、五福、神明
8. 岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎
9. 針原、豊田
10. 藤ノ木、山室中部
11. 太田、新保、熊野、月岡
12. 四方、八幡、草島、倉垣
13. 呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多
14. 水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条
15. 大沢野地域、細入地域
16. 大山地域
17. 八尾地域、山田地域
18. 婦中地域

Q5. あなたは、介護認定を受けていますか。

また、受けている場合、要介護度は次のどれにあたりますか。

1. 受けていない
2. 要支援1、2
3. 要介護1、2
4. 要介護3以上

## 問2 あなたの家族や生活状況について

Q1. 家族構成をお教えてください。

1. 一人暮らし      2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）      3. その他（施設入居など）  
⇒ Q2へ                      ⇒ Q1-1～2へ                      ⇒ Q2へ

Q1-1.（家族などと同居されている方のみ）

ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。（いくつでも）

人

1. 配偶者（夫・妻）    2. 息子    3. 娘    4. 子の配偶者    5. 孫    6. 兄弟・姉妹  
7. 親    8. その他（                      ）

Q1-2.（家族などと同居されている方のみ）

日中、一人になることがありますか。

1. よくある      2. たまにある      3. ない

Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない ⇒ Q3へ  
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ Q2-1へ  
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている  
（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む） ⇒ Q2-1～3へ

Q2-1.（介護・介助が必要な方・受けている方のみ）

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）      2. 心臓病  
3. がん（悪性新生物）      4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）  
5. 関節の病気（リウマチ等）      6. 認知症（アルツハイマー病等）  
7. パーキンソン病      8. 糖尿病      9. 視覚・聴覚障害  
10. 骨折・転倒      11. 脊椎損傷      12. 高齢による衰弱  
13. その他（                      ）      14. 不明

Q2-2.（介護・介助を受けている方のみ）

主にどなたの介護・介助を受けていますか。

1. 配偶者（夫・妻）    2. 息子    3. 娘    4. 子の配偶者    5. 孫    6. 兄弟・姉妹  
7. 親    8. 介護サービスのヘルパー    9. その他（                      ）

Q2-3.（介護・介助を受けている方のみ）

主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。

1. 65歳未満      2. 65～74歳      3. 75～84歳      4. 85歳以上

Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1. 苦しい      2. やや苦しい      3. ややゆとりがある      4. ゆとりがある





#### 問4 口腔・栄養について

Q1. あなたの口腔(こうくう)の状態についてお尋ねします。(いくつでも)

1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
2. お茶や汁物などでむせることがある
3. 口の渇きが気になる
4. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している
5. 定期的に歯科受診(健診を含む)をしている

Q2. 入れ歯を使用していますか。

1. はい 2. いいえ

⇒ Q2-1~2へ ⇒ Q3へ

Q2-1. (入れ歯を使用している方のみ)

噛み合わせは良いですか。

1. はい 2. いいえ

Q2-2. (入れ歯を使用している方のみ)

毎日入れ歯の手入れをしていますか。

1. はい 2. いいえ

Q3. 1日の食事の回数は何回ですか。

1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食 4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他

Q4. 食事を抜くことがありますか。

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. ほとんどない

Q5. 普段の食事で、栄養のバランスを意識していますか。

1. はい 2. いいえ

Q6. 水やお茶、コーヒーなどの水分を意識して飲んでいきますか。

1. はい 2. いいえ

#### 問5 物忘れについて

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。

1. はい 2. いいえ

Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

1. はい 2. いいえ

Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

1. はい 2. いいえ

Q4. 5分前のことが思い出せますか。

1. はい 2. いいえ

Q5. その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。

1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる  
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる  
3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない

## 問6 日常生活について

Q1. 日用品の買物をしていますか。

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない  
⇒Q2へ    ⇒Q1-1へ    ⇒Q1-1へ

Q1-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ)

日用品の買物をする人は主にどなたですか。

1. 同居の家族    2. 別居の家族    3. ヘルパー    4. 配達を依頼    5. その他 (                      )

Q2. 自分で食事の用意をしていますか。

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない  
⇒Q3へ    ⇒Q2-1へ    ⇒Q2-1へ

Q2-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)

食事の用意をする人は主にどなたですか。

1. 同居の家族    2. 別居の家族    3. ヘルパー    4. 配食サービス利用    5. その他 (                      )

Q3. 買い物などの請求書の支払いを自分でしていますか。

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

Q4. 預貯金の出し入れを自分でしていますか。

1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

Q5. 食事は自分で食べられますか。

1. できる    2. 一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる    3. できない

Q6. 自分でトイレができますか。

1. できる    2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる    3. できない

Q7. 自分で入浴ができますか。

1. できる    2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる    3. できない

Q8. 自分で着替えができますか。

1. できる    2. 介助があればできる    3. できない

Q9. 家庭内で何か役割はありますか。(いくつでも)

1. ない    2. 炊事    3. 掃除    4. 洗濯    5. 庭や植栽の管理  
6. 家族の介護    7. 孫の世話    8. その他 (                      )

## 問7 社会参加について

Q1. 新聞や本、雑誌を読んでいますか。

1. はい    2. いいえ

Q2. 友人の家を訪ねていますか。

1. はい    2. いいえ

Q3. 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい    2. いいえ

Q4. 趣味や生きがいがありますか。	1. はい	2. いいえ
Q5. 以下のような趣味や生きがい活動にどのくらいの頻度で参加（又は外出）していますか。		
(1) ボランティア活動		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
(2) スポーツなど健康保持や体力づくりのための活動（散歩なども含む）		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
(3) 学習・教養サークル（習い事）など趣味や生きがいのための活動		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
(4) 自治会・町内会・老人クラブなどの活動		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
(5) その他の団体や会		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
Q6. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。		
(1) 見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動（例 一人暮らし高齢者への声かけなど）		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない		
(2) 子どもを育てている親を支援する活動（例 通学児童の見守りなど）		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない		
(3) 地域の生活環境の改善（美化）活動（例 道路や公園のごみ拾いなど）		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない		
(4) 収入のある仕事		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない		
Q7. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお尋ねします。		
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）		
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣の人 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない		
(2) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）		
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣の人 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない		
Q8. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）		
1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 市役所・地域包括支援センター 6. その他（ ） 7. そのような人はいない		

Q9. 友人関係についてお尋ねします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 会っていない

(2) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人  
4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人  
6. ボランティアなどの活動での友人 7. その他 ( ) 8. いない

## 問8 健康について

Q1. 健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。(いくつでも)

1. 運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている  
2. 生活の中で、なるべく体を使うようにしている。(エレベーターや車を使わないなど)  
3. 栄養摂取(食事やサプリメント)を意識している 4. 休養や睡眠を十分とるようにしている  
5. 規則的な生活を心がけている 6. 歯(義歯含む)や口腔(こうくう)の健康を意識している  
7. 健康診断を受診している 8. 気持ちをなるべく明るく持つようにしている  
9. 酒やタバコを控えている 10. 趣味や教養のため外出している  
11. 地域活動(長寿会や自治会活動を含む)に参加するようにしている  
12. 友人との交流を大切にしている  
13. 特にない 14. その他 ( )

Q2. 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

1. 運動(散歩など軽い運動を含む) 2. 働くこと  
3. 家事や家庭内の世話 4. ボランティア活動  
5. 趣味や教養活動 6. 地域活動(長寿会や自治会活動を含む)  
7. 友人との交流 8. 特にない  
9. その他 ( )

Q3. 普段、ご自分で健康だと思いますか。

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

Q4. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病  
5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)  
10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. うつ病  
14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病 16. 目の病気  
17. 耳の病気 18. その他 ( ) 19. ない

Q5. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

1. 1種類    2. 2種類    3. 3種類    4. 4種類    5. 5種類以上    6. 飲んでいない

Q6. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。    1. はい    2. いいえ

⇒ Q6-1~2へ    ⇒ Q7へ

Q6-1. (通院している方のみ)

その頻度は次のどれですか。

1. 週1回以上    2. 月2~3回    3. 月1回程度    4. 2ヶ月に1回程度    5. 3ヶ月に1回程度

Q6-2. (通院している方のみ)

通院に介助が必要ですか。

1. はい    2. いいえ

Q7. 以下の在宅サービス及び福祉サービスを利用していますか。(いくつでも)

- |                                 |                       |                                 |            |
|---------------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------|
| 1. 訪問診療（医師の訪問）                  | 2. 訪問介護               | 3. 夜間対応型訪問介護                    |            |
| 4. 訪問入浴介護                       | 5. 訪問看護               |                                 |            |
| 6. 訪問リハビリテーション                  | 7. 通所介護（デイサービス）       |                                 |            |
| 8. 認知症対応型通所介護                   | 9. 通所リハビリテーション（デイケア）  |                                 |            |
| 10. 小規模多機能型居宅介護                 | 11. 短期入所（ショートステイ）     |                                 |            |
| 12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導） |                       |                                 |            |
| 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護            | 14. 複合型サービス           |                                 |            |
| 15. シニアライフ・いきがい講座               | 16. 介護予防ふれあいサークル      | 17. ふれあいサロン                     |            |
| 18. 配食サービス                      | 19. 緊急通報装置            | 20. 日常生活用具の給付                   | 21. 軽度生活援助 |
| 22. 徘徊高齢者探索サービス                 | 23. 認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤル |                                 |            |
| 24. 高齢者運転免許自主返納支援事業             | 25. 成年後見制度            | 26. その他（                      ） |            |

Q8. あなたの日ごろ（ここ2週間）の生活状況についてお尋ねします。(いくつでも)

1. 毎日の生活に充実感がない
2. これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
3. 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる
4. 自分が役に立つ人間だと思えない
5. わけもなく疲れたような感じがする

## 問9 高齢者福祉について

Q1. 身近な地域で総合的な相談に対応できる機関として、地域包括支援センターがあることをご存知ですか。

1. 知っている ⇒ Q1-1へ    2. 知らない ⇒ Q3へ

Q1-1. (知っている方のみ)

地域包括支援センターを利用したことがありますか。

1. ある ⇒ Q2へ    2. ない ⇒ Q3へ

Q2. (地域包括支援センターを利用したことがある方のみ)

どのような用件で相談されましたか。(いくつでも)

1. 介護に関すること(介護保険制度を含む)
2. 介護予防に関すること(水のみ運動・楽々いきいき運動・パワーリハビリ・ふれあいサークルなど)
3. 健康や医療に関すること
4. 配食サービス・おむつ支給・介護手当などの福祉サービスに関すること
5. 基本チェックリストに関すること
6. 病院・施設からの退院・退所に関すること
7. 入院・入所に関すること
8. 認知症に関すること
9. 住宅の改修に関すること
10. 高齢者の虐待に関すること
11. 成年後見や高齢者の権利に関すること
12. 悪徳商法・振り込め詐欺などに関すること
13. 孤立・孤独に関すること
14. 経済(生活費など)に関すること
15. その他( )

Q3. 介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。

当てはまるもの1つに○印を付けてください。

1. 在宅で、家族の介護を受けながら、暮らしたい
2. 在宅で、ヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら、暮らしたい
3. 自宅の近くにある小規模なグループホーム(認知症対応の施設)で安心した生活を送りたい
4. 特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で、安心した生活を送りたい
5. 特別養護老人ホームなどで、安心した生活を送りたいが、個室にはこだわらない
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい
7. その他( )

Q4. 介護サービスなどを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思えますか。(いくつでも)

1. 在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制
2. ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス
3. 日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービス
4. 住宅の改修や福祉用具の貸与・購入に関する費用の支給
5. 在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援
6. その他 ( )

Q5. ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には、どのような見守りや支援が必要だと思えますか。

当てはまるもの1つに○印を付けてください。

1. 地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り
2. 閉じこもりを予防するための誘い出し
3. 地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり
4. 老人クラブによる友愛訪問
5. その他 ( )

Q6. 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思えますか。

当てはまるもの3つまでに○印を付けてください。

1. 地域の見守り体制の充実
2. 認知症を正しく理解するための啓発活動の充実
3. 家族などの介護負担を軽減するための施策の充実
4. 認知症の人が暮らせるまちづくりの整備
5. 認知症専門相談窓口の設置
6. 認知症の専門医の設置
7. 認知症の介護サービス(在宅・施設サービス)の充実
8. 認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤル(事前登録制)の登録の推進
9. 成年後見制度などの活用促進
10. 認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場(「認知症カフェ」など)の設置
11. 認知症の人やその家族を支援するボランティアの育成
12. その他 ( )

Q7. あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設などはどれですか。(いくつでも)

1. 筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設
2. 日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設
3. ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設(小規模多機能型居宅介護)
4. 少人数で共同生活を行う施設(グループホームなど)
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設
7. その他( )

Q8. あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。

当てはまるもの1つに○印を付けてください。

1. 現状(1割負担)程度の費用負担が適当である
2. サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい
3. それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい
4. その他( )

**ご協力、ありがとうございました。**

**記入もれがないか、今一度お確かめください。**

**※ 記入した調査票を切り離すことなく、送付されてきたもの全てを3つ折りにして  
同封した返信用封筒に切手を貼らずに、2月10日(月)までに投函してください。**

## 高齢者保健福祉実態調査報告書

---

平成 26 年 3 月 発行

### 富 山 市

富山市新桜町 7 番 38 号

TEL : 076-431-6111

お問い合わせ先 富山市福祉保健部長寿福祉課

TEL : 076-443-2061

富山市福祉保健部介護保険課

TEL : 076-443-2041

富山市福祉保健部保健所健康課

TEL : 076-428-1153

富山市福祉保健部保健所保健予防課

TEL : 076-428-1152

調査・分析 株式会社ラックス

富山市西長江 1 丁目 12-1

TEL : 076-422-7478

---